『週刊ゴング』"おい！ 金澤"編集長、本誌に登場！

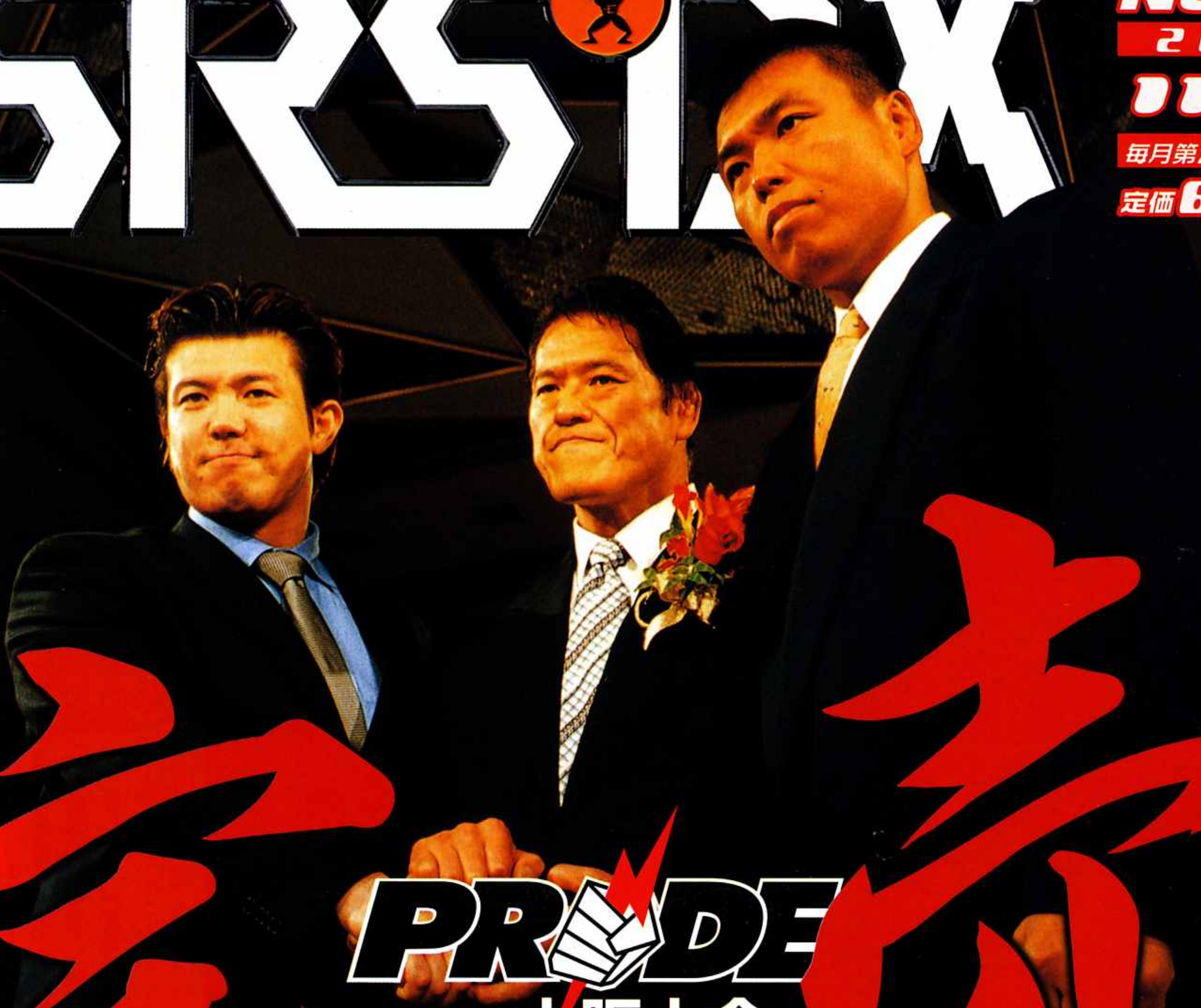
平成12年4月25日第3種郵便物認可 平成12年11月9日発行（毎月第2・第4木曜日発行）第2巻・21号・通算33号

SRS・DX

Special Ring Side

No.33
2000
11・9
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

PRIDE 大阪大会

完売

秋の陣

今、選ばれし者の闘い

時代は交流戦より個と個の激突へ

SRS・DX 11・9 No.33

小川VS佐竹……どうなる「柔道VS空手」因縁の決闘

衝撃！ 小路二等兵、スタジオ特写！

編集人・中川貴由 発行人・柳沢忠之 発行所・（株）フジテレビ出版
（株）ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F 電話/03-3295-4445
発売所・（株）扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号
定価680円 本体648円

本誌はいきなり
柔道讃歌？
どうなる
「空手VS柔道」の決闘

今からでも遅くないですよ。一緒にマスク被って出ましょう！

う～ん、ヒクソンとはやってみたいですね

大物柔道家
『PRIDE』勧誘対談！

桜庭和志〈髙田道場〉VS 吉田秀彦〈シドニー五輪90キロ級代表〉

シドニー五輪を大いに沸かせた日本柔道。そして、10・31『プライド11』で実現する柔道王・小川直也VS空手王・佐竹雅昭の一戦。考えてみれば、柔道ほど『プライド』に向いている人材の宝庫であるジャンルもない。そこで、今号ではいきなり本誌は柔道讃歌。まずは五輪代表の中でも最も〝プロ向き〟を感じさせる吉田秀彦と桜庭和志の夢の対談の実現だっ！

司会◎谷川貞治

──2人は同じ年なんですよね。

吉田 たぶん、同じじゃないですか？ 僕は69年9月生まれです。

桜庭 あ──っ、同じ年ですね。僕は69年7月ですから。

──そんな同じ年の桜庭選手には、吉田選手はどう映っていたんですか？

桜庭 やっぱり、凄いなぁって見てました。柔道ってレベルが高いし、その中で世界で勝つというのは凄いことですから。吉田さん、ずっと勝ってきたじゃないですか？

吉田 でも、挫折もありましたよ。27～28歳の時は予選に負けて世界選手権にも出られませんでしたから。

桜庭 逆に言えば、そういう挫折からまた復活したんですから、凄いですよね。初めて出たオリンピックで金メダル獲ったんですよね。

吉田 はい。バルセロナですね。でも、柔道って、オリンピックの時だけじゃないですか、注目されるのって。だから、それ以外の時は影が薄いんですよ（笑）。

桜庭 僕はオリンピックの時もそうですけど、無差別の大会で活躍したじゃないですか？ あれは凄いなぁと思いました。

──そうそう、全日本選手権で準優勝しているんですよね。小川直也に勝って、決勝で金野潤選手とケンカファイトして、あのカニ挟みの応酬は面白かったですね。

桜庭 コワ～、カニ挟みって反則じゃないんですか？

吉田 次の年から反則になりました（笑）。僕、あの技で負けたんですよ。あれで体勢を崩されたのがポイントになって。

桜庭 吉田さんもカニ挟み、やってませんでした？

吉田 やられたからやり返したんですけど、練習では掛けたことなかったから、どうやって掛けたらいいのかよく分からなかったんですけどね（笑）。で、130キロの体で、ワキ固めもやられるし（笑）。

桜庭 え──っ、130キロにですか？

吉田 もうムチャクチャ痛かったですねぇ。もう腕に力が入らないんですよ。その後、寝技の攻防になった時、そのまま抑え込まれようと思ったくらいです。でも、右手を固めていたのに、わざわざ左の手を取りにきたんで、カチンときて、ムチャクチャ動いて逃げました。

桜庭 『プライド』の試合みたいですね。

吉田 金野さんも『プライド』は大好きですよ。サンボの全日本大会でも優勝していて、寝技は強いですよ。『プライド』に出ればいいのに、と思いますけどね（笑）。最近、アメリカに行っちゃいましたけど。

桜庭 柔道には、たくさん人材がいますよねぇ。

『プライド』はなんでも有りなんで あまり飽きないんですよ。

──金野選手はまず『プライド』的にはチェックですね（笑）。ところで、オリンピックでの脱臼はもう大丈夫なんですかぁ？

吉田 ええ、今のところ手術もしないで済みまして……。ホントはしたほうがいいみたいなんですけど、左のヒジをケガした時、手術したのにあまり良くならなかったんで、メスを入れるのは良くないかなぁと思いまして。

桜庭 あれはしょうがないですね。でも、見ていて気持ち悪かったですけど。

吉田 自分も脱臼させたじゃないですか、桜庭さん（笑）。ヘンゾでしたっけ？

桜庭 ああ……。でも、吉田さんのは手を着いた時点で、逆方向向いていたから……。あれは、ヒジが抜けちゃったんですか？

吉田 はい。抜けちゃって。だから、最近は「子供にはやらせられない」って言われるんですよ（笑）。自分では、投げられないって思ってたんですけどねぇ。そしたら抜けて、そのまま投げられちゃいました。

──ドラマチックですよねぇ。

吉田 あれで、勝っていたらですねぇ。

──いやぁ、吉田さんの場合、柔道の試合でも負け方がドラマチックですよ。カニ挟みやられたり、ヒジを脱臼したり。ホント、プロ向きな感じがしますね。でも、吉田さん自身も『プライド』の会場に来たり、『コロシアム』の解説をやってますよねぇ。

吉田 基本的に、好きなんですよ。

──桜庭選手の試合もよく見るんですか？

吉田 いや、もう全部見てます。

──全部！ じゃあ、どういう感想なんですか、桜庭選手の試合は？

吉田 いやぁ、結構、外人ってみんな体がデカイじゃないですか。小柄でよくあそこまでやるなぁっていうのが、凄いですよね。

──そもそも吉田さんにとってはグレイシーってどう見えてるんですか？ グレイシーって、講道館柔道のコンデ・コマがブラジルに渡って伝え、それをグレイシー一族がアレンジしたものじゃないですか。いわば、柔道の亜流ですよね。

吉田 最初にアルティメットが出てきた時は、凄く素朴な感想なんですけど、あ

本誌はいきなり
柔道讃歌？
どうなる
「空手VS柔道」の決闘

っ、寝技してるなぁと思いましたね。これは柔道じゃないか、と。それに打撃が加わったようなもので、でも最終的にはだいたい寝技で決まりますよねぇ。絞めや関節技で。そういうのって、やっぱり柔道からきているものだから、「ああ柔道に近いなぁ」と感じはしましたね。

――そういう柔道に近いグレイシーが、打撃のキックボクサーだとか、空手だとか、プロレスラーを全部やっつけてきたじゃないですか。それを見て吉田さんは柔道は強いんだと思ったのか、そんなの当たり前だと思ったのか、勝ってくれて嬉しいと思ったのか、そのへんの気持ちが凄く知りたいんですけど。

吉田　自分の感想から言えば、やっぱり柔道は打撃に弱いと思うんですよ。やっぱり殴られたりすることには凄く抵抗がありますね。だから、グレイシーを最初に見た時は、寝技になってしまえばなんとかなるのかなぁというくらいの気持ちですよね。

――でも、それをグレイシーはうまくやりますよね。

吉田　そうですね。だから、そのへんは勝つんだから、うまいし凄いなぁとは思いますよ。

桜庭　吉田さんから見ると、グレイシーの寝技のレベルはどうですか？

――これは凄いなぁと思うのか、柔道ではあんなの普通なのか？

吉田　どうなんですかねぇ。

――全然、大したことない？

吉田　いやぁ、大したことないとか、全然思わないですけど（笑）。実際にやったことないですからねぇ。ああいうふうにグローブ着けるだけで全然違う感覚になると思うし、道衣を着ていない同士の闘いもまた違うし。柔道とは根本的に違うんで、なんとも言えないですよね。

桜庭　やってみたらどうですか？

吉田　いやいや、ああいうのは見て楽しむものだと思ってますから（笑）。

――でも、やってみたいと思ってるんじゃないですか？　たぶんやったら凄いと思いますけど（笑）。

桜庭　ウン、凄いですよ、きっと。

吉田　いやいや、僕より他にたくさんいますよ。寝技の強い中村佳央、兼三兄弟とかには、僕も言ってるんですけどね、出ろ出ろって（笑）。

――はははははは。でも吉田秀彦が『プライド』に上がってきたら、それこそ小川直也以上に凄い盛り上がるでしょうね

グレイシーを最初に見た時、ああ寝技やってる、柔道なんだな、と。

（笑）。

吉田　いやぁ、地道に生きていこうと思ってますから（笑）。これ以上、体を痛めつけないでですねぇ、やっぱりここまでやってこられたのも、この体があったからですから。感謝して、これからは少し大事にしていこうかなと思ってるんで（笑）。

桜庭　現役は続けられるんですか？

吉田　一応、ケガが治ってから考える予定です。

桜庭　ところで練習は、今のこのくらいの年齢でもガンガンやってるんですか？

吉田　いやぁ、できないッスよ。やっぱり合宿行くとよく分かりますよ。全日本の合宿に若い選手と一緒に行くじゃないですか。下は21歳くらいから、自分の下が篠原（信一）で27歳。で、自分が一番上で31歳でしょ。みんなガンガンやってるのを見て、違うなって思いますよ。

桜庭　あーっ、はいはい。

吉田　それでも、自分で納得して、自分にはこのくらいの練習でいいんだって考えながらやってますけどね。

桜庭　柔道の練習って、キツそうですもんね。

吉田　柔道よりレスリングのほうがキツイんじゃないですか？　3時間くらい動きっぱなしでしょう。日大のレスリング部に1回行ったんですよ。そしたら、軽い運動からずっと動きっぱなしで、凄いキツかった覚えがあります。柔道の合宿の一環で行ったんですけど、レスリングって凄いなぁと思いましたよ。

桜庭　やっぱり慣れもあると思いますよ。違う練習すると疲れますからね。

吉田　『プライド』は、いつまでやろうと思ってますか？

桜庭　40歳くらいまで。

吉田　おお～、それは凄いですね。

桜庭　できたらですけどね（笑）。吉田さんはいくつの時から柔道をやってるんですか？

吉田　10歳からです。

桜庭　10歳からだと、もう20年もやってますからねぇ、飽きたんじゃないですか（笑）。

吉田　辞めようと思ったことは何回もありますけどねぇ。でも、柔道辞めると、やることなくなっちゃうんですよ（笑）。

桜庭　『プライド』がありますよ（ニコニコ）。

吉田　いやっあ～、はははは。なんか今日は勧誘されに来たみたいじゃないですか（笑）。

――勧誘に来たんです！（笑）。でも、桜庭選手はカレリンが負けたことについて面白い発言をしていたんですけど、カレリンは10歳くらいからグレコローマンレスリングをやってるじゃないですか。それであのくらいの年齢までずっとやってると、さすがに体が飽きちゃってるんじゃないかと言うんです。飽きちゃってるから、ここぞという時に力が出ない。これは、なるほどと思いましたけどね。

桜庭　そうですね。でも、『プライド』は基本的になんでもやっていいから、あまり飽きないんですよ。柔道でも、レスリングでも、どうしても制限があるじゃないですかぁ。なんか『プライド』やってしまったら、アマレスはもうやりたくないなぁという感覚になるんですよ。

吉田　へぇ～。

――説得されましたか（笑）？

吉田　いやいやいや、ははは（笑）。

――でも、実際の話、吉田さんなんかは『プライド』や『コロシアム』を見ると、「自分ならこう闘う」というシミュレー

▶明治大学の柔道部の寮と髙田道場は偶然にも近くにある。「今度、練習に来てください。いろんな人が来てますから」と桜庭。吉田は「でも、藤田さんは怖そうだから嫌だなぁ（笑）」と反応していた

ションをしながら見るんじゃないですか？

吉田 この前、船木さんがヒクソンにマウントポジションをとられたじゃないですか？ あれ、逃げられないのかなぁとは思いましたけどね。

桜庭 柔道の選手だったら、うまくひっくり返しますよね。髙阪選手と練習やってても、柔道やってたから、下から攻めてくるのうまいんですよ。で、クルッとひっくり返してくるし。

吉田 ああ、髙阪ねぇ。専修で、僕らと同期なんですよねぇ。酒グセ悪いんですよ、あいつ（笑）。

桜庭 ああ、そうなんですか（笑）。

吉田 同級生の結婚式で一緒になって、1回飲んだことがあるんですよ。変わってなかったですねぇ。あいつのパンチが普通にやってるんですけど、痛いんですよ（笑）。

——はははは。で、吉田さんだったら、ヒクソンと闘ったらどうなるかなと考えると、僕らなんか凄くワクワクするんですけどね。

吉田 そうですねぇ、ヒクソンとはやってみたいという気持ちはありますね。

——やってみたい！ おおーっ！

吉田 いやぁ、やってみたいのはやってみたいですけど、負けるでしょう（笑）。

——な〜〜にを言って（笑）。負けないでしょう、吉田選手なら。

吉田 やってみないと分からないですけど、組み合った時の力とか、凄い力強いのか、力を受け流すような力なのか、そういうのはどんなもんなんだろうとは考えますけどね。

桜庭 やってみないと分からないですけど、お互いに道衣を着たら吉田さんのほうが強いんじゃないですか？

——はぁ〜、道衣を着たら楽勝！ 吉田さんぜひやってみてくださいよ。

吉田 楽勝っていうか、向こうも小さい頃からずっとやってますからね。楽勝ではないと思いますけど、コントロールはできると思いますね。ところで、ヒクソンは下からは強いんですかねぇ。

柔道衣を着たら、ヒクソンとやっても 吉田さんが勝つんじゃないですか？

——どうなんでしょう。あまり下になった試合は見たことがないですから。

桜庭 絶対に吉田さんが下になることはないと思いますけどね。やっぱり、どうしても下からよりも上からのほうが強いじゃないですか。2人とも、道衣を着てやるのも面白いと思いますけどね。

吉田 いやぁ、自分の場合は道衣を着てなかったら、まず負けますね。実際に裸体で試合をやったことがないんで。自分の力が伝わらないですもんねぇ。

——やっぱり、そんなに違いますか？

桜庭 僕も道衣を着たら全然ダメですねぇ。ホイス戦の前に松井（大二郎）と道衣着て練習したんですけど、ボロボロ投げられます。なんていうのかなぁ、やっぱり感覚がちょっと違いますよね。

吉田 感覚が違いますよね。僕もレスリングの練習はやったことがあるんですけど、全然違いました。道衣着ていて、掴めないとダメなんですよ。

桜庭 もし道衣着てやったら、僕もすぐに絞められて終わりじゃないですかねぇ。でも、僕は柔道やったことがないから、松井に掴み方が変だって言われましたけど。「ホント、やりにくい」って（笑）。

吉田 だいたい組み手って決まってますからねぇ。だから、外人の素人で、力が強くて、柔道を知らないヤツとやると、意外とやりにくいんですよ。どちらかと言うと、日本人のうまい柔道家とやったほうがやりやすいですよ。

桜庭 初心者とか、知らない人とやると変なところがぶつかるんですよ。それが痛いんですよね。普通当たらないようなヒジとかヒザが顔に当たったりして、初心者は理にかなわない動きをするんで、それが凄くやりにくい。それと一緒ですよねぇ。

吉田 でも、それ以前に、やっぱり柔道やってる者にとっては、殴られるっていうことに抵抗がありますねぇ。パンチとか、相当痛そうじゃないですか（笑）？

桜庭 同じ階級だとそうでもないですよ。僕の場合、85キロくらいしかないですから、相手が100キロを超えるとキツイですけど。

吉田 寝技とかはいいんですけど、やっぱり殴られるのはなぁ……。

桜庭 それは僕もイヤです。でも、イヤだったら上になっちゃえばいいんですよ。上になったらもう殴られないんで。慣れれば大丈夫ですよ。

——大丈夫ですって（笑）。でも、桜庭選手は本当にあまり殴られませんよね。

桜庭 殴られない距離にいるんですよ。1回ホントに伸びちゃったのは、金原さんとやった時ですね。バチンバチンと殴り合いをしていたら、後ろからキックが飛んで来て、それでイッちゃいました。でも、イッちゃう時は全然痛くなくて……。

吉田 気持ちいい！ はっははは、落ちた時と一緒ですね。

桜庭 やっぱり見えると怖いですね。あと、見ていて一番痛そうだったのは、コールマンがボブチャンチンを抑え込んで頭にヒザを入れていたヤツ、あれが一番痛そうでしたね。

——ああ、『プライドGP』の決勝戦。あれは死にますよねぇ。

吉田 殺し合いですよね、ああなると。自分から柔道の試合って、そんな死ぬようなことないじゃないですか。ただ、投げればいいというか。でも、『プライド』

本誌はいきなり柔道讃歌？ どうなる「空手VS柔道」の決闘

って、相手が落ちるか、"参った"するまででしょう。殺し合いの一歩手前ですよね、そうなると。

桜庭 結構、殺し合いのように見えるだけで、やっている人同士はスポーツをやっているような感じですよ。

吉田 終わったら、みんな仲良しなんですか（笑）？

桜庭 そうですねぇ、○○○○以外は（笑）。あーっここは、伏せ字にしておいてください（笑）。

吉田 はっはははははは。じゃあ、ヒクソンはぜひ桜庭さんとやってもらって、僕はそれを見に行きたいです。

桜庭 いや、僕はやらないです。

吉田 えっ？ やらないんですか？ ヒクソンはよく相手を選ぶって言いますよね。自分が勝てるヤツとしかやらないって、実際はどうなんですか？

桜庭 ………。

吉田 ファイトマネーも高いんですよねぇ。

――吉田選手はだいたい、おいくらだったらヒクソンとやりますか（笑）？

吉田 はははははは、いやいやいやいや、やらないですよ。

――ちなみに桜庭選手は最低でも……。

桜庭 4分の3！

吉田 ヒクソンのですか？

桜庭 ヒクソンが40歳で僕が30歳なんで、年齢で考えて4分の3は欲しいですね。

――ヒクソンが1億だったら、7500万円ですね（笑）。

吉田 はぁ～、それは凄いですね。

――でも、吉田選手も20歳くらいの時に今のような『プライド』が出てきたら、悩んでいたでしょう？

吉田 いやぁ～、それはメチャクチャ気持ちが揺れたでしょうね。基本的に好きですから。あ、でも分かった。これからはウチの学生で『プライド』やりたいヤツがいたら、どんどん派遣しますよ。僕はスカウトマンということで（笑）。

桜庭 ああ……。

吉田 凄いんですよ、ウチの学生。みんな『プライド』とか大好きで、桜庭さんのTシャツをみんな着てるんですよ。この前、小川先輩が来たから、今は小川先輩のTシャツにどんどん変わってきてますけど。

――明大の柔道部でも格闘技のTシャツブーム！

吉田 ホント人気ありますよ。オタクですよ、みんな。雑誌とかも買って、練習終わると足の関節の取り方とか、いろいろマネしているんですよ。

――それは凄いですね。でも、吉田さんなんかグレイシーが同じ柔道系として、そういうグレイシーに勝つ桜庭選手をどう見てるんですか？ やっぱり柔道から見ると敵とか？

吉田 いやいや、やっぱり同じ日本人として日本人を応援しますし、やっぱり勝ってもらいたいという気持ちのほうが強いですよ。それによって、自分も燃えられるじゃないですか。それで元気をもらったというような感じで、嬉しいですよ。

――じゃあ、選手として桜庭選手をどう見ているんですか？ どこが強いというか。

吉田 う～ん、なんて言うんですかね。ねちっこいって感じですかね。結構、打撃とかでKOとかじゃないじゃないですか。粘りに粘って、最後に勝つという、ハブみたいな、そんな印象ですかねぇ。

凄いんですよ、ウチの学生。みんな桜庭さんのTシャツ着てます。

――ああ、なるほど。

吉田 柔道でも一緒なんですけど、最初から最後まで、一発の技はないんですけど、ジリジリ追いつめられるのが一番やりづらいんですよね。そういう意味では、桜庭さんは一番イヤなタイプだと思います。でも、これが見る側になると、一番楽しみというか、場内を沸かせるパフォーマンスをいろいろやってくれるじゃないですか。根は大人しそうですけど（笑）。でも、やってみるとやりづらいタイプなんでしょうね。

――ああ、ちょっとスパーリングとかやってもらいたいですね、吉田さんと。

吉田 治ったらですね（笑）。

桜庭 いやぁ、柔道って一発一発ガツ～ンと強いじゃないですか。だから僕、すぐに投げられちゃうと思います（笑）。

――いやぁ、投げられた後の寝技の攻防がどうなるのか、見てみたいですね。

桜庭 あまりうまくないですよ、僕は。基本的にタックルで入って上になるというのが得意なんで、投げられて下になるのはあまり得意じゃないです。

――そうなると、やっぱり柔道は『プライド』向きですよねぇ（笑）。

吉田 自分なんかよりも篠原（信一）に言ってくださいよ（笑）。あいつ、力もエライ強いんですけど、細かいところもうまいんですよね。手が自分の倍以上あって、あれはもうグローブですよ（笑）。

――そんなに！

吉田 顔も倍！

桜庭 はっはははは、身長はどのくらいあるんですか？

吉田 193センチくらいありますね。あいつは凄い面白いヤツなんですよ。関西弁でベラベラしゃべるんですけど。でも、これでもう辞めるとか言ってたんで、「よし、おまえ『プライド』に行け！」って言ってやったんですけどね（笑）。

◀桜庭と吉田は体重もほぼ同じクラス。もし『プライド』に上がったら、桜庭VS吉田なんて夢のカードも実現するのになぁ

「おまえなら、絶対にイケるよ」って。

——篠原選手はイケますよぉ。辞めるのはもったいないですね。

吉田 みんなでそういうことを言い合ってるんですよ。みんな見るのは凄い好きなんですけど、実際に自分がやるとなると、やっぱり考えちゃいますよね。

——あ、そう言えば、その篠原選手が出てくる前のトップ選手だった小川選手が今度、空手の佐竹選手とやりますね。吉田選手にとっては、明大の先輩に当たるわけですけど。

吉田 燃えてましたよ、昨日も。

——えっ!?

吉田 明治の道場に来て、今、練習してるんですよ。「佐竹と闘わなきゃいけなくなった」って。僕はTシャツとストラップもらいましたけど（笑）。

——へぇ～、そうですか。吉田選手は小川VS佐竹戦はどうなると思います?

吉田 う～ん、分からないっスね。

桜庭 セコンドにつくんですか?

吉田 いやいや、そんな。滅相もない。つかないですよ（笑）。

——まあ、小川選手と佐竹選手の試合は、典型的な「柔道VS空手」になるんですけど、やっぱり柔道の選手はまず組まないと始まらないですか?

吉田 どうですかねぇ。小川先輩、結構、こういうことを始めてから時間が経ってますからねぇ。体もそういうふうに変わってきたし、体重絞ったりしてますからね。殴られたりすることにも、たぶん強いと思うんですよ。学生の時もよく殴られていましたからね。

▲「もう10年早く『プライド』ができていたらどうなってたか」という吉田。いえいえ、まだまだ間に合います、と格闘技ファン一同期待しています!

小川先輩、体だけじゃなく人も変わった。凄く明るくなりましたよ。

——えっ!? 誰にですか?

吉田 先生とかにですね（笑）。その根性は柔道で養ってきたもんですから、負けん気は人一倍あると思いますよ。

——今、小川選手があぁいうキャラクターで出ているじゃないですか? 後輩としてはどう思ってるんですか（笑）?

吉田 いや、柔道時代の小川先輩しか知らないじゃないですか。で、この前久々に道場来て会ったんですけど、人が変わってましたね。妙に明るくなってましたよ。

桜庭 へぇ～～。

吉田 体も変わったけど、性格も変わったなぁと思いましたね。全然違いますよ、ホント。今のほうがいいですよね。

桜庭 向いてたんですね。

吉田 向いているんじゃないですか。なんかイキイキしていて、小川先輩に合ってるなぁと思いましたよ。

——じゃあ、明るい吉田選手ならもっと向いているんじゃないですか（笑）?

吉田 いやぁ、そうかもしれないですね（笑）。でも、やっぱり佐竹さんのパンチって凄いんですかね。

桜庭 いつも練習の時は、デカイグローブをつけて軽くやっているんで、分からないです。

吉田 今度の試合はどのくらいの大きさのグローブで?

桜庭 オープンフィンガーグローブって言って、あまり大きくないヤツです。

——まあ、佐竹選手がK—1の中で特別に凄いパンチ力があったわけじゃないけど、やっぱりプロですし、ヘビー級ですから倒すパンチは持ってますよ。

吉田 はぁ～、やっぱり凄そうですよね。ホント、見に行きたいんですけど、ちょっと厳しいんですよ。でも、やるからにはやっぱり同じ釜のメシを食ってきた人間ですから、小川先輩に勝ってほしいですけどね。

桜庭 僕はやっぱり佐竹さんにがんばってもらいたいです。

吉田 そりゃあ、みんな所属しているところの仲間を応援しますよね。

——もし、万が一、小川選手が負けたら、それで吉田選手が出て"リベンジ"する、と（笑）。

吉田 いやいやいやいや。もう少し若かったらですね（笑）。

桜庭 今からでも大丈夫ですよ。下地がありますから。ボクシングでも、結構年とってからチャンピオンになった人もいるじゃないですか? 日本人で。

——輪島功一!

桜庭 そうですそうです。あの人も25歳を過ぎてからボクシングをやり始めたんですよね。

——アンディ・フグも30歳になってからK—1を始めたし、佐竹選手も34歳でバーリ・トゥードを始めましたからねぇ。

桜庭 髙田さんも35歳過ぎてからですよ。また競技が、競技っていうか、柔道から『プライド』に変わったら、新鮮だと思うし、若返りますよ。

吉田 考えてみます（笑）。いやぁ、今日はすっかり、その気にさせられますねぇ（笑）。

桜庭 あ、じゃあ、吉田さん、一緒にマスクを被って『プライド』のリングに出ましょう。ウケると思いますよ（笑）。それで、ヒクソンとやってください。

吉田 んあ～。そんなことしたら、絶対に明治の監督はクビですよぉ。■

本誌はいきなり
柔道讃歌？
どうなる
「空手VS柔道」の決闘

小川vs佐竹戦を柔道界はどう思っているか？

シドニー五輪・金メダリスト 井上康生、初登場！

シドニー五輪で全試合一本勝ちの素晴らしい柔道を魅せ、100キロ級で金メダリストに輝いた井上康生。東京スポーツの一面で「ヒクソンと闘わせてみたい」と書かれたり、プロの世界でも大注目の井上が、果たして総合格闘技を、そして、10・31小川VS佐竹戦をどのように考えているのか？　超多忙なスケジュールの間隙を縫って直撃インタビューを試みた。

聞き手◎林　毅
（本誌・柔道番記者）

僕、試合の前に緊張したこと一度もないんですよ

▲お母さんの遺影をオリンピックの表彰台で掲げた姿は記憶に新しいが、そのせいもあってか、世のおばさんたちに絶大なる人気を誇る井上。町中でも年配の女性から声を掛けられることが多いとか

—オリンピックから1カ月が経ちましたけど落ち着いてきましたか。

井上 そうですね。落ち着いたのを通り越して、早く新たなる目標に向かって頑張らなきゃいけないなっていう気持ちになっていますね。

—ちょっとカゼをひかれたとか。

井上 はい。オリンピックが終わってからずっと忙しかったんで、疲れが溜まってちょっと体調崩しまして。

—祝勝会とかパレードとか大変だったんでしょうね。さて、さっそくですが、オリンピックでは、本当に見事な闘いぶりでもの凄く感動したんですけど、自分の思いどおりの柔道はできましたか?

井上 う〜ん、そうですね。100%ではないですけど。最高の舞台で、全試合一本勝ちで金メダルが取れたことには凄く満足してます。山下(泰裕)先生に「オリンピックには何かがあるぞ。魔物はいないけど、何かはあるぞ」と言われていたんですけど、試合が終わった後に、笑いながら「なんもなかったな」ってひとこと言われて、「そうですね」みたいな。まあ、それだけいい試合ができたんじゃないかなと思いましたけどね。

—山下先生は、インタビューの依頼をした時に、取材やら祝賀会やら、あまりの忙しさに帰ってきてからのほうが魔物が多いって嘆いていたんですが(笑)。

井上 もう〜、魔物だらけですねぇ。

—すみません(笑)。

井上 いやいや。今年中に試合がなかったら、気持ち的にもゆっくりできるんですけど、11月に大会があって……。

—全日本団体選手権ですね。東海大学の主将として責任もありますもんね。

井上 そうですね。そういう面で、忙しくて練習がおろそかになってしまうという不安がありますし。いや、でも、こういう取材は練習に差し支えないようにしてますから大丈夫ですけど、祝勝会とか表彰とか、そうなると1日とってしまうんで、なかなか……、でも文句言っているわけじゃないですよ(笑)。

—はいはい。うれしい悲鳴ですね。祝勝会ではかなり飲まされました?

井上 祝勝会の時は、動き回って、サインして、写真撮ってという感じなんで、飲む余裕はなかったんですが、寮に帰ってきて、同級生と飲みに行ったりですね。後は先輩に呼ばれて飲んだりはしてますけど、2回くらい、飛んでいっちゃいましたね、どこかに(笑)。

—オリンピック全般で、何か心に残っていることはありますか?

井上 そうですね。開会式の凄さっていうのは、感じましたね。ホントに旗手をさせてもらって良かったなと思います。それも試合で勝てたから言えることだとは思うんですけど(笑)。でもホント、あいう素晴らしい体験をさせてもらって感謝してます。一生に一度しかないことだと思うんで。その点ではいい体験をさせてもらったなと思います。

—選手村の居心地はどうでした?

井上 良かったですね。食事もおいしかったし、マック食べ放題だったし(笑)。有名人もいっぱいいましたしね。

—特に誰かと会ったというのは?

井上 食堂から出る時に室伏さんに「今日、試合?」とか聞かれて、若干緊張しましたけどね(笑)。それから塚原さんとかに「おめでとう」って言われたり。今までしゃべったことなかったんで、突然声を掛けていただいて、嬉しかったです。若干ミーハーになっちゃって(笑)。カッコいいんでね、やっぱり。

—そういう意味では、オリンピックは結構楽しめました?

井上 かなり楽しかったです。試合前も楽しかったし、若干緊張というのはありましたけど、まあ、ちっちゃい頃からこういう舞台を夢見てずっとやってきたことなんで。やっと実現したなと。

—実は私、井上選手を、小学校5年と6年の時の全国少年大会で、取材しているんですよ。

井上 えっホントですか! 凄いですねぇ。滅多にいないですよ(笑)。

—井上選手、6年の時は決勝で130キロくらいある選手を大内刈りで投げて、優勝したんですよね。井上選手はあの頃70キロくらいでしたよね。

井上 はい、そうです。

—それで、優勝した井上選手は「夢はオリンピックに出て優勝することです」って言ってたんですよね。

井上 そうですそうです。僕はどんな時でもオリンピックに出て金メダル獲るって簡単に言っていたんで(笑)。

—井上選手の表情であの頃から自信にあふれてましたよ。

井上 エラそうだったでしょ(笑)。僕、試合の前に緊張したことって一度もないんですよ、ちっちゃい頃から。

—へぇ〜、強心臓ですね。

井上 プレッシャーで自分の力が出せないとか、緊張し過ぎて何をやっているか分からないという試合だけは絶対にしたくないんですよ。努力してきて、練習してきて、キツイこともやってきて、やりたいこともやれなくて練習に打ち込んできたのに、緊張して何をやっているか分からない、そういう試合だけは絶対にやりたくないと思って。山下先生からも、後悔するような試合だけはするな、自分の力を全部出していけば大丈夫だからということを言われていたんで、まあ、そういう面で、今回のオリンピックも、技術的にはどうか分からないですけど、精神面ではほかの選手より上回っていたんじゃないかなと思いますけどね。

—井上選手の階級、100キロ級は、外国人選手が非常に層の厚い階級じゃないですか。それに世界選手権で優勝していたこともあって、かなりマークされているという印象もあったんですけど。

井上 そうですね。なかなか組ませてく

ヒクソンと闘う？ 勘弁してくださいよ～

れないというのはありました。日本人選手というのは全員、組めば金メダルを獲れる力を持っていますんで、外国人選手は組ませてくれない。外国人選手というのは組まないでも柔道できますけど、日本人選手は組まないと柔道できませんからね。そういう面で研究されていることは、オリンピック前の合宿で凄く感じていました。でも、相手がどんなに研究してきても、とりあえず自分の力を出すしか作戦はなかったんで、だから前に出て、攻撃していったんですけどね。

――オリンピックまでの強化合宿とかが非常にハードだったそうですが。

井上　はい。私の全日本の担当コーチである高野裕光先生が、凄いキツイ時でも妥協を一切許してくれないという、厳しい練習をさせられましたし、その点では、ホントに凄く感謝してます。その反面、いろんな意見とか、考えていることとか全て聞き入れてくれて。やっぱり練習でも研究でも自分の言いたいことも言って、伸び伸びとできた、そういう環境を作っていただいたというのも、今回のオリンピックの結果につながったんじゃないかと思います。

――自分の柔道の、良いところはどんなところだと思いますか？

井上　やっぱり自分の力を試合に出せるというのが自分の良さですかね。それから、前に出ていくことじゃないですかね、さがらずに。やはり、どんな大きい相手、どんなに怖い顔をしている相手でも（笑）、常に前に出て攻めていくというのが僕の柔道だし、それができなくなった時には、勝てないと思うんで。

――体重は普段どのくらいですか？

井上　100キロくらいですね。

――減量の心配は全然ない。

井上　そうですね。オリンピックでも食べまくってたんで。

――ところで、自分の性格はどんなだと思いますか？

井上　う～ん、柔道に関しては負けん気が強いですね。でも、柔道に関してだけかな……。

――お兄さんと兄弟ゲンカをよくしたそうですが。

井上　そうですね、2番目の兄貴（智和）とは何をするんでもケンカしてましたね。凄いライバル意識を持っていたんでしょうね、自分が。兄貴に対しては、柔道の練習でも、投げられたりしたら、その日一日口利かないとかですね（笑）。兄貴は優しい人で、次の日は、わざと投げられたりしてくれるんですけど、自分は絶対に勝ったと思っていて（笑）。でも、柔道に関しては、相手が誰でも絶対に負けるのはイヤですね。

――柔道家としての目標は、世界選手権、オリンピックと勝ちましたから、次はまだ優勝のない全日本選手権ですか？

井上　ある意味ではオリンピック、世界選手権より難しい大会と言われてますし、柔道をしている人なら全日本選手権は誰もが憧れる大会ですし、ぜひ優勝してみたいという気持ちは凄くありますね。

――ところで、卒論は進んでますか？

井上　卒論はちょっと……、ほんの少しだけ……、やんなきゃいけないなと焦り始めている今日この頃です（笑）。

――テーマは決まっているんですよね？

井上　そうですね。いろいろと考えてはいますけど……。

――少し前の東スポで、『総合格闘技と柔道』をテーマに勉強しているというようなことが書いてありましたけど。

井上　そうですね。そういうのもやっているんで、はい。

――いやぁ、井上選手がそういう卒論を書こうとしているのは興味ありますねぇ。井上選手は、総合格闘技とかプロレスみたいなのは好きなんですか？

井上　好きですね。プロレスとか格闘技の試合に出場はしませんけど（笑）、見には行きたいですね、凄い興味あるんで。

――今、とくに興味を持っているのは？

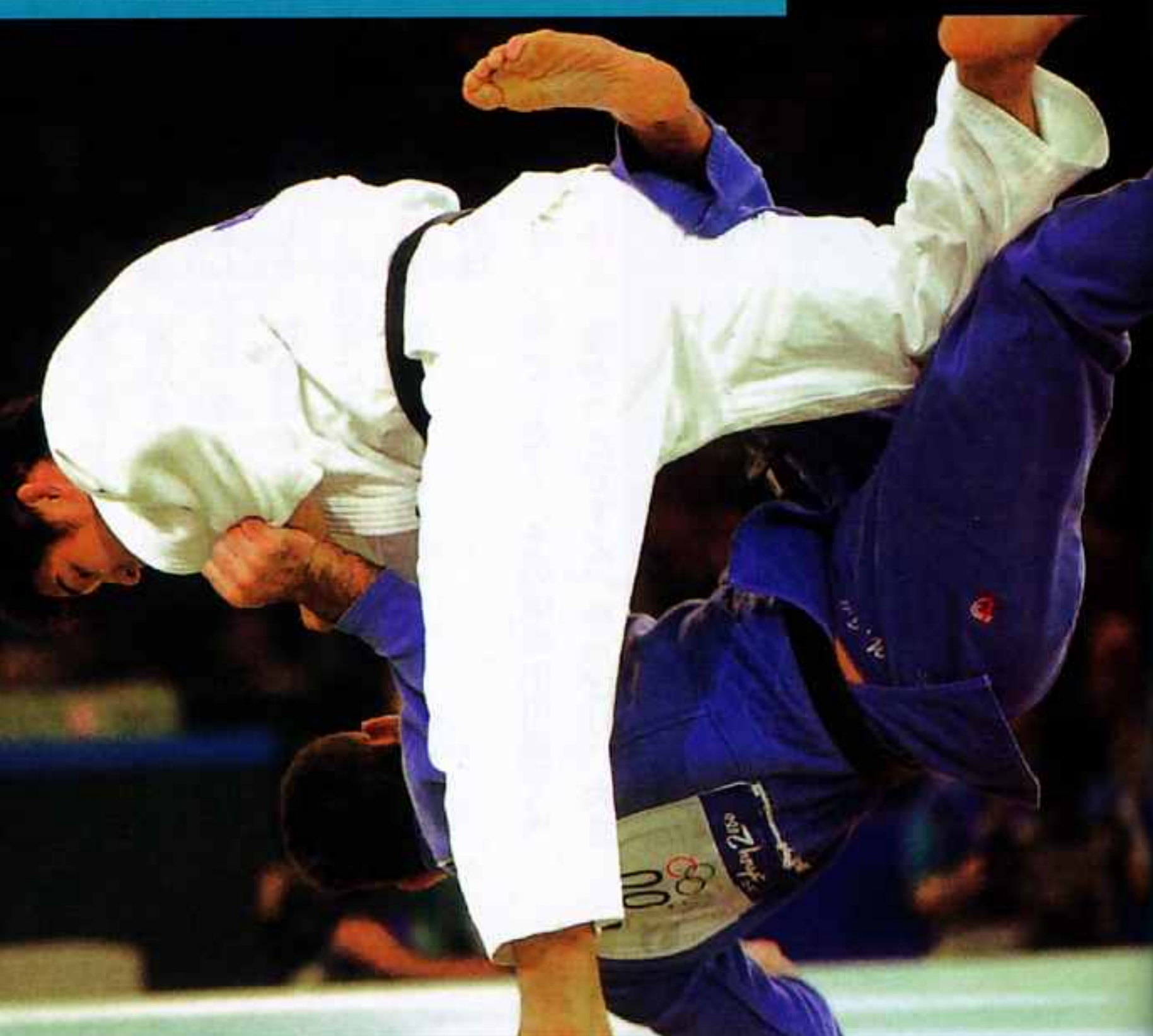
井上　『プライド』とか修斗とか、あとK―1も興味あります。『プライド』とか小川さんもやってますしね。

――その小川選手が、10月31日に大阪で、空手の佐竹雅昭選手とやることになったんですよ。

井上　やるらしいですね。

――どうなると思います？

井上　どうなるんでしょうね？　やっぱり佐竹さんの打撃って強いんでしょ？

――空手王者ですからね。

井上　でも、小川さんだったら、寝かしてしまったら大丈夫でしょう。ああいう大会はテレビとかではいつも見てますけどね、ヒクソンとかも。

――オリンピック直後に東スポの一面に出てましたね。

井上　出てましたね（笑）。ヒクソンと闘うみたいに。勘弁してくださいよ（笑）。ホント、怖いですよ。

――え？　ヒクソンがですか？

井上　いやぁ、ヒクソンに対してはそういう感情はないです。東スポが（笑）。

――なるほど。私はあの記事を見て、ヒクソンと比べるなよ、井上選手のほうが全然上だよって思ったんですけどね。

井上　いやいやいや、それはないですよ（笑）。やっぱり競技が違いますから。裸ですからね。掴む場所がないから、投げ

▼シドニーオリンピックでは決勝のギル（写真）を含め全試合一本勝ちで100キロ級金メダリストに輝いた井上康生。常に前に出て一本を狙い、「これが、本物の柔道！」といわんばかりの素晴らしい技のキレで観察を魅了した

柔道で、寝技で一番強いのは

小川さんだったら、寝かしてしまったら大丈夫でしょう

ナント！卒論のテーマは「柔道と総合格闘技」！

▲プロレスや格闘技が大好きという井上は、本誌最新号を手にとるや興味津々にページをめくりだし、小川VS佐竹戦に関するページに思わず見入っていた。「やはり小川さんに頑張ってほしいですね」

るのも難しいですしね。向こうは打撃というのもありますからね。そういう面でも全然違うんで、関節技にしても柔道衣を使っての関節技と、裸での関節技とは全然違うだろうし。興味はありますけどね、どのくらい強いんだろうとか。でも、見る分にはいいですけど、闘ってみようとかは思わないですよ（笑）。

――山下先生をはじめ、昔の東海大の選手たちは、よくサンボの大会に出たりしていたじゃないですか。

井上　はい、やってますね。

――井上選手はサンボの大会とかには？

井上　出たことないです。でも、試合は別にして、修斗とか違う格闘技の練習はやってみたいと思いますね。ボクシングにしてもそうですけど、どんなもんなのかなという、そういう興味はあります。

――海外の選手だと、様々な競技がベースになっているじゃないですか、サンボやチタオバやモンゴル相撲など。そうすると、ちょっと違った変則的な柔道をしますよね。

井上　そうですね。だから柔道をやる上でも勉強になると思うので、やってみたいなという気持ちはありますけどね。でも、それを東スポに言うと、それが膨れ上がっちゃって（笑）。「総合に移っちゃった」くらいに書かれたりね（笑）。

――それも有名税というかね（笑）。

井上　べつに悪いこと書かれているわけじゃないですから。面白いんでべつにいいですけどね（笑）。でも、友達とかに聞かれるんですよ。「ヒクソンとやるの？」って。ああやって新聞に出るとですね、一般の人っていうのは信じちゃうでしょ。やらないっつうの！（笑）

――でも、やってみたくないですか？

井上　いやいやいや、ホント勘弁してくださいよ（笑）。

――そうですか（笑）。今、修斗が好きだと言ってましたが、桜井〝マッハ〟速人選手とか柔道出身じゃないですか。

井上　はい。マッハさん、カッコイイですよね。

――『プライド』とか修斗を実際に見に行ったことはあるんですか？

井上　いや、テレビでしか見たことないんですよ。今度行ってみたいとは思っているんですけどね。格闘技だけじゃなく、スポーツ観戦とか好きなんで、サッカーでも野球でもですね、見るのは楽しいんで。行きたいなとは思いますけどね。

――『プライド』に出ている選手で好きな選手とかいますか？

井上　『プライド』の選手でですか……、う～ん？

――実は、井上選手のインタビューが出る号でですね、吉田秀彦選手と桜庭和志選手の対談をやっているんですよ。

井上　そうですか、それは楽しみだなぁ。桜庭さんの試合とか面白いですよね。凄い興味ありますよ。あとは、怖そうだなと思ったのはエンセン井上さんとか。

――怖そうですよね。でも、同じ井上姓ですから、ちょっとやってみませんか？

井上　勘弁してくださいよ（笑）。藤田さんとかも怖そうですよね。

――藤田選手のように、ベースがレスリングの選手は、柔道とまったく違うから、違った怖さみたいのがあります？

井上　ありますね。やっぱりコワイっしょう、藤田さんは。

――よく、井上さんの先輩の中村佳央選手とかが、総合の試合に出たら強いんじゃないかと言われますけど。

井上　強いッスよ、ゼッタイ！　寝技がメチャクチャ強いですからね。

――井上選手も練習では中村選手とかと寝技やったりしますよね。

井上　強いッスよ。イジメられますもん。

――そんなに！　井上選手だって寝技は強いほうじゃないですか。

井上　いやぁ～、中村先輩のほうが強いッスよ、マジで強いッス。

――東海大で練習している選手の中では一番強いくらいなんですか？

井上　いやぁ、寝技で一番強いのは今でも山下先生ですよ。

――え～っ、今でもですか？

井上　はい。強いッスよ、ホントに。半端じゃないですよ、あの強さは。その次に強いのは佐藤先生です。

――え～っ！　佐藤宣践先生。

井上　あのお二人の寝技は恐ろしいくらいに強いです、ホントに。立ち技っていうのは年齢的に、どうしてもケガとかしちゃうので、限界があると思うんですけど、寝技に関しては、体に染みついているんですよね。僕が下になって先生に上につかれたら、何もできないですよ。

――以前、ヘンゾ・グレイシー選手が、最強は誰だと思うかという質問に「ヤマシタ」って答えていたんですけど、ヘンゾは見る目があるんだなぁ。山下先生は、今でも練習はやられているんですか？

井上　学生と寝技とかやられてますけど、ゴミにしますからね。

――え～っ（笑）。

井上　ホントですよ、見たらビックリしますよ。ホント強いッスから。

――やってほしいなぁ、ヒクソンと。山下先生っておいくつでしたっけ？

井上　42歳か43歳ですよね。

――ヒクソンが41歳だから……。

井上　そんな……冗談でもそんなこと言ったら怒られますから（笑）。僕は山下先生がホントに強いって言っただけですから（笑）。

――ところで、小川選手とは練習やったことはありました？

井上　ありますね。東海に来た時もやりましたし。なんかの合宿でも一度やりました。試合はないんですけど。

――96年に引退しましたから……。

井上　自分が高校の時ですね、練習したのは。

――どうでした？　その頃の小川選手は。

井上　強かったですよ、やっぱり。大きい人だなぁというのが、まず第一印象でしたね。それで凄い圧力があるというか、

柔道で、寝技で一番強いのは今でも山下先生ですよ

掴まれて前に来られたら、何もできない。それから、凄いスタミナのある方でしたね。後半になったらみんなバテてました、あの方とやると。なんか吸い取られるんじゃないかというような。

――へぇ〜。

井上　上から押さえつけるのが巧いんですよね、大きい選手に対して。だからみんなどんどんバテてきてですね。本当に凄い強かったです。

――今はシェイプアップして。

井上　そうですね、痩せられましたけど、あの頃は130キロくらいありましたから、あれで圧力かけられたらですね、たまったもんじゃなかったですよ。

――最近の小川選手の活躍は？

井上　興味ありますよ、やっぱり。テレビとか見てますし、オリンピックの後のスポーツ新聞のコメントでも、書いていただいてまして、うれしいなぁと（笑）。

――直接話したことは？

井上　あります、ちょっとだけ。プロレスに行ってからはないですけど。試合も見に行ってみたいなとは思いますけどね。

――ぜひ行ってくださいよ。また、騒がれちゃうかもしれないですけどね。

井上　マイクとか渡されちゃったらどうしよう（笑）？　こそっといきたいですね。端っこからそ〜っと覗いて（笑）。

――吉田選手なんかも見に行ったりしてますから、大丈夫ですよ。卒論の勉強のためでもありますしね。

井上　そうですよね（笑）。

――『プライド』の森下社長に言っておきますよ。

井上　でも、東スポに「ダメもとで出場を申し込む」みたいなことも書いてあったじゃないですか。それはやめてください（笑）。観戦だけですよ。試合はちょっと勘弁してください（笑）。

――柔道界だけじゃなく、日本のスポーツ界の宝ですから。そんな大それたことは言わないと思いますよ（笑）。

井上　いやいやそんなことはないですけど。でも、言っておいてください、ぜひ一度見に行きたいと思っていますので。ただ、間違っても「出たいと言ってた」なんて言わないでくださいね（笑）。■

井上康生（いのうえ・こうせい）
1978年5月15日、宮崎県生まれ。5歳より柔道を始め、小学校時代から高校・大学までほとんどのタイトルを総ナメ。1999年バーミンガム世界選手権100キロ級優勝。2000年シドニー五輪100キロ級金メダル。現在、東海大学4年生。183センチ、100キロ

これがデータで見る小川直也VS佐竹雅昭の戦力比較だ！

小川直也　柔道家としての栄光の軌跡

1986.11	全日本学生選手権優勝
1987. 7	全日本選抜体重別95kg超級優勝
1987.10	正力杯全日本学生95kg超級優勝
1987.11	エッセン世界選手権無差別級優勝
1988. 6	全日本選抜体重別95kg超級、決勝で斉藤仁に敗れ準優勝、ソウル五輪代表になれず
1988.10	正力杯全日本学生95kg超級2連覇
1988.10	全日本学生選手権優勝
1989. 4	全日本選手権優勝
1989. 7	全日本選抜体重別95kg超級優勝
1989.10	ベオグラード世界選手権95kg超級&無差別級2階級制覇
1990. 4	全日本選手権2連覇
1990. 7	全日本選抜体重別95kg超級優勝
1990.11	嘉納治五郎杯95kg超級&無差別級2階級制覇
1991. 4	全日本選手権3連覇
1991. 7	バルセロナ世界選手権95kg超級、コソロトフに準決勝で敗れ3位、無差別級優勝
1992. 4	全日本選手権4連覇
1992. 7	バルセロナ五輪無差別級、決勝でハハレイシビリに敗れ銀メダル
1992.11	嘉納治五郎杯無差別級、バンバルヌベルドーに敗れ準優勝
1993. 4	全日本選手権5連覇
1993. 6	全日本選抜体重別95kg超級優勝
1993. 9	ハミルトン世界選手権無差別級、クバッキーに準決勝で敗れ3位
1994. 4	全日本選手権、準決勝で吉田秀彦に敗れ3位
1995. 4	全日本選手権V6
1995. 9	幕張世界選手権95kg超級、5回戦でドイツのモラーに敗れ3位
1995.12	講道館杯体重別選手権95kg超級、決勝で篠原信一に敗れ準優勝
1996. 4	全日本選手権V7
1996. 7	アトランタ五輪95kg超級、準決勝でドゥイエに優勢負け。3位決定戦はモラーに敗れ5位

小川直也
（おがわ・なおや）
1968年3月31日生まれ。東京都出身。身長193センチ、体重115キロ。現在、UFO（世界格闘技連盟）所属。
主なタイトル／1989〜1993、95〜96年全日本柔道選手権優勝。1987年エッセン世界選手権無差別級初優勝、89年ベオグラード世界選手権95キロ超級&無差別級2階級制覇、91年バルセロナ世界選手権無差別級優勝（3連覇）、92年バルセロナ五輪銀メダル
PRIDE通算成績／1戦1勝0敗。
得意技／STO（スペーストルネードオガワ）

佐竹雅昭　空手家としての栄光の軌跡

1987. 9	正道会館全日本選手権優勝
1988. 4	「空手リアルチャンピオン・トーナメント」準優勝
1988. 9	正道会館全日本空手道選手権優勝
1988.10	士道館全日本空手道選手権優勝
1989. 7	「空手リアルチャンピオン・トーナメント」優勝
1989.10	正道会館全日本選手権優勝
1990. 6	全日本キックでデビュー。ドン・中矢・ニールセンに1R KO勝ち
1990.10	正道会館全日本大会で極真出身のピーター・スミットに判定勝ち
1991. 6	USA大山空手と5対5マッチ。ウィリー・ウィリアムスに判定勝ち
1991.10	「カラテ・ワールド・カップ」でジェラルド・ゴルドーに試割り一枚差で判定負け
1991.12	リングス初登場。ハンス・ナイマンを圧倒するもドロー
1992. 1	「第一回トーワ杯カラテ・ジャパン・オープン」優勝
1992. 3	「格闘技オリンピック」モーリス・スミスとドロー
1992. 7	「格闘技オリンピック」アマッド・モハメッドにKO勝ち
1992.10	「格闘技オリンピック」ピーター・アーツとドロー
1992.11	リングス「第一回メガバトル・トーナメント」一回戦で長井満也に1RKO勝ち→二回戦以降を棄権し、リングス戦線を離脱
1993. 1	「第二回トーワ杯カラテ・ジャパン・オープン」優勝
1993. 4	「K-1グランプリ93」誕生。準決勝でブランコ・シカティックにKOで敗れ第3位
1993.10	「カラテ・ワールド・カップ」でアンディ・フグを破り優勝
1994. 4	「K-1グランプリ94」ピーター・アーツに判定で敗れ準優勝
1995. 5	「K-1グランプリ95」二回戦でジェロム・レ・バンナにKO負けしベスト8
1996.10	K-1ゴールデンタイム放送初進出でアンディ・フグと対戦し判定負け
1997.11	「K-1グランプリ97」二回戦でアンディ・フグにKO負けしベスト8
1998.12	「K-1グランプリ98」二回戦でピーター・アーツにKO負けしベスト8
1999.10	「K-1グランプリ99」一回戦で武蔵に判定負け
2000. 1	「PRIDEグランプリ2000」でVTデビュー。一回戦でマーク・コールマンに一本負け
2000. 6	掣圏道アルティメット・ボクシングにデビュー。ボドリャチン・デニスに3R判定勝ち

佐竹雅昭
（さたけ・まさあき）
1965年8月17日生まれ。大阪府出身。身長185センチ、体重110キロ。正道会館出身。現在「怪獣王国」所属。
主なタイトル／KICK世界スーパーヘビー級王者、UKF世界ヘビー級王者、WKA世界ムエタイスーパーヘビー級王者、K-1グランプリ'94準優勝
K-1通算成績／35戦20勝12敗3分13KO
PRIDE通算成績／3戦1勝2敗1KO
得意技／ヒジ打ち、ローキック

柔道の他流試合を徹底検証!

柔道家は過去、どんな方法で他流試合を闘ってきたのか?

講道館創始時代。四天王・西郷四郎は、当て身で相手をひるませてからぶん投げていた

10・31大阪ドームで実現する、柔道家・小川直也と空手家・佐竹雅昭の一戦は、果たしてどんな試合になるのだろうか――。ここでは、柔道的な視点に立ち、講道館柔道が百十余年の歴史の中で行ってきた他流派、異種格闘技との闘いを追ってみた。

構成◎林 毅

▶『姿三四郎』のモデル、講道館・四天王の西郷四郎

昭和39年の東京五輪からオリンピック種目となり、今や世界180カ国が連盟に加盟するほど、ワールドワイドな競技となった柔道。日本が柔道創始国ではあるが、現在の柔道人口はフランス、ドイツのほうが上回り、日本は3番手。ヨーロッパを中心に、その人気は確実に世界中に定着していると言っていいだろう。

講道館柔道は明治15年、嘉納治五郎により創設された。嘉納は18歳より、天神真楊流、起倒流などの柔術を学び、当時、廃れつつあった柔術各流各派の良いところを採り、学理に照らし、さらに新しい技を加えて近代の風潮に合った「講道館柔道」として系統づけたのである。嘉納の学んだ天神真楊流は当て身技と固め技、起倒流は立ち技に優れており、講道館柔道は、この二つの柔術をベースにした。

しかし、現在の「柔道」は、立ち技が中心であり、当て身技は完全に禁止、そして、固め技に関してもかなりの制約がある。

柔道を国際的なスポーツとして普及していく際に、現在のような体系にならざるを得なかったことは容易に理解できるが、それにより武術的要素は徐々に失われつつあることも確かである。

さて、柔道百十余年の歴史の中で、柔道は異種格闘技とどのように交わってきたのか――。講道館柔道とその周辺の史実に詳しい、講道館資料部長の村田直樹氏に聞いてみた。

「嘉納先生は明治15（1882）年に、28歳で講道館を創設されたわけですが、明治20年までの5年間というのは、たいへんな研究時代で、分かりやすく言うと突っかかってくる他流派の柔術をやっつける時代だった。この時期には、当て身とか蹴りとか、柔術のゴツゴツしていた部分を磨いていたんですよ。グレイシー柔術の礎を伝えた、コンデ・コマこと前田光世先生もそういう時期を経て海外へ出ていったはずです。

ですから、この頃の柔道というのは、今日の投げ技を中心にしたスポーツ的なものではなく、打撃もあってストリートファイトに近い、武術的な要素の強いものでした。投げ技に関しても、担いでそのまま頭から落とす技とか、投げの最中に腕を折ってしまうような技とか、腕を逆にとって肩の上にのっけて背負い投げのように投げる技とか、非常に危険度の高い技も使われていたようです」

この頃、講道館には四天王と言われる猛者がいた。西郷四郎、富田常次郎、山下義韶、横山作次郎。その当時、講道館に集まった猛者の中でも屈指の実力者、講道館初期の時代を支えた男たちである。

「講道館四天王の一人で、小説『姿三四郎』のモデルにもなった西郷四郎先生なんかは、体は小さかったけれども、相当に動きが速く、運動神経抜群で、当て身（打撃）で相手をひるませてからぶん投げるという、かなり荒っぽい技を使っていたという記述も残っています」

講道館創始の頃というのは、道場破りなどもよく来ていたらしいが、門下生たちが、その腕自慢の相手をしていた。その際の闘い方は前記のような、かなり荒っぽいものだったという。

「この頃の柔道は、スポーツというよりは完全に武術ですよね。嘉納師範自身も、体育、勝負、修身という三つの目的があると言っていますが、このうちの〝勝負〟というのは、競技の勝ち負けじゃなく、要するに〝命のやりとり〟のことです。ただし、日頃からそんなに過激な乱取りをやると、みんな血だらけになってしまうから、形で当て身技として残した。形と乱取り、その両方でいくというのが、当時の講道館の方向性だったわけです」

明治22～23年頃になると、講道館は徐々に安定してきて、世間の評判も得るようになってくる。そうすると、嘉納の目は外（海外）に向くようになり、明治35年から39年まで、山下義韶が渡米。柔道の普及に努めることとなる。

「時の大統領セオドア・ルーズベルトが山下さんの弟子になったんですよね。山下さんは、海軍士官学校の、もの凄いフットボールの連中とかレスリングの連中とかとやったんじゃないですかね。それで認められて、海軍士官学校のプロフェッサーを務めたんですよね」

ルーズベルトは「柔よく剛を制す」日本の柔道の技の虜になり、週に2回は山下をホワイトハウスに招き、投げ技や絞め技の研究に余念がなかったという。

その後、富田常次郎、前田光世、佐竹伝四郎、伊藤徳五郎、大野秋太郎らが相

本誌はいきなり柔道讃歌？
どうなる「空手VS柔道」の決闘

“コンデ・コマ”前田光世が強かったのは、相手に道衣を着させて闘ったからだった

▶グレイシーに柔術を教えた“コンデ・コマ”前田光世

次いで渡米し、南米アメリカ、欧州に渡って柔道を紹介する。中でも、グレイシー柔術の出現で一気に脚光を浴びた、前田光世の活躍は目覚ましかった。

　前田に関しては、いくつかの書物が出版され、ブラジルやキューバでの活躍ぶりを、確認することができる。

「山下が海軍士官学校のプロフェッサーを務めたということで、富田常次郎や前田光世は陸軍のほうでやろうと。そこで腕を見せるために、また凄い相手と試合をしたりしたわけですよ。ボクサーなんかと試合をしたという記録も残っています。前田さんなんかは、そういった試合の連続だったようです。真実は分かりませんが、1千試合とか2千試合やっているというのが定説です」

　前田光世の試合に関して、いくつか実際の試合について書かれたものがあるのでその中から一つ紹介しよう。

　1905年（明治38年）、ニューヨークでのこと。相手はブッチャーボーイというレスラーだったと記録されている。

　この闘いで注目すべき点は、事前に決められたルールだった。

1．両者ともに柔道衣を着用する。

2．関節、絞め、投げの三手にて闘う。

ただし、投げは両肩が畳につくまで。抑え込みも同様。関節と絞めは相手が「降参」の意志表示をするまで。

　ブッチャーボーイは身長で20センチ、体重で45キロ、前田を上回っていたが、前田は体格の差は問題にしなかった。さて試合だが、前田は勢いよく突進してきたブッチャーボーイの両袖を掴んで体落として投げつけ、起きあがってきたところを巴投げ、さらに浮き腰と次々に技を決め、最後は相手のタックルをかわして背後に回り、腰を入れ換えて投げつけた。これで1試合目の勝負が終わり、完勝だった。2試合目。今度は袖釣り込み腰で投げつけ、両袖を離さずに崩れ袈裟固めに抑え、右手が滑ったため、すかさず腕ひしぎ十字固めに極めた。ブッチャーボーイが強引に腕を引き抜こうとしたために「ボキッ」と音を立て、「ギブアップ」。

「前田さんの場合は、殴る、蹴る、なんでも有りでいいけど、ただ一つこちらの条件も聞けと言って、道衣を着させたそうです。それで、彼が上着を脱ぐという条件の時でも、もう1試合は道衣を着けてやるという条件を出したようです」

　前田は、ブッチャーボーイを倒したことで一躍、アメリカでヒーローとなり、以降、自信あふれる試合を続け連戦連勝を記録。数々の伝説を残すことになる。

木村政彦がエリオ・グレイシーを破ったように、柔道家はやっぱり腕絡みで極めるのか——

▲プロ柔道の木村政彦は、ブラジルに活躍の場を求めた

　明治時代の後半、柔道が学校教育の一環となったこともあり、柔道界において異種格闘技戦はご法度、建前的には一切なくなった。そうした中で、昭和25年に“プロ柔道”が始まった。

「ご承知のように講道館が商売を始めたわけじゃありませんけど、前年の全日本選手権で優勝した木村政彦と、その師匠の牛島辰熊という本当のトップがやったわけですから、それは騒然となったと思いますよ。当時の日本の柔道は、当然世界一ですよ。国民の中での柔道の人気は凄く、その中でのプロ化は凄いことでした。プラスマイナス両方で。残念ながら興行的には、歴史をみれば分かるように成功とは言えませんでしたけど、一般の人は凄く喜んだと思いますよ。講道館としては冷ややかだったと思いますが……」

　その後、プロ柔道は日本では興行ができなくなり、ブラジルで興行を行うことになる。そして、そこで伝説の決闘、木村政彦VSエリオ・グレイシーが行われたのである。木村とエリオの試合は不十分ではあるがビデオで残されている。

「柔道的に見れば、大人と子供ですよ。木村先生が寝技でコケにしてますから。ビデオで見ましたけど、身体も実力も違っていました。木村先生は当時の柔道日本一ですからね。エリオ氏はよくやったと思いますよ。抑え込んでも相手がギブアップしなければ終わらないルールでしたから、最後は木村先生がキムラロックを掛けた。柔道でいう腕絡みですね」

　1993年、ホイス・グレイシーがUFCで優勝し、グレイシー柔術が注目されたことにより、奇しくも前田光世、木村政彦ら海を渡った日本の柔道家たちが改めて脚光を浴びることとなった。彼らの激闘の歴史は今も息づいている。■

▲柔道と異種格闘技の歴史について貴重なお話を提供いただいた講道館資料部の村田直樹部長。今回の小川VS佐竹戦にも非常に興味のあるご様子だった

柔道家・小川直也を育てた

原吉実氏が語る秘話の数々

キミは知っているか？ 小川直也が柔道時代、どれだけ厳しく育てられたかを！

全日本柔道選手権で優勝7回、世界柔道選手権は無差別級3連覇、91年は無差別級と95キロ超級の2階級制覇を成し遂げ、柔道家として山下泰裕に次ぐ実績を持つ小川直也。まだ、まったくの無名選手だった小川を、マンツーマンで徹底的に鍛え、世界の、そして日本の頂点にまで叩き上げた原吉実氏に、小川の過酷な柔道時代の秘話を聞いた。

聞き手◎林　毅
撮影◎黒田史夫

1989年全日本柔道選手権。小川は関根英之を破り21歳で初の日本一に輝いた

©日刊スポーツ

―原先生、今度、小川選手が佐竹雅昭という空手家と試合をすることになったんです。

原　ああ、そのことなら昨日、小川から電話がきて聞きましたよ。「大阪でやりますけど、先生来ますか」って言うから、行かないよって言っといたんだけど。そんな凄い試合なの？

―それはやっぱり柔道対空手、しかも本当の実力者同士の闘いですからねぇ。僕らマスコミとしても非常に注目しているんですよ。

原　ああそう。

―それでですね、柔道記者として長い間、柔道を見てきた僕としては、やはり小川選手に断然期待しているんですけど、まず、柔道家・小川直也を育て上げた原先生にお話を聞いてみようと思いまして。

原　ああ、最近ちょくちょくそういう取材あるんだよ。

―そうでしょうね、やはり今の小川選手の動向をマスコミもファンも非常に注目してますからね。なかなか試合が見られないんで、ファンのフラストレーションも溜まっていると思うんですよ。そして、今回、久しぶりの試合。『プライド』というイベントでは、約1年3カ月ぶりですから、ファンの期待も非常に高まっていますし、毎日のように東スポでは小川選手の動向が書かれていますもんね。

原　なんか、そうみたいだね。今までやりたくても、なかなかいい相手がいないみたいなことは、小川からも聞いていたんだけどね。

―新日本プロレスの橋本選手とは何回か試合をしていますけど、新日本でもその他の選手とはなかなか試合するというところまでいかないですしね。

原　新日本には坂口先輩がいるから、俺はいろいろ言えないないんだよね（笑）。ガキの頃からずっとあの人のお世話になっているからさぁ。家も近くだし、町道場、高校、大学、全部後輩だもん。18歳で東京に出てきた時も、先輩にかわいがってもらって。だから新日本のことは言えないんですよ。それに、小川は今、新日本じゃないでしょう、UFOだっけ。だからね、小川のことや新日本のことに関しては一切俺は何も言わないことにしているんですよ。

―まあ、その話は、また別の機会に聞くとしてですね、今日は小川選手の柔道時代のお話を中心にお聞きしたいんですけど。まず先生が初めて小川選手と出会ったのは……。

原　明大の道場。小川が明治大学に入学してきた時に、俺が助監督になったんですよ。上村（春樹）先生が監督で。

―1986年ですよね。最初の印象はどんな感じでした。

原　最初の印象はねぇ、大きいだけでなんかボケーッとしていてね、こんなヤツが強くなるんだろうかっていうのが第一印象だったね。

―当時、名門・明治がちょっと低迷していた時期ですよね。

原　そう、19年間団体戦で優勝してなかったから。なんとか優勝するチームを作らなきゃいけないということで、俺のところに助監督を頼むと何度も当時の監督の篠巻（政利）さんが来られて、何度も断っていたんだけど、最後に断れなくなってね。それでまあ、恩返しのつもりで引き受けたわけです。最初は3年くらいやればいいかと思っていたんだけど、やりだしたらやっぱりのめり込んじゃうほうだから（笑）、徹底的にやりたくなってね、それで、結果的に助監督と監督で7

6時間の練習のあとに、30人と一本勝負

年やったわけ。

—助監督時代は、小川選手をマンツーマンで教えていたということですが。

原　そう。というのはね、入学した当時はそんなことなかったんだけど、なんの大会だったか、団体戦に小川を抜てきしたわけですよ。その試合でアイツが大外刈りで相手を投げたのを見て、コイツは使えるかなぁと。頭の中にパッと閃くものがあったわけ。明大の柔道部を強くするためにはまず柱が必要だと、その柱はコイツだ！とピッときたわけ（笑）。そこで、「よし、俺が小川をマンツーマンで鍛える」ということになった。まあ、当時は批判もあったね、なんで小川ばっかりそんなにやるんだって。じゃあ、他のヤツらも小川と同じくらい厳しくしてやろうかと言ったら、「それはイヤだ」と。ひがむだけひがんでやらされるのはイヤだと言うんだよね。

—やらされるのがイヤだと思うほど、やはり練習は厳しかったんですか。

原　ああ、やらせたなぁ。そりゃあ、やらせた。正月も帰してないもん、アイツ。

—具体的にはどんな稽古をされたんですか。

原　まず朝はトレーニング。これはまあ当たり前だけど、午後の練習は、うちは二部の学生と一部の学生がいるから、二つに分けて、3時半から6時半頃までと6時半から9時くらいまでやるんだけど、小川はその両方をやらせてねぇ。さらに、その後、30人くらいの部員を並べて、小川に全員から一本取れって、全部一本取らせた。

—明治の学生じゃ、そう簡単に一本取れないじゃないですか。

原　うん。取れない取れない。最初のうちはみんなも必死にやっていたけど、そのうち、飛んでやるわけね、かわいそうだからって。でも、そうしたら竹刀でバチ〜ンとやるわけよ。素人じゃないからそんなことは分かるから。「てめえ、コノヤロー飛びやがって」って。だからねぇ、当時、竹刀が一日か二日くらいでダメになった。あの竹刀が半分に折れるくらい叩いたよ。

—小川選手も叩いたんですか？

原　いや、小川は飛んでくれとは頼んでないから。相手が気を遣って飛んでいるわけだから、飛んだヤツを叩いた。

—そしたら飛べなくなりますね。

原　そう。小川の相手になるヤツには、3分間、引き分けでもいいからって、必死に逃げさせたり。そうしたら小川は、逃げる相手から一本取ろうと必死にやってね。そこで逃げる相手からはこうすればいいとか、そういうことを学んだというか覚えたんだね。

—それにしても、よく小川選手は弱音を吐かなかったですね。

原　いやぁ、俺は知らないことになっているんだけど、アイツの出た八王子高校の小野（実・故人）先生のところに1年の夏頃、辞めたいって相談に行ったらしいよ。で、小野先生から電話があって、「どうする」って言われたんだけど、「私は去る者は追いませんから」って言ってね。でも、小野先生がだいぶ説得したみたいで、戻ってきたよ。俺は知らん顔してたけど。それからはそういうことは一切聞かなかったな。

—小川選手が、ホントに強くなる！と確信したのはいつ頃ですか。

原　1年の時の学生選手権だなぁ。あれで優勝した時。あれで、コイツは間違いなく柱になれると。それからはず〜っとつきっきり。正月も帰さないで、小川と俺と当時のOBが2人くらい一緒に泊まって、で、東京近辺の部員は正月も道場に来させて、合宿所に泊まり込んで朝からトレーニングして、午後から稽古して。そりゃあ、もう本当によくやらせたよ。俺があれだけやらされたら絶対にイヤだね（笑）。

—小川選手の性格は、どんなですか？

原　う〜ん、簡単に言えば、優しい気持ちを持った子だと思うんだけどね。ただ、やるとなったら徹底的にやる、中途半端はできないタイプだね。小川を鍛えだした頃に思ったのが、やはりアイツは優しいと言うか、甘えん坊なところがあったから、養殖の魚を天然ものにしなくちゃいかんと思ってね。それにはやっぱり厳しさしかないかなぁと。もう、嫌われてもいいやぁと思ってとにかく厳しく鍛えたんだよね。それで、そうだなぁ、大学2年くらいには、すっかり逞しくなってきたんだよ。

—エッセンの世界選手権で優勝した頃からですね。

原　そう。おかしなもんでね、そうすると人間って顔が変わってくるんだよね。入学した時は人の話を聞く時もボケーッと口開けててさぁ、「人の話を聞く時は口を閉めろ！」って怒ったくらいだもん。それがねぇ、大学2〜3年の頃には顔つきも良くなって、強く見えるんだ。人間強くなると顔変わるんだなぁと思ったね。

—世界選手権で優勝してから、練習とかで変わったことはあったんですか？

原　それまでの倍近く練習させたかなぁ。今度はチャレンジャーじゃないから。今度は守る立場だから。他のヤツが3時間稽古やったら6時間稽古させなくちゃいかんと。それまで以上に厳しくなったかもしれんね。

—そんなにやっていたんですか。

原　練習見るほうもイヤだったもん。冬場は寒くて。カゼ何回ひいたことか。普段着だったらいいけど、柔道衣だもん。下は何も着てないでしょ。寒くてさぁ、ホントに。ミズノにさぁ、柔道衣の裏にミンク付けてくれって頼んだことあったもん（笑）、冗談で。

—1987年の世界選手権ですけれども、補欠という形で行ったじゃないですか。先生はあの時は小川選手の出番はあると思っていたんですか。

原　うん。小川は出るもんだと思って、

▲小川が心から信頼する明大時代の恩師・原吉実氏。小川とは現在も公私にわたり固い絆で結ばれている

正月も帰さず、合宿所に泊まり込んで稽古

あの時強化合宿を講道館でやっていたんだけど、合宿の稽古が終わった後に、下の道場でウチの学生連れていって小川に稽古やらせたもん。出るかどうか、だいたい分かるでしょ、雰囲気で。だから、出るからには普通の稽古じゃダメだと思って、強化合宿終わった後に息を上げさせた、もう1回。

――それはきつかったでしょうね。

原 だからあのヤローはたぶんね、なんでここまでやらすのかなぁと思っただろうね。出るか出ないか分かんないのに、と思ったろうけれども。俺の感覚では、出るなという感じがしたんだよね。

――小川選手にとっては、半信半疑というか、出ないかもしれないし、出るかもしれないという、ちょっと中途半端な気持ちで行って、結果的には、無差別級に代打出場して見事優勝したわけですけど。先生はエッセンには？

原 行ってない、金がないから（笑）。小川が出るんなら別だけど、出るかどうかも分からない状態だったからね。でも、やらすだけのことはやらせていたから、なるようになるという感じだったな。

――でも、小川選手が柔道を始めて、たった4年で世界王者ですもんね。

原 考えられないよね、普通だったら。素質も当然あったんだけど、まあ、努力も素質の内だけども、それなりの努力はしたと思うよね、アイツは。

――小川選手の柔道の強さの要素としてスタミナが挙げられますが。

原 全部、毎日の稽古でついたもんだよね。アイツが稽古しなかったらあれだけのスタミナは生まれてこないと思う。

――昔、小川選手に話を聞いた時に、誰とやっても、やっているうちに、相手の息が上がるのが分かると言っていたんですよ。

原 うん。それだけの稽古はしていたから。オマエが息上がった時は相手はもうヘロヘロだ。だから、オマエが息上がった時は「しめた」と思えって。オマエがきついと思った時は相手はもっときついんだから。その時がチャンスだと、いつもそう言っていたから。その気持ちというのは今も忘れてないんじゃないかな。

――小川選手は96年のアトランタ五輪を最後に柔道選手を引退したわけですけど、引退に関しては相談はあったんですか。

原 うん、あの年の全日本選手権で優勝して、オリンピックの代表が決まったんだけど、あの時、小川はオリンピックに出たくないと相談に来たんだね。で、俺はその気持ちというか、そう思う背景みたいなものは全部分かっていたんだけど、金メダルを取らせたくてね。有終の美を飾ってほしいというか。結果的には取れなかったんだけど。

――バルセロナもそうでしたけど、アトランタでも、小川選手は運というか、ツキに見離された感じでしたよね。実力的には、両大会とも金メダルの実力は絶対にあったと思うんですよ。

原 あったね。力は一番だったと思うね。

――それで、アトランタ五輪が終わって、引退を決めた時点では、プロレスラーになるという話はあったんですか？

原 ないない。まったくない。オリンピック終わって結構経ってからだと思うよ。そういう話が出てきたのは。

――翌年の4月に東京ドームでデビューしましたよね。

原 そんなにすぐだったっけ。でも、話が来てから決断するまでには、随分時間かかったよ。俺も小川と朝まで話したこともあったよ。それでも決まらないで、どうするこうするってね、話せば長くなるけど、いろいろな話をしてね。でも、今、あれだけ生き生きして頑張ってるから、結果的には良かったんじゃないかな。

――体型も顔つきも変わって、人気も凄いですよね。

原 うん。この前、小川と一緒に大阪行ったんだけど、飛行機降りたらみんな握手してくれってくるんだよ。ビックリした。アイツ人気者になったんだなって。柔道時代はそんなのなかったからね（笑）。

――今は、オーちゃんグッズも人気ありますしね。

原 ああ、Tシャツ、この前持ってきてくれたけど、売れてるらしいね。あっそうそう、この前、俺の先輩に頼まれてさぁ、小川と隠岐島に行ったんだよ。

――ああ、マラソンかなんかに出たんですよね。

原 そうそう。で、闘牛を見に行ったんだけどさぁ「オマエ、相手がいないとか言っているんなら、この牛とやりゃあいいじゃねえか」って言ったんだよ（笑）。

――それは、表紙間違いなしです（笑）。それでは最後に、10月31日の試合に対するエールというか、なんか一言もらえたらと思うんですが。

原 そうだなぁ、まあ、今度の試合も自分では勝つと思っているでしょう。だから、相手をなめるな！ とは言っておいたけどね。

――どんな闘いになると思いますか。

原 それは分からない。寝かすことができたら小川のもんだと思うけど、そこまでもっていくのにね、どういうテクニックを使うか分からないけど、やり方はいっぱいあるし、ああしたほうがいい、こうしたほうがいいという話はしたけどね。そしたらアイツは「そうですねそうですね」と言ってたよ（笑）。

――やっぱり小川選手には〝柔道の技の凄さ〟みたいなものを出して勝ってもらいたいですよね。

原 お客さんもそれを望んでいるでしょう。

――ところで、小川選手のプロレスの試合を見に行ったことはあるんですか。

原 一番最初の東京ドームだけ。

――ああ、橋本戦ですね。

原 そう。それ以外は1回も行ってない。でも、アイツの、生きるか死ぬかっていう試合だったら、俺のできることはなんでもするつもりだよ。でも、今度はそこまでの試合じゃないんでしょう。

――かなり重要な試合ではあります。

原 あっそう。でも、ホントに困ったらアイツから言ってくるでしょう。そしたら、セコンドでもなんでもやりますよ。でもなぁ、俺がセコンドついて、もし、万が一、小川が負けるようなことがあったら、俺、飛び出して行っちゃうかもしれないよ。俺にとっては大事な教え子だからね。■

原 吉実（はら・よしみ）
1990～93年まで明治大学監督（86～89年は助監督）を務め、小川直也、吉田秀彦、秀島大介などの世界チャンピオンを育てる。とくに小川直也は助監督時代に徹底したマンツーマンで鍛え上げ、無名選手を一躍世界の頂点に立たせ、92、93年には明治大学を大学日本一に輝かせた。自身も75、79年の全日本選抜体重別中量級優勝、75年ウィーン世界選手権準優勝など、日本のトップ選手として活躍。現在、第一船舶企業株式会社常務取締役。49歳、柔道七段

怖さと優しさの両面を持つ原氏は監督を離れてからも当時の学生たちに慕われている。帰り際の雑談。「篠原信一は惜しかったなぁ、でも篠原がプロになったら面白いと思うよね。小川のところに行ってさぁ。二枚看板でやったら、ウケると思うよ。コレ、書いときなよ」と笑顔

本誌はいきなり
柔道讃歌?
どうなる
「空手VS柔道」の決闘

空手というと、フルコンタクトの競技しか知らない人へ

本当の空手の怖さを知りたかったらこのページを読めっ!

伝説の達人

倉本成春登場!

文◎谷川貞治　撮影◎山口比佐夫

キミはヤシの実やドカンを拳で割る人を信じられるか？

柔道王・小川との対戦が決まった佐竹が、世紀の一戦を前に、どうしても会っておきたい空手家がいるというので、一緒について行くことにした。実は、その空手家は、私自身も非常に興味のある人だったからだ。

その空手家の名は、倉本成春。もちろん、一般的にはあまり知られていない名前だが、空手関係者なら誰もが知っている伝説の人である。

長年、格闘技の仕事をしているのだが、私自身もまだこの人とは一度もお会いしていない。とにかく、これほど噂になっている人も珍しく、私にとっては自分が会っていない、最後のファンタジーとも言える達人である。

倉本師範は、あの試し割りで有名な拳道會の中でも、最も強いと言われた男である。

拳道會とは80歳を過ぎた今でも、角材などを拳で真っ二つに切る中村日出夫師範が作った流派で、拳や足といった局部を徹底的に鍛え抜き、〝人間凶器〟を作る空手集団として有名。中村師範自身も、エピソードの絶えない人で、圧巻なのは喉頭ガンに焼き火針を当て、自分でガンを焼いて治したという恐ろしい話まである。

そんな人の弟子である倉本師範のエピソードもまたかなり凄まじい。たとえば、有名な空手のチャンピオンと路上で決闘となり、叩きのめしたとか、相撲取り3人を相手にして負けなかったという武勇伝をいくつか持っている。

また、試し割りで有名な拳道會だが、一番の猛者である倉本師範が、その手で何を割るかというと、ドカンなのだ。そして、今まで割ったものの中で、一番固かったものがなんと〝ヤシの実〟だというではないか。

いったい、ヤシの実は本当に人間の手で割れるのだろうか。あれほど固く、繊維の詰まったものを割るなんて想像もつかない。しかし、何人もの人が目撃しているから本当の話である。おそらく、人類史上で最も破壊力のある拳を作ったのが、この倉本師範だろう。

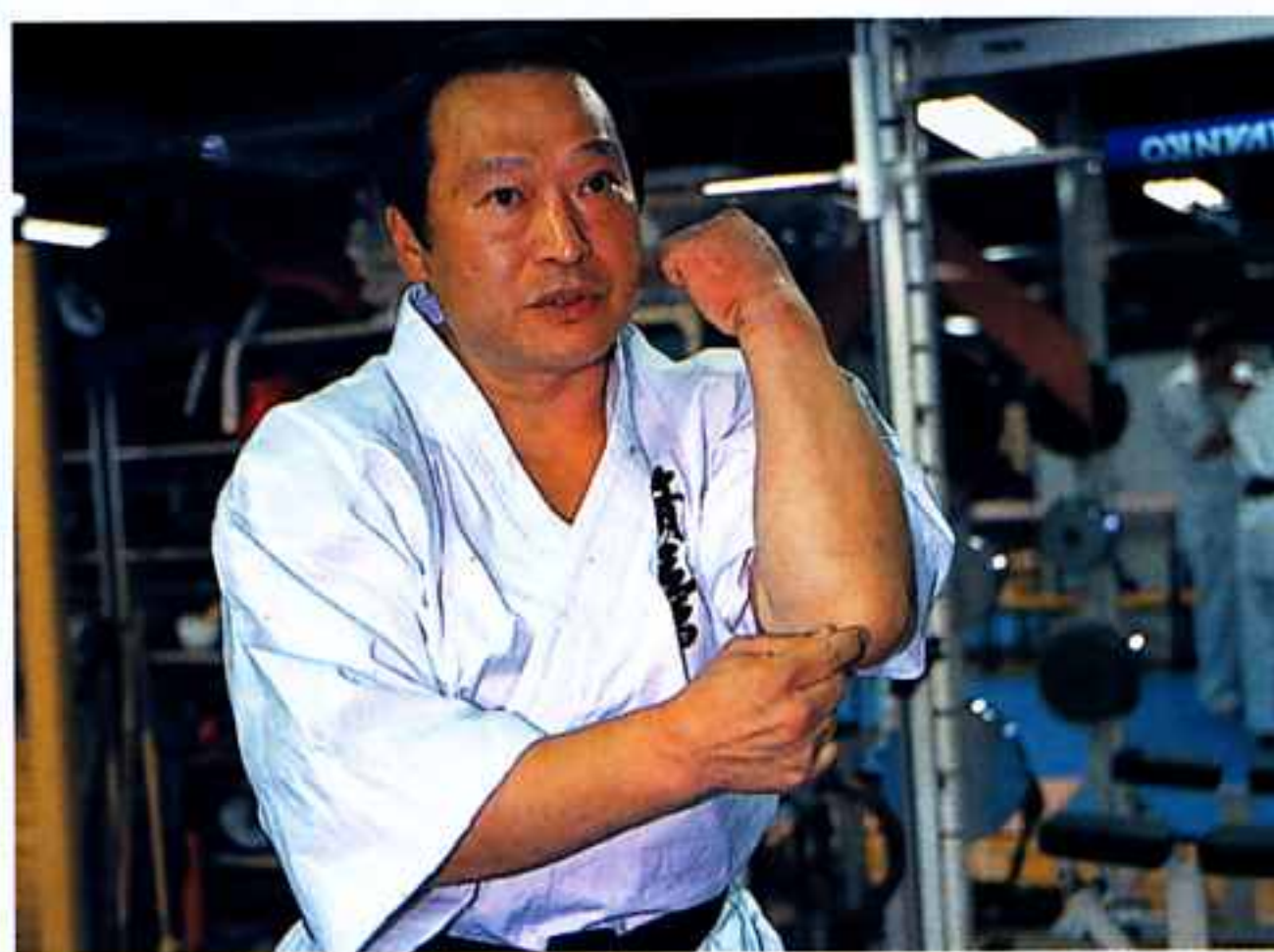
さらに、倉本師範はずいぶん、変わり者で気難しい人だという噂も伝わってきている。たとえば、36歳の頃までほとんど山篭りをしながら修行していたが、食べ物は塩しか持たずに、あえて真冬を選んで山に入っていった。そのほかの食事は全て自然のもの。また、真冬でも滝浴びもする。真冬に滝を浴びると、全身の感覚がマヒし、やがて睡魔が襲ってくる。それで何度か死にかけたこともあるそうだ。そうした極限状態を経験をすることで、命のやり取りをする際の精神力を養ってきた。

また倉本師範の稽古量が尋常じゃない。中村師範の内弟子だった頃は、それこそ毎朝5時に起きて、夜中の1時まで稽古をしていた。

ちょうど同期には、極真の最高顧問である盧山初雄師範が中村師範のもとで修

▲局部鍛錬は、修己會の前身である拳道會（中村日出夫）時代からあまりにも有名

▲拳ワラの突き方を指導する倉本師範。数回叩いているうちに、支える棒が折れてしまった。これは本当の話だ

▲あえて白帯をつけて倉本師範に教えを乞う佐竹。こんなに神妙な顔をするのもめずらしい

▲ヒジ打ちも骨の出ている鋭角のところで打たなければ意味がない。腕全体で叩くのはよくないとのこと

▲砂袋にも叩き方がある。そう言えば、エンセン井上も倉本師範と出会い、ジムに砂袋を設置したとか

▲これがドカンを割る倉本師範の拳。さわってみるとこれが凄く固いので驚いた

▲拳は刀を作るように鍛えるという。砂袋を1000回叩いたら、1万回握ることが大切だというのだ

キミは塩だけ持って、真冬に山篭りをする人を信じられるか?

行していたのだが、夜中の1時になって寝床に入ってから、盧山師範がムクッと起き出して立禅を始めたりすると、倉本師範も負けじと立禅を組み出す。そうやっているうちに、2人の睡眠時間はどんどん削られていったという。今の若い世代の稽古からは考えられないことだ。

そんな倉本師範の名を知って、これまで何人かの若者が弟子入りを志願している。ところが、倉本師範の当時の弟子の取り方がまた凄まじい。まず、その弟子入り志願の若者を何も言わず、山へ連れて行く。山を登っている間は、倉本師範は一切しゃべらない。もちろん、若者はだんだん不安を覚え、恐怖心にかられていく。そして、いくら「助けてー!」と叫んでも麓からはまったく聞こえないところまで登り着くと、倉本師範はおもむろに振り返り、その若者を半殺しにするというのだ。

背筋がゾッとする話である。いくら「助けてくれ」と叫んでも、誰にも聞こえない場所で若者は倉本師範に、殴られ、蹴られ続けなければならない。そして、そんな半殺しの目に遭っても、翌日にもう一度自分のところに来て弟子入りを志願した者のみ、弟子にするというのだ。

まるで劇画や小説に出てくるような話だが、そこまで腹の座った人間しか認めないというから凄絶な人である。

そんな噂の数々を聞いているだけに、倉本師範と会うのに、緊張しないはずがない。今は50歳となって、さすがにそこまではしないだろうが、佐竹にしてもいつもとは違った神妙な顔つきをして道場に向かった。

倉本師範は現在、東京の巣鴨でカイロプラクティクスの診療所を開いていた。診療所の中には、倉本師範と何人かの格闘家が一緒に写った写真が飾られていた。

極真の有名な選手もいる。相撲取りも何人かいる。みんな倉本師範の噂を聞いて、何かを学ぼうとして来た人達だ。

その中には猪木さんもいた。猪木さんと倉本師範は親交があるらしく、それが縁で小川も倉本師範の道場開きに駆けつけたことがある。そんな小川と対戦する佐竹が今回訪ねて来たのもなにかの縁だろう。

倉本師範は昨年、拳道會を脱会していた。そして、今年1月26日、同じく拳道會出身の林正秀氏を会長に「空手道・修己會」を発足。現在はそこの最高師範を務めている。

初めて見る倉本師範の印象は、見るからに殺気を漂わせているという感じの人だった。この雰囲気は、いくら競技の中で強くなっても出そうにもない。真剣に命のやり取りを考えてきた人のみが醸し出すムードである。こういうタイプの格闘家を見るのは、久しぶりのことだ。

私はさっそく倉本師範のドカンをも砕く拳にさわらせてもらった。そのブ厚いグローブのような拳は、想像以上に固くて驚いた。

特に裏拳の部分が異常に固いのだが、これはいったいなんだろう。裏拳に筋肉がつくはずもないし、皮が何枚も重なって厚くなった感じでもない。もしかしたら骨? しかし、骨がこんなに太くなるものなんだろうか? ぜひレントゲンで撮って見てみたいものだ。それにしても、不思議な手である。

倉本師範は、それでも「最近は毎日叩いていないから、これでもひと回り小さくなっているんです」と言う。

これはもちろん、砂袋や巻ワラ、角材の角を叩いて作られた拳だ。倉本師範はこうした局部鍛練の理屈について、こう説明してくれた。

つまり、普通はパンチを出した時、拳を握っていないと力は相手に伝わらない。しかし、最初から拳を強く握っていると今度はスピードが出なくなってくる。そこで、スピードが出る打ち方をしながらなおかつ拳も自然と握っている。そんな拳を作るために局部鍛練を行うというのだ。

同じスピードだったら、もちろんプラスチックで叩くよりも、鉄の固まりで叩いたほうが効く。そのため、局部鍛練をする時は、巻ワラや砂袋を叩くこともさることながら、叩いたあとにスピードをつけて戻したり、拳を握ることが大切だという。千回叩いたら、それこそ一万回拳を握ることが大切。そうやって刀のように磨いて、鉄の拳を作っていくのが局部鍛練の意味だというのだ。

実際、私も砂袋を少し叩いてみたのだが、それはまるで生き物のようだった。というのも、チョコチョコ軽く砂袋を叩いていると逆にそこが固くなっていく。痛いのを我慢して思いきり叩かないと、そこが軟らかくなっていかないのだ。そして強く同じところを叩いていくと、だんだん砂袋が拳全体を包み込んでくるような感覚になり、理想的な拳に作り上げてくれる。しっかり叩かないと逆に痛くなってくるということは、自分に嘘もつけないし、精神の鍛練にもつながっていく。これは奥の深い鍛練法だ。

局部鍛錬、裏技、急所攻撃……本当の空手の恐ろしさは突き蹴りじゃない！

局部鍛錬を続けることで、倉本師範はゴリラやチンパンジーのような手を作りたいと語る。ゴリラやチンパンジーは、木にぶら下がりながら長時間耐えられる握力を持っている。握力計で計れば200キロくらいはあるだろう。それくらいの握力を持っていれば、握ったつもりはなくても無意識の中の意識で、自然と拳を握った強いパンチが打てるのである。

さらに倉本師範は、掌底よりもよく効く、「熊手」のパンチの打ち方を教えてくれた。

「熊手」とは、掌底のように手を開いたまま、指の第一関節を全て曲げた状態で打つパンチで、突きよりスピードがあり、掌底より偉力がある。さらに目潰しやアゴに引っかけて砕くなど、様々なバリエーションに変化させることもでき、非常に危険な技であることが分かった。

打ち方としては、ちょうどロシアンフックのようにショートで引っかける打ち方が有効だとか。

倉本師範は、今度、佐竹が小川と対戦することをすでに知っていた。それについて、どうなるのかと質問してみると、倉本師範からは意外な答えが返ってきた。

「私だったら、最初から突きとか蹴りで勝負にいかないかもしれない」

柔道家と闘う場合、空手家が対抗するとしたら、普通相手が組みついてくるところを狙ってパンチやキックを出すと想像しがちである。しかし、それが見事に当たるのは可能性として低い。それよりも、倉本師範は別の方法で倒すというのだ。

空手というと、今は極真ルールのような競技イコール空手というイメージがある。極真ルールとは、素手素足で闘い、素手による顔面攻撃のみを禁じた闘いのことを言う。それが一般的な空手のイメージだ。

あるいは、佐竹ならばK―1も経験しているので、グローブをつけての顔面攻撃を主武器とすると考えがちである。その中で、小川に対して佐竹がどうやってパンチやキックを当てられるかと見ている人が多いはずだ。

しかし、倉本師範は「それらは空手の一部に過ぎない」と語る。

空手には本来、組み技も有り、投げ技、関節技もある。打撃技だって、本当は全身の急所を狙うために技術を追求してきたものだ。しかし、スポーツになると、こうした急所攻撃は全て反則となる。その反則技、裏技を使ってこそ、空手は他の格闘技にも勝てるというのだ。

たとえば2年前、K―1でも「空手VSキック7対7マッチ」というイベントが行われている。この企画自体は非常に面白かったのだが、厳密に言うとあの試合は、空手家とキックボクサーがK―1ルールで闘うということで、空手の闘い方がまったく封じられている。

空手家が本当に空手技を使って闘うならば、素手で投げや関節、急所攻撃も認められていなければならない。K―1での試合はあくまでも「空手家VSキックボクサー」であって「空手VSキック」ではないと倉本師範は主張するのだ。

佐竹が倉本師範のもとを訪ねたのも、そんなことを知りたかったからだ。佐竹はあれだけ空手やK―1で実績を残しながら、なんでも有りの『プライド』ルールではなかなか自分の打撃を当てられないことを身をもって体験した。

空手やK―1のように制限のあるルールでは、それだけ技術が研ぎ澄まされていくが、研ぎ澄まされた技術は逆になんでも有りでは通用しなくなってくる。このへんは、『プライド』で強いボブチャンチンが、K―1で勝てなかったのとまったく逆の理屈である。

ならば、佐竹は今まで培ってきた打撃

▲空手時代は局部鍛練をしていた佐竹だが、グローブをはめるようになって、最近は優しい手になっているという。今、あらためて空手家の拳を作ろうとしている

▼掌底よりよく効く「熊手」の打ち方。鍛え方としては柔らかいものを叩いていったほうがいいそうだ

▲小さくフックのように打つ「熊手」は、ロシアンフックの打ち方に似ていた

倉本氏曰く「私がもし柔道家と闘うんなら、打撃で仕留めようと考えないかもしれない」

技をなんでも有り用にアレンジしなければならない。そこで、武道としての空手がどんな技術をもって他流試合に挑んできたのか、それをたしかめたかったのだ。

佐竹はめずらしく、白帯をつけて倉本師範に何かを学ぼうとした。あれだけ空手でも実績があるのに、自然と白帯をつけてきたところに、佐竹の敬虔な思いと純粋さを感じさせられた。

だが、倉本師範が佐竹にどんなアドバイスを送ったか、ここでは試合前なので割愛させていただく。佐竹にとっては、それは企業秘密。しかし、ヒントとして倉本師範の言葉のいくつかを挙げてみる。

「小川選手は柔道家だから、たとえば差し合いにくるかもしれない。しかし、それを嫌って逃げようとしてもまず無理でしょう。もしそういう状況がきたら、逆に〝ありがとう〟と言えるような武器を持たなければならない」

「問題は何を斬らせて、何を斬るかということ。命のやり取りに対して、どちらが厳しく考えているかということで勝負は決まるハズ」

「勝負には〝勝つ方程式〟があって、〝負ける理由〟がある。要は相手のペースに合わせるんじゃなく、いかに虚を突けるかということです。空手にはそういう技がたくさんある」

「一撃必殺っていうのは、本来スポーツの中では有り得ないこと。急所を突くから一撃必殺になりうるんです。ピストルの弾だって、急所をはずれれば、人間は死なないんですから」

さて、佐竹はいったい何をやろうとしているのか、これで見えてくるだろうか。

それにしても、空手衣を着て突き蹴りで強さを競い合うことが空手というイメージしかない者にとっては、まさに目から鱗が落ちる倉本師範の存在。こういう人が、バーリ・トゥードのリングに上がったら、いったいどうなるのか？　ヤシの実を割る拳でマウントパンチをしたらと考えると、ゾッとするものがある。

そして、この倉本理論を佐竹が実践していったら、間違いなく佐竹は〝人間凶器〟になれる！　空手とは我々が考えていた以上に奥の深い武道だった。■

PROFILE

倉本成春（くらもと・なりはる）

昭和25年7月5日生まれ。兵庫県神戸市出身。10歳の頃より空手を始め（糸洲流）、13歳で初段、17歳で弐段を修得。その後、拳道會の中村日出夫に師事し、36歳まで山篭りなど空手道の修行に明け暮れる。36歳で神戸に武勇会を設立。拳道會では本部長を務めた。昨年7月7日、同流派を脱会し今年1月より林正秀率いる空手道修己會設立に参加し、最高師範に就く。

▲殺人拳のような手を使った急所の攻め方を佐竹はいくつか教えてもらった

▲柔道家が組み合いにきたらどうするか？　その対処法も教えてもらったが、企業秘密ということで掲載は控えさせてもらいます

▲本当に突き蹴りだけじゃなく、空手本来の技にはいくつかの局面での技術がある。う〜ん、奥が深い！

▲「こういう状態になったら、私は頭蓋骨を割る自信がある」と言われた時は、ゾッとした

小川VS佐竹、2人を指導した
佐山聡にズバリ予想を聞く！

勘弁してくださいよお。ホントはこの試合にはこれっぽっちも関わりたくないんですから（苦笑）

小川直也と佐竹雅昭。実を言うとこの2人をよく知っているのが、掣圏道の佐山聡だ。
UFO時代に小川にプロレスを伝授し、フリーになった佐竹にロシアンフックを教えた佐山。
ともに汗を流したこの2人の対決を、佐山はどう予測するのか、ズバリ聞いてみた。

聞き手◎"Show"大谷泰顕
撮影◎山口比佐夫

本誌はいきなり
柔道讃歌？
どうなる
「空手VS柔道」の決闘

――あの～、付かぬことを聞きますけど、佐山さんのお子さんは何歳でしたっけ？

佐山　10歳で～す。

――ああ、そんなに大きくなりましたかあ。実は僕、来年には結婚しようと思ってるんですけど、相手に8歳の子どもがいるんですよお。

佐山　しみじみとする話ですねえ。

〔遅れて谷川編集長が登場〕

谷川　佐山さんに結婚の報告をしてるの？

――いや、やっぱり佐山さんは僕がこの業界に入るきっかけをつくった、憧れの人ですから！

佐山　今日は取材だったんですか？

――えっ、谷川さん、言ってなかったんですか？

佐山　聞いてませ～ん。

谷川　いやいやいや、今日は食事をしながら佐山さんに話を聞きたいなあと。

――出た、サダハルンバマジック！（笑）。

谷川　いえいえいえ（笑）。

――ということで、何か注文を。

佐山　ここはチンジャオロースーとエビチリと胡麻がゆが美味しいんですよ。

谷川　じゃあそれを頼みましょう！

――頼んだところで、本題に入ります。

佐山　小川VS佐竹戦の話ならお断りです。

――えっ、そんな（苦笑）。じゃあまず11・29有明コロシアムのアルティメットボクシングの話からいきましょう！

佐山　ありがとうございま～す。あのですね、今ロシアの選手には凄い練習させてますから。

――たとえばどんな練習ですか？

佐山　シャドーを目一杯やる練習でも、2時間ずっとやってるんですよ。それから蹴りにしても、最近は「佐山キック」と呼んでましてですね。

――佐山キック！

谷川　ど、どんなキックなんですか？

佐山　真正面から入って、腰を返すヤツですね。タイ式キックに似たヤツなんですけどね。コーチがロシア人みんなにそう呼ばせてるみたいなんですよ。

谷川　ビクトル投げみたいですね（笑）。

――それは素敵だ！　パチパチパチ！

佐山　それにライトヘビー級の選手でも、190センチのヤツがいますから。

谷川　なんという名前の選手ですか？

佐山　イズマイロフ。新しい選手ですね。彼が育ってくればK―1出場もイケるんじゃないですかね。

谷川　それは楽しみだなあ。今、何人くらいいるんですか？

佐山　最初は120人は入れたんですけど、だんだん減っていったり、また足したりして、今は50人くらいですね。

――それでも50人も！

佐山　だから練習場は異常ですよ。アマレスの世界チャンピオンもいますしねえ。あのレベルは太鼓判どころじゃないですよ。バンバンバンバンッていっぱい押しちゃいますから、うふふふふ。

――そんなに押してますか（笑）。

谷川　日本人選手もいるんですよね。

佐山　ええ。ただ、前のレベルなら完璧に勝ってたんでしょうけど、今のレベルの選手に勝てるかどうか。ロシア人は「撃圏道とは何か？」を日本人より理解してますから。シャドーをパンパンパンパンパンパンパ～ンッてやって投げて、上になったらダダダダダダーンッて殴って、スパーリングになってもヒザをついてガンガンガンガンッてやってますから。

――す、す、凄い話だ！

谷川　来年には『プライド』の選手にも対抗できるような選手も出ますか？

佐山　できるでしょう。まあ『プライド』とは主旨が違うから関節技まではやってないけど、対応できることはやってます。

――素朴な疑問なんですけど、坂本一生さんはどうなったんですか？

佐山　あれは……、いなくなっちゃいましたね（苦笑）。す、す、す、す、すいません。

――あ、そうなんですか（苦笑）。

谷川　それより、今後は月に1回は東京で大会を開いていくんですよね。

佐山　ディファ有明ですか。毎月第2日曜日はアルティメットボクシングが見られるようになりますよ。

谷川　それは凄いなあ！

〔と言っていると、頼んだ料理が運ばれてくる〕

谷川　食べましょうか。

佐山　いただきま～す。ここのエビチリは、ちょっと違うんですよね。

――あ、ホントだ。辛くないですね。

谷川　ということでShowくん。聞きたいことを聞いてください。佐山さん、料理もたくさん出てきますから。

佐山　料理につられないようにしないと（苦笑）。

――じゃあまず前回、佐山さんは「地球は丸い！」と挨拶したんですけど、今回は何を言うのか聞きたいです（笑）。

佐山　まだ考えてないですけど……、今回は「エビチリは辛い！」と（笑）。

――ここは辛くないですけどね（笑）。で、小川VS佐竹戦なんですけど、ズバリ佐山さんはどちらが勝つと思います？

佐山　分からないですねえ。当日の体調を見ないと分からないから。僕が教えた頃の状態のままであれば、佐竹クンのほうが有利だと思いますね。寝技の対処もしてきてるし、佐竹クンは足腰が重いし。当たれば、あのパンチは凄いからね。

ロシア人の練習は凄いですよぉ　今、「佐山キック」を修得中で～す

▲かつて佐山はUFOに所属し、ずっと小川につきっきりだった。小川がプロレスを最初に学んだのは、佐山だった

▲『プライド』に参戦するようになってから、佐竹はたびたび佐山のもとへ出稽古に行き、総合でも通用する打撃のテクニックを学んでいた

▶今後、月１回のペースで東京で「アルティメットボクシング」の興行を行っていくという佐山。「ジワジワと格闘技界を制圧します」

ただ、オーちゃん（小川）の寝技は中途半端じゃないからね。あれは世界一の寝技ですから。それだけに、上になったらオーちゃんのものだと思いますね。

谷川　佐山さんはオーちゃんに総合の技術を教えたことはあるんですか？

佐山　教えてない（キッパリ）。

谷川　教えてない（笑）。

――教える必要がなかったということ？

佐山　そう。「プロレス」だから教える必要がなかった（キッパリ）。

――あららら（苦笑）。

谷川　じゃあ佐山さんはオーちゃんが総合の練習をしているところを見たことはあるんですか？

佐山　それもない。でも、あの男は裸での関節技もメチャクチャ強いですよ。

――裸での関節技？

佐山　そう。ヒクソンよりも強いと思いますよ、その点は。あれは京都府警だったかな？　寝技ばっかりやるところで練習してたみたいだからね。

谷川　関節技っていうと？

佐山　全部やりますよ、上からの関節技も下からの十字も含めて。何年か前ですけど、一度、オランダで柔道の世界選手権直前に、現地の強化合宿のところに練習しに行ったんですよ。で、オランダのナショナルチームで立ち技やったら勝てないんですよ、オーちゃんが（苦笑）。オーちゃん自身も「柔道の練習をするのは9カ月ぶりです」な～んて言ってたんですけど、その中のひとりに足を絡まれてコカされたんですよ。

――コ、コカされたんですか！

佐山　ええ。でも寝技になったら、逆に赤子を捻るように全員に勝ってましたからねえ。しかも、その中のひとりが世界選手権で銀メダルを取ったんですから。

――そこまで寝技は一級品なのかあ……。でもね、去年『プライド4』（99年7月4日、横浜アリーナ）でゲーリー・グッドリッジと対戦してますけど、なかなか上になっても極めきれなかったと思うんです。あえて極めなかったのか、それは分からないけど。

佐山　グッドリッジは腕相撲の世界チャンピオンだったわけだから、その腕をキメるのはかなりキツかったんじゃない？　グッドリッジは腕をキメられたことはないでしょ？

谷川　ないですね。パンチで負けたりはしてますけどね。じゃあたとえばオーちゃんが「柔道家」だと仮定すると、「柔道家」は総合で何をやれば勝てますか？

佐山　「柔道家」は関節技ですね。立ち技は相手が裸だと弱いもんですから、どう自分が上になるかを考えて、もしなれなかったら下から攻撃するしかないですね。オーちゃんがギ（衣）のない打撃にどれだけ対処しているか。「そのためには相撲をやればいい」という話もありますけど、相撲みたいに持つところがないから、それをどう対処するか。それから佐竹クンのパンチをどう外していくか。

おとなしい試合ならオーちゃん 激しい試合なら佐竹クンが勝ちます

――もし佐山さんがオーちゃんと闘うとしたら、オーちゃんは何をしてくると想定しますか？

佐山　ホイスみたいなかたちでロープにグーッと詰めてくるでしょうね。懐に入って、相手を振って、タイツを掴んで倒すでしょうね。だから佐竹クンはそれに入られないような間合いと、もし四つになっても絶対に倒れないように、自分から片足タックルに入れるような体勢ですよね。で、必ず相手との中間位置は制して、絶対に上になるということですね。何度か相手を倒そうとしても倒れないな、と思えば、今度はオーちゃんは打撃で勝負するしかないでしょうからね。

谷川　打撃での攻防に持っていくと、佐竹選手はいいわけですよね。

佐山　やっぱり佐竹クンの作戦としては懐を深くしていくということですね。間合いを開けてね。相手は胴しか掴んでこれないと思いますから、それを外して打撃に入る。外して打撃に入るの繰り返し。それでも入ってきたとしたら胴を深くして入れさせない。

――たとえばこの間の村上一成戦で一度とはいえ、佐竹選手は村上選手にマウントを取られてますけど、オーちゃんにマウントを取られたら絶対に危ないですよね。

佐山　オーちゃんに取られたら終わりでしょうね。

谷川　佐竹選手は「ヒジも頭突きもアリ」を主張してるんですけど、もしそうなったらどうなりますか？

佐山　もし佐竹選手がガードポジションになったら有利じゃないですか？

谷川　立ち技だとどうですか？

佐山　それは、そんなに有利じゃないと思いますよ。密着されるとね。ただ、ドン・フライとオーちゃんも練習してましたから、その対処法は知っていると思いますけどね。

――じゃあ一般的には「柔道VS空手」と言われてますけど、お互いにそれ以外の練習をどれだけやってきたかですね。

佐山　そうです、そうです。そういうことです。危険なところの触れ合い。デスゾーンから先をどちらが取るか。

――デスゾーンから先を……！

佐山　というのは「柔道VS空手」をやったとしたら、凄くこのルールだと「空手」は不利ですからね。オーちゃんも打撃はそれほどうまくなくても、打撃を見る力は凄くあるから。だけど、佐竹クンも寝技に入られたとしても上になる練習をしてるし。だから、どちらがどれだけ『プライド』のルールに慣れていったかと。まあ、まずはオーちゃんの突進に、佐竹クンが耐えられるかどうかでしょう。

――それとね、今回は猪木さんがオーちゃんではなく、佐竹サイドについたよう

本誌はいきなり
柔道讃歌？
どうなる
「空手VS柔道」の決闘

に報道されてるのも要注意ですよね。

佐山　まあ、それは関係ないでしょう（苦笑）。

――あ、関係ない（苦笑）。

佐山　あの人は天才的ですから、その辺は。オーちゃんの「悪役」という部分は猪木さんに作られたというか、プロモートの力ですからね。本人は全然そんなことはないですから。

――なるほど。あ、そういえば最近、猪木さんが『猪木詩集』を出しましたけど、佐山さんもどうですか、詩集は？

佐山　いえいえ、とんでもな～い。異臭くらいなら撒けると思いますけどねえ。

――異臭ですか（苦笑）。

谷川　でもね、噂によると、ナーバスになっているみたいですよ、オーちゃんは。

佐山　そんな必要はまったくないのに。

――でも、オーちゃんは表に出てない潜在能力はもっとあるんですよね。

佐山　いやあ、出す必要はないんじゃないですか？

――出す必要はない？

佐山　だって世界チャンピオンですしねえ。オーちゃんの子どもも知ってるから、もっと平和に暮らしてほしかったけどね（笑）。でも……。だから、きっとおとなしい試合になればオーちゃんが勝つし、激しい試合になれば佐竹クンが勝つし。

――観客からすると、激しい試合のほうが面白いんですよね。

佐山　見る側はね。でも、それよりどっちが勝つかが面白いんじゃないですか？

谷川　「柔道家」にはローキックが入るんですか？

佐山　入りますよ。立ってる選手には凄く効きますよ。ギがあれば別ですけどね。だから佐竹選手は間違ってギを着けていかないようにしないとね。

谷川　逆に佐竹選手の最近のレベルでいうと、総合の資質はどうですか？

佐山　資質はあると思いますけどねえ。ただ、この間は村上選手に勝ちましたけど、僕はいい勝ち方だとは思わなかったですねえ。「マウントを返して勝ったのは凄い」と言う人もいましたけど、打撃をやる選手があそこを取られたらいけないと思いますね。

谷川　ホントは佐山さんが佐竹選手のセコンドにつくと面白いんだけど（苦笑）。

佐山　嫌だよん（笑）。今回は巻き込まれたくないですから。嫌だ嫌だ嫌だ。だってこの試合が決まった途端に「危な～い！」と思いましたからね。

――構図としては佐竹選手に佐山さんがついて、オーちゃんに石井館長がつけば面白いんですけどね（笑）。

佐山　ああ、それは面白～い！　でも嫌だよ～っと。僕はオーちゃんの奥さんにマッサージしてもらったこともあるんだから（笑）。

――じゃあ佐山さんは当日は会場には来ないんですかあ？

佐山　行かないですよお。ホントは今日の取材もそうだけど、これっぽっちもタッチしたくないんだから（苦笑）。

――谷川さん、表紙に「佐山大胆予想！」って書いたほうがいいですよ（笑）。

佐山　いやいやいやいや、「佐山逃げる」にしてくださ～い。

――佐山逃げる（笑）。

佐山　ああ、美味しかったあ。

――佐山さん、食後にアンニン豆腐でもいかがですか？

佐山　僕は痩せたいですから。

――あ、やめますか。

佐山　いえ、アンニン豆腐をお願いしま～す（笑）。

――じゃあ人数分を頼みましょう（笑）。

谷川　あの～、バーリ・トゥードの特性を考えた時に打撃を知っている人がグラウンドをやったほうがいいのか、グラウンドを知っている人が打撃をやったほうがいいのか。どっちなんですか？

佐山　グラウンドから打撃（キッパリ）。

――グラウンドから打撃！

佐山　そのうち、それも淘汰されると思いますけどね。今はレスリングから打撃でもいいけど、そのレベルはまだまだと思うんですよ。ホントに打撃の選手がレスリングをやって、21世紀の、2020年から2030年くらいになると凄く高いレベルになると思うんですよ。

――2030年の話ですか（苦笑）。

佐山　ええ。みんな今は「懐に入れば勝ち」みたいな感じですけど、それが今後アルティメットボクシングをやっていくと「そうじゃない」ってことが分かると思うんです。そしたら凄いレベルが高くなってますから、その時にキックボクシングのトップレベルの人がレスリングをやれば間違いなく強いと思いますよ。やっぱり「タックル＝ジャブ」の感覚になったら凄いでしょうからねえ。

――タックル＝ジャブの感覚ですか。

佐山　はい。でも、今はとりあえず「レスリングからボクシング」でいいと思いますけどね。もう少し今の状況が融合していかないと、そこまではなかなかいかないでしょうからね。

――そしたら、ホントに僕らの子どもの世代ですね。

佐山　そういうことで～す。

――分かりました。

谷川　今日はありがとうございました。

佐山　いえいえ、こちらこそごちそうさまです。何卒ひとつ穏便にお願いしま～す。押忍！（敬礼）。■

今のVTはレスリングから打撃が強い　でも2030年には逆転しま～す

▼インタビューは生前のジャイアント馬場さんがこよなく愛したキャピタル東急で行われた

新日本プロレス・永田裕志のポーズで「おじゃましま～す」。
本当に『週刊ゴング』編集部に来てしまった

永田裕志のポ～ズ！

サダハルンバ、のこのこと
『週刊ゴング』編集長
“GK”金澤克彦インタビュー

今、プロレス専門誌の バリバリの旗手は PRIDE.を どう捉えているか？

ターザン山本氏が『週刊プロレス』の編集長を辞めた後、メキメキと頭角を現し、プロレス専門誌の最前線に立っているのが、“GK”こと、『週刊ゴング』金澤克彦編集長だ。最前線にいるプロレス・マスコミとして、『プライド』をはじめとする格闘技界の流れをどう見ているのか？　クマクマンボ（『ゴン格』）の頭をまたぎ、サダハルンバがのこのこと話を聞きに行った。

聞き手◎谷川貞治

バーリ・トゥードに対するアレルギーはべつにないですねぇ

▲金澤編集長が興味のあるのは、『プライド』でもプロレスラーがらみの試合だそうだ

——今日は憧れの『ゴング』金澤編集長に、いろいろお話をうかがいたくて、のこのこと編集部に来ちゃいました（笑）。

金澤　不気味なこと言わないでください（笑）。

——ぶ、不気味だなんてとんでもない。ターザン亡き後、今やなんていったってこの業界の中で金澤さんがダントツに光ってるじゃないですかぁ。

金澤　いやぁ～、悩み多き38歳ですよ。

——ああ、僕と同じ年なんですよねぇ。うらやましいなぁ。あの～、知っていると思いますけど、僕はプロレスに関してメチャクチャ素人なんで、いろいろ教えてください。まず、最前線にいらっしゃる金澤さんは、K—1とか、『プライド』とか、最近力をつけていると言われる格闘技に対してどう思ってるんですか？

金澤　K—1はまず関係ないですよね。

——あ、K—1は関係ない（笑）。

金澤　ちょっと関係ないですよね。アンディが亡くなった時には「ウチも載せなきゃいけないのかなぁ」って思うくらいのレベルですよね。

——はあはあはあ。そういえば僕も馬場さんが死んだ時に、載せなきゃいけないかなぁとちょっと思いました。

金澤　そういう感じですよね。

——あ、でもその時は『SRS・DX』はなかったんだ。すいません、嘘ついてました（笑）。でも、やっぱり『プライド』は関係あるでしょう？　プロレス専門誌のバリバリの編集長としては？

金澤　最初は怪しげだったじゃないですか、雰囲気的に。何をやりたいのか分からないようなね。もともとバーリ・トゥード・ジャパンですか？　あのヒクソンを呼んでやった。あそこから僕的には始まって、怪しげだけどヒクソンという名前に引きつけられたところはありましたね。で、ヒクソン自体がプロレスラーと関わりだして、安生の一件とかあったじゃないですか？　でも本腰を入れなきゃいけないのかなっていう感じになったのは、髙田延彦という一流のプロレスラーがヒクソンと交わった頃からですね。

——はいはい。で、そういうバーリ・トゥード（VT）が出てきたことに対して、プロレスを背負う金澤さんはやっぱりアレルギーがあったんですか。

金澤　いやぁ、アレルギーというのはねぇ……ないなぁ。最初は怖いもの見たさというか、珍しいもの見たさですよね。それが今度はハマってきたじゃないですか、どんどん。

——へ？　あー、そうなんですかぁ。

金澤　特に藤田が出てきて成功したのは非常に大きいですね。プロレスと『プライド』がいい関係になってきたじゃないですか。そのいい関係っていうのは、要は藤田が強かったっていうことですね。藤田が強かったことで「どうだい、新日本の強さが分かったかい」的な、そういうのってプロレスファンにしてみればあるじゃないですか。「やっぱり、プロレスは強いんだ」っていうのをずっと思い続けてるわけですから。

——ああ、そういう単純明快に！　でも桜庭や藤田が出る前っていうのは負け続けてましたよね。で、格闘技雑誌とか山本さんなんか「グレイシー最強、プロレスラーは弱い」みたいな論調があったわけじゃないですか。今すぐリベンジしないとプロレス人気も危ないみたいな、そういう時はどうだったんですか？

金澤　実際に当たったのは山本宜久選手と、あと誰でしたっけ？　安生がいて……。

——ケンドー・ナガサキとか北尾光司とか……。

金澤　ああ、いろいろありましたね（笑）。

——あっ、バンバン・ビガロもいた！

金澤　フフッ（笑）。まあ、その時はプロレスを守る側の論理が働くわけですよ、自分の中にもね。「本当に強いヤツが出ていないじゃないか！」というね。それがもしかしたら長州力の考えかもしれないし。長州さんなんかは「ホントに強い人間っていうのは、ベースをもっている人間だろう」「タックルの技術が3、4年で身につくものじゃない」って言ってたわけじゃないですか。それこそ10年やってきて、タックル取れるかどうかってことじゃないですか。

——ああ、あのインタビューは面白かったですねぇ。じゃあ、長州さんと同じように金澤さんも苦々しく思っていたと。

金澤　苦々しいというよりも、そんなのやめろというよりも、強いヤツが出ていったら、プロレスラーはホント強いんだっていうのを見せてくれるんだという淡い期待ですよね、うん。

——山本さんのように、このままじゃ格闘技に浸食されるんじゃないかという危機感はなかったと。

金澤　そこまで敏感にはならなかったですねぇ。

——プロレスは全然安泰だと。

金澤　うん。それはそう思ってましたね。

『プライド』で興味のあるのは、やっぱりプロレスラーだけですよ

あの～、だから会場のノリが全然違うじゃないですか、プロレスとVTでは。だいたい、VTの会場はファンがやっと見方が分かってきたというか、最初は10秒で終わったら、どう反応していいかも分からなかったですから。プロレスに比べて歴史も浅いし、このまま根付くのは大変だろうなぁって思って見てましたよ。

――でも、今は一部ではもう『プライド』は新しいプロレスにとって変わるんじゃないかと言われてますよね。本当に大丈夫ですか？ ちょっと生意気ですけど（笑）。

金澤 『プライド』が興行として凄いものをやったなぁっていうのは、やっぱり桜庭VSホイスの時ですね。僕の中では一番大きかったですね、あれが。「あっ、もしかしたら、こっから時代が変わる可能性があるかな」って思いましたもん。あの興行は素直に凄かったですね。

――はあ、ずいぶん最近ですね（笑）。それまでは感じなかったんですか？

金澤 うん、だって日本人のスターが桜庭だけじゃ辛いでしょう。

――あ～、でも長州さんの気持ちが100％分かる金澤さんとしては「これはプロレスを守らなきゃ」という意識は働かないんですか？

金澤 う～ん、だからホントにね、僕はご都合主義なんで、そこの部分に信念をもってやる気はハナからないんで（笑）。

――はははは、それは僕も同じです。生意気ですけど（笑）。

金澤 だから、なんで『プライド』をこんなに大きく載せたんだって言われれば、それは簡単、藤田が出るからですよ。やっぱり「藤田というのはいかなるものか？」というのをずっと取材してきたわけですから。

――ああ、そこも僕と同じで"私情"なんですねぇ（笑）。

金澤 僕は藤田をずっと新人から見てきましたからね。こいつはまだ新人だよ、と。新人だけど、新日本でスパーリングをやれば、タックルとらせたらこいつが一番だよ、と。もうケンドー・カシンも勝てなくなっちゃったんだよ、というのを少しずつファンに教えてきてるわけですよ、雑誌の中で。

――ああ、それは僕も教えてもらいました（笑）。

金澤 だけど、プロレスはそれだけじゃないんで、こいつが1年や2年でトップを取れることはないんだよということもプロレスファンに教えてきてるわけですよ。

――あ、すいません、そこらへんは僕は勉強不足で（笑）。

金澤 いえいえ。でも、その藤田はじっくり教えられてきて、あと3年、4年かかる時間が惜しくてポンっと出ちゃったんですけどね（笑）。

――へぇ～、そうだったんだぁ。でも金澤さんはVTに「あんなもの」という長州さん的な感性は働かないんですか？

金澤 だから、そこは僕の持っている悪戯心じゃないけど、ファンの心がうずくわけですよ。だって、根本的に何が見たいかって言われたら、もう数年前から石澤が強いと思っていたから「石澤VSヒクソン・グレイシーは見たいな」って思うじゃない。石澤なら勝てるんじゃないかなって、僕は何年も前から思ってましたからね。

――はあ～ん、興味があるんですか、やっぱり。でも、僕は『週プロ』にしても『ゴング』にしても、『プライド』の記事ってあまり扱ってない感じがするんですけど。

金澤 『プライド』の記事ですか？ 普段？ 試合じゃなくて？

――いや、試合も含めてですけど。

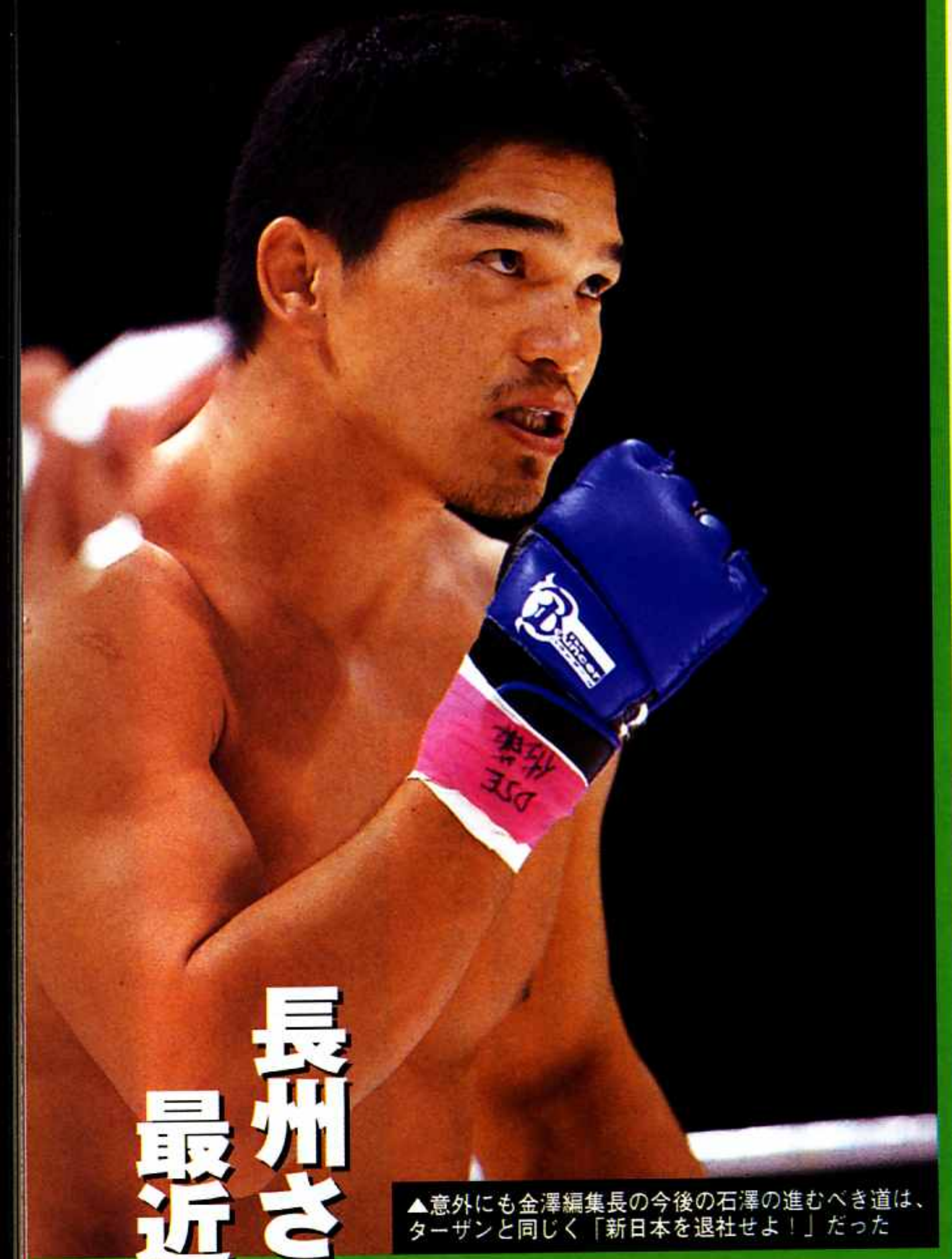
金澤 まあ、ページを取るのはプロレスラーがらみに限りますよね。たとえば西武ドーム大会で言えば、石澤は5ページ取っておこうと、桜庭も5ページ取っておこうと、藤田も5ページ取ろうと。そんな中で面白い試合から順番にいこうという感じで決めますけどね。それで佐竹VS村上、まあ1ページだなぁと。小川も来るから1ページかな、と。あとは全部ダイジェストで。

――佐竹VS村上は1ページですかぁ？ あと、プロレスラー以外は関係ないですか？

金澤 まあ、関係ないですねぇ。あとは写真を1点ずつパパパパパッって。

――いやぁ、潔いなぁ（笑）。じゃあ、『ゴング』的に『プライド』という新しいものが出てきたぞぉと論調を張るつもりはないんですか？

金澤 だから、なんて言うのかなぁ。要は見る人がどう判断するかの話ですよね。あまりにそういう論調が出てきたら、これはプロレス側の人間として一つ釘を刺さなきゃいけないなっていうのはあるから。たとえば前にテレ朝の「ジャングル」でそういう特集をやったんですよ。プロレスとVTの特集をやって、ちょうど新日本と全日本の対抗戦が始まったと。その一方でプロレス界に『プライド』がどんどん浸食してきているっていうんで、また映像がねぇ、髙田がヒクソンに負けたり、石澤がハイアンに負けた映像しか流さないわけですよ（笑）。で、「他流のリングに上がることは、すでにプロレスラーにとっての踏み絵なのか？」みたい

▼話の流れの中で、金澤編集長は「それでも今年は、僕、東スポ大賞で桜庭VSホイス戦を挙げようと思うんですよ。あの試合は、それほど素晴らしかった」と言っていた。ぜひ、お願いしますっ！

▲意外にも金澤編集長の今後の石澤の進むべき道は、ターザンと同じく「新日本を退社せよ！」だった

長州さんが言った「出来事」って最近では名セリフだと思います

な、いかにも大袈裟なナレーションがついているんですよ。まあ、そのディレクターが僕のところにも取材に来たんですけど、そのディレクターは最初に山本さんに話を聞いているもんだから、最初から「プロレスはピンチなんですね！」みたいにくるわけですよね。僕は「全然！」という話で、今はプロレスはどういう状況か説明するんですけど、多分それで番組の主旨自体を少し変えてくれたと思うんですけどね。でも、やっぱりテレビに出てくると山本さんが「プロレス界は終わってますよ」とか「全て過去の遺産を食い潰してます」って、言ってるわけですよ。

――はははははは。

金澤　前後の脈絡もなしに、ただインパクトだけで「とにかくプロレスラーは前に出て行って潰すしかない！」とか。そう言われれば、一般視聴者にとってはインパクトがあるから、非常に僕的にはよろしくない。これは抹殺しなきゃいかんなぁと誌面で書かなくちゃいけなくなるわけですよ。そういうことを言う人間はプロレス業界に入っちゃいけないと。

――すいませんねぇ（笑）。Show曰く「山本さんは素人ですから」あまり気にしないでください（笑）。

金澤　ハッハハハハハ。山本さんは面白い人なんですけど、その場で言うことが全部違いますから。だから、「プロレスに何十年も関わってるんだったら、もう少し考えてください」と思いますねぇ。

――でも、本音のところ、金澤さんから見てプロレスはどうなんですか？　もちろん山本さんのように「もう終わってる」とまではいかないと思うんですけど。

金澤　あの〜、たとえば地方とか行って、割りとタラタラした試合を見せられて、その前後に『プライド』を見れば、そりゃあ『プライド』のほうがいいなぁ〜って気はするわけですよ。だけど、やっぱりプロレスにはプロレスの面白さがあって、プロレスのいい試合はありますからねぇ。8月の両国でG1クライマックスをやった時なんか「ああ、やっぱりプロレスのほうが凄いんだな」って、僕は感じるわけですよ。だから、その繰り返しです。だって、プロレスは危ない、なんとかしなきゃいけないって言ったって、何もかもがそんな危機になってるわけじゃないんですから。

――両国のG1クライマックスはそんなに凄いんですか、へえ〜。でも、僕なんか外から見てると、『プライド』に対してはプロレス界がアレルギー反応を起こしていて、プロレス記者の中でも無意識に遠慮してあまり載せないようにしているのかなぁと思ったんですけど。

金澤　あ〜、それはないですね。良かったら、どんどん載せますよ。もちろん、プロレスラーがらみですよ。だって、藤田にしてみれば、やっぱり新日本の看板を背負ってるわけだし、まあ僕の友達だし（笑）。そりゃあ、藤田が勝てば僕も嬉しいわけですよ。たぶん、新日本のファンというのは、特に藤田のファンじゃなくても、やっぱり『プライド』っていうジャンルでどんどん闘ってることには凄い興味がありますからね。興味の対象としては、やっぱり藤田は最高ですから、載せますよね。かといって、じゃあ普段の藤田をオフの時に取材するかって言ったら、しないわけですけど（笑）。

――それは、つまり他のプロレスがどんどん動いているからですか？

金澤　そうですよね。プロレスラーのオフの取材は多いけれども、やっぱり藤田の取材をしようっていう気にはならないですね。彼は「取材してくださいよ」ってよく言うけど（笑）。まあ、そうだなぁ、ヒマだったらやりますけどね（笑）。

――ひ、ヒマだったら（笑）。

金澤　悪いけど、一言で言えば「藤田に構ってるヒマねぇんだよ、俺」って。藤田は「冷たいですねぇ」って（笑）。

――はあ〜、さすがだなぁ、金澤さん。

金澤　やっぱり彼らは試合をしてナンボなんですよね。試合して彼らの闘いを載せることに価値があるんで、『週刊ゴング』にプライベートの藤田はいらないんじゃないか、と。

――まあ、金澤さんのお考えはだんだん分かってきましたけど、その〜、長州さんは『プライド』をどう思ってるんですかねぇ？

金澤　いやぁ、邪魔だなと思っているんじゃないですか。困ったもんだな、と。それが長州さんの定義付けである「出来事」っていう言葉だと思うんですよね。『プライド』というのは出来事だよって。忘れかけた頃にポンとある。そん時は盛り上がるけども、また忘れる頃にポンっと興行を打つものなんだ、と。だから「出来事」は脅威にならないって言うんですよ。「脅威になるなら、ウチから選手を派遣することなんて有り得ないんだから」という言い方ですよね。

▲小川に厳しい金澤編集長も、佐竹戦実現は評価していた。「とにかく、どっちが勝つか、なんで勝つかなんて興味ないけど、1回で終わらせてほしい」

—脅威じゃないから、石澤選手を出してきたんだ。

金澤 そう。どういう形であれ、石澤を出すということは、まだそれは脅威とは感じてないよっていう。「出来事」っていう言葉は、最近ではあの人の名セリフだと思うんですけどね。それを読んだプロレスファンは「ああ、そうなんだ」って安心したいわけですよ。

—金澤さん的にも『プライド』は「出来事」だと。

金澤 ところが、「出来事」で済まないんじゃないかとなってきたのが、今回の石澤の敗戦ですよ。あれは、「出来事」で片づけられないでしょうね。

—いいですねぇ（笑）。熱く語ってください！

無責任に言えば、新日本を離れて石澤にもう1回やってほしい

金澤 たとえば石澤があぁいう形で負けたわけですよ、うん。で、負けた翌日ですけど新日本の某フロントの幹部と話した時に「いやあ、石澤は負けちゃいましたね」って言ったら、その人は「まいったなぁ。やっぱり練習期間が短かすぎたし、ちょっと甘く見てたな。新日本の敗戦だよ」って言ってたんですよ。僕はこれを聞いて、なんとも潔い言葉だなぁと。

—はあ～、それは潔いですねぇ。

金澤 うん、べつに石澤は新日本の代表じゃないんだけど、やっぱり新日本のレスラーとして出て負けたっていうのは、新日本プロレスの敗戦なんだよって。それくらいちゃんと捉えてるわけですよ。

—で、石澤に関して金澤さんはどうしたらいいと思うんですか？

金澤 現実問題で方向性をどうつけるかって言ったら、まず新日本プロレスは早急に石澤をもう1回『プライド』に上げることはないでしょう。ないというのは、1回限りという約束で派遣したわけですからね。で、もう一つには、早急にたとえば年内とかに上げても、練習期間がなさすぎるから、逆に勝ち目は薄いだろうと。で、2回続けて負けたらヤバイよっていうのもある。それこそ団体の沽券に関わるから、それもないでしょう。でも、じゃあ、石澤個人がどうしても出たいと言うんであれば、一つの方法は新日本プロレスを辞めることでしょうね。

—金澤さんまで、「新日本を退社せよ」と！（笑）。

金澤 うん、だから契約は毎年1月に更改ですからね。そこで新日本を辞めて、それなりの立場をとって『プライド』に出るか？ あるいはもう一つ残された可能性としては、会社側と話し合って、1年間の期間を与えてもらって、もう一度やらせてもらうというね、特別待遇してもらうしかないですよね、うん。

—金澤さんはどっちが見たいですか？

金澤 う～ん、無責任に言えば、新日本を離れて、もう1回やろうという石澤を見たい気はしますけどね。

—オオッー！ それは凄い。で、石澤選手はなんて言ってるんですか？

金澤 ヤツはしゃべらないですから。

—ええっ？ 金澤さんのような人にもしゃべらないんですか？

金澤 ヤツが本心を語る人間は非常に少ないですね。斎藤彰俊くらいじゃないですか。だから、石澤とは月日が経って、僕も一応編集長になって、ヤツもそれなりに知名度が上がると、昔みたいにはいかないですよね。お互いに仕事の話になると遠慮しちゃうし。僕としてもヤツに「イッシ～、頼むから取材させてくれ～」というのが嫌なんですよ。

—はぁ～、僕はすぐに声をかけそうだったので気をつけます（笑）。

金澤 というのは、やっぱり若手時代と、僕が自由に新日本の担当をやっていた時は、そういう友情があるんですよ。そん時にはお互いなんでも語り合えたわけですよ。もう彼から「本当はこういうことがしたい」とか「パンクラスに行きたい」みたいなことを昔、酒飲みながら聞いたこともあるしね。そん時は話ができましたよ。でも、今はお互いに仕事に結びついちゃうから、アイツに「取材は勘弁してください」って言わせたくないし。

—はぁ～、そういうスタンスは絶妙ですね。さすが、金澤さんは現場の人ですね（笑）。

金澤 だから、長州さんのインタビューなんかもそうですね。そろそろ溜まってるなっていうタイミングですからね。

—ああ、あの長州―金澤の名勝負数え唄にも、そういう「あ・うん」の呼吸があるわけですかぁ。あれ、本当に面白いですよねぇ。

金澤 そうですね。なんか言いたいんだろうなぁっていうタイミングとか、あとは今週何もないなぁ、しんどいなという時にできるかなっていう感じで、無理矢理そこにもってくる場合と……。

—でも、長州さんにインタビューできるのって、世界広しと言えども、「おい、金澤」さんくらいですもんねぇ（笑）。

金澤 いや、ちゃんと申し込めば……。

—そうですか、僕にもできますかねぇ。でも結構、難しいらしいじゃないですか。

金澤 本人は面倒くさがりなんですよ。ほら、業界以外の人だと気を遣わないといけないじゃないですか。だから、面倒くさくなって「謝礼は１００万」なんて、（笑）。あの人は金に汚くない人だから、適当なことを言ってるらしいんですよね。本当は一切謝礼とか受け取らないんですよ、昔から。

—へぇ～。そうなんですか。

猪木さんが『プライド』にいるのは新日本的にも健全ですよ

金澤　とにかくマスコミ嫌いですからね、昔から。最初は一番怒られてたのは僕なんですよ。とにかく、そばに寄っただけで「あっち行け」ですからね。フラッシュたいたら怒るし、寄っていっても「何も話すことはない」、控室に入れば「出て行け！」ですからね。その「出て行け！」もホントに機嫌が悪い時はただの「出て行け！」じゃないですからね。ホント怖いですよ。

――それでも挫けずに。

金澤　挫けずというか、業界入ったばっかりだから嬉しいんですよ、怒られると。ま～た怒られちゃったみたいな（笑）。で、長州さんも便利な人間を1人作るわけですよね。やっぱり、年上のベテラン記者に当たるわけにもいかないじゃないですか？　それでみんなで控室に入っていった時に、1人やっぱり標的というか、生け贄が欲しいわけですよ。そうしたら、幸か不幸か僕が最初に目をつけられて、よし！　こいつでいこうみたいになったんでしょうね。タオル投げる時も、本当に僕に見事に当たるんですよ。コントロールいいですよぉ（笑）。

――ははは……。で、その長州さんに対して、猪木さんがこの前、成田空港で強烈に批判したじゃないですか。時代に乗り遅れてるって。それについてはどう思ってるんですか？

金澤　猪木さんは凄く冷静に見ているところと、あとは自分が主役じゃなきゃ済まない〝だだっ子〟みたいなところがありますからね。だから、「新日本と全日本の対抗戦が面白くない」って言うのは、自分がまったく関わってないからですよね。それがたとえば猪木さんが関わって、猪木コミッショナーの元に、健介VS川田が闘いましたって言ったら、猪木さんはたぶん「凄ぇ試合だった」って言うと思うんですよ。

――んあ～っ！　今、目から鱗が落ちました（笑）。じゃあ、やっぱり猪木さんが関わっても、この前の川田対、誰でしたっけ？

金澤　健介ですねぇ。

――健介さんとの試合は変わらなかったわけですか？

金澤　べつに試合は変わらないでしょう。

――そんなもんなんですか。

金澤　それはべつに変わんないですよ。変わりようがないですよ。

――変わりようがない（笑）。逆に言うと、『プライド』に猪木さんが関わることで、『プライド』は変わってません？

金澤　う～ん、なんて言うんだろう。プロレスっぽさは感じますよね、凄く。で、藤田なんかにも「猪木イズム最後の継承者」っていう凄まじい名前もつくじゃないですか（笑）。

――金澤さん的には、そりゃあないだろうって感じですか（笑）。

金澤　いや、世間一般的に言えば素晴らしいキャッチフレーズになるんでしょうね。僕にしてみれば、笑い話のネタになるんですけど（笑）。藤田としゃべっている時も「さすが、お前は猪木イズム最後の継承者だ」って笑うんですけど（笑）。まあ、藤田はあまりプロレスラーとしての実績がないんで、そこに猪木さんの冠を頂いたんですから、これは儲けものですよね。だから僕は藤田に「営業用・猪木イズム大爆発だなぁ」って言うと、アイツ笑って、「失礼なこと言わないでください」って（笑）。

――はははは。じゃあ、その猪木さんが『プライド』のプロデューサーに就いていることについては、金澤さん的にどう思ってますか？

金澤　僕はむしろ、猪木さんが新日本に関わらないほうが健全だと思いますよ（笑）。新日本にとっては、猪木さんが新日本以外のことに夢中になってくれたほうがありがたいんじゃないですか？　ただそこで新日本の選手を『プライド』にブッキングしようとすると、ひと悶着起きるわけで。だから、猪木さんが『プライド』に夢中になることは、新日本的にもいいことでしょう。

――ええっ～、そうなんですか。またまた目から鱗が落ちました（笑）。

金澤　いや、そのほうが新日本はいっぱいできることがあるわけですよ。猪木さんが離れているから、全日本ともうまくいくわけですよね。猪木さんが出てきたら、馬場元子さんは引きますよぉ。猪木さんが引いてるからこそ、元子さんもそれなりに対抗戦をやろうという気持ちになったんだと思いますよ。たとえば、今後仮に新日本がノアと対抗戦をやるとしても、猪木さんが出てきたら三沢社長も引いちゃうでしょう。

――んあ～。それはちょっと分かりますねぇ（笑）。

金澤　猪木さんは魔物ですよね（笑）。

――でも、『プライド』は実にうまくやってますよねぇ。

金澤　そうですね。やっぱり『プライド』は猪木さんを満足させるというか、うまくくすぐってますよね。西武ドームでもあの入場とか、やっぱり気分いいですよ。

――そういうのを見て、金澤さんはどこか寂しさはないんですか？

金澤　ああ、健全ですよね。

――へぇ～、そういう感じなんだ。じゃあ、その猪木さんがらみで小川VS佐竹の試合が決まりましたよね。それについては、どうですか？

金澤　最近、小川を批判すると、インタ

▲初めて行った『週刊ゴング』の編集部はとてもキレイなところだった。『週刊プロレス』の編集部（今は知らないけど）より、全然キレイです

佐竹VS小川戦については、小川の決心は評価したい

ーネットでの批判が凄いんですよ。なんか身の危険を感じるので、小川のことはちょっとホメようかなぁと（笑）。

——そんなに凄いですか？（笑）。

金澤　なんか、見てないけど凄いらしいですよ。プロレスラーから「レスラーより金澤っていう名前がたくさん出てますよ」って言われるくらいですから。

——はぁ～、やっぱりオーちゃんは人気あるんですねぇ。

金澤　人気はないと思うんですけどね。

——あ、ない（笑）。

金澤　どうなんだろうなぁ。僕の批判が割りと理詰めでイヤらしいから、ファンは悔しいんでしょうね。

——へぇ～、イヤらしいんですか？

金澤　うん、逃げ場をなくしちゃうから。だけど、今回小川が佐竹とやると決めたことに対しては、よく決心したなと。これは非常に評価しているんですよ。

——いやぁ、僕もそうですそうです。

金澤　よくぞ、決心したと。本当はやっぱり乗り気じゃなかったと思うしね。それに佐竹VS小川戦というのは、空手VS柔道ですか。凄くくすぐるものがありますよね。2人ともそれなりに頂点を極めてますから。結構、プロレスじゃないけど、ビッグマッチだと思いますよ。ただし、僕が言いたいのは、勝負がどう転んでも1回にしてほしいということです。何回もやるのは、やめてほしいですね。

——でも、『週プロ』も『ゴング』も佐竹VS小川戦発表については意外とページは少なかったですよね。

金澤　ウチは2ページですけどね。でも、そんなことはないですよ。たまたま今週は『週プロ』が橋本でやってくると分かっていたんで、こっちも橋本がらみで何か作んなきゃなぁと思っただけで。もし、そういうのがなかったら、表紙でもいいかなぁと思いましたよ。

——ああ、そうなんですかぁ。でも、金澤さんって、オーちゃんに厳しいですよねぇ。でも、もったいないと思いません？　あれほどの素材なのに？

金澤　うん。だから『プライド』をバンバンやるんだったら、今の路線でも構わないと思うんですよ。ちゃんとビジネスとしてブッキングをきちんと決められる環境があれば。でも、プロレスのリングに常時上がっていくんだったら、根本的なところを直さないといけないでしょうね。

——根本的なところってなんですか？　僕もよく知らないんで、教えてほしいんですけど。

金澤　まずプロレスというのは、簡単に身につかないですからねぇ。何試合もやれば未熟なものは必ずボロが出るんですよ。たとえば小川はグローブをつけてリングに上がりますよね。でも、プロレスは基本的に素手ですからね。じゃあ小川はなんでグローブをつけるのかと言ったら、パンチを出すことでプロレスの技術を補ってる気がするんですよ。彼がグローブなしでそれなりの試合ができたら、やっぱりプロレスラーだなって思いますけどね。

——金澤さんは小川にはプロレスラーとしてやっていってほしいんですか？。

金澤　いや～、改心して今からプロレスをやっても、北尾みたいに毒気を抜かれちゃったら、これも小川の魅力がなくなるしね。北尾も何度も暴走したんだけど、結局、居場所がなくなって非常に謙虚な人間になったわけじゃないですか。そうなると、今度は北尾に魅力がなくなっちゃいましたからね。だから、小川が新日本で今の状態から上がったら選手に反発を食うわけですよ。で、プロレスってどっから始まるのって言ったら、道場の合同稽古に来なさいっていうことになるんですよ。移動も一緒で、そういう規律は守れないでしょう。そうなるとやっぱり、小川はVTならVTをしっかりやるしかないんですよ。橋本が「いずれは闘う」って、なぜそういうことを言うかというと、小川の居場所はこのままだとなくなって、新日本に戻るしかないよって言いたいんだと思うんですよ。その気持ちは凄く分かる。

——いやぁ、そんなに追い込んじゃってるんですか？

金澤　ちょっと追い込まれてますよね。だってヒクソン戦もどうなんですか？　難しいでしょう。

——いやぁ、僕はちょっと分からないですけど。では最後に、金澤さんにとって格闘技雑誌ってどう見えてるんですか？

金澤　いや、格闘技雑誌があるおかげでプロレスに専念できて、ありがたいなぁと。余計なことを全部やってくれるというか（笑）。逆に言ったら、プロレスのほうもどんどんつまみ食いしてほしいですよね。

——さすが、余裕ですねぇ（笑）。

金澤　だって、『ゴン格』なんて、桜庭と藤田ばっかりじゃないですか？　それって、いかにスターがいないかって感じがしないでもないんですけどね（笑）。

——はぁ～（笑）。でも今日はプロレスのことをいろいろ教えていただいて、ありがとうございましたぁ。逆に格闘技のことだったら第一人者の僕がなんでも教えますから、いつでも聞きに来てください。

金澤　いや、熊久保に聞きますから結構です（笑）。

——んあ～っ！

■

中西学の「P4メッセージ」！

▲金澤編集長に伝授された中西学の「P4メッセージ」のポーズ。それがどういう意味かよく分からないけど、勉強になった

PROFILE

1961年12月13日生まれ（生年月日はモーリス・スミスと同じ。星座はなんと長州力と同じ）。北海道帯広市出身。84年3月、青山学院卒業後、2年間のフリーターを経て、『週刊ファイト』の記者となる。89年11月に日本スポーツ出版社に入社。『週刊ゴング』で8年間新日本プロレス番記者を務め、今年1月より編集長に就任。新日本プロレスの現場監督・長州力から"おい！金澤"と呼ばれるほど人望も厚い、現在最前線を突っ走る業界人。

シリーズ PANCRASE REBORN
新生パンクラスの男たち Vol.6

今回登場するのは、東京道場の石井大輔。10・31後楽園大会で『パンクラスVS和術慧舟會/RJW連合軍』の団体戦で大将を務めるなど、大器として期待される石井だが、実はパンクラスに入門するまで、格闘技のことをほとんど知らなかったという……。

構成◎橋本宗洋

「もう少し先に闘いたい人がいます。名前は出せないけど、凄く意識している」

石井大輔 “格闘技歴わずか3年のエリート”

◀今年1月の後楽園大会で、RJWの矢野倍達を6秒でノックアウトした石井。「デビュー戦のつもりだった」と言うこの試合が、選手として大きな分岐点だったようだ

〈アイスホッケー〉

格闘技とかプロレスって、ほとんど見たことがなかったんですよ。小学校6年の時からずっとアイスホッケーをやってて、それ一筋でしたね。大学1年のシーズンが終わるまで、ホッケーのためにカナダに留学もしてました。ボクシングはちょっとやってたことがあるんですけど、それもホッケーの乱闘用ですから（笑）。格闘技で覚えてるのは、第2回のUFC。カナダにホッケーの合宿で行ってた時に、向こうの奴が「日本人が出てるから見てみろよ」ってビデオを見せてくれたんです。ちょうど市原（海樹）選手がホイスに負けた試合で。それが凄いインパクトがあったんですよ。

〈パンクラス入門〉

パンクラスに入門したのは97年の9月、20歳になる直前でした。ホッケーで「今より上に行くのは難しいかな」と感じ始めてた頃で、個人競技をやりたいと思ってたんですよ。そういう時に「広尾にパンクラスのアマチュア道場ができたらしい」っていう話を聞いて「広尾だったら自転車で通えるな」って思って（笑）、見学に行ったんです。でも一般のクラスより、もっと本格的にやりたかったんですよね。そしたら「4日後に入門テストがあるから」って聞いて、いきなり受けました。入ってからも、体力的な部分はまあ、なんとかなったんですけど、スパーリングが大変でしたね。でもそのうち極められないコツみたいなのを覚えてきて。デビューは次の年の3月でした。入門から半年でデビューっていうのは、最短記録らしいです。あ、でも今度デビューする北岡（悟）に抜かれちゃうんですけど。だけどあいつ、柔術を2年もやってたんですよ。それに柔道もやってたらしいし。僕なんかボクシングをちょこっとやってただけですからねぇ（笑）。

〈二つのデビュー戦〉

デビュー戦はジャスティン・マッコーリーが相手でした。緊張してないつもりだったんですけど、山宮さんに言わせるとガチガチだったみたいです。印象に残ってるのは、今年の1月に矢野（倍達）さんとやった試合ですね。そうです、6秒でKOした試合です。あの時はグローブ着用になってから始めての試合で、新しいデビュー戦のつもりでした。あの試合でいい勝ち方ができたんで「格闘技の世界で上に行けるかもしれない」と思えたんですよ。努力だけじゃない部分っていうか、格闘技の神様がついていてくれてるんじゃないかっていう気持ちになったんです。

〈UFC〉

海外のUFCを生で見たのは、この間、近藤さんが出た大会が初めてです。凄く影響を受けましたね。試合そのものはもちろんなんですけど、選手の格闘技への取り組み方っていうか。近藤さんみたいにストイックにやってる人もいるし、逆に外国の選手なんかは他に仕事を持ってる人も多いじゃないですか。昼間は仕事して、夜に練習してっていう。新鮮でした。「こういうアプローチの仕方もあるのか」って。え、それが普通？　あ〜、そうかもしれないですね。僕、ホッケーにしろパンクラスにしろ、スポーツが中心の生活をずっとしてきたんで。そうか、僕のほうが普通じゃなかったんだ（笑）。

〈外の舞台へ〉

UFCは僕も出てみたいです。外のリングに凄く興味があるんですよ。パンクラスの選手は闘うよりも、仲間っていう意識が強いので、パンクラスという一つのチームとして、外の舞台に出ていくっていう形がベストですね。そういう意味では、10月の試合は他団体との対抗戦なんでいいですよね。そういうやったことのない人と闘いたいですから。ただ、相手がアマチュアだから負けられないとか、団体戦の大将だから勝たなきゃいけないとか、そういう気持ちはないです。どんな相手でも負けたくないっていう、それだけです。ライバルも、今はいないですね。ただ、もうちょっと先に闘いたい人はいます。お互い、特に僕がレベルを上げてから、あと1回だけやりたい。今は名前は出せませんけど、その人のことは意識してますね。■

PROFILE

◎いしい・だいすけ…1977年9月29日、東京都渋谷区出身。身長183センチ。パンクラス東京道場所属。小学校6年からアイスホッケーを始め、カナダにホッケー留学の経験もあり。97年9月にパンクラス入門、98年3月にジャスティン・マッコーリー戦でデビュー。今年1月、RJWの矢野倍達と対戦、6秒でKO勝ちを収め、話題を呼んだ。芸能プロダクションの太田プロに所属、俳優のタマゴとしての顔も持つ。

DAISUKE ISHII

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX
スペシャル・リング・サイド
No.33 11・9号

CONTENTS

表紙デザイン◎梅村あゆみ

関西の新日ファンがPRIDEに民族大移動

10・31大阪に行けっ!

でもチケットはもうないよ（笑）

出席者◎ターザン山本
サダハルンバ谷川
“Show”大谷泰顕（授業参観のため欠席）
司会◎柳沢忠之（本誌発行人）

谷川　山本さん、すいません。今日はShowがいません。

山本　欠席か？

谷川　どうやら授業参観らしいんです（笑）。

山本　授業参観～？

――ガッハハハハ！

谷川　彼も父親になる身ですからね（笑）。

――いきなり飛ばすな、あいつも（笑）。あの黒ずくめの伝書鳩ルックで小学校に行ってんのかな？

山本　そんなの犯罪ですよぉ。出入り禁止だよぉ。

――絶対に子供がグレると思うけどなあ（笑）。

山本　仲人の俺に無断で座談会を欠席するなんて、失礼ですよぉ。

――ぷぷぷぷぷっ。

谷川　ということで、今日は山本さんの独り舞台ですから、よろしくお願いしま～す。

山本　おい、谷川っ！　お前には「尊敬の念」というものがないのか？　いっつもこんな貧乏くさい会議室に俺を閉じ込めて、適当にしゃべらせとけばページが埋まるとでも思ってんだろっ！

谷川　い、いえいえ、滅相もございません。

山本　少なくとも2カ月に1回くらいね、しゃぶしゃぶの席を設けたりしてやらないと、テンション上がらないよぉ！

――ぷぷぷぷぷぷっ！

谷川　そ、そうですね。

山本　少しは俺を慰労しろよぉ！

――慰労！（笑）。

山本　いいアイディア持ってるわけよぉ、俺は。

谷川　おっしゃるとおりで。

山本　たとえば、試合レポートなんかで

も、俺は革新的なアイディアを開発したんだよぉ。

——出た！（笑）。

山本　それはしゃぶしゃぶじゃないと、しゃべらないよぉ、俺は。

——相変わらず絶妙なたかりですねぇ（笑）。

山本　いやぁ、そっちの姿勢を問いただしてるわけよぉ、俺は。

——いま腹減ってるんですか？（笑）。

山本　寿司屋の巻き寿司、280円のやつ食ってきたよぉ、電車の中で。

——電車の中で（笑）。

山本　わびしいよぉ。孤独ですよぉ。

——ガッハハハハ！　今度は〝泣き売〟か（笑）。

山本　ホントにさぁ、谷川ぁ、2カ月に1回くらいでいいんだよぉ。

谷川　や、やりましょう、やりましょう。

——孤独な老人を助けると思って（笑）。

山本　やらないと、いいアイディアが出ないしさぁ、家出る時に、またあの部屋に行くのかと思ったらさぁ、気が滅入るよぉ。

——ダッハハハハ。

山本　「今日はしゃぶしゃぶの席を用意してます」って言ったら、3倍くらい面白い話になるんじゃない？

——フカヒレだったら？（笑）。

山本　5倍ですよぉぉぉ！

——ガッハハハハハ！

山本　分かればいいんだよぉ。で、今日は何？

谷川　今日はどうでしょうか、佐竹VS小川戦で。

山本　いやあ、俺は今日はね……。

谷川　なんか違うテーマでやりますか？

山本　今日来る時に東スポ見たけどね。俺はやっぱり猪木は、完全に野に下ったというかさぁ、野党に回ったと思うんだよねぇ。

谷川　ああ、インタビューですね。

山本　新日本を批判してるわけよぉ、2紙で。これはやっぱり時代のキーワードですよぉ。猪木が完全に反主流になって、よ〜するに猪木らしさが出たなという形なわけよぉ。東スポでも4つのことを言ってるんだよね。「全日との対抗戦はつまんない」。つまんないんだよ！「橋本が団体内独立したら笑い者になる」というね、こんなこと普通言わないよぉ。

——うんうん。

山本　それから「武藤もアメリカの猿マネじゃダメだ」と。「佐竹はバカをやれるから強いんだ」と。つまり、新日本を完全にもうコケにしてるわけよぉ。これはしかし、普通は言わなかったことなんだよね。俺たちが言ってることだったんだけど……。

谷川　そうですね、山本さん化しましたね。

山本　そうそう。

——猪木さんがターザン化（笑）。

山本　いや、つまりアントニオ猪木も新日本プロレス廃除論の中で、完全に野に下ったわけよぉ。よ〜するに反主流に回って野党に回ったから、こういうことを言う、シュートできるようになったわけね。それで、新日本以外の佐竹のことを誉めてるわけでしょ。これは完全にもう、猪木さんはこっち側に入ってきたよぉ。

——ガッハハハハ！

山本　うん。猪木さん、こっち入ってきた、ついに！

——手中に収めたんだ（笑）。

山本　そう！　猪木さんはよ〜するにこういうこと言いたくても、ポジションとして、ポーズとして、絶対に新日本に足

緊急 後の祭り 座談会

猪木さんがついに新日本をシュートした！ 完全に排除されて野に下ったわけよぉ

を突っ込んでたわけよぉ。だから、こういうこと言わなかったわけ。で、完全に廃除されたから、もう『プライド』一本にかけて言わざるを得ないという形で、よ〜するにさぁ、シュートしたんだよぉ。事件ですよぉ、これ。

谷川　そうですよね。

山本　バンバンバンッ！（机を叩く音）。これこそ俺たちが求めていた猪木ですよぉぉぉ！　遅すぎたよぉ。

——ダッハハハハ。野に下るのが遅すぎた（笑）。

山本　すでに俺がもう言ってるんだから、こういうことは。

——まあ、山本さんのほうが野に下ったのが早かったですからね（笑）。

山本　そうそう（笑）。俺のほうが4年廃除されるのが、早かったわけ。

——相変わらずの「俺が俺が」体質ですね（笑）。

山本　よ〜するにこれは、全日本との交流戦とか、橋本や武藤のこととか、新日本の全面否定なんだよねぇ、うん。これがマット界を今ダメにしている最大の原因であるということを、猪木の側からさぁ、かつての新日本の盟主の側から出たというところに、ホントに言わざるを得ないというところまで、猪木さんも追い詰められてるわけよぉ。だから野に下ったわけですよぉ。

——まあ、野に下ったということはファン側に立ったということですね。

山本　そうそうそう。俺たちの側に立ったということですよぉ、ついに。今まではどうしてもやっぱりさぁ、まだ遠慮があったわけよ、新日本に。その新日本との接点とかいろんなことを考えると、ここまでは言えなかったわけ。それがもう、新日本外の人間になっちゃったんだねぇ。これは大事件だよぉ。

谷川　大事件なんだぁ。

山本　だから、これを言ってしまったことによって、ますます猪木＝『プライド』、『プライド』＝猪木という構図ができあがったわけよぉ。

谷川　猪木プロデュースは大爆発してますもんねぇ。大阪も異常人気らしいですよ。

山本　でしょ？　大阪と言えば新日本の地盤だったのに、その新日本のファンが全部『プライド』に鞍替えしてるというかさぁ、民族大移動を起こしてるんだよねぇ。まして東スポの1面にね、IWGPのトーナメント、日本選手権、ちゃんちゃらおかしいよぉ、そんなもん。誰がそんなもん日本選手権なんだよぉ。

——天龍、蝶野、橋本、健介、川田、武藤、中西、天山（笑）。

山本　誰もこんなもん日本選手権なんて認めないよぉ！

谷川　でも、10・9の東京ドームはどうだったんですか？　僕はほとんど知らないんですけど。

山本　あの〜、10・9はね、ひとことで言うと、猪木がいない東京ドームをやってしまったという。猪木を廃除したわけよぉ。おまけに全日本と新日本の対抗戦なのに、そこに馬場がいないんだよぉ。

——そりゃいませんよ（笑）。

山本　世間ではこれだけ〝ON〟が盛り上がってて、昭和という時代、よ〜するに20世紀という時代を象徴するプロ野球の〝ON〟が、野球という世界で一つの夢と幻想を最後の形でふくらましてるわけでしょ。それなのにマット界の昭和史を飾った、戦後を飾った、20世紀を飾った〝BI〟が、廃除されてしまったわけよぉ、10・9で。これは完全にもう時代

遅れも甚だしいというか、もうやってることが鈍感すぎるというか、もう、長州の罪悪の極致だよぉ、これ。

——ダッハハハハ、長州の罪悪なんですか？

山本 罪悪ですよぉ。こんなミレニアムのさ、みんながそういう気分に浸ってる時に、"BI"という"ON"に匹敵するものを廃除してしまったわけでしょ。こんなものでマット界が21世紀につながるはずないよぉ。21世紀への連続性を切り捨ててるようなもんだよぉ。だから、10・9は猪木・馬場の作り上げてきた幻想を掃き捨てた興行だよっ！

——掃き捨てた（笑）。

山本 ホンマに許せないよぉ、あれ。掃き捨ててしまったんだよぉ！　廃棄物みたいにして。許せないっ！　これは長州力の大犯罪ですよぉ！　獄門刑！

——獄門刑（笑）。

山本 四条河原に晒しモンですよぉ、あれ。ホンマに。

谷川 なるほど。

——なるほどって（笑）。

山本 ホンマに。違う？

谷川 そうですね。

——そうですねって（笑）。

谷川 え？　違うの？　時代性がないってことですよね？

山本 幻想がないってことですよぉ。

谷川 あぁぁ、幻想かぁ。

山本 それはね、たとえば10・9の試合が終わってファンが出てくるでしょ。ドームから出てきた時にプロレスの話してないんだよね、ほとんど。

——はぁ〜。

山本 よ〜するに極端な言い方すると、同じドームであったジャニーズJrのファンがパッと出てくるのと同じ感覚なんだよぉ。つまりっ！　会場に生でライブで参加したら、それを末永く記憶化さして、熟成するという行為、それがプロレスなんだよねぇ。そういうものがなくて、単にイベントというか、よ〜するに一過性の遊びというか、テーマパークみたいな、アミューズメントパークみたいな感じの中の出入りでしかないわけよぉ、ジャニーズJrは。あれと10・9ドームのファン層、観客が非常に相似形というか類似形になってるわけですよぉ。でもそうしたら、もはやプロレスじゃないということだよねぇ。

10・9はBIの幻想を掃き捨てた興行だよぉ
これは長州力の大犯罪ですよぉ！

——そういうことですね。

山本 こうなるともう、プロレス的言語とか、プロレス的思考、プロレス的見方、プロレス的記憶力、プロレス的発想とか、そういうちょっとややこしい、世間とは違った言語体系みたなものが、なくなるということなんだよぉ。よ〜するに、それが出せない人間が、川田と健介なんですよぉ。その2人が闘うっていうのは象徴的なわけですよぉ。あれが天龍とか長州とか藤波とかが出てくると、その長州のイメージ、天龍のイメージ、藤波のイメージが、目に見えない幻想として際立つわけでしょ。だから、昭和ファンの間であの日の藤波が良かったというのは、藤波的な幻想がプロレス的な匂いと香りと雰囲気とを持ってるわけですよぉ。そこですよぉ！

——そこですよね。

谷川 で、客は入ったんですか？

山本 えっ？

谷川 客は？

山本 客？　……入った。

谷川 入ったんだぁ。

山本 入ったのは、外側から入るわけ。安い席から、ぶぁわ〜っと。よ〜するに遠心力が強かったわけよぉ。毎日、新日本と全日本の交流戦を新聞が報じてるでしょ。そうすると何も知らない人が、これ凄いことなんだな、面白いことなんだ、行こう、と。非常に表層的に届くわけよぉ。でも俺たちはもう28年間、新日本と全日本を見てるから、その記憶の中からいうと、この交流戦はペケなわけですよぉ。NGなわけよぉ。ただ何も知らない、プロレスを知らない人達が外野席をもの凄く埋めてたわけ。彼らにとっては一般スポーツ紙で盛り上がってる、報道されてる部分で、ちょろっと見に行ったんだよねぇ。

谷川 マスコミはどう捉えてるんですか。

山本 マスコミは仕方なく盛り上げてるわけですよぉ。本人たちも「これはあんまり面白くないな」と思ってるわけよぉ。でも商売としてやらなきゃいけない。業界でメシ食っていくには、自分の理性的判断を越えて、ビジネスとしてこの交流戦を盛り上げなけりゃいけないという、よ〜するにハッキリ言ったら、心がイレギュラーしてるわけよぉ。専門誌の記者もみんな分かってるわけよぉ、つまんないなっていうのは。

谷川 なるほど、なるほど。でも仕方なく伝えているのに、よく満員になりますね。まだ東京ドームが。

山本 やっぱり新聞の遠心力は凄いわけよぉ。だって翌日の新聞はみんな川田のストレッチプラムが一面だもん。駅売りのスタンドが全部。

谷川 ああ、ああ、なってましたよね。

山本 そうすると、凄いんだなと思うじゃない、みんな。そういう形での量的な観客動員をやってるわけよぉ。猪木さんはあの人はホント、どマイナーな人だからね、やってたプロレスは。どマイナーな求心力に俺たちは惹かれたというかさぁ。それができないから長州的な、ああいう東スポと一般スポーツ新聞の遠心力

だけで観客を集めて「これでいいじゃないか」となるわけよぉ。

谷川 なるほどなぁ。

山本 でもね、プロレスがそんな甘っちょろいことやってる外的状況においては、ONの日本シリーズがもの凄く盛り上がってるよねぇ。もう1個はね、ボクシングの畑山と坂本の試合が凄かったわけよぉ。

谷川 あああ、良かったですね。

山本 めちゃくちゃ凄い！ あれ、ボクシング知らない人でも心動かされるわけですよぉ。

谷川 動かされますよね。

山本 あの試合と健介と川田の試合を比べた時に、よ～するに身体を傷つけ合うとか、ぶつけ合うとか、そういう部分では同じようなことをやってるけども、それは紙一重どころじゃなくて、決定的な部分で両者には違いがあるわけよぉ。

谷川 ああ、全然違いますよね。

山本 あれをボクシングにやられたということがプロレスの悲劇だよ！ それはプロレスに関わった人間としてはもう情けないというか、一番ね、何が凄いと思った？

谷川 い、いやあ、もう、なんて言うんですかね……い、いや、単純にその、あれですよ。

山本 また言語障害か？ お前はマスコミ失格だよぉ。言語化しろよぉ。

谷川 い、いやあ、ホントにお互いの闘志をむき出して倒し合いをやった……。

山本 フジテレビの解説聞いてるみたいですよぉ！

――ぷぷぷぷぷっ！

谷川 あれ、22％くらいの視聴率があったんですよね。

山本 だから視聴率じゃなくて、大事なのは求心力なんだよぉ。お前ねぇ、ホントに凄いものは、マイノリティーなんだからぁ。

谷川 あ、マイノリティ。

山本 つまりっ！ 一番凄かったのは、坂本が打ち合いを仕掛けてきたでしょ。で、仕掛けてきたら、普通だったら、うまくかわして料理すればいいわけじゃない。でも、坂本につきあって打ち合いに出たわけ。

――畑山がね。

山本 うん。そしたら、畑山についているトレーナーのアメリカ人が、「なんでお前はそんなリスクの高いことをするんだ？」と言って畑山を怒ったわけよぉ。テレビの中継でリポーターが言ってるわけ。「1Rが終わったインターバルに畑山に対してトレーナーが怒っています」と。よ～するに打ち合いに出るというのは危険が高いし、やられる可能性があるわけでしょ。トレーナーは「お前はチャンピオンなんだから、そんなリスクを犯す必要はないんだ」と。それがっ！ すなわち俺から言うと、アングロサクソンのバカバカしさだよぉ！

――ガッハハハハハ！

山本 損か得かで判断しているわけでしょ、アメリカ人のトレーナーは。でも畑山は、敵が殴ってきたんだったら同じ土俵に立って殴り返してやろうと。受けて立つぞ、負けないぞ、と。相手につきあえば負ける可能性が高くなるし、ラッキーパンチが当たる可能性も高くなるわけでしょ。でも、相手が打ち合いに出てきたら、俺は同じ土俵で、同じ手段で殴り合って勝負をつけてやるんだって。これが日本人ですよぉぉぉ！

――いきなり右翼モード（笑）。

山本 全てはアングロサクソンの論理に

緊急 後の祭り 座談会

畑山VS坂本の打ち合いには心動かされたよぉ アングロサクソンにはない日本人のDNAだ！

犯されてるわけよぉ！

――打ち合ってこそ日本男児であると（笑）。

山本 そう！ その心を持つことが日本人ですよぉ。それがすなわち日本人のアイデンティティー、DNAとして持ってきた精神なわけよぉ。武士道というのは、そういうもんなんですよぉ。リスクが高いと分かっていても、損得抜きで、相手がそうきたら、やるというね。かわしたりとか、すかしたりとかしないわけですよぉ。真っ向勝負！ それが美しいわけですよぉ。

谷川 なるほど、なるほど。

山本 でも、オリンピックなんか見てると、みんなアングロサクソン化してるっ！ 負けないために、負けることは絶対やらない、ということでしょ。これはビートたけしさんも言ってたけど、柔道の篠原が負けたでしょ。で、日本人だったら、武士道の精神から言ったら、あそこで金メダル獲ってもね、金メダルを返上するか何かするよねぇ。「俺は勝ってないんだ」と言って、自分のほうから言うのが日本人ですよぉ。でも、あれを知らん顔してそのままスーッと金メダルを持ってっちゃうわけでしょ。それこそアングロサクソンですよぉ。あんなものが地球上を支配したら、人類は滅びますよぉぉ！

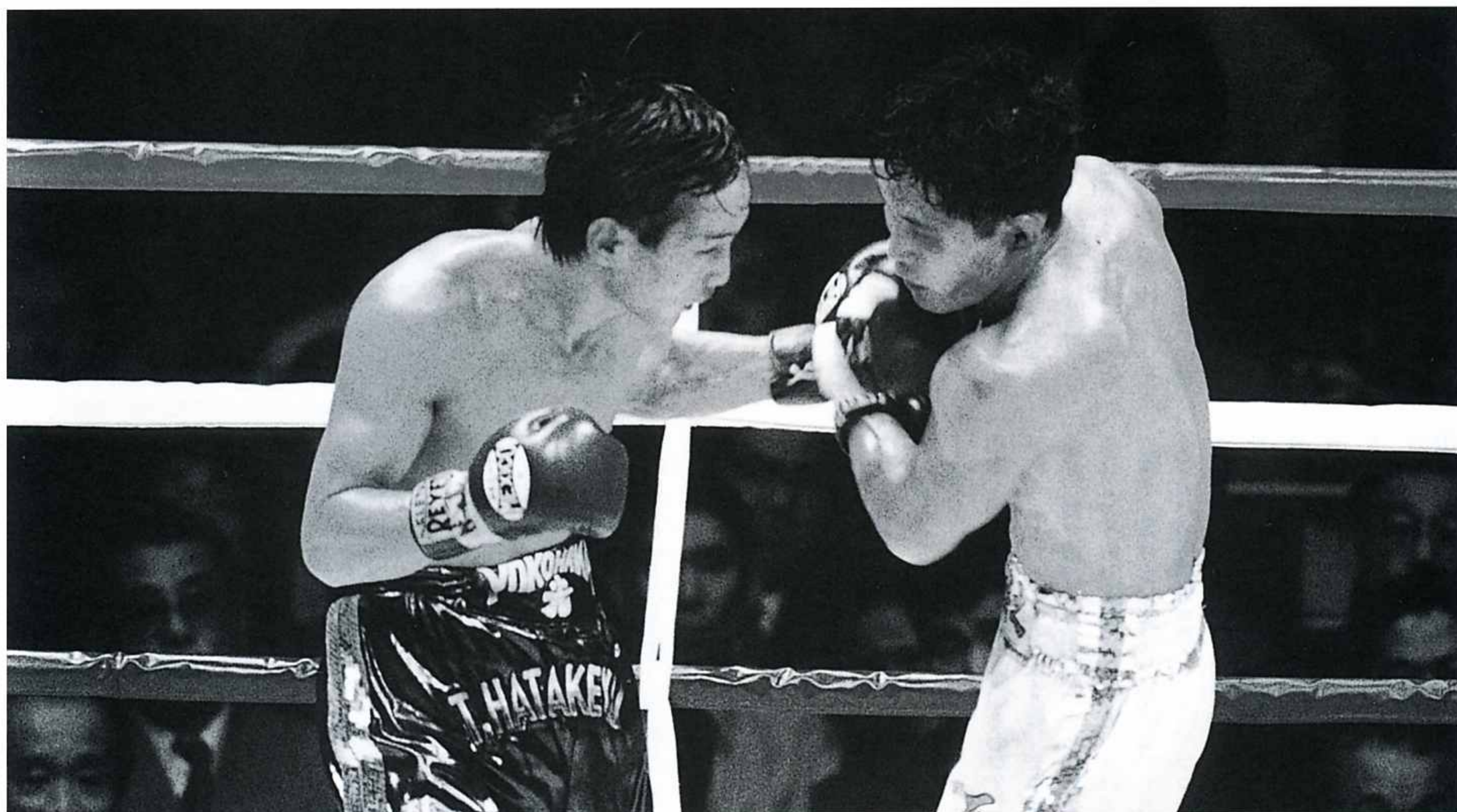
――ガッハハハハ！ しまいには「北方領土返せ」とか言いそうだなあ（笑）。

谷川 だから損得で考えれば、フランスのドゥイエが篠原に金メダルをあげたほうが、得だったんですけどね。

――日本人的な損得で言えばね。

山本 だから、たけしさんも言ってるでしょ。ドゥイエが表彰台で篠原に金メダルを肩にかけてあげたら……。

谷川 一生語り継がれるでしょう。オリンピックがある限り。

山本 アングロサクソンにそんな考えな

一期一会のもう後がないという切羽詰まった心
川田と健介にはそれがない。けがれてるよぉ！

いよぉ！

——ない（笑）。

谷川　ところで、その畑山VS坂本の試合と、川田VS健介との差はどんなところにあったんですか？

山本　ああ、それ？

——アングロサクソンに喧嘩を売る前に、答えを言ってください（笑）。

山本　よ〜するに畑山VS坂本は、両者とも完全に、心の中で「一期一会」なんだよぉ。

谷川　ハイハイ。

山本　この勝負に全てを懸ける、と。あとは何もない、負けてもいい、と。

谷川　佐々木健介と川田は、それは全然なかったんですか？

山本　彼らにはそういう一期一会のね、もう後がないだとか、ここに全てを懸けるんだとか、よ〜するに抽象的な背負ったものが見えないんだよぉ。

——ファンもみんな、1・4を想定して見てるんですもんね。

山本　そうでしょ？　そうなるともう、見る人間もね、セコくて汚染されてるわけですよぉ。ところが、ボクシングの世界選手権の場合は、もうハイリスク・ハイリターン、オールオアナッシングでしょ。負けたら終わりなんだという。そういうギリギリの切羽詰まった心が伝わってくるわけよぉ。そしたら、俺達も真剣に見ざるを得ない、一瞬一瞬を。そういう違いなんだよねぇ。なんか、川田と健介は、先のものがあるような雰囲気を感じさせること自体、もうなんか汚れてるよぉ。

——汚れてる（笑）。

山本　けがれてるよぉ。いやだよぉ、もう。

——女子高生じゃないんだから（笑）。

山本　アントニオ猪木というのは、試合に出掛ける時、誰と試合をするにしても、もうこれしかないんだという、一期一会の心が充満してたんだよぉ。フルパワーですよぉ、もう一期一会の。それが、健介と川田にはなかったもんなぁ。ただ単にチョップ合戦やっていて、身体は痛めてるけども。

谷川　ああ、テレビで見ました、そのチョップ合戦やってるの。

山本　そうでしょ。

谷川　途中で変えましたけどね。

——ガッハハハハ！

山本　やっぱり『プライド』の場合だったら、石澤とハイアンの試合。よ〜するに失うものがもの凄くあったんだよねぇ。石澤が失うものがもの凄い見えてるわけよ、その中に。それがもの凄く心動かされるんだよぉ。見てるほうも切羽詰まってくるんだよねぇ。

谷川　なるほどなぁ。じゃあ、最後にちょっと本題に入りたいんですけど（笑）、山本さんは佐竹VS小川戦はどう見てるんですか？

山本　佐竹VS小川戦？

谷川　ええ。佐竹VS小川戦って数年前では考えられないカードなんですけど、なんか『プライド』の今の勢いの中では当然のように見られてる部分もあるじゃないですか。

山本　いやぁ、ファンは個別に小川VS佐竹とか注目してないよぉ。もう『プライド』の熱ですよぉ。

谷川　ははぁ。

山本　もう具体的に個別に何を見るというより、『プライド』の全体の熱に、なんか熱狂状態なんだよぉ。

谷川　そうですね。

山本　だから前振りとして何も煽る必要

はないわけ。ただもう自主性に任してるだけで、どんどん『プライド』見に行ってるんだよね、みんなが。そこで試合が終わった時にさ、一つの答えが出るんだよねぇ。

――そういうことですね。

山本 それは予想できないわけよぉ。今まで予想できることが多かっただけで、予想できないということで、必ず行かないと、テーマが見えないという、そこに『プライド』の面白さがあるんですよぉ。

谷川 なるほど、なるほど。

山本 だからもうよ～するに、無条件で、問答無用でみんな行こうとしてるのよぉ。もし現場に行かなかったら、歴史を見逃すんだから。それを示したのが8・27西武ドームですよぉ。しまった！ というね。うん。

谷川 じゃあ、小川VS佐竹戦は……。

山本 だから俺たちがガヤガヤガヤガヤ、小川VS佐竹戦の理屈をつける必要はまったくないんだよぉ。もう、見に行くしかないんだよ。見に行け！って言ってやれ。

――誰に（笑）。

山本 なんにも煽る必要はないっ！ 行けっ！ ただ単に一言、「行けっ！」。

――ガッハハハハ。

山本 でも、もうキップないよ。

谷川 んあ～。

山本 後の祭りですよぉ。

――そんな無責任な（笑）。

山本 プロレスファンも高をくくってるようじゃダメだよぉ！ バンバンバンッ！（机を叩く音）。先行投資しなくちゃダメなんだよぉぉぉ！ それがプロレスファンだったんだから、昔は。

――そうですよね。

山本 先を争って、いい席を買うとかさぁ。押さえてかかったけど、今はもういつ行ってもさぁ、チケット売れねえから入れるだろう、買えるだろうとか、ダフ屋で安く買えると思ってるけど、違うわけよぉ。「ザマアミロ！」ですよぉ。

谷川 いやあ、ホントに今回はザマアミロでしょうねえ。

山本 だって、友達が一般発売の時にね、ぴあに電話して、その日にはもうなかったんだから、安い席が。

谷川 なかったんですよね。

山本 その時に、それを知ってバッと広まったんだよ。「今回は危ないぞ」というんで。それでみんな買い始めたんだから。これは、正常な状態に戻った。健康的な状態に。これでなきゃダメなんですよぉ。これがあるのは今はもう『プライド』だけだもん。

――昭和に戻ってますね、どんどん。

山本 だから、大阪という地盤、新日本の地盤が、完全に大移動したわけ。関西で起こるということは凄いことだよぉ。関西は30年間ね、新日本の天下だったんだから。圧倒的に一人勝ちだったんだから、うん。

谷川 関西のファンは厳しいって言いますからね。

山本 厳しいよぉ。関西はこれまで新日本の圧勝だったわけよぉ。でも今はもう、新日本が大阪ドームでやんないでしょ。客が入らないわけよぉ。で、大阪城ホールは例の海賊男の暴動事件で使えない。で、大阪府立しかできないわけ。でも、その大阪府立で新日本は今年G1クライマックスで2連戦やったんだけど、やっぱり入らないんだよぉ。まあ、それはもう微妙な形でこういうふうにさ、『プライド』に求心力を浸食されたんだよねぇ。新日本は空洞化したわけよぉ。

――ホントに今度の大阪は、今のプロレスにそっぽを向いた昔からのプロレスファンが集結するような気がしますね。

山本 いずれにしても、行くしかないんだよぉ、結論は。行って見るしかない！

――でも、チケットはないと（笑）。

山本 行って見るしかない、という俺たちファンの一期一会なんだからぁ、ハッキリ言って。

谷川 立ち見の当日券が出るらしいけど、それをゲットするのも大変そうですねぇ。

山本 今から並べっ！

――ガッハハハハ。

山本 だから西武ドームが一番いいってことだよぉ。あれが一番いい。

――あんな不便なところが（笑）。

山本 あの暑い中ねぇ、夏の終わりにさぁ。あんな遠いところまでさぁ、暑くて暑くて。よくあんな僻地まで俺は行かされたと思ったもん。

――苦労しなくちゃダメだと（笑）。

山本 そうだよぉ。そのおかげで俺は長谷川京子ちゃんという妖精と出会ったんだよぉ。

――それが西武ドーム一番の収穫なんだ

PRIDEは個別のカードというより全体の熱
煽る必要はないよぉ。ただ一言「行けっ！」

緊急 後の祭り 座談会

（笑）。

山本　俺はあの日、競馬に30万円負けてムシャクシャしてたんだけど、妖精を見て吹っ飛んだよぉ。

——ガッハハハハ！　30万円負けて妖精を見た！　山本さん、他でそんなこと言ってたら変質者扱いされますすよ（笑）。

山本　谷川はいつも妖精といるよなぁ。あぶないオヤジだもんなぁ。

谷川　いつも妖精といますよ。

山本　役得だねぇ。お前はいつもいいポジションをさらって行くんだよなぁ。

谷川　で、ちょっと事件がありまして、また繰り上がり当選ですよ。

——ダッハハハハハ！

谷川　僕は何もしてないのに（笑）。

山本　繰り上がり当選だったら川田と一緒だよぉ。全部いなくなっちゃったからトップになったようなもんじゃない。

谷川　そうなんですよ。

山本　くだらんなぁ～。

谷川　まぁ、運があるってことですね。川田にも僕にも、運がある。

山本　あちゃ～！　でも、その運にも二つあるっ！

——最後に二つ（笑）。

山本　俗世間的な運と、聖なる運ですよぉ。谷川は俗の運ですよぉぉぉ。

——で、自分は聖なる運（笑）。

山本　そういうことですよぉ。聖なる運というのは時代をひっぱったり、大衆にいいものを与えたりするわけよぉ。だから聖なる運というのは選ばれた人だけだから。谷川のは繰り上がり当選の俗なる運だからねぇ。

——ぷぷぷぷぷっ！

谷川　で、でも僕は常にコンスタントに俗なる運を持っていたいなぁ。

山本　そういう人間は常にコンスタントに、聖なる運を持った人間に対してしゃぶしゃぶを貢ぐ運命にあるんだよぉ。

谷川　んあ～っ！　■

10/26THU～11/9FRI
CALENDAR

日付	予定
10/26 THU	★『SRS・DX』33号発売日
10/27 FRI	●フジテレビ系『SRS』⬅p69
10/28 SAT	■新日本キックボクシング協会/後楽園ホール(17:15～)⬅p49 ◆LEGEND-X/チケット発売⬅p48
10/29 SUN	■アルティメットボクシング/東京・有明コロシアム(15:00～)⬅p47 ■キングダム/神奈川・青葉スポーツセンター (18:30～)⬅p47 ◆INVADE 5th STAGE/ チケット発売⬅p49
10/30 MON	
10/31 TUE	■PRIDE.11/大阪城ホール (19:00～)⬅p47 ■パンクラス/東京・後楽園ホール (19:00～)⬅p46
11/1 WED	■K-1 J・MAX/東京・後楽園ホール (18:30～)⬅p46 ◆ReMiX WORLD CUP 2000/チケット発売⬅p48
11/2 THU	
11/3 FRI	■全日本キックボクシング連盟/TOKYO FMホール (18:00～)⬅p48 ●フジテレビ系『SRS』(26:45～26:15) 放送⬅p69
11/4 SAT	■極真・全日本空手道選手権大会(1日目)/東京体育館(11:00～)⬅p50
11/5 SUN	■極真・全日本空手道選手権大会(2日目)/東京体育館(11:30～)⬅p50
11/6 MON	
11/7 TUE	
11/8 WED	
11/9 THU	★『SRS・DX』34号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

K-1

K-1グランプリ・シリーズ

遂に組み合わせが決定！
注目は、フィリォ、アーツのリベンジマッチだ!

K-1 WORLD GP 2000 決勝戦
12月10日（日） 東京ドーム

◆開場/14:30 試合開始/17:00
◆入場料/SRS席32,000円 RS席21,000円 SS席17,000円 S席11,000円 A席7,000円 B席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/キョードー東京、チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e＋（イープラス）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/K-1 GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977

K-1 WORLD GP 2000 決勝トーナメント

- アーネスト・ホースト（オランダ/名古屋大会2位）
- ミルコ・クロコップ（クロアチア/福岡大会2位）
- フランシスコ・フィリォ（ブラジル/横浜大会1位）
- ジェロム・レ・バンナ（フランス/名古屋大会1位）
- ピーター・アーツ（オランダ/石井館長推薦枠）
- シリル・アビディ（フランス/横浜大会2位）
- マイク・ベルナルド（南アフリカ/福岡大会1位）
- 武蔵（日本/ジャパン大会1位）

今年4月の大阪大会で行われた同カードでは、バンナの“逆一撃”でフィリォがKO負けを喫している。フィリォとしては雪辱を晴らしたいところだろう

7月の仙台大会、8月の横浜大会とアビディに連敗しているアーツとしては、3度目の敗北は許されないだろう。しかし、相手は勢いのあるアビディ、結果はいかに！

K-1ジャパン・シリーズ

追加カード決定！
日本人対決が実現だ!!

K-1 J・MAX
11月1日（水） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/SRS席20,000円 S席10,000円 A席5,000円 バルコニー3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e＋（イープラス）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

決定対戦カード

〈I.S.K.A.世界ウェルター級タイトルマッチ〉
ムラッド・サリ（フランス） vs 魔裟斗（日本/シルバーウルフ）

〈I.S.K.A.世界ライトミドル級タイトルマッチ〉
アレックス・ゴング（アメリカ） vs 小比類巻貴之（日本/チーム・ドラゴン）

チャモアペット・チョーチャモアン（タイ/谷山ジム） vs 大宮司進（日本/正道会館）

ラモン・デッカー（オランダ/ジム・ヘマーズ） vs 新田明臣（日本/SVG）

伊藤隆（日本/MAキック・山木ジム） vs 大野崇（日本/正道会館）

緒形健一（日本/シュートボクシング・シーザージム） vs 久保坂左近（日本/新空手・健生館）

“K－1vsMAキック”。他団体同士のぶつかり合いが遂に実現！ MAキックの伊藤隆と、K－1の大野崇との一戦は、お互いのプライドがぶつかり合う、激しい闘いが期待できる！

シュートボクシングの緒形健一は、新空手、MAキックなどで活躍する久保坂左近と激突。緒形は、SBの魅力を見せることができるか？

総合格闘技&ノールール系

パンクラス

PANCRASE 2000 TRANS TOUR
10月31日（火） 東京・後楽園ホール

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/SS12,000円 A9,000円 B6,500円 C4,500円 立見3,500円（当日券のみ） ※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e＋（イープラス）、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

菊田早苗（パンクラス・GRABAKA） vs ムリーロ・ブスタマンチ（ブラジル/ブラジリアン・トップ・チーム）

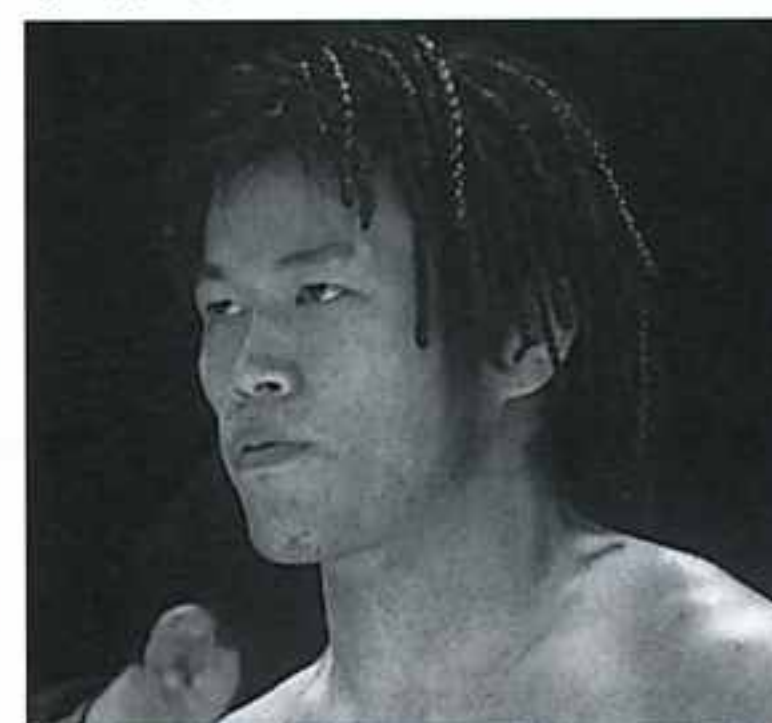
須藤元気（パンクラス・GRABAKA） vs クレイグ・オックスレー（アメリカ/B.C.I.）

〈パンクラスvs慧舟會/RJW連合軍・大将戦〉
石井大輔（パンクラス・東京） vs 久松勇二（和術慧舟會）

〈パンクラスvs慧舟會/RJW連合軍・副将戦〉
ジェイソン・デルーシア（アメリカ/パンクラス・ハイブリッド・ブドーカン） vs 平山貴一（和術慧舟會）

〈パンクラスvs慧舟會/RJW連合軍・次鋒戦〉
佐藤光留（パンクラス・横浜） vs 柴田寛（RJW/CENTRAL）

〈パンクラスvs慧舟會/RJW連合軍・先鋒戦〉
北岡悟（パンクラス・東京） vs 河崎義範（RJW/CENTRAL）

藤井克久（フリー） vs ジョニー・ハスキー（アメリカ/ハイブリッド・アカデミー）

◀7月に行われた『コンテンダーズ』で現修斗ウェルター級王者・宇野薫を破った須藤元気が、セミファイナルに登場。相手のクレイグ・オックスレーは、柔術やキック、ボクシングの経験もある強豪だ

KING OF PANCRASE TITLE MATCH ～船木誠勝引退記念興行～
12月4日（月） 東京・日本武道館

◆開場/17:30 試合開始/19:00
◆入場料/SS16,000円 RS-A9,000円 RS-B7,000円 1F-A8,000円 1F-B7,000円 2F-A5,500円 2F-B3,500円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e＋（イープラス）、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、パンクラス
◆会場アクセス/地下鉄東西線、半蔵門線、都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

総合格闘技&ノールール系

PRIDE

佐竹vs小川戦、小路vsレンティング戦他追加カード決定!!

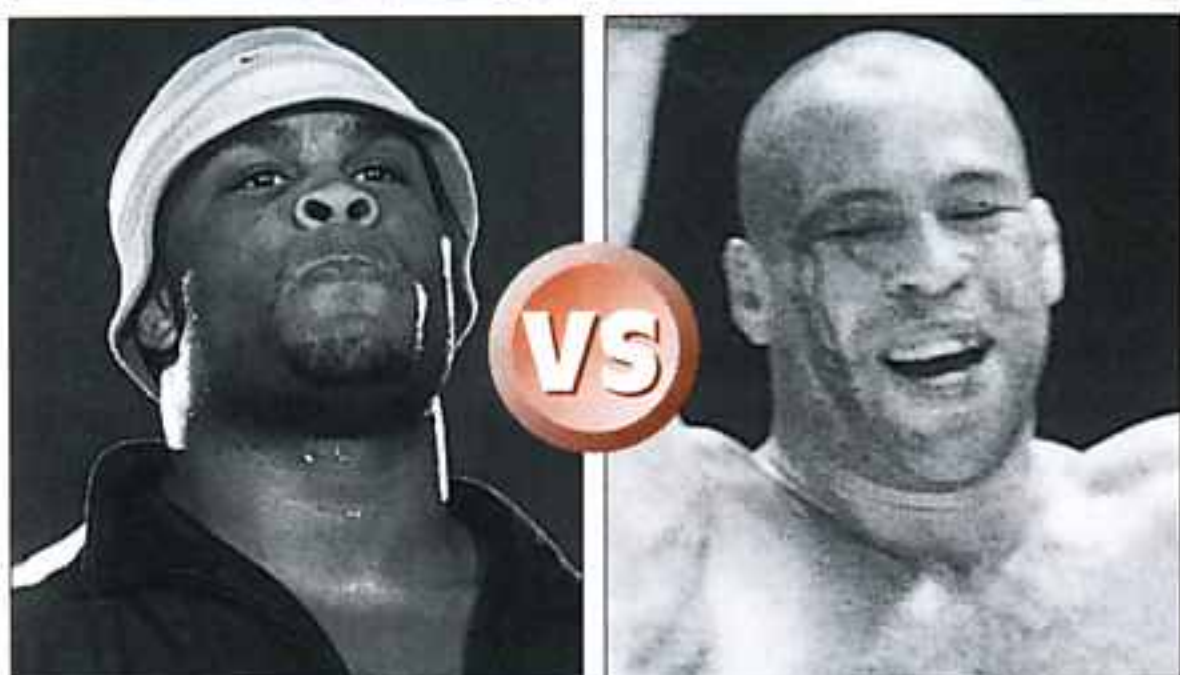
遂に夢のカード、佐竹vs小川戦が決定した。K-1で日本のトップに君臨した空手家と、元世界チャンピオンの柔道家。果たしてどんな闘いになるのか、非常に楽しみだ。そして、桜庭の対戦相手は、シャノン・"ザ・キャノン"・リッチに決定。リッチはドン・フライの弟子ということだ。また、『プライド10』でグッドリッジを左ハイー発でKOしたアイブルは、同じく『プライド10』で"難攻不落の獅子"ガイ・メッツアーをKOで下したシウバと、そして、『プライド8』以来の出場となる130キロの巨漢トム・エリクソンは、『プライド9』でウイリー・ピータースを秒殺したヒース・ヒーリングと激突する。見どころ満載の『プライド11』。わずかながら当日券も発売予定。チャンスはまだある!?

PRIDE.11

10月31日(火) 大阪城ホール

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/VIP100,000円(専用入場ゲート、グッズの特典付き) RRS20,000円 スタンドS12,000円 スタンドA7,000円 ※桜庭和志応援シート(12,000円、応援グッズ付き)をドリームステージエンターテインメントにて発売
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメントほか
◆会場アクセス/JR大阪城公園駅、地下鉄ビジネスパーク駅下車すぐ
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

桜庭和志(高田道場) vs シャノン・"ザ・キャノン"・リッチ(アメリカ)
佐竹雅昭(怪獣王国) vs 小川直也(UFO)
高田延彦(高田道場) vs イゴール・ボブチャンチン(ウクライナ)
小路晃(A³ジム) vs ヘルマン・レンティング(オランダ)
谷津嘉章(SPWF) vs ゲーリー・グッドリッジ(トリニダード・トバゴ)
ギルバート・アイブル(オランダ) vs ヴァンダレイ・シウバ(ブラジル)
トム・エリクソン(アメリカ) vs ヒース・ヒーリング(アメリカ)

PRIDE.12

12月23日(土・祝) さいたまスーパーアリーナ

◆開場/15:00(予定) 試合開始/17:00(予定)
◆入場料/VIP100,000円(専用入場ゲート、グッズの特典付き) RRS23,000円 スタンドS13,000円 スタンドA7,000円 ※桜庭和志応援シート、藤田和之応援シート、エンセン井上応援シート(各12,000円、応援グッズ付き)をドリームステージエンターテインメントにて発売
◆チケット発売/11月12日(日)
◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメント他
◆会場アクセス/JR埼玉新都心駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

出場予定選手

桜庭和志
藤田和之
エンセン井上
佐竹雅昭
アレクサンダー大塚
小路晃
ヘンゾ・グレイシー
ハイアン・グレイシー
マーク・コールマン
マーク・ケアー
ケン・シャムロック
ギルバート・アイブル
イゴール・ボブチャンチン
ゲーリー・グッドリッジ
リコ・ロドリゲス

キングダム・エルガイツ

キングダム・エルガイツ川崎大会 NO name HERO III

10月29日(日) 神奈川・青葉スポーツセンター

◆開場/18:00 試合開始/18:30
◆出場予定選手/布施智治、稲野岳、和知正仁、今成正和ほか
◆入場料/イス席2,000円(当日券は500円増し)、立ち見1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、チャンピオン、チケット&トラベルT-1、きんとき中央林間店、キングダム・エルガイツほか
◆会場アクセス/田園都市線市ヶ尾駅より徒歩10分

バトラーツ

タッグバトル2000

～前半戦～
◆11月19日(日) 新潟フェイズ
◆11月20日(月) 新潟・上越市厚生南会館
◆11月21日(火) 長野・塩尻市立体育館
◆11月22日(水) 埼玉・本庄市民体育館
◆11月23日(木・祝) 埼玉・越谷市桂スタジオ
◆11月26日(日) 東京・駒沢オリンピック公園体育館

～後半戦～
◆12月1日(金) 茨城・ひたちなか市松戸体育館サブアリーナ
◆12月2日(土) 千葉・船橋アリーナ サブアリーナ
◆12月3日(日) 埼玉・本川越ペペホール「アトラス」

◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

掣圏道

アルティメットボクシング・東京マンスリーファイト第1弾! 5大タイトルマッチ

10月29日(日) 東京・有明コロシアム

◆開場/14:00 試合開始/15:00
◆入場料/RS席15,000円 S席9,000円 A席6,000円 B席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、掣圏会館☎042-544-6979
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩8分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車
◆お問い合わせ/SWA掣圏道ワールド・アソシエーション☎03-5456-7333

決定対戦カード

〈スーパーヘビー級タイトルマッチ〉
キルサノフ・アンドレイ vs アフメドフ・ズラブ

〈ヘビー級タイトルマッチ〉
スルタンマゴメドフ・カフカズ vs ボドリャチン・デニス

〈ライトヘビー級タイトルマッチ〉
トカレフ・ワジム vs ドロズド・グレゴリ

〈スーパーミドル級タイトルマッチ〉
ナグニビダ・ルスラン vs ビノクロフ・アルテム

〈ミドル級タイトルマッチ〉
グスニエフ・アブドゥラフ vs ワルダニャン・アルタク

▲"ミスター掣圏道"こと、ヘビー級王者のカフカズは、6月の『アルティメットボクシング』で佐竹雅昭と対戦したボドリャチン・デニスと対戦

LLPW

L-1 2000 THE STRONGEST LADY

11月22日(水) 東京・国立代々木第2競技場

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/VIPシート20,000円 ロイヤルシート15,000円 アリーナA席10,000円 アリーナB席8,000円 スーパーサイド10,000円 スタンドA席6,000円 スタンドB席5,000円 スタンドC席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、アイドール、大山アメリカン、書泉ブックマート、チケット&トラベルT-1、AOコーナー、LLPW事務所
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/LLPW☎03-3945-7326

日本代表決定選手

神取忍(LLPW)
風間ルミ(LLPW)
堀田祐美子(全日本女子プロレス)
熊谷直子(不動館)
遠藤美月(LLPW)
高橋洋子(J'd)

世界代表決定選手

エドナンツ・ダ・シルバ(ブラジル)

全日本キックボクシング連盟

YOUNG GUN-III

11月3日（金・祝） TOKYO FMホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席5,000円　S席3,000円（当日は、500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約
◆会場アクセス/地下鉄半蔵門線半蔵門駅より徒歩2分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

決定対戦カード

前田尚紀 vs 前原康男
（藤原ジム）　（藤ジム）

嵐田茂 vs 加門政志
（REX JAPAN）　（士心館）

川上烈司 vs 金統光
（REX JAPAN）　（藤原ジム）

SHI-LOW vs 上杉武伸
（士心館）　（藤原ジム）

LEGEND-X

11月29日（水） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席12,000円　S席8,000円　A席6,000円　B席4,000円　立見4,000円（当日券のみ）
◆チケット発売/10月28日（土）
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約　※全日本キックでチケットを購入すると、小林聡、新田明臣、金沢久幸、立嶋篤史、酒井秀信の5選手の中から希望選手のファイト写真をプレゼント
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

決定対戦カード

林亜欧 vs 浜川憲一
（SVG）　（作真会館）

※勝者は、2001.1.14後楽園ホール大会で、金沢久幸と全日本ライト級王座決定戦を行う

韓鐘喆 vs 10.22後楽園ホール大会 杉上直之vs大月晴明戦の勝者
（作真会館）

※勝者は、2001.1.14後楽園ホール大会で、遠藤慎介と全日本フェザー級王座決定戦を行う

10.22後楽園ホール大会 千葉友浩vs三上洋一郎戦の勝者 vs 10.22後楽園ホール大会 田好治vs江口慎吾の勝者

※勝者は、2001.1.14後楽園ホール大会で、内田康弘と全日本ウェルター級王座決定戦を行う

決定対戦カード

金沢久幸（TEAM-1）

▲SVGの実力者・林亜欧と、ライト級期待の新人・浜川憲一が激突。この試合の勝者は、小林聡が返上した全日本ライト級のベルトを賭けて、1月の後楽園ホール大会で金沢久幸と対戦することが決定している

LEGEND-XI

12月22日（金） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆チケット発売/11月18日（土）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

修斗

READ～2000 SHOOTO～

11月12日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/16:00　試合開始/17:00
◆入場料/RS席10,000円 SS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ、KEEL、GUTSMAN修斗道場
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/GUTSMAN修斗道場☎03-3325-1500

決定対戦カード

郷野聡寛 vs 須田匡昇
（無所属）　（クラブJ）

五味隆典 vs ライアン・ボウ
（Kzファクトリー）　（無所属）

佐々木有生 vs マルタイン・デ・ヨング
（無所属）　（マルタイン道場）

大河内衛 vs 野中公人
（GUTSMAN修斗道場）　（PUREBRED大宮）

和田拓也 vs ラフロス・ラロス
（Kzファクトリー）　（マルタイン道場）

村濱天晴 vs 竹内幸司
（ワイルドフェニックス）　（シューティングジム横浜）

修斗、今年最後のビッグイベント 2カードが決定したぞ！

▲初代フェザー級王座決定戦として行われるマモルvs秋本じん。激しい闘いが繰り広げられてきたフェザー級戦線。最後に制するのは、果たしてどっちだ!?

▲1月に中尾受太郎を破ったレイ・クーパーと、5月にザ・ばばんばをTKOで下したアレックス・クック

READ～2000 SHOOTO～

12月17日（日） 千葉・東京ベイNKホール

◆開場/14:00　試合開始/16:00
◆入場料/【1F】SRS席20,000円 RS席15,000円 SS席10,000円 S席7,000円（Devilockシート30,000円は、PALMSTORE☎03-3496-6464のみ）【2F】パノラマS席12,000円 パノラマ席10,000円 2FS席8,000円 A席6,000円 B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ、KEEL、e-ticket（http:www.e-ticket.net/）
◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅からホテル循環バス5分
◆お問い合わせ/バックステージプロジェクト☎03-3357-8080

決定対戦カード

〈フェザー級チャンピオン決定戦〉

マモル vs 秋本じん
（シューティングジム横浜）　（Kzファクトリー）

レイ・クーパー vs アレックス・クック
（アメリカ/ジーザス・イズ・ロード）　（AUS修斗スパルタンジム）

仙台フリーファイト2 with東北BJJ JAM5

10月29日（日） 宮城・青葉区体育館武道館柔道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR仙山線または市営地下鉄北仙台駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラ仙台・大会事務局☎023-645-1442

WKネットワーク

『コンテンダーズ』プロデューサー宇野薫、レスリングの実力者、三宅と再戦！

The Contenders 4

11月25日（土） 東京・ディファ有明

◆開場/15:00　試合開始/17:00
◆入場料/SS席10,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円
◆チケット発売/〈インターネット・オンライン・チケット〉10月16日（月）午前0時～〈チケットぴあ〉10月21日（土）
◆チケット発売所/インターネット・オンライン・チケット（http://www.wk-net.co.jp/gcm/contenders/）、チケットぴあ
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩8分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/WKネットワーク☎03-5200-3546

決定対戦カード

宇野薫 vs 三宅靖志
（和術慧舟會）　（RJW/CENTRAL）

星野勇二 vs 上山龍紀
（RJW/CENTRAL）　（FIGHTING NETROWK RINGS/U-FILE CAMP）

高瀬大樹 vs 早川光由
（和術慧舟會）　（ストライプル）

矢野卓見 vs 五木田勝
（烏合会）　（木口ワークアウトスタジオ）

大石幸史 vs 米澤迅三郎
（RJW/CENTRAL）　（烏合会）

◀今大会のプロデューサーとしても活躍する宇野薫は、RJWの三宅靖志と再戦（前回はドロー）だ。7月の須藤元気戦（『コンテンダーズ』）、8月のマーシオ・クロマド戦（修斗）と2連敗の宇野。ここで連敗をストップさせたいことだろう

NEO

ReMiX WORLD CUP 2000

12月5日（火） 東京・日本武道館

◆開場/16:30　試合開始/18:30
◆入場料/SRS席50,000円 RSA席20,000円 SA席10,000円　1F席8,000円 2FA席5,000円 2FB席3,000円 ※当日券は、500円増し
◆チケット発売/11月1日（水）※チケットに関するお問い合わせは、ReMiX実行委員会まで
◆会場アクセス/地下鉄東西線、半蔵門線、都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ReMiX実行委員会☎03-3263-6878（10:00～18:00）

無差別級トーナメント参加決定選手

ベッキー・レヴィ（アメリカ）
エリン・トーヒル（アメリカ）
イェレーナ・ビザレンコ（アメリカ）
フラワー・ホールドマン（オランダ）
八木淳子（日本）
※トーナメントの組み合わせは、調整中

特別試合出場選手

井上京子 vs X
（日本）

桜庭あつこ vs X
（日本）

バンビ・バートンチェロ vs X
（アメリカ）

DAIKANYAMA FIGHT CLUB vol.Ⅱ
12月10日（日） 東京・IPスタジアム

◆開場/15:30　試合開始/16:00
◆入場料/SRS席10,000円 RS席8,000円 立見4,000円（当日券のみ）
◆チケット発売/11月上旬
◆チケット発売所/協会各ジム、チケットぴあ、協会公式ホームページ
◆会場アクセス/東急東横線代官山駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3780-1338

日本キックボクシング連盟
2000 感動シリーズ
12月9日（土） 東京・後楽園ホール

◆開場/14:30　試合開始/17:00
◆入場料/RS席10,000円　A席5,000円　B席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、ファイター、日本キック連盟
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/日本キック連盟☎03-3691-4536

決定対戦カード

小野瀬邦英 vs ガルーダ・テツ
（渡辺ジム）　（大阪横山ジム）
川島康人 vs 海老沢朋和
（村越ジム）　（平戸ジム）
尾崎英樹 vs 弘中史樹
（ビコイ錦ジム）　（NJKF/ウィラサクレックジム）
唐沢たくみ vs 関健至
（K-U/八王子FSG）　（平戸ジム）
篠原一仁 vs 九頭龍坂勝
（杉並ジム）　（大阪横山ジム）
敷地記人 vs 山根浩司
（大阪真門ジム）　（K-U/八王子FSG）
馳和徳 vs 田村和久
（大阪真門ジム）　（渡辺ジム）
中岡秀夫 vs 山田大輔
（大阪真門ジム）　（杉並ジム）
児玉正暁 vs 和田友輔
（ビコイ錦ジム）　（千葉ジム）
太田正成 vs 鈴木大介
（平戸ジム）　（千葉ジム）
加藤誠 vs 竹内俊夫
（村越ジム）　（千葉ジム）

シュートボクシング
INVADE 5th STAGE
11月30日（木） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/RS席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/10月29日（日）～
◆チケット発売所/チケットぴあ、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、大山アメリカン、ローソンチケット、チャンピオン、CNプレイガイド、書泉ブックマート、後楽園ホール、渋谷東急文化チケットセンター、ワールドスポーツプラザKINGS、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

新日本キックボクシング協会
ROAD TO MUAY THAI 2000
10月28日（土） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS20,000円 RS15,000円 S10,000円 A7,000円 B5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/協会各ジム、チケットぴあ、後楽園ホール、協会公式ホームページ
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/新日本キックボクシング協会☎03-3780-1350

決定対戦カード

武田幸三 vs ユージーン・エクレブルーン
（治政館）　（オーストラリア）
小笠原仁 vs チャド・ウォーカー
（伊原ジム）　（オーストラリア）
小野寺力 vs テーチャカリン・ギャットプラサンチャイ
（藤本ジム）　（タイ）
深津飛成 vs 金翰圭
（伊原ジム）　（韓国）
菊地剛介 vs 金度亨
（伊原ジム）　（韓国）
石井宏樹 vs シーサワット・サックムァングレーン
（藤本ジム）　（タイ）
小出智 vs 趙在燮
（治政館）　（韓国）
北沢勝 vs 頼信
（藤本ジム）　（トーエルジム）
中川タカシ vs 西宗定
（トーエルジム）　（伊原ジム）
兼子忠司 vs 呉東寔
（伊原ジム）　（韓国）
金狼正己 vs 関直人
（尚武会）　（尾田）

KICK GENERATION 2nd
11月23日（木・祝） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS10,000円 RS7,000円 A5,000円 B4,000円 立ち見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/協会各ジム、チケットぴあ、後楽園ホール、協会公式ホームページ
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/新日本キックボクシング協会☎03-3780-1350

決定対戦カード

鷹山慎吾 vs 朴成煥
（尚武会）　（韓国）
蔦謙介 vs 飛見立久
（藤本ジム）　（誠真ジム）
マサル vs 呂碩奉
（トーエルジム）　（韓国）
清水政和 vs 花村繁幸
（治政館）　（トーエルジム）
江森禎紀 vs 姜端動
（治政館）　（韓国）
鈴木祐作 vs 劉景俊
（伊原ジム）　（韓国）
今村歩 vs 小川真
（トーエルジム）　（藤本ジム）
タカユキ vs 風神和昌
（トーエルジム）　（野本ジム）
遠藤心平 vs 森田亮二郎
（治政館）　（藤本ジム）
阿佐美義文 vs 大森省治
（治政館）　（尾田ジム）
作本鉄矢 vs 中西健太
（伊原ジム）　（藤本ジム）
大橋亮介 vs 青木克真
（大分ジム）　（トーエルジム）
北野正一 vs エンペラー達志
（誠真ジム）　（ホワイトタイガージム）
小島裕由 vs 蔭原猛
（ホワイトタイガージム）　（八景ジム）

MA日本キックボクシング連盟
COMBAT-2000 ミレニアム・スペシャル
11月11日（土） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円 RS席12,000円 S席10,000円 指定A席7,000円 指定B席5,000円 立見3,000円（当日券のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、連盟事務局
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/MA日本キックボクシング連盟事務局☎03-3485-7063

主な対戦カード

ラビット関 vs クライガンワーン・オースイーブロワーイ
（山木ジム）　（タイ）
ヌンサヤーム・ヤマキ vs 中林勇人
（タイ）　（ビクトリージム）
水井聡 vs 梅下湧暉
（習志野ジム）　（谷山ジム）
加村健一 vs 山本ノボル
（習志野ジム）　（士道館シカノジム）
TOGANEジャガー vs 伊達皇輝
（東金ジム）　（新潟山木ジム）
小石原勝 vs 交渉中
（習志野ジム）
TOGANEタイソン vs 嶋村哲昌
（東金ジム）　（山木ジム）
高島義幸 vs ファイティング前沢
（習志野ジム）　（土浦ジム）
高橋拓也 vs 田中信一
（習志野ジム）　（山木ジム）

ニュージャパンキックボクシング連盟
MILLENNIUM WARS 10
11月26日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/16:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席12,000円 RS席10,000円 特別指定席7,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 立ち見3,000（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、書泉ブックマート、ファイター、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、渋谷センタースポーツ☎03-3400-3308、格闘館MAX☎03-5212-7897、マーシャルワールド東京店、コンクリート☎03-5272-4152、ニュージャパンキックボクシング連盟
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-3239-7703

決定対戦カード

青葉繁 vs 松浦信次
（東京北星）　（仙台青葉）
佐々木功輔 vs タイ国強豪選手
（北流会君津）
桜井洋平 vs タイ国強豪選手
（岩瀬スポーツ）
佐藤嘉洋 vs タイ国強豪選手
（名古屋JKF）
ソムチャーイ高津 vs 松本竜太
（小国ジム）　（名古屋JKF）
新美友垣 vs 杉浦磨
（大和ジム）　（名古屋JKF）
AVIS2000 vs 大川真人
（小国ジム）　（大和ジム）
外山繁幸 vs X
（上州松井ジム）
浅野泰輝 vs 増倉敦士
（小国ジム）　（一心館）
藤原国崇 vs 星雄晴
（拳之会）　（町田金子ジム）

アマチュア

日本コンバットレスリング協会

第4回全日本コンバットレスリングオープン選手権大会

11月26日（日）東京・町田市総合体育館第一武道場

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/横浜線成瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本コンバットレスリング協会☎0466-26-3676

パレストラ

函館BJJ JAM2 with中井祐樹ブラジリアン柔術セミナー

11月5日（日）北海道・函館大学武道場

◆試合開始/11:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR函館駅から市電に乗車、湯川駅より徒歩20分、市バス函館大学前下車
◆お問い合わせ/パレストラ函館・大会事務局☎0138-58-2902

G×G実行委員会

GRAPPLER'S GALA GRAND PRIX

12月3日（日）東京・夢の島総合体育館柔道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄有楽町線、JR京葉線、臨海副都心線新木場駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/G×G実行委員会代表ひるまあつのり☎090-8316-1168

キックボクシング

J-NETWORK

大江戸線麻布十番駅開通記念 大江戸十番勝負

11月19日（日）東京・クラブLUNERS

◆アマチュアキック大会/13:30　プロ試合開始/16:00
◆入場料/S席7,000円（当日は8,000円。食事、1ドリンク付き）自由席4,000円（当日は4,500円）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田ジム、ソーチタラダジム渋谷、J-NETWORK
◆会場アクセス/地下鉄六本木駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

決定対戦カード

蔵満誠 vs 中路通
（JMTCジム）（習志野ジム）

津野昌夢 vs 牛若丸
（アクティブJ）（習志野ジム）

ホークエンターテイメント

CLUB FIGHT～ROUND 1～

11月12日（日）　東京・WOMB

◆OPEN/21:00　FIGHT GONG/23:00
◆入場料/4,000円（当日500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/JR渋谷駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/ヴァーサス・エンターテインメント☎03-5775-1668

CLUB FIGHT～ROUND 2～

12月3日（日）　名古屋・Club OZON

◆OPEN/21:00　FIGHT GONG/22:30
◆入場料/4,000円（当日500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/地下鉄名城線矢場町駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ヴァーサス・エンターテインメント☎03-5775-1668

CLUB FIGHT～ROUND 3～

1月20日（土）　大阪・MOTHER HALL

◆OPEN/21:00　FIGHT GONG/22:30
◆入場料/4,000円（当日500円増し）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/地下鉄御堂筋線難波駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ヴァーサス・エンターテインメント☎03-5775-1668

SHANGURILA-fin

12月25日（月）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始17:30
◆入場料/RRS席30,000円 SRS20,000円 RS席9,000円 S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円 立見3,500円（当日券のみ）
※当日券は、1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田ジム、ソーチタラダジム渋谷、J-NETWORK
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

空手

極真会館

第32回オープントーナメント 全日本空手道選手権大会

11月4日（土）、5日（日）　東京体育館

◆〈11/4〉開場/10:00 開会式/11:00〈11/5〉開場/10:00 開会式11:30
◆入場料/SS席35,000円（前売りのみ/アリーナ2日間通し券）S席8,000円 A席6,000円 B席3,000円（当日は、1,000円増し）
※SS席は、パンフレット、大会記念Tシャツ（非売品）付き
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、極真会館☎03-5992-9900
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/極真会館テレホンサービス☎03-5992-7739

正道会館

第35回オープントーナメント 全日本新人戦空手道選手権大会

10月29日（日）東京・新宿スポーツセンター

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR高田馬場駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館東京本部☎03-5285-1966

第2回オープントーナメント 2000年中部新人戦空手道選手権大会

11月26日（日）　愛知県武道館柔道場

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄名城線東海通駅よりバスで5分
◆お問い合わせ/正道会館中部本部☎052-221-9555

大道塾

2000年北斗旗 全日本無差別級選手権大会

11月19日（日）東京・国立代々木第2体育館

◆開場/9:30　開会式/10:00　試合開始/10:30
◆入場料/SS席4,500円 S席3,500円 A席2,500円（当日は、500円増し）
※高校生以下前売り1,000円（当日1,500円）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/大道塾総本部
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

全日本新空手道連盟

第59回新空手道交流試合

11月12日（日）　東京武道館第一武道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/大会パンフレット購入者のみ入場可能
◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新空手本部☎03-3239-4994

第8回新空手道千葉大会

12月3日（日）千葉・船橋武道センター第一武道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/大会パンフレット購入者のみ入場可能
◆会場アクセス/JR船橋駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/大誠塾☎047-336-9177

その他

日本女子ボクシング協会

LADY GO! PT Ⅳ

12月12日（火）東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30
◆入場料/4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/後楽園ホール、日本女子ボクシング協会
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/協会事務局☎03-3485-7063

出場予定選手

菊川美紀（日本女子バンタム級/ナゴヤBS）
高野由美（日本女子ミニフライ級1位/山木ジム）
ライカ（日本女子フェザー級/山木ジム）
八島有美（日本女子フライ級/プロフィット馬車道）
鬼薮幸子（日本女子ミニフライ級/横浜ジム）

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
☎03-5824-1324

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1 サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
☎0489-63-0005

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052 港区赤坂8-5-4ルーメリ赤坂103
☎03-577-55700

掣圏道協会（SA）事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-1 サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U（キック・ユニオン）
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-40-10 グレースワン603
☎03-5713-8061

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1,2F
☎03-3843-1212

BACK NUMBER INFORMATION
バックナンバーインフォメーション

《7・8　創刊号》
- 大会情報/6・20『K-1 BRAVES'99福岡大会』
- インタビュー/髙田延彦、桜庭和志、エンセン井上
- SRS・DX特集★第1弾/お台場格闘チャンネル「SRS」どう～なってるの？
- 着メロ/ピーター・アーツ『ミザルー』

《8・12　創刊3号》
- 完全速報/7・18『K-1 DREAM'99名古屋大会』
- インタビュー/フランク・シャムロック、マーク・ケアー、小川直也インタビュー
- SRS・DX特集★第3弾/佐山聡の掣圏道とは何か？
- 着メロ/『闘志天翔～覇王・佐竹雅昭のテーマ～』

《8・26　4号》
- インタビュー/ホイス・グレイシー、佐竹雅昭、桜庭和志、田村潔司、ビル・ロビンソン
- 極真カラテ（松井派）世界大会へのカウントダウン
- SRS・DX特集★第4弾/沖縄の夏　美女と達人に出会う旅
- 着メロ/田村潔司『FLAME OF MIND』

《9・9　5号》
- 完全速報/8・22『K-1 SPIRITS有明コロシアム大会』
- インタビュー/石井和義、髙田延彦、アレクサンダー大塚、魔裟斗、郷田勇三、田中健太郎
- SRS・DX特集★第5弾/最強！　俺の格闘お宝アイテム
- 着メロ/髙田延彦『TRAINING MONTAGE』

《9・23　6号》
- インタビュー/髙田延彦、前田日明、エンセン井上、佐山聡、髙阪剛、武蔵、ノブ・ハヤシ
- SRS・DX特集★第6弾/大山倍達を悩ませた最後の格闘技『中国拳法の謎』
- 着メロ/武蔵『KICK START MY HEART』

《10・14＆28　合併号　7号》
- 本誌独走スクープ！/猪木＆小川　闘魂師弟、モンゴル相撲に殴り込み！！
- 完全詳報/9・12『PRIDE.7』
- SRS・DX特集★第7弾/桜庭和志の『バーリ・トゥードはプロレス技で勝て！』
- 着メロ/エンセン井上『Chant of the Islands』

《11・11　臨時増刊号　8号》
- 完全速報/10・3『K-1 GRAND PRIX'99開幕戦』大阪ドーム大会
- 現地徹底取材/9・24『UFC-22』
- 大特集/格闘王国オランダの強さに迫る
- 着メロ/アンディ・フグ『WE WILL ROCK YOU』

《11・11　9号》
- 第7回極真世界大会直前大特集/大山倍達のカラテ道人生、ブラジル怪物育成の秘密に迫る
- 歴史的対談実現！　石井和義VS松井章圭
- SRS・DX特集★第8弾/微笑みの国タイの国技ムエタイとは何か？
- 着メロ/フランシスコ・フィリォ『I'LL BE MISSING YOU』

《11・25　10号》
- 完全速報/11・5～7『第7回極真世界大会』
- 詳報/10・28『リングスKOK』代々木大会
- 11・21『プライド8』有明大会直前情報/髙田、ゴエス インタビュー
- 着メロ/『空手バカ一代』

《1・13　13号》
- インタビュー/佐竹雅昭、桜庭和志、フランシスコ・フィリォ、アーネスト・ホースト、アレクサンダー大塚×ターザン山本対談
- 『SRS・DX』が選んだ1999年格闘技界10大ニュース
- 詳報/バーリ・トゥード・ジャパン'99
- 着メロ/桜井"マッハ"速人『不死身のエレキマン』

《1・27　14号》
- 1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000』大会情報 髙田、桜庭、エンセン井上、大刀光インタビュー、佐竹雅昭×ターザン山本対談
- 本誌初登場！　船木誠勝インタビュー
- SRS・DX特集★第9弾/まだある大山倍達　世界ケンカ旅行の謎
- 着メロ/グレイシー一族『FORT BATTLE』

《2・10＆24　15号》
- PRIDE GP 2000直前大特集/佐竹＆藤田のシアトル衝撃スパーをレポート◎佐竹のシアトル絵日記◎藤田インタビュー◎ホイスインタビュー＆ホリオンインタビュー◎誌上大予想クイズ◎基礎講座◎海外取材☆注目の外国人ファイターたち/ナイマン、コールマン、ケアー
- 熱烈応援！　2・26リングスKOK/田村潔司インタビュー、アイブル　インタビュー
- 1999『SRS・DX』読者選定ベストバウト！ 桜庭、ダントツでMVP＆ベストバウト2冠王に輝く
- 着メロ/桜庭和志『SPEED TK REMIX』

《3・9　臨時増刊号　16号》
- 完全速報/1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000開幕戦』
- 詳報/1・25『K-1 RISING 2000』長崎大会
- 熱烈応援！ 2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明、ヘンゾ・グレイシーインタビュー
- 着メロ/辰吉丈一郎『GAME OF DEATH～辰吉丈一郎のテーマ～』

《3・9　17号》
- 噂の三面記事/5・1東京ドーム『PRIDE GP 2000決勝戦』トーナメント表決定！
- 5・1東京ドームへ『PRIDE GP 2000』その波紋の行方/藤波辰爾、永田裕志、桜庭和志、佐竹雅昭、エンセン井上インタビュー、ボブチャンチン×ターザン対談、アレク×ターザン対談
- 熱烈応援！　2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明　ほか
- 着メロ/藤田和之『STAR CYCLE』

《3・23　18号》
- 噂の三面記事/これがK-1 2000の戦略だ　ほか
- 徹底検証＆完全詳報『リングスKOK』/KOK緊急大総括、田村、ヘンゾ、ヘンダーソン、ハンインタビュー、試合レポート
- 佐竹、掣圏道に弟子入り
- 3・19『K-1 BURNING 2000』特集/武蔵の群馬合宿をレポート、子安慎悟K-1参戦　ほか
- 緊急レポート/船木の高知合宿、アブダビ速報
- 大会レポート/2・13KASSHIN沖縄大会、2・20全日本後楽園大会、2・27パンクラス大阪大会
- 着メロ/アントニオ猪木『炎のファイター』

《4・13　19号》
- 大会速報/3・19横浜アリーナ『K-1 BURNING 2000』
- 5・1『PRIDE GP 2000決勝戦』情報/藤田パラオでA.猪木と猛特訓！、ホイス・グレイシーインタビュー＆緊急会見、桜庭和志大激怒の反論会見
- 衝撃スクープ！/佐山聡がまた時代を突いた、「アルティメット・ボクシング」旗揚げ！
- 3・3～5『アブダビコンバット2000』詳報/ああ、アラブの王子様の素晴らしき「道楽」
- 4・20リングス代々木大会情報/金原弘光インタビュー
- 大会レポート/3・10NJKF後楽園大会、3・16全日本後楽園大会、3・17修斗後楽園大会
- 着メロ/パンクラス『HYBRID CONSCIOUS』

《5・11　21号》
- 完全詳報/4・23大阪ドーム『K-1 THE MILLENNIUM』
- 5・1『PRIDE GP 2000』直前情報/エリオインタビュー、佐山聡VSターザン山本対談
- 4・30パンクラス横浜文化体育館大会情報/髙橋義生インタビュー
- 詳報！ 4・14『UFC-J』代々木第二体育館大会 /ヤマケンが語る4・14『UFC-J』、こんなヤツらこそ金網が似合う
- 大会速報/4・20リングス代々木第二体育館大会
- 大会レポート/4・15『フューチャーブロウル2000』、4・16佐藤塾『第15回全日本大会』ほか
- 着メロ/アレクサンダー大塚『AOコーナー』

《6・22　24号》
- 完全速報！　6・4『プライド9』
- 海外速報　6・3『K-1 FIGHT NIGHT』スイス大会
- 大会詳報　5・28『K-1 SURVIVAL 2000』札幌大会
- その後の『コロシアム2000』/近藤有己＆吉村直明プロデューサーインタビュー
- 6・17～18極真カラテ全日本ウェイト制大会プレビュー/田中健太郎インタビュー
- 編集部の注目！/6・11『アルティメット・ボクシング』横浜アリーナ大会
- 大会レポート/5・21SB後楽園大会、5・24全日本キック後楽園大会、5・26MAキック後楽園大会
- 着メロ/天田ヒロミ『PRETTY FLY』

《7・27　26号》
- 大会速報！　7・7『K-1 SPIRITS』仙台大会
- K-1 WORLD GP 2000開幕/バンナ、フィリォ、アーツインタビュー
- 大会詳報！　6・24 K-1 東ヨーロッパ＆ロシア地区予選
- 特別現地レポート/注目の石沢＆永田、猪木島を征く
- スペシャル対談/桜庭和志VS中井美穂（前編）
- 編集部の注目！/6・26パンクラス後楽園大会、菊田早苗インタビュー、魔裟斗インタビュー
- 大会レポート/6・20全日本後楽園大会、6・24THE KING OF CAGE、7・1コンテンダーズ
- 着メロ/小林聡『KIDS RETURN』

《8・10　27号》
- スペシャル対談/アントニオ猪木VSターザン山本、桜庭和志VS中井美穂（後編）
- 8・27『プライド10』特集/桜庭和志、ヘンゾ＆ハイアン・グレイシー、藤原喜明、ケン・シャムロック、エンセン井上インタビュー、藤田和之アメリカ修行レポート
- 7・30『K-1 WORLD GP 2000 in 名古屋』直前情報/ニコラス・ペタス、金泰泳インタビュー
- 編集部の注目！/アレクサンダー・カレリン、『新生パンクラスの男たち第1回』近藤有己
- 大会レポート/7・7NJKF後楽園大会、7・16修斗後楽園大会、7・20MAキック後楽園大会、7・22修斗北沢大会、7・23パンクラス後楽園大会
- 着メロ/植松直哉『ワルキューレの騎行』

《8・24＆9・14　合併号　28号》
- 8・20『K-1 WORLD GP 2000 in 横浜』直前情報/緊急座談会、盧山初雄、シリル・アビディ、中迫剛インタビュー
- 大会詳報/7・30『K-1 WORLD GP 2000 in 名古屋』
- 8・27『プライド10』直前情報/猪木が石澤＆藤田を従えPRIDE出陣記者会見、新間寿VSターザン山本対談、ハイアン・グレイシーインタビュー
- 大会レポート/7・26WOLF REVOLUTIONヴェルファーレ大会、7・29新日本キック後楽園大会、7・30全日本キック後楽園大会　新世界王者・小林聡VSビートたかし対談、8・4修斗大阪大会
- 着メロ/長州力『パワーホール』

《9・28　臨時増刊号　29号》
- 緊急追悼特集/8・24アンディ・フグ逝く
- 大会速報/8・27『プライド10』
- 大会詳報/8・20『K-1 WORLD GP 2000 in 横浜』、フランシスコ・フィリォ＆シリル・アビディ インタビュー
- 海外レポート/桜庭戦後のホイス・グレイシーをロスの自宅でキャッチ
- 大会レポート/女子ボクシング世界戦in韓国、極真全関東大会
- 噂の三面記事/パンクラス・近藤がUFCに挑戦！ 10・22『サムライ』有明大会で柳澤龍志が掣圏道と激突！　ほか

《10・12＆26　合併号　31号》
- 巻頭ストーク特集・第2弾！ 検証・まだまだ続く石澤問題!!/山本小鉄、辻義就インタビュー
- 海外レポート/9・22『UFC 29』パンクラス・近藤、UFC初見参！
- 石井館長と語ろう！ 10・9『K-1 WORLD GP 2000』福岡大会の見どころ！
- 10・31『プライド11』特集/髙田延彦、藤田和之、桜庭和志（後編）インタビュー
- 『SRS・DX』の注目！/10・22『サムライ』有明大会、どうなる極真・全日本！
- 大会速報/9・24パンクラス横浜文化体育館大会、新星パンクラス・須藤元気
- 大会レポート/9・10正道会館全日本大会、9・13全日本キック後楽園大会、9・15修斗後楽園大会、9・20SB後楽園大会、9・21女子ボクシング下北大会

《11・9　臨時増刊号　32号》
- "総合"に推薦したいK-1戦士/ミルコ・クロコップ、シリル・アビディ、ジェロム・レ・バンナ
- 大会速報/10・9 K-1 WORLD GP 2000 in 福岡
- 噂の三面記事/小川VS佐竹戦ついに実現へ、極真・野地が11・29全日本キックに登場
- 『SRS・DX』の注目！/松井館長が野地のキック挑戦問題に答える!、9・24極真アメリカズ・カップ、11・22『L-1』＆12・5『ReMIX』情報、パンクラス・KEI山宮、ジャイアント落合
- 緊急企画/11・1『K-1 中量級大会』の波紋、キックボクサーたちの咆吼、魔裟斗に聞く！
- 大会レポート/10・1日本キック連盟後楽園ホール大会、9・22UFC27（後編）、9・29タイタン・ファイト、9・24ニュージャパンキック後楽園ホール大会、10・6MAキック後楽園ホール大会

2号・11号・12号・20号・22号・23号・25号・30号は完売しました。お買い求めはお早めに!!

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝310円、2冊＝340円、3冊以上＝500円。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1～2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

ON日本シリーズに対抗 『プライド11』はOS対決だ！

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.kidchan.com

玉袋 元気ですかーッ！

博士 ここのところの我々の教祖様（アントニオ猪木）関係の出版ラッシュは凄いものがあるな。

玉袋 角川書店から出版された猪木詩集の『風になれ』でしょ。

博士 風になるなよ！『馬鹿になれ』だよ！

玉袋 鈴木みのるに対して捧げた詩集だって冒頭に書いてありましたよ。

博士 違うよ！ 冒頭に「幼くして亡くした愛娘 デブラ文子に捧げる」って書いてあるだろ！

玉袋 でも満身創痍の鈴木に船木が「裏方になれ」って言ってましたが。

博士 そんな鈴木は見たくないな。それこそ馬鹿になって現役に固執してほしい。

玉袋 そういえばターザンは猪木に「馬場になれ！」って言われてましたけど。

博士 それなら俺は篠原に「2代目馬場になれ！」って言いたいよ。

玉袋 春一番も詩集「春になれ」とか出したらいいのに。

博士 アル中で死にかけてた過去に比べれば、今はCMまで出て十分「春」爛漫だけどな。

玉袋 ちなみに我らが神様の殿（ビートたけし）も詩集を出してんですけど、タイトルが『僕は馬鹿になった』なんですよ！

博士 二人の教祖がそう言ってるならば、俺たちは馬鹿になりまくろうぜ！

玉袋 新潮文庫の『アントニオ猪木自伝』に次いで教典になりましたよ。

博士 そんでもって『猪木語録 闘魂伝承編』も出版された。

玉袋 ヒャッ、船木イズムの伝承者Show大谷の一冊でしょ？

博士 猪木イズムと船木イズムを同居させようとしてるShowは不思議な男だが、教祖様の御託宣を頂くためには最高の一冊だよ。

玉袋 そんな猪木イズムが注入された『プライド』がまた行われますよ！

博士 注目の大阪血戦10・31の大阪城ホール、『プライド11』だ。

玉袋 世間ではON対決の日本シリーズが話題になっていますが……。

博士 確かに、ミレニアムの2000年にようやく実現した、このビッグネームの雌雄を決する闘いは、今世紀最後の見物だよ。

玉袋 なにしろ、Oは大仁田、Nは、中牧ですからね。

博士 なんで、大仁田自主興行の権利書マッチの話なんかしてんだよ。しかし、このONに対抗するため、猪木の肝いりで、ついに、実現したのが日本格闘技界注目のOS対決だよ。

玉袋 そうそう、MACのG4か、ウィンドウズMEか。

博士 パソコンの、OS対決じゃないよ。ようやく、あの男が重い腰を上げたんだよ。

玉袋 ついに、ついに、長い沈黙を破って、出てきますね。

博士 いったいどこへ消えたんだって声も大きくなっていたからな。

玉袋 満を持して登場、ルーシー・ブラックマンですよ。

博士 失踪スチュワーデスの話じゃないよ。まだ、そいつは消えたままだよ。我らがオーちゃんだよ。

玉袋 金髪外人フェチのO容疑者？

博士 だからその話のオーちゃんじゃない！ 心待ちにしたオーちゃんだよ。

玉袋 待ってました。オーちゃんことスティーブ・オースティン。

博士 WWFで復帰したオースティンでもない！

玉袋 オーちゃん、ブラックマンさんをボコボコにしてた。

博士 そのブラックマンはスティーブ・ブラックマンだろ！ そうじゃなくて小川直也選手の話だって！ もはや、試合をしないで5カ月が経った。

玉袋 その間、我々は小川応援団として、小川復帰の願いを込めた、折り鶴ならぬ、紙ひこうきを、100万機折ったんですけどね。

博士 いつ、折ったんだよ。

玉袋 その間に、バラエティー番組には出倒してました。しかも、とんねるずでもダウンタウンでもウンナンでもお笑い派閥に関係なく誰とでも絡めるところが小川選手の凄さですよ。

博士 最近じゃあ、テレビ界じゃ出川より、小川のほうが使いやすいとの評価もあるくらいだよ。

玉袋 バラエティーでもあれだけ絡めたんだから、格闘技界でそろそろ絡みだすわけですよ！

博士 対戦相手は、平成の空手バカ一代、佐竹雅昭選手。空手VS柔道。正直言って、ワンマッチでドーム興行できるほどのカードだけに、もったいないよ。

玉袋 しかし、佐竹も小川もひょうきんなキャラクターが強いだけに、一部には『プライド』のリングには噛み合わないのではないかとの危惧もある。

博士 いや、それを避けるために、二人の舌戦は始まってる。小川が「殺す」と言えば「殺す以上のことをする」と佐竹も応戦。さらに「頭突きも、ヒジもなんでも有りでやろう！」と提案。

玉袋 それに応じて、小川も「盗撮ありでもOKだ！」と。

博士 言ってないよ！ 「セコンドに喧嘩っ早い空手家100人をつけたい」と呼びかけている。佐竹の腹のウチは、猪木VSウイリー戦の再来をやってみたいようだ。

玉袋 こうなると、セコンド陣営も楽しみですね。

博士 小川のセコンドには田村亮子・井上康生を連れてくるかもしれないぞ。

玉袋 いや、小川はヒールとしてシドニーオリンピック柔道100キロ超級の金メダリストのドゥイエを連れてくればいいんですよ！

博士 そこに篠原が観客として来ていて一触即発！ って、なにがなんでもプロレス的に期待させるなよ！ でも、蝶野の連れてきたミスターTみたいに鳴り物入りで、結局「後藤かよ」じゃ済まされないよオ。

玉袋 蝶野が連れていた、ミスターTは田代さんだったという説も。

博士 うるさいよ。そういえば俺は、田代さん復帰のために、100万羽のタコを折ることにした。

玉袋 なんで、タコなんだよ！

博士 とにかく空手VS柔道&日本人対決、この闘いの背景があるのだから、10・11横浜アリーナで生まれた名勝負「畑山VS坂本」級の闘いのレベルと感動を期待する！

玉袋 そんでもって、谷津VSグッドリッジもたまりません。

博士 谷津選手の44歳で『プライド』参戦は凄いことだよ。

玉袋 デビュー戦は是非ハンセン&ブッチャー組でやってほしかったけどね。

博士 いつのデビュー戦の話してるんだよ！ でも猪木プロデューサーも「谷津が一番強い」って発言あっただろ。

玉袋 実際、今後谷津選手が連勝街道まっしぐらで、桜庭にも勝利してヒクソンまでやっつけたら驚いちゃいますよ！

博士 すごい期待だな。

玉袋 目ェつぶって30秒ですからね。観客も目ェつぶって30秒後に目を開けましょうよ。

博士 その間に決まったら大変だろ！ 変な観戦の仕方薦めるな！ 組み技になれば、谷津に勝機はあるとは思うけど……。

玉袋 せんだみつおもビックリのグッドリッジの「当て逃げ」もありえるからね。

博士 高田のボブチャンチン戦も、相当に荷が重いカードだ。

玉袋 桜庭あつこよりも無謀だって声もあがっているぞ。

博士 それは言いすぎだよ。でも、自分でも「38歳の挑戦」ってテーマで言ってるから感情移入できるよ。

玉袋 でもボブチャンチンは今メチャクチャ絶好調じゃないですか。師匠の桜庭も心配でしょうね～

博士 逆だよ！ 桜庭が弟子なんだよ！

玉袋 その桜庭ですが、高橋尚子が国民栄誉賞受賞だとか言ってるけど、桜庭和志だって候補者だと思うんですけど…。

博士 そりゃそうだ！ でも今回の対戦相手のシャノン・〝ザ・キャノン〟・リッチって誰だろう？

玉袋 「まだ見ぬ強豪」って事ですよね。

博士 こういう選手が勝ってしまうかもしれないのが怖いぞ。

玉袋 そうなったら一気に国民栄誉賞候補ですよ。

博士 外国人選手だからもらえるわけないだろ！

玉袋 でも彼が勝ったら田中康夫の長野県知事当選よりも番狂わせでビックリですよ！

博士 何が起こるのか分からないのが、『プライド』だよ。

これでも食らえ！
奇跡のスーパー特写で大ブレイク！

小路晃二等兵

『プライド11』特攻大作戦

撮影◎中島ミノル

軍装品協力◎（株）中田商店 ☎03-3839-6866

小路晃二等兵

『プライド11』特攻大作戦

出陣
「お父さん、お母さん、行って参りますっ!」

お前、何見てるんだ（笑）？

小路晃二等兵

『プライド11』特攻大作戦

戦場の
SHOJI'S LIFE

特攻大作戦

『プライド11』

親父の海

小路作満（さくみつ）、最後の遺伝子

小路の父・作満さんは富山でホタルイカ漁を営む漁師。だが、3人の子供たちはそれぞれ設計士（長男）、アメリカ在住のコンピューター技師（長女）、格闘家（次男）と、父の職業を継ぐ者はいなかった…。今回「オヤジを喜ばせてやりたい」と涙ながらに実現したスーパーショットがこれだ！　ビバ、小路ファミリー！

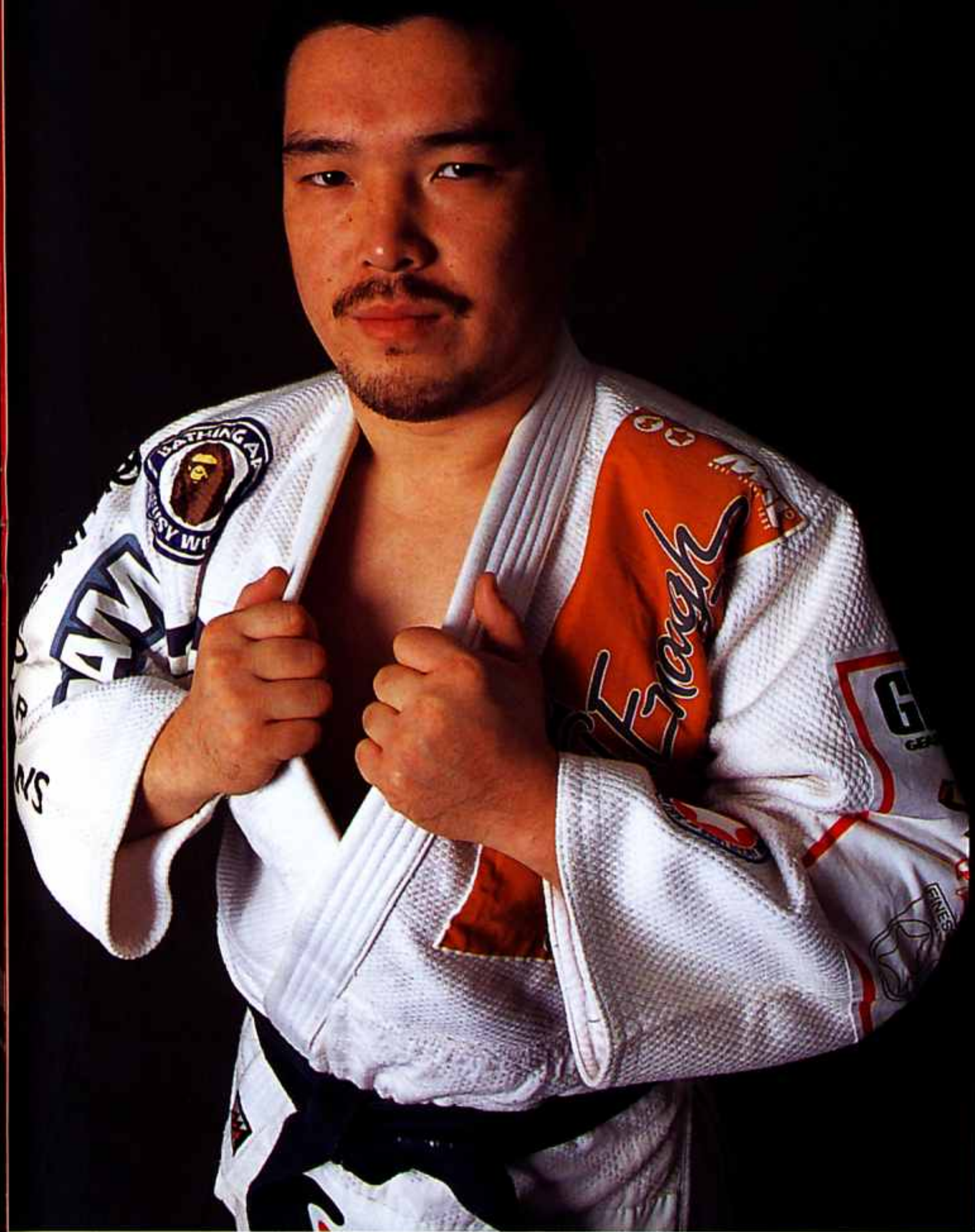
『プライド11』

特攻大作戦

慧舟會は聖家族 だからアキラ大好き♥

猪木さん、僕を『猪木プロデュース』の試合に出してくださいっ!

《撮影後記インタビュー》

〝最後の日本兵〟小路晃の野望

まいったか、この野郎！　今まで地味に思われがちだった小路だが、今回の特写でも分かるように、プロとして輝く可能性は青天井なのだ。10・31『プライド11』ではヘルマン・レンティングとの対戦が決定したわけだが、「入場は日本兵のコスプレで！」と願いを込めつつ、撮影後にインタビューしてみた。

——いやー、小路さん凄い！　まさかここまでハマるとは思いませんでしたよ、日本兵が（笑）。

小路　そうですか…。僕も漁師の格好は、やってて…嬉しかったっていうか。

——嬉しかったですか（笑）！　あれはもうお父さんの遺伝子としか言いようがないですよね。似合いすぎですよ。

小路　ウチのオヤジだったらもっと似合うんですけど…。

——そりゃ本職ですもん（笑）。

小路　お袋も喜んでくれると思います。

——ククククク（笑）。コスプレで撮影したのは初めてですよね。照れませんでした？

小路　映画の撮影でちょっとは慣れました。なんか、演じている自分に…酔うっていうか。

——はぁ〜。オニギリを見つめる自分に酔ってたりして（笑）。今度の『プライド11』でも、ゼヒあの格好で入場してくださいよ。

小路　あ〜っ、それは…。やりたいですけど、周りがなんて言うか。

——今回はチケットの売れ行きが凄くて、確実に超満員になるみたいなんです。その盛り上がった会場でですね、日本兵を（笑）。やっぱり入場のインパクトは大事ですよ。

小路　そうですねぇ。それは大仁田さんなんかを見ても分かります。凄いですよねぇ、大仁田さんの入場って。

——入場とマイクだけで、あれだけ注目されちゃうんですからね。

小路　前にFMWの大会を見に行ったことがあるんです。試合が終わった後に大仁田さん、お客さんに水を〝ブーッ！〟って吹きかけますよね。「FMWは絶対に潰さん！」って。あの水を浴びて、凄く嬉しかったんです。

——そんなに好きなんですかぁ。大仁田さんの、あの面白さが理解できるってことでも、小路さんは〝素質あり〟だと思うんです。そうか、元々プロレスファンなんですね。

小路　それに、プロレスは昔ちょっとやってましたし、覆面被って（笑）。

——『プライド』って、猪木さんがプロデューサーになったじゃないですか。そういう大会で、単なる格闘家って言ったらアレですけど、強い、弱いだけの勝負をしてたらもったいないですよ。

小路　猪木さんがいるんですもんねぇ…。猪木さんの視界に入るようなことをしないとダメですよね。僕もぜひ『猪木プロデュース』の試合に出させてほしいんです。

——小路さんが『猪木プロデュース』に（笑）。意外だなぁ。「あれは別枠」とか、そういう感じじゃないんだ？

小路　それはまったくないです。僕は昔からメチャメチャ猪木ファンなんですよ。TVも毎週、見てたし。

——あぁ〝金曜夜8時〟の世代なんですか、そうすると。

小路　ええ。僕が子供の頃は毎年1回、

実家の近くで新日本の興行があったんですよ。それは欠かさず行ってました。結構、いいカードも多くて。

——どんな試合を覚えてます？

小路　そうですね。…タイガーマスク対フィッシュマンとか。

——フィッシュマン（笑）！　いましたねぇ。じゃあ例えば小路さんから見て『プライド』の選手で「プロだな」って思う選手は誰ですか？

小路　やっぱり、桜庭選手です。

——それはどの辺が？

小路　技術的な部分になっちゃうんですけど、凄くリラックスして闘ってるんですよ。僕なんかいつもガチガチになってしまうんですけど、桜庭さんは脱力ができてるので、普通はできないような動きができるんだと思います。

——あと、観客を意識してるかどうかも重要だと思うんです。相手だけじゃなくてファンも視界に入ってるから「なんかつまんなそうだな、じゃあ飛んでみるか」みたいな。それが対戦相手にとっては「何をやってくるか分からない」ってことになるんじゃないですか。

小路　あ〜…。たしかに僕はまだそこまでいってないです。以前、スカパーの武藤（敬司）さんの番組でお話させてもらったんですけど「俺だったらあの場面はこうするな」とか、いろいろ見せ方のアドバイスをもらいました。

——へぇ〜。それは試合の中の動きについてですか？

小路　はい。あと、試合が終わった後のこととかでも。「その点、藤田はプロレス出身だからうまいだろ？」って。

——プロレスラーは見せ方は凄いでしょうね。やっぱり観客の目に鍛えられてるから。それに『プライド』のお客さんもプロレスファンが多いですよね。

小路　それは僕も感じます。お客さんにどう見せるかっていうのは大事だなって。

——小路さんは今、藤田選手と対戦したいって言ってますよね。

小路　はい。できれば12月にでもやりたいです。

——それはやっぱり、藤田選手のプロとしてのあり方みたいなのも関係あるんですか？

小路　どうやったら注目されるのかな、みたいなことは考えますね。

——あぁ、やっぱり。小路さんの中でそういう意識が芽生えてきたのかな、という感じはしたんですよ（笑）。だから、今回あぁいう格好をしてもらったっていうのもあるんですけどね。絶対、今回の特写で注目度は上がると思うんだよなぁ。ご両親もお喜びでしょうし（笑）。

小路　はぁ…。

——あと藤田戦に関して言えば、藤田さんに対して「なんだよ！」って思う気持ちもあるんですか？

小路　そうですね。…ジェラシーっていうか…。

——藤田選手は上のほうでやってるじゃないですか。なのに「なんで俺は休憩前の試合なんだ！」って。

小路　そうですね。「ずっと前から頑張ってるのに」っていう。

——藤田戦はなんとしても実現してほしいなぁ。決定した時点で小路選手の〝勝ち〟ですよ、これは。そのためにも…。

小路　自己主張っていうか、そういうものが大事ですよね。

——結果だけを見たら、小路さんだって十分なものを残してるんですから。今回のレンティング戦も、そういう小路さんなりの〝プロ意識〟が出たら面白いなと思うんですよ。

小路　レンティングは高校生の頃にリングスで「ケンカ屋っぽい選手だなぁ」と思いながら見てたんですけど、まさか自分がやることになるとは考えてませんでした。たぶん、フェアにはやってこないと思います。

——やるでしょうねぇ、差し合いの時に目突きとか。ワクワクしますよね（笑）。

小路　いや、やられるのは自分なんで、それはなんとも…。でも向こうがやってきたらこっちもやり返すんで。目を突いてきたらこっちも目をくり抜く覚悟で。

——いいですねぇ。〝キラー・アキラ〟（笑）。「ヒェーッ！」ってヨダレ垂らしながら殴ったりして。それでこそ〝最後の日本兵〟ですよ（笑）。

小路　（笑）。

——あとは腕がらみで骨折させて「あれはもう治らねぇでしょう。二段で絞め込みましたから」って言うとか（笑）。とにかく、普通に十字とかスリーパーで勝っても、お客さんは「まあ、実力的にはそんな感じなのかな」って納得するだけのような気がするんですよね。

小路　そうですねぇ。技でいうと、今ストラングル・ホールドを練習してるんですけど…。

——ストラングル・ホールド（笑）。あの技ってかかるモンなんですか？

小路　結構、できるんです。

——フィニッシュはゼヒそれを狙ってほしいなぁ（笑）。〝暴走レンティングを怒りのストラングル・ホールド葬！〟（笑）。「アイツの首はルーズジョイントでした」とか言いながら（笑）。

小路　や、やってみようかなぁ…。■

12月に藤田選手と闘いたい。プロとしてジェラシーがありますから

猪木、恒例の成田会見でマット界をメッタ斬り！

今こそ猪木の言葉を聞け！

10月16日（月）成田空港から再びロスに飛び立ったアントニオ猪木は、恒例の成田会見でまたしても爆弾発言でマット界をメッタ斬りにした。それにしても、猪木の発言はいちいちうなずくことばかり。今こそ、猪木の言葉を聞け！

取材＆撮影◎"Show"大谷泰顕

——小川が久しぶりの試合になりますけど、どんな試合を期待してますか？

猪木 だいぶ緊張してるみたいだけど、分かりませんねぇ。まぁ、予想がつかないほうが面白いんじゃないかな、うん。まぁあの～、佐竹の場合は結構、この間の村上戦じゃないけど今、対策を結構やってるようですし。この間もチョロっとそんな話をしてきたんで、アドバイスをしましたけどね。それはもうお互いがリングで闘って、向き合った時にいくら計算してもそのとおりいかないのが、格闘技ですからね。あとは練習積んでるほうがね、最後は……。

——佐竹さんのほうから、ルールを頭突き・ヒジ打ちありのバーリ・トゥードにしようって言ってるんですけども？

猪木 いや、べつに。たいした違いはねぇでしょう、バーリ・トゥードだろうとなんだろうと。

——小川さんにしても今回は猪木さんが佐竹さんの味方をしてるような気がするって言って、ちょっとナーバスになってるようなんですけど。

猪木 うん、面白いんじゃないの。味方はしてないけどね。やっぱり、まぁ、そう簡単に侮れないっていうか、みんなそれぞれが、研究しているから。

——ルールは本人たちで決めてもらいたいですか？

猪木 いや、普通のルールでいいんじゃないですか。『プライド』のリングに上がってくるんだから。みんなあんまりルールを知らないみたいだから。

——小川さんは今回、5月以来の試合なんで、橋本選手以上の開きがあるんですけど、どんな部分を期待されてますか？　単に勝つ、負けるっていうのを超越した部分で。

猪木 どっちを取るかだと思うんだけどねぇ。要するに、自分のこれだけできるよっていう力量で勝負していくのか、それとも勝負一本に絞ればどうやって捕まえてグラウンドに持ち込むかっていう、そのどっちかに絞っていかないと。曖昧な部分でやると、やっぱり蹴りは受け止められても、パンチのほうは、厳しいですからね。こんなこと言うと小川がまたナーバスになっちゃうかもしれないけど。まぁ、分かんない。俺はもう格闘技者じゃないから（笑）。

——やはり佐竹有利ですか？

猪木 うん、小川の場合、プレッシャーがかかると思うんでね。あとは本人の闘いになってきますけどね、プレッシャーとどう闘うかっていう。もう1年も2年もやってきて、その前にもう基礎があるわけだから。それぞれみんなプロで、意識をもってるわけだし、アドバイスがどうとかっていうことは、いらないと思うね。

——小川選手が『プライド11』が終わったあと、UFOの自主興行をやりたいっておっしゃってたんですけど、猪木さんはどうですか？

猪木 いいんじゃないですかね。何回も言うようにちょうど今年から来年っていうのは、全てが大きな転換期っていうか、テレビ業界もそうだし、プロレス界もそうだろうし。そういう意味では、独自の団体として生き残っていかなきゃいけないんだから。

——橋本選手なんですけども、この間新日本の10・9東京ドーム大会で復帰戦をしたんですね。それからがはっきりせず、曖昧なんですが。

猪木 それはまあ新日本の問題だから、どうするかは。…と言っても、ほっとくわけにもいかない状況がくるかなあっていう気もしますけどねぇ。まぁ、たまたま俺のところにホームページがあるんで、この意見が全てじゃないとは思いますけど、かなり的を射てるんだろうと思うんだけどねぇ。そこで批判と受け止めるか、意見として「ファンだからこうしてもらいたい」っていう熱い思いを受け取るかですよね。やっぱり受け取る側の器量の問題になってくるよね。自分のことが良く書かれてる本が気持ちいいに決まってんだけど、やっぱりそれが100%じゃないから、これからそういう調子でいこうっていう意識を持っていくんであれば、そういう意見を取り入れるっていうか、聞く耳を持つ必要があると思いますけど。

——橋本選手の復帰戦は、ごらんになりました？

猪木 見てない！　見たくもないというか。

——橋本さんが新日本から独立するっておっしゃってたのは……。

——藤波社長の意見としては、団体内での独

要するにプロなんだからさ、なんだか分かん

いいのかな」とか、そんな危機感を感じてく

新日本は時代に取り残されている！ 橋本が団体内独立しても笑われるだけ！ みんなそう思ってんじゃないの

しゃってたのは……。

猪木　もうそんな、甘っちょろいことじゃなくて、一人で独立すりゃいいじゃん、本気で。そういう裏交渉なしでね、そんなものファンはお見通しだから、全部。笑われるだけだよ、そんな小手先のことじゃあ。だから独立するならお金も自分で集めてやるぐらいの器量がありゃあ面白いんだけど。今、こういうことが例えば業界の中での情報としてあると思うんだけど、暗黙の了解で、業界として伏せとこうよとかね。でも今はそういうことが全部、許されない時代になっちゃってるじゃない。政治であろうとなんであろうと。そういうことに自分たちだけが気が付いてない。小手先でファンを納得させることはできないからね。やっぱり、いつ何時でも真剣勝負、どの場面でも、試合だけじゃなくて、やはりマッチメークも真剣勝負であってほしいと思いますね。

▲猪木の一言で決まった佐竹vs小川戦。世紀の決戦になるか?

——藤波社長の意見としては、団体内での独立みたいなのを考えてらっしゃるようですけど。

猪木　…まぁ、今日も電話がバンバンかかってきたけど、一切出ませんでしたよ。10本くらい入ったんじゃないかな。べつに俺は今、興味がないと言ったの、もうズバリね。任したんだから好きなようにやりゃいいじゃない。ホントに相談がありゃロスでもどこでも飛んでくるだろう。

——バンバン電話が入ってきたっていうのは、新日本のほうから?

猪木　知らない！　ンムッフフフフ。

——まあでも橋本が真剣に飛び込んで来れば、猪木さんとしては……。

猪木　いや、本人がさ、満足してりゃ、それ以上言うことないけど、やっぱりさっきも言ったようにインターネットでさ、俺は見てないからなんとも言えないけど、でも予想はついてたよ。あとから報告受けてるけど。だから何回も言うように長州と大仁田にしてもザマアミロっていう試合を見せてほしいっていうだけで、ねぇ、何やったってかまわないわけだからさ。「アントニオ猪木の野郎、ザマアミロ！」っていうぐらいの、ビックリさせる試合が見たいなぁって俺は思ってるだけですよ。ファンの皆さんもそうじゃないんですかねぇ。違うの？　記者の皆さんもそう思ってんじゃないの？　なんで俺に代弁させて、自分たちが書きゃいいじゃねえか。変なゴマすることもねえしさ。だってさ、つまんねえもんはつまんねえんだもん。1万円払って、あー良かったと思うのか、損したと思うかだよ。

——小川あたりも、潰し合いをやるぐらいな試合をやらないと、次につながっていかないという感じがしますが？

猪木　ま、殺し合いっていうのは必ずしもいい表現じゃないから、なんとも言えないけど。要するにプロなんだからさ、なんだか分かんないけど俺たちには予想がつかない、そういうものを見せてくれれば。もう一つは、たぶん先の話になるけど今年の後半でいろんなものがガタガタガタガターって動き出しますから、一つ言えばインターネットの。前から言ってるように、ちょっと俺が発表するのが早すぎたのかもしれないけど。ま、年内に系列化していくというか、銀行もそうでしょう。大きな銀行と銀行がくっついてより大きな勢力になっていくっていう。世界中の全ての流れが系列化していくっていう方向にいってますから。そんな中で多分、ま、できるだけ早い時期に方向性だけは見せてあげないと。ま、新日本がどうであろうと、そんなことはどうでもいい。大きなそういう流れの中で、立ち後れないようにしないとね。だから今度帰ってくるまでにそういうことは全部具体化してると思いますので。帰って一息してから、武藤が多分来ると思いますけどね。まぁ、みんなぬるま湯に浸かってる限りはいくら俺が意見したって、いくらそうやって気付かせようとしたって、気付かないから。ぬるま湯から1回飛び出してみないとね。そういう意味では今、武藤がちょろっと外へ出てって、冷たい風というか、うん。毎日氷風呂入ってりゃ分かると思うんだけどね、ンムッフフフフ。

——武藤は、話してみてどうするとか……。

猪木　まぁ、あの、前にも言ったけど「気付くのが遅せえよ」って言いたいんだけど、それ言っちゃ、実もフタもねえから言わなかったけどさ。今、外からモノを見て、「これでいいのかな」とか、そんな危機感を感じてくれれば。あるいは自分自身が生き残っていくために、前からメッセージ送ってるのは、要するにアメリカの猿マネはダメだよと。それからアメリカのモノを取り入れるのはかまわないけど、いろんなことを学ぶ、と同時に己というものをどうやって個性化していくかっていうことが問題なわけで……。

——総合格闘技の路線はどうですか？

猪木　面白い企画はいつくか動いてますけどね。今年は勝負なんでね、各団体や興行会社がみんな苦しいようだから、大ボラ吹くわけじゃないけど、たぶん俺がみんなスポンサーにならなきゃいけない時代が来るだろうと。ということで、自己破産をしてまいります、ハッハッハッハ。

——その後、石澤選手に関しては？

猪木　この間パラオに連れていって、いい顔してたから、大丈夫でしょ。本人の意思はずいぶん固いようで、また1回ゆっくり本人から聞いてもらったらいいと思うんで。まあ、俺なんかは今どうしろこうしろじゃなくて、本人が何をしたいの？　じゃあ、俺が何を手伝えばいいの？　っていうスタンスで考えてますから。彼が本当にやりたいんなら、リベンジでもなんでもやればいいしね。ただ、かわいそうなのは、やはり巡業しててその試合一本だけに絞っていくことができないということですね。ま、俺らはそういうことしてきたんだけどね。でも、今の時代はそういうわけにいかないのかもしれないしね。それに、集中した海外でのトレーニングとか、それは

やっぱり外人を相手にする以上、敵陣に乗り込んでいって、いろんなことをやっていかないと。やっぱり、変化してるからね。彼の中にはおそらくブラジル修行時代のことが頭に残ってると思うけど、それがどんどん進化してきてるから。やっぱり時間を与えてあげないとかわいそうかなと思いますね。だって俺は言ってないけど、人気なんか落ちてないでしょ? べつに。みんなが人気落ちたと思って心配して、グダグダ言っても落ちやしねえよ、そんなもん。

——そういう時代じゃないですからね。猪木さんは自分のしたいことをして、外からも見るような感じでやってきましたよね。

猪木 だって昔はそうやってたじゃねえかって! 俺たちは、全部ね。海外にも出ていって、ドイツだろうがどこだろうが時間さえあれば合間をぬって出てって、見てきたんだから。世界が動くと同時に新日本も今後のシステムを組みながらやってかないと。なんでこんなふうになっちゃったか、分かんないけど。

——やっぱり、もの足りなさが?

猪木 なんで新日本はそのホームページを伏せちゃうのかなっていうね。やっぱり、今一番大事なことは、大衆の意見というか。これも政治と同じように大衆の意見を聞かなきゃいけないってことですよ。今の政治も、そうは言いながら、その声が反映されない状況になってるけども、まして新日本はそういう扉を閉めちゃってる。じゃあ、世間が何言ってるのって。自分が心地よい言葉しか聞きたくないよって言うんじゃ、ちょっと難しいんじゃないのかなって。自分の悪口言われて、嬉しがるバカはいないけど、でも、その中に真実とかメッセージとかいろんなものがあるから。それを直に聞けるわけじゃん。ああ、そうなんだ、じゃあ、ここんところを俺たちはもっと違った形でお客さんにアピールしようやとか、簡単な答えをお客さんがくれてるじゃない。違いますか?

◀10月11日の「猪木・詩集出版記念パーティ」で久々に顔を合わせた猪木と髙田。猪木は髙田の頬を張ると、髙田は嬉しそうに抱擁

——そのとおり(笑)。橋本にも〝馬鹿になれ〟と?

猪木 彼は、利口だから馬鹿にはなれんな。

——多少、馬鹿になれるほうが可能性ありますよね? あんまり利口すぎるより。

猪木 ま、利口か馬鹿かってのは難しいところだけどね。ホントの馬鹿はしょうがないけど。

——理想が固まってきたら、いろんな人が復活できる可能性はありますよね。

猪木 ある意味で挫折を感じた佐竹なんていうのは、みんな並べて言うとね。強い弱いはさておいて、一気にボーンと飛び出る可能性を秘めているよね。彼には何か馬鹿に徹する強さを感じるよ。まあ明るさというか。

——この間、出版記念パーティの時に、髙田さんを久しぶりに張ってましたけど、なにか……。

猪木 べつにそんなことない、ただそういうタイミングだっただけで。もっと元気を出してもらいたいなっていうね。みんないい素材持ってて、でもみんな寂しいから誰かが声をかけてあげないと。まあ、反発したって何したっていいんだけど。どっかで闘う場所が出てきて、一時輝く時があるんだけどさ、一瞬じゃなくてもうちょっと輝きが持続するようなことを考える必要があるんじゃないかな。俺なんかはどういうわけか、運が良かったのか、ありがたいことに鈍い光だけどずーっと光ってますけど。

武藤はアメリカの猿マネじゃダメ 石澤はリベンジの試合に集中すべき 時代はどんどん進化しているから

——UFOの自主興行はいつ頃やってみたいなって思いますか?

猪木 だって俺UFOの社長じゃないって。おまかせしてるんで。まあ、近い内にあるんじゃないですか?

——年明けくらいになりそうですか?

猪木 俺は海外戦略用として考えていますんで、中国とか。前から言ってるテーマなんで、ホントは年内11月か12月にという話があったんですけど、多分まあ、俺のほうのスケジュールがもうダメんなっちゃったんで、決まってるわけじゃないんですけどね。年明けてからとか。で、映像発信がもう年内にはスタートしますからね。映像発信の中でどこを選択するかはこれから、逆に言えば俺たちにも選択肢があるというか。テレビとの関係もはっきり言やぁ、ホント逆転しちゃってるからね。嫌ならやめていいですよと言える。新日本も気付いてるかどうかは知らないよ。相変わらずテレビ朝日にしがみついて、でも、たぶんもう逆ですよね。前から言ってるように、それは逆転するよって、必ず。でも逆転してみて初めて、ああそうかって分かったんじゃ遅いからさ。テレビ朝日が憎いとかじゃなくてさ、やっぱり育てようという発想があるかどうか。これはこれから組んでやっていく上で大事な部分じゃないですか? やっぱり持ちつ持たれつで、だけどそういう意識のないとここにいくら奉仕したってしょうがねえじゃん。番組だって、どこに時間を変えるのか、変える努力をするのか、やるのかどうかも分かんないしね。そういう意味では対等の立場で交渉ができる時代に入ったと思うんでね。仮にそれを蹴られても大丈夫な体制はとっとかないといけないしね。……まあ、でも新日本はたいした会社だよ。潰れねぇんだから(笑)。

——次の10・31『プライド11』は猪木さんいらっしゃるんですよね。

猪木 そう。あとは本が結構売れてるようなんで、サイン会をという話があるんで。まあ、せっかくやるなら一生懸命努力したほうがいいかなと(笑)。

——橋本に何かアドバイスがあれば……。

猪木 俺に聞くなよ! そう言っとけよ、猪木は笑ったって。もったいないよホントに、みんな凄いチャンス持ってるのにね。これだけはもう批判じゃなくて、みんなそれぞれ凄い可能性を持ってるわけだからさ。安田のバカにしてもさ『プライド』に出れば一発で光ってさ、あんな借金だらけでさ、死ねってオマエ。でも一発逆転ってあるから人生って面白いじゃない、ねえ。恥かかすようなことしねえよ、絶対。だからそんな何千万か知らんけど、一発命がけで闘ってがんばったら、それぐらいのものはすぐ彼だって返せる。だって、俺がそれやってきたんだもん。今こうやって50億からの借金を全部きれいにして。てめえで使ったわけじゃないけどね、それはね。安田とは質が違うけど、ンムフフフフ。それ

も夢じゃん、一つの。みんな知ってんだろ？もらったギャラ持ってってよ、ラスベガスでドーンと一発当ててさぁ、それを3回くらいなんでもいいから続けてすりゃ、1億くらいになるじゃん。

――そういうので失敗したからこうなったんじゃ……（笑）。

猪木　いや、続けなきゃ。たびたびじゃダメだよ。とりあえず一千万くらいギャラもらってきてよ、一千万を3回やりゃあ二千万、四千万になって、3回勝てばおつりがくるじゃねぇか。

――まさにギャンブル（笑）！

猪木　フッハッハッハッハ。安田を救済する会っての作ろうかあ、みんなで金集めて。お前ねぇ、とにかく金賭けろっつって。あいつの反対賭けりゃあ、必ず勝つよ！　ハハハハハ、ンムッフフフフ、ハハハ。

――12・23『プライド12』をチャリティイベントにするってのは？

猪木　いや、いっぱいいるんだよそういうの、ホントに。かつては俺もそうだったからさ。自己破産しようかとかさ、悩んでるヤツいっぱいいるじゃん。そんなことやめとけって。自己破産したって何したってつまんねえじゃん。ホントにいっぱいいるんですよ。だから、そういうね、今アドバイザーをやってる。俺は経験者だけど自己破産しなかったからね。くだらねえよ、そんなのってさ。命まで持ってかねえよ。経験者は語るからね。経験したってオカマだけはやってないけど。

――ハッハッハッハ！

猪木　そういう話をいっぱい書いて面白くしてくださいよ。ねえ、2000年も終わりだもん、もう。

――安田さんは内臓疾患という理由で新日本を欠場中です。

猪木　欠場してんの？

――一応、内臓疾患で。

猪木　カネがナイゾウ疾患。ンムハハハハ。

――内臓疾患って言って、ホントに内臓疾患だった人は意外と少ないですけどね。

猪木　人間ってそんなもんよ。だからね、どん底までいったらさ、あとは起きあがるしかねえじゃねえかっていうさ。マルチ商法の一番基本的な教えがあるけどさ。

――勝たなきゃいけないっていうドラマがもうできてるんですからね。単に試合する人より全然おいしいかなって。

猪木　あれだけメッセージ送ってもさ、なしのつぶてじゃつまんねえじゃん。アントニオ猪木からのラブレターっていったら多少は価値があるはずなんだけどな。

――今回『プライド11』の桜庭選手の相手って猪木さんが選ばれたって発表だったんですが。

猪木　誰だったの？

――シャノン・リッチ

猪木　これは凄いらしいよ。

――無名ですよね。

猪木　無名だけど。

――どんなタイプの選手なんですか？

猪木　ドン・フライが太鼓判押してるから、本格派の格闘家で、総合力ではある意味……。

――逆に猪木さんが桜庭選手にこういうふうに闘ってほしいみたいなの、ありますか？

猪木　どちらかというとヒクソン系の選手が多かったんでね、ちょっと危ないんじゃないかなぁ。勝ってくれりゃいいけど、勝てなかったら後で恨まれる。

――これからも『プライド』のリングには猪木さんからどんどん選手送り込んでいくんですか？

猪木　というよりね、インターネットという新しい時代が拓いてくると、その新日本、プライド、UFOも含めて全部がまた違った価値観っていうか、評価をされてくるんでね。これが世界というマーケットを相手にした状況になってきますから。そういう意味では新日本がどうとかってこだわってるわけにもいかないんで。新日本には世界に通用するような意識に目覚めてもらいたい。要するにマーケットは世界だよって。自分たちの小さな範囲で満足してんのかどうか分かんないけど。その扉を開くのが俺の役割かもしれないから、何回か刺激は与えたけど、扉が開かなければ、そうとうきつい扉をねえ、ハンマーでブチ破んなきゃいけないかな。

――シャノン選手は、ドン・フライを経由して猪木さんのところに話があったんですか？

猪木　ドン・フライは、やっぱり、彼の夢が一つあるんですけどね。格闘家を育てたいっていうね。とにかくアリゾナにそういう格闘家がゴロゴロしてるんですよ。ギャラなしでもいいから出たいと言ってるようなね。将来的な構想としては、そういうネットワークを世界中に拡げていきたいと。新日本としては面白くないとか言ってるらしいんですが、あんまりガタガタ言ったってね。そういう意味では新日本の扱いってのは逆に気に入らない。選手はただ、契約は守んなきゃいけないけど、逆に言えばもっと自由にさせながら、全体がもっとレベルアップしていくということも考えていけば、どっちがプラスかマイナスかということになるし。どちらかというとマイナスにとられてしまう傾向があるからね、そのへんはまあ、ゆっくり話していく必要が……あるのかないのかそりゃ分かんないけど。そいじゃ、いいですか？

――ありがとうございました。■

ある意味、挫折感を知ってる佐竹には可能性がある
借金地獄の安田は『プライド』で一発当てろ！
新日のドン・フライの扱いも不満あり

▲猪木は新日本でのドン・フライの扱い方にも不快感を表す

◀10月16日、成田空港で。インターネットを見ながらファンの声をリサーチ？

ターザン山本、あらためて10・9東京ドーム
新日本VS全日本対抗戦に異議申し立て

川田VS健介戦はエンターテインメントのかけらもなかった！

文◎ターザン山本

みんな分かっていない。

だからこれだけは、はっきりと言っておきたい。それは〝エンターテインメント〟の定義についてである。

私は常々、言葉は定義してから使えと言い続けてきた。これは他者と関係を持つ時の最低限のルールなのだ。

なぜ、こんなことを今さら言う必要があるかというと、プロレス界は今やエンターテインメントの〝エ〟の字もなくなっているからだ。

エンターテインメントは日本語では通称〝娯楽〟と訳されている。または〝余興〟のことでもある。つまり人を楽しませるもののことを、エンターテインメントというのだ。

人を楽しませるには〝全知全能〟をかけてやれ。知恵もお金もみんなつぎ込むんだ。ぶち込むんだ。それをやった時に初めて面白いものができる。

それがエンターテインメントの極意である。娯楽の基本なのだ。つまり私がエンターテインメントを定義すると、次のようになる。

「エンターテインメント（娯楽）は最高のものしか通用しない！」

最高のもの、ベストなもの、突出したもの、際立ったものがすなわちエンターテインメントになる。我々が娯楽に求めているものは、それなのだ。

10月9日。

東京ドーム。

メインのカードは川田VS健介戦。

これをマスコミは全日本プロレスと新日本プロレスの〝頂上決戦〟と呼んだ。

いったい

どこが

何が

頂上決戦なの？

笑わせるんじゃない

ふざけるんじゃない

なめるんじゃない

いい加減にしろ

ちゃんちゃらおかしい

冗談でしょう？

ジョークでしょう？

腹が立った

ムカついた

そう思ったオレは正常だよ。興行を楽しむオレの側にも、プライドというものがあることを、新日本は分かっていない。気がついていない。無視している。

そうでなかったらあんなカードをメインにはもってこれない。恥ずかしい。結局、今のプロレス界で最高のカードが川田VS健介戦だと、新日本は言っているわけなんだ。

もう、メチャクチャ、敷居が低い。そのハードル（レベル）の低さは、厚顔無恥というか、厚かましいのにもほどがあると言いたくなってくる。

力道山、馬場、猪木が作りあげてきた日本のプロレスの歴史に対して、失礼きわまりない話である。

川田、健介に怨みはない。この2人には悪いと思うが、川田VS健介戦のカードを見せられた時「この国のプロレスはもう終わったな…」と思ってしまった。

あの程度のカード、あの程度の試合でもし〝年間最高試合〟をとったら、本当にこの国のプロレスは、確実に終わっている。間違いなく終わっている。

そういう言い方をすると、たぶん「週刊プロレス」や「週刊ゴング」で仕事をしている人たちは、強烈に反発するだろう。彼らの立場がないからだ。

それが専門誌、業界誌の宿命というものである。業界を守る立場にあるものからすると、川田VS健介戦もいい商品というしかないからだ。

哀れである。こっけいである。最高のものしか通用しないのが、エンターテインメントの大原則だとしたら、やっぱり川田VS健介戦は哀れである。

G・馬場とA・猪木を見てきたものからすると、絶対に川田VS健介戦には〝異議申し立て〟をしたくなる。しなかったら嘘だ。それこそマンガだ。

週プロと週ゴンの記者は誰ひとりとして、川田VS健介戦に異議申し立てをできないのだから気の毒である。

あの試合を現時点で最高と、思わなければならないことの不幸。これはもう彼らに同情するしかない。

実を言うと今の日本のプロレスは、万事がそうなのだ。インディーズがまさにそう。彼らは初めから最高のカードを提供できない。それが前提になっているからだ。

インディーズの定義はべつに最高とは言えないものでも自分の存在をアピールしようとする、それがインディーズのこ

©平工幸雄

とである。現在のマット界はファンにインディーズしか見せていない。

1年前まではまだワン・メジャー・アナザー・オール・インディーズという見方があった。新日本プロレスがマット界で唯一のメジャー団体。あとは全部、インディーズという捉え方だ。

新日本がなぜワン・メジャーたりえたかというと、単に東京ドームで1年に3回興行が打てるというそれだけのことでクオリティー（質）の面で決して最高のものを提供してきたわけではない。

組織力と資金力で他団体を圧倒していただけの話。今となってはもはやそれだけでは、ファンに最高のものを見せていることにはならないのだ。

メジャー団体だからといって、それだけでエンターテインメントとして合格とは言えなくなった。力関係では今でも新日本がダントツなのに、エンターテインメントにおける求心力は、がた落ちしたということである。

これは猪木と長州の力量の差が出たと言ってもいい。長州は新日本という団体を〝運営〟していこうとする。これが長州の基本的な生き方。

長州は〝現場監督〟という呼び方をされているが、それはそもそも名誉なことではない。彼の場合、権力によって現場を管理しようとするからだ。

これはエンターテインメントを売りものにしている世界では最悪。エンターテインメントが力によって組織を動かそうとしたら、それは〝才能〟によってしか有り得ないのだ。

常に最高のものしか通用しないのがエンターテインメントと定義したが、その最高のものとはすなわち〝才能〟のことである。

ごく当たり前のことだがエンターテインメントは、才能を見せ物としている世界のことなのだ。猪木はどんな時でもその才能によって、部下を抑え組織を抑えてきた。だから猪木はべつに現場の監督になぞなる必要は、どこにもなかった。

才能だけがオールマイティ。才能だけがスペードの女王。才能だけが印籠になる。エンターテインメントが求めているものは、それ以外には何もない。

馬場も猪木も権力者ではなかった。才能によって組織に君臨した。それが健康的なエンターテインメント集団のトップの正常なあり方なのだ。

要するに、才能が全てなのだ。1990年代に突入したあとのマット界は、多団体時代になっていった。猫も杓子も団体を旗揚げしていった。

それはそれでマット界を盛り上げ大きな貢献を果たしたが、今となっては弊害のほうが大きくなった。才能という最高なものがそこにはまったくないからだ。

我々が見たいものは才能に尽きる。それはダイヤモンドと同じで、この地球上にはほんの少ししか存在しないのだ。

10・9新日本プロレスの東京ドーム大会は、マット界の最も悪い部分が出た。才能を提供できなくなったマット界を象徴するカードが、川田VS健介戦だったからだ。見事というしかない。見事なほどそれは長州力の世界である。

非常に逆説的（パラドックス）にして今日的（コンテンポラリー）なカード。それが川田VS健介戦だった。

そこにエンターテインメントのかけらもなかった。なぜならそれを仕切った現場監督と選手の両方に最高のもの（才能）があったとは言い切れないからだ。まったく今の時代は不幸の限りだ。■

K-1に事件発生1
～フランス発～

交通事故に遭った ジェロム・レ・バンナの近況

「普通は死んでるけど、俺はこのとおり大丈夫。12・10東京ドームには必ず出るよ」

前号でお伝えしたように、10月8日、日本に行くためにパリの空港へ向かっていたジェロム・レ・バンナが交通事故に遭った。まさにアンディ・フグの死に引き続いてK―1に衝撃が走ったわけだが、本当にバンナは大丈夫なのか？　本誌提携誌であるフランス格闘技専門誌『カラテ・ブシドウ』のパスカル・イギリキ記者に容態を探ってもらった。

取材&撮影◎パスカル・イギリキ（「カラテ・ブシドウ」記者）

——ジェロム！　交通事故に遭ったと聞いたんだけど、いったい何があったんだい？　詳しく教えてくれ。

バンナ　ああ、俺は日本に行くためにロワシー空港に車で向かってたんだ。運転していたのは、スパーリング・パートナーのフィリップ・ゴメスで、俺は助手席に乗っていた。そしてワイフが後部座席に座っていたんだよ。俺たちは、そうだなぁ、100キロくらいのスピードで走っていたかな。その日は、たまたま強い雨が降っていたんで、20メートル先もよく見えない状況だった。路面もかなり濡れていたよ。それで、パリから20キロくらい西北部のオルゲバルあたりに来たところで、運転していたフィリップがコントロールを失って、車がスリップしたわけさ。

——それで？

バンナ　よく覚えていないんだが、中央分離帯のようなものにぶつかって、それから安全ガード（塀のようなもの）に衝突したんだ。2人ともシートベルトをしてなかったんで、頭からフロントガラスに突っ込んでしまった。車はもう2度と乗れないほど潰れたよ。全損ってヤツさ。駆けつけた警察が、「乗っていた人間は死んだのか？」といきなり聞いてきたくらいヒドかったよ。

——それで大丈夫なのか？

バンナ　ああ、まずフィリップは一度意識を失ったんだけど、すぐに回復した。ワイフはまったくの無傷だった。俺もいくつかの打撲傷だけで済んだよ。このとおり、ピンピンしてるだろ？　病院に行って、ちゃんとCTやMRIを受けたけど、医者も「大丈夫だ、問題ない」と言っている。実際のケガより、心配のほうが大きくて、ちょっと大袈裟になってしまったよ（笑）。

——いやいや、そんな事故を起こしたら普通は死んでいるだろう。フロントガラスが割れるほど、頭から突っ込んでいってピンピンしているほうが信じられない。やっぱりキミは人間じゃないよ。まさにサイボーグ、不死身の男だ。

バンナ　医者も驚いていたさ。信じられないって。残念ながらこの事故のせいで、日本へは行けなくなってしまったけどな。本当は日本で、東京ドームの組み合わせ抽選会に行くつもりだったんだ。でも、本当に何もなくて良かったよ。

——日本では、その東京ドームでの決勝戦は本当に大丈夫か？　という質問がきてるんだけど……。

バンナ　いや、その質問はもううんざりだよ。医者が大丈夫だと言ってるし、俺自身はこのとおりだ。日本のマスコミには、「12月10日の東京ドームの試合を見てくれ」と言っておいてくれ。そして、試合が終わったあとに、俺の対戦相手にジェロムが好調だったかどうか聞いてくれ！

——うん、分かった。その東京ドームでの決勝戦だけど、1回戦で極真のフィリォと闘うことになったんだが……。

バンナ　たしか、ミスター・イシイが俺の代わりにボールをひいてくれたんだが、その時点で俺の選択権は、マイク（ベルナルド）か、フィリォと闘うしかなかったと思う。それで迷わず俺はフィリォを選んだというわけだよ。その理由は、フィリォが今年の4月に俺にKO負けしたことを自分で納得してないと言ってるらしいからだよ。「あの闘いでは自分のいいところがまったく出ていない。今度闘う時はもっと練習の成果を出したい」って言ってるらしい。でも、俺からみれば、それはしゃらくさいってことだよ。そんなに負けを認めないなら、何度でも味あわせてやる。これは、抽選会の時に電話で俺が言ってやったから、フィリォも聞いていただろう。フィリォはどんな顔をしてたんだい、その時？

——いやぁ、それはちょっと分からないけど……。

バンナ　それにニコラス・ペタス！　彼も試合が終わって、負けているのにまだ俺を殴りにこようとした。だから、俺がひっぱたいてやったんだよ。これも電話で言ったんだけど、これは俺と極真空手の戦争だっ！　俺はいつでもやつらと闘う準備はある。それが、K―1ファイターのプライドだよ。

――いやぁ、過激な発言だなぁ。でも、ファンもそういう闘いを期待しているはずだよ。

バンナ　いや、だけど冷静に言えば、俺は何もフィリォだけを特別に考えて、目標にして準備するつもりもない。トーナメント全体を頭において準備するつもりだ。つまり、ちゃんと準決勝も、決勝も頭に入れてトレーニングするつもりだよ。だから、フィリォ用の特別なトレーニングはしない。今までやってきたことと同じことをしていく。今、ハッキリ言えることは、準備万端で臨むということだ。

――じゃあ、決勝トーナメントの組み合わせを見てどう思った？　ジェロムはどう闘うつもりだい？

バンナ　トーナメントで勝ち抜くためには、1回限りのワンマッチとはまったく違う闘いをしなければならない。それが原則である。だから、各試合をうまく計算して闘うつもりだよ。まるで、各試合3分ずつ5R闘うかのようには俺は闘わないよ。トーナメントではまずケガを避けなければならない。各試合、相手を破壊しなくてはならないが、同時に自分の身を守っていく。そういう闘いを今年はするつもりだ。

――去年はトーナメントで優勝することより、"打倒・ピーター・アーツ"が目標だったからね。

バンナ　去年はトーナメントで優勝することよりも、ピーターを倒すことのほうが重要だと思ったからさ。なぜなら、ピーター・アーツがK―1で一番強いからな。でも、その目標は去年達成できた。だから、K―1では俺が一番強いと思ったファンもたくさん増えたと思う。それに今年のピーターは、出来がよくない。ケガもしているし、シリルに2度も負けているだろう。そうなれば、当然俺の目標はタイトルを獲ることだよ。去年はピーターとの試合に全神経を集中してしまったため、ホーストとの試合ではまったく別人になっていたからな。

――じゃあ、トーナメントでは誰が勝ち上がってくると思っている？

バンナ　フン！　俺のおふくろだろ。俺のおふくろはあらゆるトーナメントの女王なんだ！

――ハハハハハハ。

バンナ　その質問はまったく馬鹿げている。真面目に答える気にはならないね。

――分かった。じゃあ、最後に日本のファンにメッセージを！

バンナ　心配かけたけど、俺は必ず決勝トーナメントに出場するよ。今まで俺は大勢のファンを失望させたことはないと思う。だから、東京ドームにはぜひたくさんのファンが来てほしい。たぶん、凄い大会になると思うよ。■

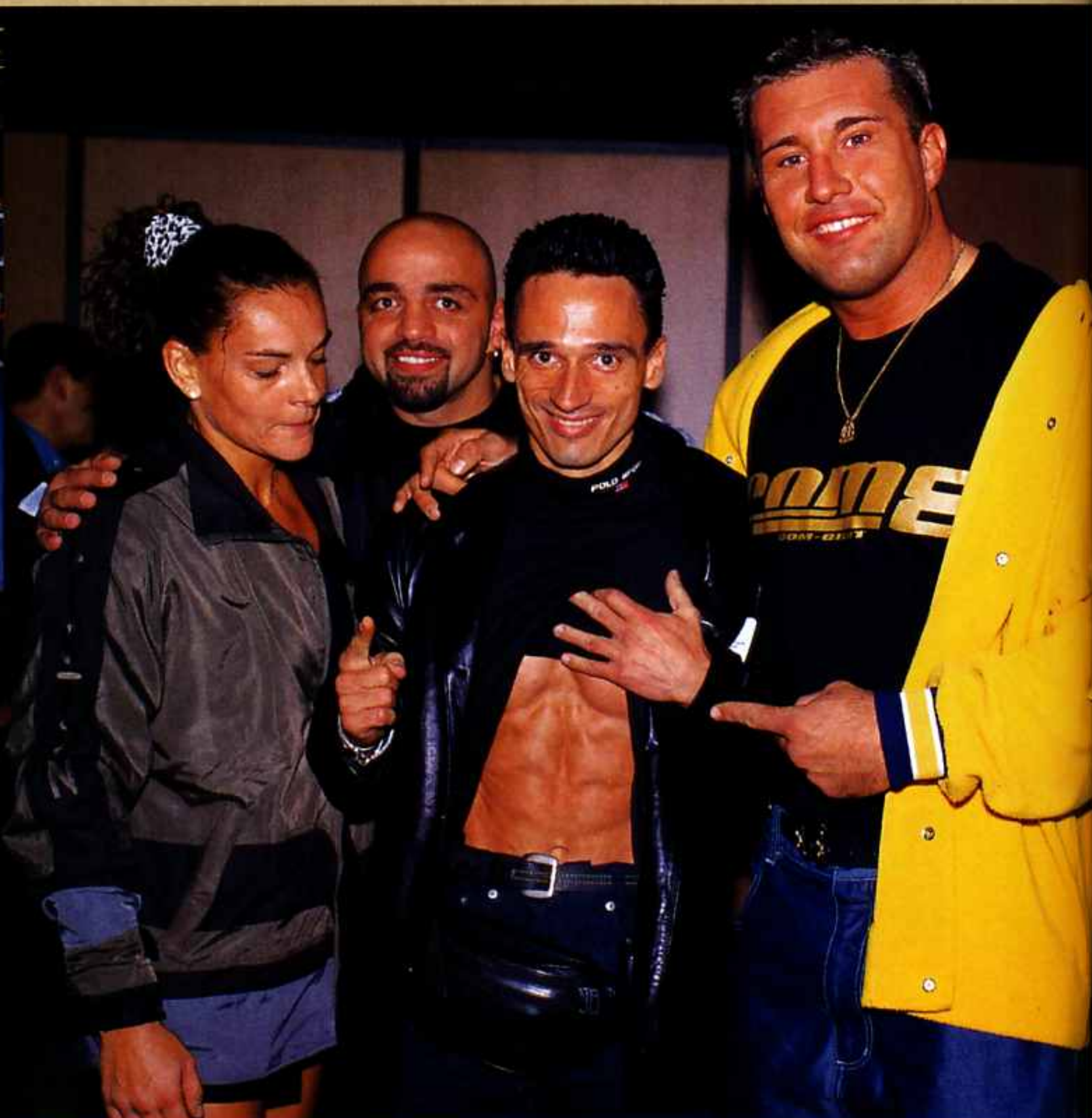
フィリォが負けを認めないなら、もう一度思い知らせてやる。これは俺と極真の戦争だ！

▼10月14、15日にパリのバンセンヌの森で開催された格闘技フェアの際に、リング上で元気にデモンストレーションをしたバンナ。どうやら、本当に元気そうだ

K－1に事件発生②
~オーストラリア発~

サム・グレコがプロレスへ

これがWCW乱入劇の全てだ！

取材&撮影◎中嶋薫（オーストラリア通信員）

4・23大阪ドームでのホースト戦以降、K－1のリングから遠ざかり、今年のグランプリを欠場したサム・グレコが、なんとプロレス団体WCWのマットに現われた。その一部始終をオーストラリアからレポートする。

買収騒動の渦中にあるWCWがアメリカ国内でWWFとの興行戦争の劣勢を巻き返すため、プロレス発展途上国のオーストラリアに初上陸。シドニーを皮切りに、メルボルン、ブリスベンとオーストラリアの3大都市をサーキットした。アメリカのメジャー団体の記念すべきオーストラリア初上陸ということでノース・ボンダイ・サーフライフセイビングクラブで行われた10月9日の共同記者会見には、現WCWヘビー級王者のブッカーTをはじめ、ジェフ・ジャレット、シェーン・ダグラス、ザ・キャットといった面々が登場。終始なごやかに記者会見は進んだ。

しかしながら、オーストラリアを代表するファイターとして、サム・グレコが会見場に登場してきた時点で雰囲気が一変。「世界空手王者、世界スーパーヘビー・キックボクシング王者、世界スーパーヘビー・ムエタイ王者」と紹介されたことに関してザ・キャットがクレーム。「ちょっと待てよ、俺も空手のチャンピオンだぜ。そいつの肩書きがそんなに凄いのかい？」と言い始めてから会見席上での口論が始まる。キャットの言いがかりに対して「やれば分かるよ」と軽く流すグレコにキャットが激情。友好ムードが突如、険悪なムードになってしまった。事態の深刻化を避けたい主催者側が強引にキャットを退場させた。グレコも「僕の国オーストラリアに対して、レスペクトのないヤツは許せない。もし、闘いの場があるのなら出て行く」と臨戦態勢であることを示唆。「プロレスのリングに上がったことは今まで一度もないけど、上がれば必ず勝つ」と必勝宣言。

怒りの収まらないキャットは、会見後に行われた記念撮影に再登場し、再びグレコを挑発。「強さだけでなく顔もカッコよさも俺のほうが上だ。お前の顔は不細工だ。俺のカッコイイ顔にはかなわないだろ」とグレコを挑発。大人の態度で軽く流していたグレコだが執拗なキャットの「おい、今マスコミもいる前でどっちが強いかハッキリさせるぞ」という挑発に遂に堪忍袋の緒が切れ、臨戦態勢へ。再び一触即発の危険な状況になった。

だが、ここでも主催者側が強引にキャットを退場させ事件には発展しなかった。しかしながら、この因縁から今後のグレコの動向が非常に気になるところだ。因縁の火種となったキャットも格闘技のバックボーンがあるだけに、もしWCWリングにおいて2人の対決が実現すればこれは見物である。

グレコ&ゴールドバーグ 豪州で遂に夢の競演！

▶K－1ファイターからプロレスラーになったグレコ

そして、10月9日、10日の2夜にわたってシドニーエンターテインメントセンターで行われたWCWシドニー大会は、両日ともチケット完売の大盛況。そして、オーストラリアでも知名度の高いゴールドバーグがシドニー大会最終日のセミファイナルに登場した時に、観客のボルテージは最高潮に。そのゴールドバーグはクロニック（ブライアン・アダムス&ブライアン・クラーク）と1対2の変則マッチで対戦。変則マッチには慣れているゴールドバーグ。しかしながら、この日の相手のクロニックは、最近までWCW世界タッグ選手権を保持していた実力派タッグチーム。序盤こそ1対1の絡みで両者を圧倒したものの、試合開始2分過ぎから2人がかりの攻撃にさすがのゴールドバーグもしばらく劣勢に。観客もゴールドバーグのピンチにやきもきしていると4分過ぎ、花道にタンクトップに空手着姿の男が出現した。

花道を颯爽と駆け抜けるとトップロープ越しにリングイン。アダムスとクラークにそれぞれハイキック一発ずつをぶち込んだだけで2人を分断。そのキックの威力からただ者ではないことは明らか。オーロラビジョンにその男の顔が映し出され、男の正体が判明。男の正体は地元オーストラリアのK－1戦士サム・グレコだった。

ゴールドバーグのピンチを救うとすぐさまリング下へ。この援護射撃を受けたゴールドバーグも息を吹き返し、すかさずスピアーを畳み掛け、まずはクラークをフォール。続けざまにアダムスにも垂直落下式のブレーンバスターでフォール。ゴールドバーグは元WCW世界タッグ王者チームを1対2の変則マッチで倒し、実力をシドニーのファンに誇示した。

この突然のグレコのゴールドバーグ救出劇にも驚いたが、試合後さらに驚くべき光景が。ゴールドバーグの勝利後、グレコが再びリングイン。しばらく距離を置いていた両者が歩み寄り握手。勝利を分かち合った。この握手は共闘を意味するものなのか？

これに関してグレコははっきりと「今後の僕の格闘技生活はプロレスのリングになる」と断言。現在、本拠地をアメリカに移しトレーニングを積んでいることも明らかにした。

すでにプロレス界への挑戦を示唆している佐竹の名前を出すと目を輝かせ、「94年にK－1で対決した時は僕が勝った。もし、プロレスのリングで再戦する時があれば、負けない」と思わずライバル心がチラリ。

終始、謙虚な態度で控えめなコメントが多かったグレコだが最後に「必ず日本のプロレスのリングに上がるので楽しみに」と力強く語った。■

▲ゴールドバーグの手を上げるグレコ（右）

SRS SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

10/27、11/3の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域により放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは10月20日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

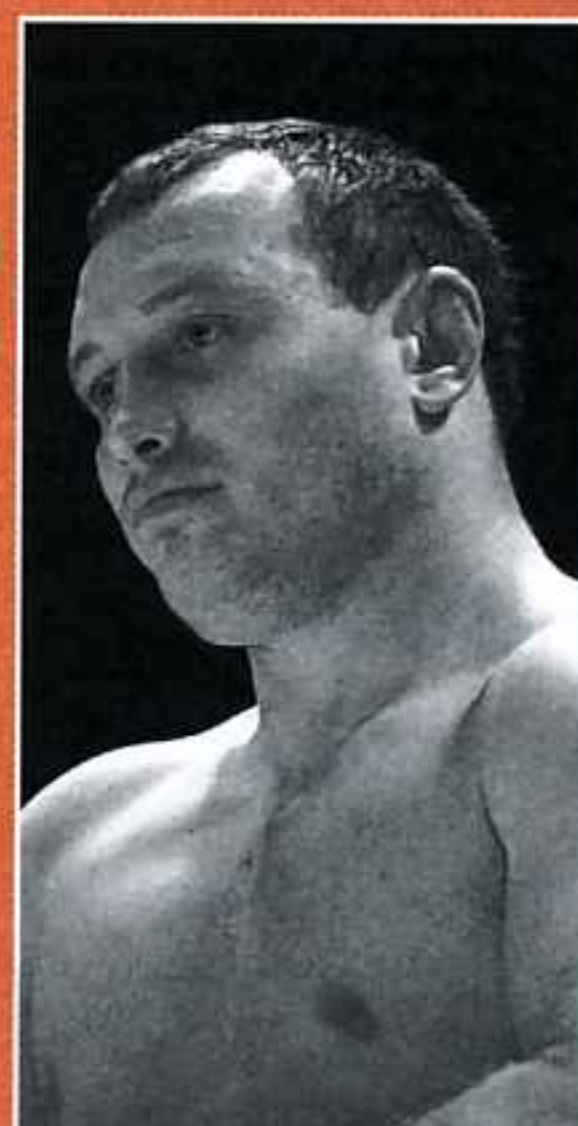
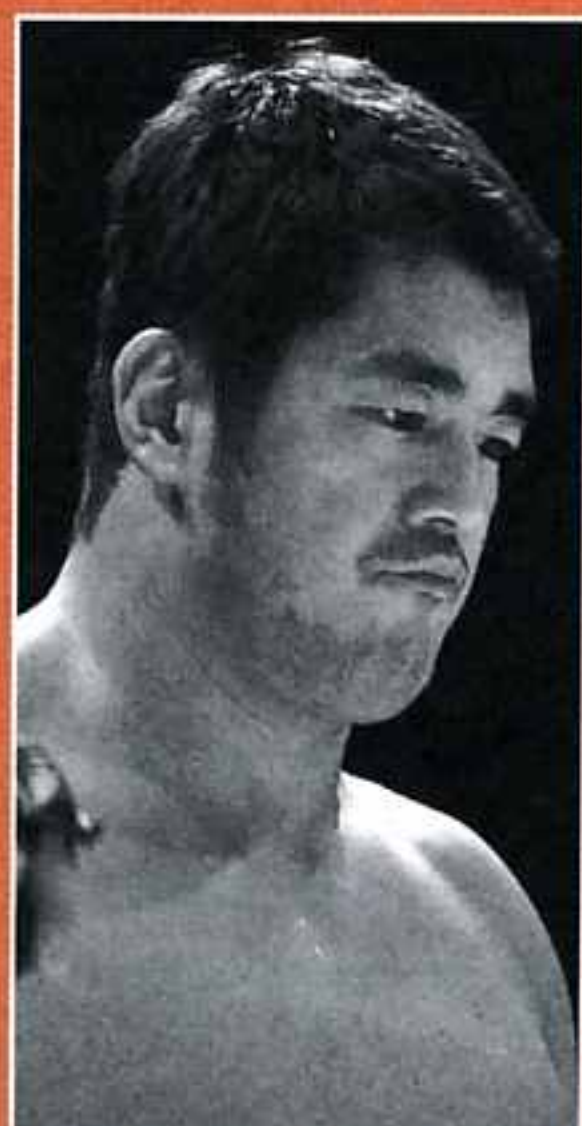
注目！ SRSは金曜日25:45～に放送日変更になりました！

SRSの放送日が木曜日から金曜日に変更になったのですが、皆様もう覚えていただけましたか？　そうです、飲んだくれて家に帰るとちょうど見られる時間帯になりました。しかも次の日はお休みだから、夜ふかししてもオッケーですよね。オッケーな人もそうでない方も、これからは金曜深夜はSRSで楽しんでね！

『SRS』は金曜日深夜25時45分～26時15分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。お見逃しなく！

10/27 高田vsボブチャンチン戦＆小川vs佐竹戦に注目！
『プライド11』大阪城ホール大会直前情報

10/27（金）放送　25:45～26:15

今回のSRSでは、大阪初上陸となる10・31『プライド11』大阪城ホール大会の直前情報をたっぷりとお届けします。凄まじい練習量をこなしているという噂の高田延彦は、"北の最終兵器"ことイゴール・ボブチャンチンの殺人パンチにどう対抗するのか。また、小川直也vs佐竹雅昭による「柔道王vs空手王」マッチも決定。「小川戦は頭突きとヒジ打ちを認めてほしい！」とDSEに要請した佐竹。対する小川は『プライド6』でのゲーリー・グッドリッジ戦以来、久々の『プライド』マット参戦となるが、果たして……？　SRSではこの2試合に注目し、事前取材を敢行！　『プライド10』の熱も冷めやらぬ中、今大会を楽しみに待っているファンの皆様に、最新情報をお伝えします。そして番組内の人気コーナー、浅草キッドのお二人による「格闘バリアフリー」も必見です。お楽しみにね！

▲どんな闘いを見せてくれるのか、高田vsボブチャンチン戦。直前情報をゲットしてさらに楽しもう！

11/3 がんばれ極真ニッポン！
極真全日本大会直前情報

11/3（金）放送　25:45～26:15

1999年に開催された第7回世界大会で、初めて世界王者の座を外国人に明け渡してしまった日本。世界王座奪還に向け"カラテ母国ニッポン"が新たに走り出しました。今回のSRSでは2003年に行われる世界大会への第一歩とも言える、この『第32回オープントーナメント全日本空手道選手権大会』の直前情報をお届けします。11月4日、5日の両日、東京体育館にて開催される今大会には、数見肇、野地竜太の両エースが欠場となってしまいました。しかしSRSでは今後頭角を現すであろう"若手21世紀ファイター"に注目します！　21世紀の極真ニッポンを背負って立つような若手ファイターは出てくるのか？　また、盧山初雄最高顧問が改めて語る、「一撃必殺」の信念とは？　激戦必死の今大会、SRSを見て"イチ押しファイター"をチェックしよう！

▲21世紀の極真を背負って立つような若手ファイターの出現に注目！

大阪初上陸！
『プライド11』大阪城ホール大会
11月5日（日）放送 16:00～17:25

10月31日に大阪城ホールで開催される『プライド11』の模様が地上波で放送されます。豪華なカードが組まれた今大会の、実況解説を務めるのは、もちろん本誌サダハルンバ谷川編集長。どんな発言が飛び出すのか、皆さんもテレビにツッコミながらご覧ください。当日は大阪に行けなくて寂しい思いをしているあなた、日曜日の午後をテレビ観戦で楽しんじゃいましょう！　もちろん大阪城ホールに大会を見に行った人も、要チェックですよ！

本命なき激戦をチェック！
『極真全日本大会』
11月5日（日）放送 24:55～26:25

夕方の『プライド11』を楽しんでいただけたあとは、深夜の『極真全日本大会』試合放送をじっくりどうぞ！　本命視されていた選手が欠場ということで、トーナメントの行方は果たしてどうなるのでしょうか？　激戦は必至と言われる中、もしかしてまだ見ぬ強豪が出現……？　誰が優勝するのかまったく分からない今大会、テレビでしっかりチェックしてくださいね。11月3日放送のSRSで直前情報を仕込んでから見ると、より楽しめること間違いありません！　こちらも同じく本誌サダハルンバ谷川編集長の解説でお楽しみください！

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

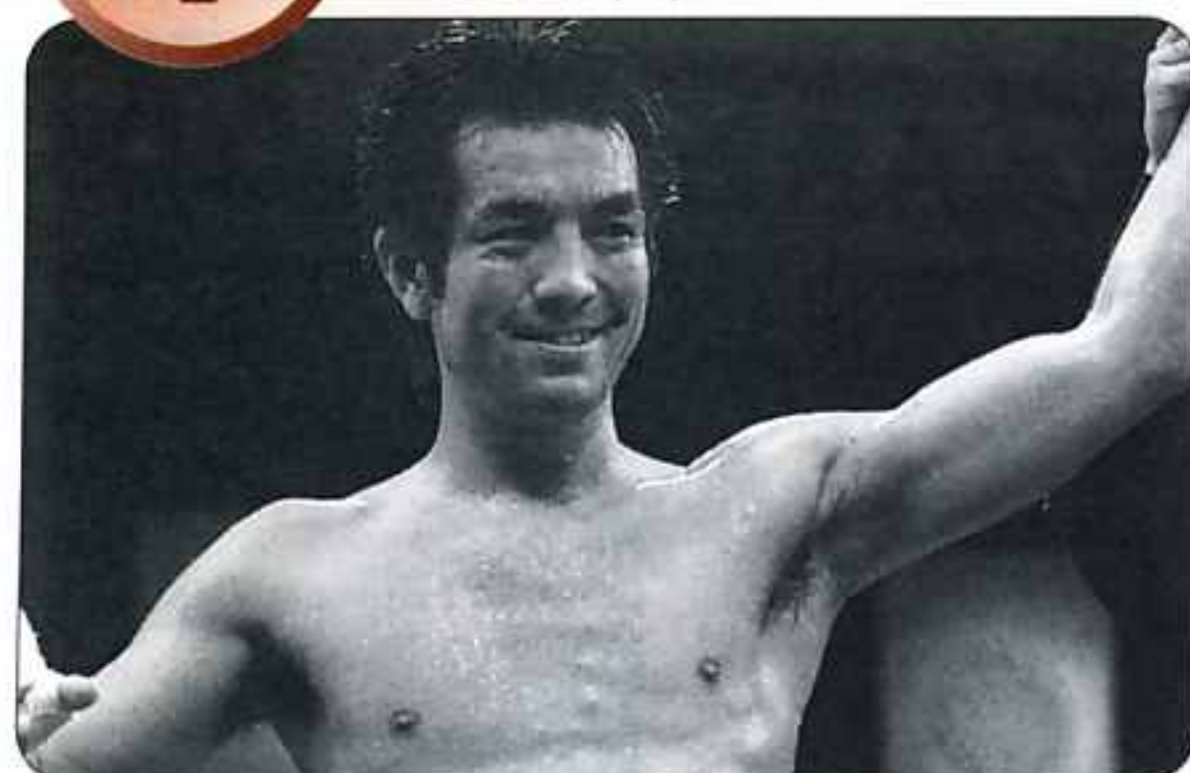
SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
10/26（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	「ムエタイキラー　鈴木秀明特集」を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～20：30 23：00～24：30	新日本キックボクシング協会の、9.3タイ国ラジャダムナンスタジアムでの大会と、6.10東京平和島アールンホールの2大会の模様を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	97.10.18にテキサス州で開催の『USWF7　BATTLE OF THE BELTS Part1トーナメント』からフランク・トリッグvsダニー・グルバート戦ほか7試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定
10/27（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00 17：00～18：00	10/26を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	10/26と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～16：00	10/26と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	これまで放送分の『ワールドコンバットファイト』からの再放送シリーズ。『スーパー・ブロウル12』（99.6.16/ハワイ州）から修斗ルール戦5試合を放送
	テレビ東京	SPORTS BEAT	24：45～25：15	⬅Pick Up①
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	⬅P69
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	27：30～28：30	世界の格闘技大会の中から、ジャンルにとらわれずに同番組が厳選した試合を取り上げる新格闘技番組。『カルガリー・スタンピード・レスリング』～クリス・ベノワ特集～
10/28（土）	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25：15～26：15	10/27と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：05～27：15	10.20福岡国際センター大会から獣神サンダーライガーvs高岩竜一戦ほか
10/29（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	10/26と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～11：00	10/26と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00～12：00	10/26を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 23：00～25：00	MA日本キック連盟主催で10.22に有明コロシアムで開催される『サムライ』大会を放送（PPV有料放送）
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	23：30～24：30	10/27のＪスカイスポーツ2と同内容
10/30（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	10/26を参照。『欧州フリーファイトイベント2』（95年/オランダ。アムステルダム）から5分2Rのフリーファイト戦を8試合放送
	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	22：00～24：00	7.23に後楽園ホールで開催の『ネオブラッド・トーナメント』を放送
	日本テレビ	超K-1宣言	25：55～26：25	11.1『K-1 J・MAX』後楽園ホール大会の直前情報を放送予定。出場選手へのインタビューなど
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	26：30～27：30	10/27のＪスカイスポーツ2と同内容
10/31（火）	GAORA	週刊格闘JAM！	22：55～23：00	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手など、格闘技界の旬な話題をピックアップして放送。選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
11/1（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	99.1.12に後楽園ホールで開催された格闘探偵団バトラーツ興行『BATIBATI』を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	14：00～15：30	格闘探偵団バトラーツが99.4.26・後楽園ホールで開催した『3周年記念シリーズ』大会を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	10/27を参照。『ミックスファイトトーナメント2』パート1（98.2.14/ロシア・サンクトペテルブルク）から1回戦から決勝まで8試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 23：00～25：00	10.15沖縄・The Fight CLUB　KAMIKAZEでの格闘探偵団バトラーツ興行『OKINAWA大戦争』を放送
	日本テレビ	K-1 J・MAX	23：37～24：45	⬅Pick Up②
	テレビ東京	Gパラ　コロシアム	23：55～24：35	内容未定
11/2（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	99.1.30に後楽園ホールで開催された新日本キックボクシング協会興行を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～15：00	11/1　19：00～と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 23：00～25：00	9.10に開催された修斗主催の『第7回全日本アマチュア修斗選手権大会』の模様を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	99.4.29にモスクワで開催の『ロシアン・ノーホールズ・バードシリーズ5』から30分一本勝負を4試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	10/26を参照
	日本テレビ	コロッセオ	25：25～26：55	内容未定
11/3（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00 17：00～18：00	10/26を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	11/2と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～16：00	11/2　19：00～と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	16：00～17：00	10/26を参照。『ミックスファイトトーナメント2』パート2（98.2.14/ロシア・サンクトペテルブルグ）からプレステージミックスファイト戦4試合ほか
	GAORA	全日本キックボクシング	23：00～25：00	9.13後楽園ホールで開催の『LEGEND-Ⅷ』の模様を放送。金沢久幸、新田明臣、立嶋篤史ら錚々たるメンバーが登場
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25：15～26：15	10/27と同内容
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	⬅P69
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	27：00～28：30	99.5.29横浜文化体育館で開催の修斗興行『The Renaxis 1999』を再放送
11/4（土）	GAORA	全日本プロレス	20：30～22：00	『2000サマーアクションシリーズ・1』として7.1ディファ有明、7.2後楽園、7.11大阪、7.23武道館の模様を放送。11月から月2回放送のこの番組で全日本プロレスの全ての興行を放送していく予定
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：35～27：35	10.20鹿児島アリーナ大会からブライアン・ジョンストン、永田裕志、中西学vsドン・フライ、スコット・ノートン、蝶野正洋ほか
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	27：30～28：30	10/27と同内容

ON THE AIR 10/26～11/9

格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1 『SPORTS BEAT』
テレビ東京
10月27日（金）/ 24:45～25:15

スポーツ・ドキュメンタリー番組の『SPORTS BEAT』では、WKA世界ムエタイ・ライト級王者、小林聡（藤原ジム）のスペシャル番組がオンエア。11月22日（日）、『LEGEND-IX』後楽園ホール大会に向け、師匠・藤原敏男氏のもとで、過酷なトレーニングを続ける小林。対戦相手は、ヨーロッパ・キックボクシング・フェザー級王者のクリストファー・レベック（フランス）だ。同大会での試合の模様と、本人へのインタビューを中心に放送する。硬派なキックボクサーとして人気を博している小林聡が、どんな素顔を見せてくれるのか？　ファン待望の番組に注目だ！

Pick Up 2 『K-1 J・MAX』
日本テレビ
11月1日（水）/ 23:37～24:45

11・1『K-1 J・MAX』後楽園ホール大会の模様を、当日にオンエア。さまよえる中量級キックボクサーたちが輝く場となるであろう今大会では、メインでI.S.K.A.世界ウェルター級タイトルマッチ、ムラッド・サリ（チャンピオン）vs魔裟斗（チャレンジャー）が行われる。ほかにもI.S.K.A.世界ライトミドル級タイトルマッチ、アレックス・ゴング（チャンピオン）vs小比類巻貴之（チャレンジャー）戦、チャモアペット・チョーチャモアンvs大宮司進戦、ラモン・デッカーvs新田明臣戦、大野崇vs伊藤隆戦など、各キック団体のトップファイターによる夢の対戦が目白押しの今大会、絶対に見逃すな！

Pick Up 3 『ワールドコンバットファイト（再）』
FIGHTING TV SAMURAI!
11月6日（月）/ 16:00～17:00ほか

96年3月30日にウクライナ共和国で開催された、『第1回IFC大会』トーナメント1回戦の模様を放送。今大会には現在『プライド』のリングで活躍している“北の最終兵器”イゴール・ボブチャンチンが、フレッド・フロイド（アメリカ）と対戦。『プライド』参戦以前、幻の強豪と言われていた頃のボブチャンチンが、地元ウクライナで見せる闘いとはどんなものなのか？　ほか、アレキサンドル・マンドルク（ウクライナ）vsジョン・ディクソン戦、イゴール・グエルス（ウクライナ）vsジェリー・ハリス（アメリカ）戦、ヴァレリ・ニクーソン（ウクライナ）vsポール・ヴァレランス（アメリカ）戦を放送。

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
11/5（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	11/2と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～11：00	11/2　19：00～と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00～12：00	10/26を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	16：00～18：00	11/1　19：00～と同内容
	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	21：30～23：30	内容未定
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	23：30～24：30	内容未定
11/6（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16：00～17：00	⬅Pick Up③
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45～26：15	11.1に開催された『K-1 J・MAX』の模様を、番組ならではの視点で詳しく放送
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	26：30～27：30	11/5と同内容
11/7（火）	GAORA	週刊格闘JAM！	22：55～23：00	10/31を参照
11/8（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	バトラーツが99.5.14に札幌中島体育センターで開催した大会を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16：00～17：00	10/26を参照。『第1回IFC大会』パート2（96.3.30/ウクライナ共和国）トーナメントを準決勝・決勝とワンマッチなど7試合
	GAORA	全日本プロレス	17：30～19：00	11/4と同内容
	スカイ・A	パンクラス2000トランスツアー	20：00～22：00	11/5と同内容
	テレビ東京	Gパラ　コロシアム	23：55～24：35	内容未定
11/9（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	99.3.13に開催された新日本キックボクシング協会の後楽園ホール大会を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～20：30 23：00～24：30	10.6後楽園ホールで開催のMA日本キックボクシング連盟『MILLENNIUM CHAMPION CARNIVAL』を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	全て15分一本勝負のバーリ・トゥードを7試合放送。トニー・カスティーリョvsポール・ジョーンズ、マイケル・ビュールvsディアゴ・アコスタ戦ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	10/26を参照
	日本テレビ	コロッセオ	26：15～26：45	内容未定

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888 ☎03-5802-5550
（9：00～21：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5280-1104／☎06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5500-8888

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ―ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5351-4055
（12：00～20：00）

■J SKY SPORTS
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5500-3488

BOOK
話題の本＆新刊情報

〈新刊紹介〉

『猪木語録 闘魂伝書世紀末篇』

"Show" 大谷泰顕監修
メディアワークス
本体価格 1,500円/発売中

全猪木信者必読！ アントニオ猪木かく語りき

1998年4月4日「引退試合」から2000年8月27日『プライド10』まで、主要行動を徹底追跡＆コメントを厳選収録した本書。"猪木イズム"とは何か？ を徹底解明するインタビューや、パラオ・猪木アイランドでの語らい、最近では恒例となった成田会見の模様などを余すところなく収録。猪木引退後の歩みが全て分かる一冊だ。巻末には山口日昇（『紙のプロレスRADICAL』編集長）×柳沢忠之（本誌発行人）の、旧紙プロ黄金コンビによる対談「猪木とは何か？」2000年バージョンを特別収録。激動の世紀末格闘環境、全ての答えは猪木に訊け！

〈おすすめの一冊〉

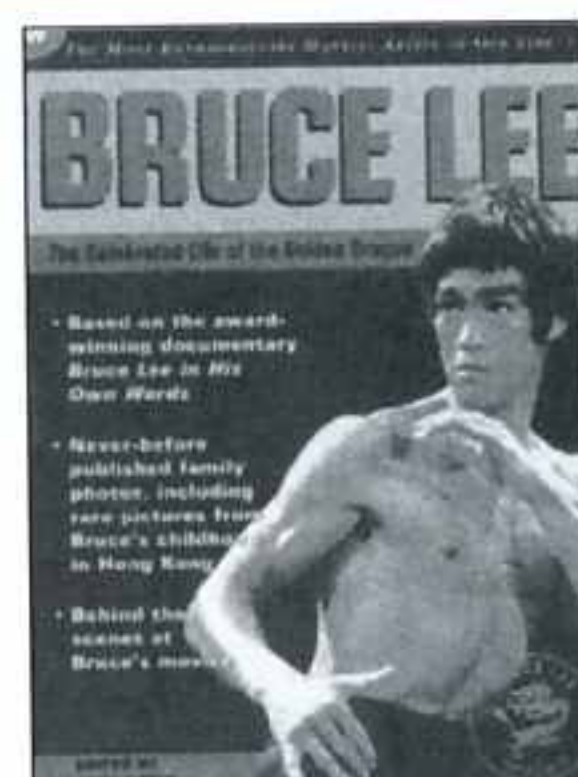
『BRUCE LEE ～The Celebrated Life of the Golden Dragon～』

チャールズ・イー・タトル出版
本体価格 2,800円/発売中

176点の秘蔵フォトで綴るドラゴン・ファン必携の写真集！

没後27年となる現在でも、根強い人気を博しているブルース・リーが写真集で甦る！　ブルース・リー夫人の全面的協力により、リー家に残されたプライベート秘蔵写真や、ワーナー・ブラザーズ社に眠るスチールから発掘された未公開の写真を含む176点が200ページにわたって収録されている。まさにドラゴンファンにはたまらない写真集だ。11月には日本とアメリカで、遺作となった「死亡遊戯」のリメイク版が上映されるなど、2000年になってなお高まり続けているブルース・リー人気。ファンはぜひ手に入れておこう。ちなみに本書は洋書なので、購入の際は洋書屋さんへ。

〈注目の一冊〉

『魂のラリアット』

スタン・ハンセン著
双葉社　本体価格 1,600円/発売中

馬場さんへのレクイエムとしてハンセンがレスラー人生を語る！

本書はスタン・ハンセンがフットボールの道を捨て、プロレス界にデビューしてからのレスラー人生全てを語った一冊だ。若手時代に味わった苦労、自分の道を決定づけたレスラーとの出会い、そして全日本プロレスとのこと、これからの自分までを「馬場さんへのレクイエムとして嘘をついた本はふさわしくない」というハンセンの思いのもと赤裸々に綴られている。サンマルチノ首折り事件の真相、全日本電撃登場の前夜に行われたミーティングとは？　プロレスファンならずとも必見だ。

PRESENT!

今回このコーナーで紹介した『BRUCE LEE ～The Celebrated Life of the Golden Dragon～』を、抽選で2名様にプレゼントするぞ。希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、今号の感想を明記した上、下記のあて先までご応募を。締め切りは11月9日（木）の消印有効

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部BOOKS『BRUCE LEE』係

BOOK RANKING（10/1～10/16調べ）

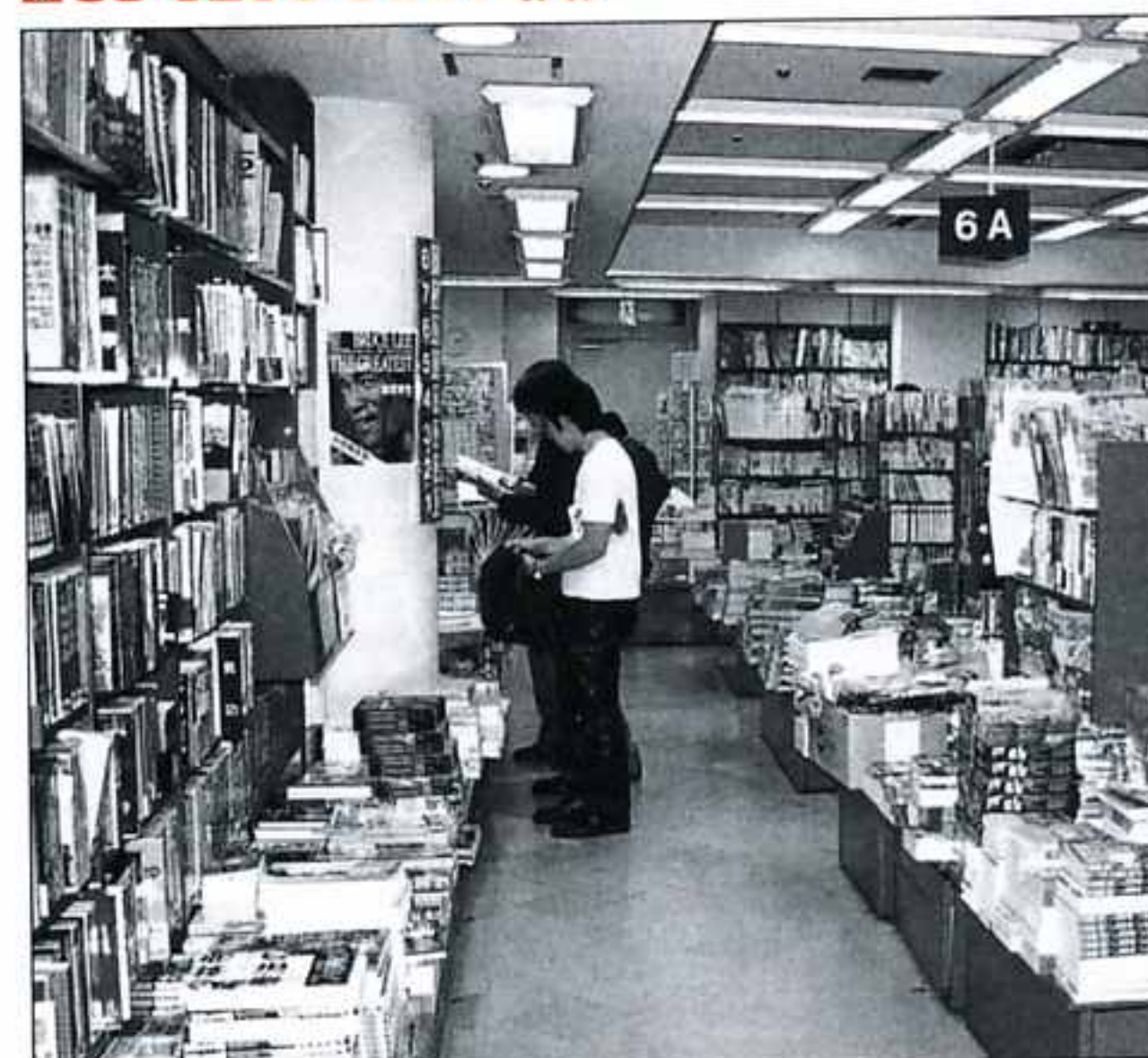
1. 『魂のラリアット』
スタン・ハンセン著/双葉社
本体価格 1,600円
2. 『船出』
三沢光晴著/光文社
本体価格 1,200円
3. 『猪木語録 闘魂伝書世紀末篇』
"Show" 大谷泰顕監修/メディアワークス
本体価格 1,500円
4. 『三沢さんなぜノアだったのかわかりました』
中田潤著/BABジャパン
本体価格 1,400円
5. 『猪木詩集～馬鹿になれ～』
アントニオ猪木著/角川書店
本体価格 1,500円

5位 『猪木詩集 ～馬鹿になれ～』

本書を読んで、君も「心の旅」をしよう！

本書は猪木が1999年2月から1年間書き溜めた40篇を越える詩と、写真からなる詩集だ。猪木はあとがきの中で「詩を書くことによって、私は自分の中で『心の旅』をしていたのだと思う」と語っている。味わい深い言葉がたくさん詰まった詩に、思わず誰もが心を打たれてしまうだろう。

書泉ブックタワー

東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲ランキングにご協力いただいている『書泉ブックタワー』は、秋葉原電気街のすぐ近く。アキバへ行ったら、書泉へGO！

書泉ブックタワー 後藤 実副主任

「格闘技・プロレス書籍は、この秋出た新刊を中心によく売れています。特にアントニオ猪木関係が好調です。ランキング外では武道・拳法関係も好調で、全体的に活気が出てきています」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新＆売れスジグッズをご紹介！

〈新作紹介〉 It's HOT!

『HUNTERスパッツ』
7,400円（税別）

HUNTERオリジナルの
イケてるショートスパッツ！

練習はもちろん、試合でも使える、ちょっとイケてる風なこのショートスパッツ。普通のレスラーパンツだとお尻の肉がはみ出てしまってお困りのあなたでも、1分丈だからはみ出る心配なし！　女の子の部屋着にしてもイイ感じかも？

▲FRONT
◀SIDE

〈おすすめグッズ①〉 Recommend!

『タイ・サマイパンチンググローブ』
2,800円（税別）

思い立ったらすぐできる！
パンチンググローブ

スパーリングなどで気軽に、しかし思いっきり使えるこのパンチンググローブ。カラーは赤、黄、白、黒の4色が揃っていて、価格もとてもリーズナブル。1セット持っとけば、痴漢撃退用に、殴りたい衝動に駆られた時など、何かと使えるぞ!?

※表示価格は全て税別価格

PRESENT!
今回、このコーナーで紹介した『タイ・サマイパンチンググローブ』を『SRS・DX』読者4名にプレゼントするぞ。希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、そして希望する色（赤、黄、白、黒）と今号の感想を明記した上、下記のあて先までご応募を。締め切りは、11月9日（木）の消印有効。

あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部
『パンチンググローブプレゼント』係

イサミ尚武堂（株） 大貫店長

「こんにちは、店長の大貫です。先日、店内を改装しましたので、5,000点以上の格闘技グッズやトレーニング用品をお手にとって見られるようになりました。水道橋に来たら是非寄っていってください」

イサミ尚武堂（株）
東京都千代田区三崎町2-18-5
京三会館2F
☎03-5214-6487
営業時間/11:00～19:00（毎週火曜、祝日休業）

※（株）イサミでは通信販売を行っています。詳しくはP116～117を参照してください。

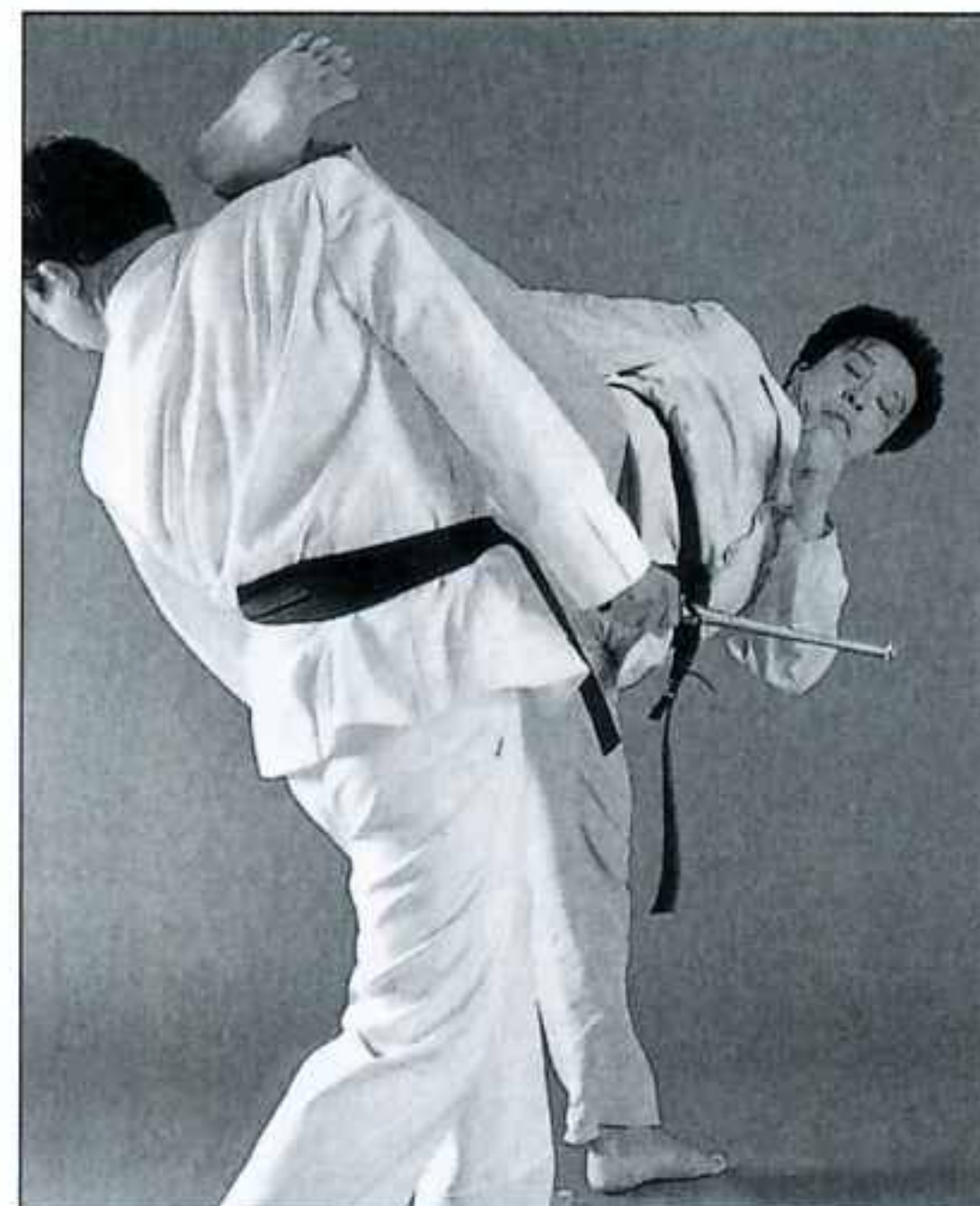
〈おすすめグッズ②〉 Recommend!

『ブラジリアン柔術衣 HOT　BLOOD』
22,000円（税別）

本格的に柔術をやりたいなら、
まずはカッコイイ柔術衣から！

BACK▶

スポーツでも何でも形から入るのはべつに悪いことじゃねーぞ！　ってことで、まずは柔術衣を買ってみるのはどう？　スポーツの秋でもあることだし、このブラジリアン柔術衣を着て、本格的に柔術を始めよう！

Et cetra

平直行が直接指導してくれる『ストライプルサウス東京』オープン

正道会館の平直行が、柔術をベースとした総合格闘技の道場「ストライプルサウス東京」を東京・大井町の「ゴールドジムサウス東京」内（京浜東北線、京急大井町線大井町駅から徒歩2分）に11月1日からオープンする。24時間使ってOKなので、是非この機会に入会しよう！

◆練習日/火 19:30～21:00　土19:00～20:00
◆入会金/15,000円
◆会費/8,000円
◆お問い合わせ/ゴールドジムサウス東京☎03-5460-3535

桜庭和志が横浜商科大学にやってくる！

桜庭和志が横浜商科大学の『第33回飯山祭』にてトークショーを行う。中量級世界最強と言われる桜庭の秘話が飛び出すかも？　学園祭シーズン真っ盛り、みんなで出かけよう！

◆日時/11月5日（日）14:00～15:00
◆会場/横浜商科大学キャンパス内体育館（定員/800名）神奈川県横浜市鶴見区東寺尾4-11-1（JR横浜線/大口駅から徒歩20分）
◆お問い合わせ/横浜商科大学・大学祭実行委員会☎045-573-8879

ムエタイ世界大会観戦ツアー実施！

タイ国王生誕記念として行われているビッグイベントに、ニュージャパンから選手が出場するぞ。ニュージャパンキックボクシング連盟では、選手たちに熱いエールを送るため「ムエタイ世界大会観戦ツアー」を実施する。応援しに行こう！

◆期間/2000年12月2日（土）～12月7日（木）
◆旅行代金/79,000円（お1人様）
◆締切/2000年11月10日（金）
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-5625-2371

千葉県市川市に和術慧舟會 西道場 関東本部オープン

和術慧舟會が千葉県市川市に新道場をオープンした。代表を務めるのは10・22『サムライ』有明大会でジャイアント落合と闘った、和術慧舟會の創設者・西良典。一般説明会は10月29日（日）19:00～、練習開始は11月5日（日）19:00～となる。希望者は一度見に行ってみよう。

◆場所/千葉県市川市高石神2-1 キョウシンエイビル2F（JR総武線下総中山駅より徒歩6分・京成戦京成中山駅より徒歩6分・京成戦鬼越駅より徒歩7分）
◆お問い合わせ/和術慧舟會 西道場 関東本部☎047-333-7811

第3回全日本ライトアマチュアシュートボクシング選手権大会結果

10月8日、東京都の台東リバーサイドスポーツセンターにて、「第3回全日本ライトアマチュアシュートボクシング選手権大会」が開催された。今大会は軽量級、中量級、中重量級の各階級に分かれ、トーナメント方式で争われ、それぞれ安藤勝光（シーザー）、佐藤史隆（シーザー）、角井豊彰（北辰会）らが優勝を飾った。

10・31後楽園ホールでパンクラシストにサインをもらおう！

パンクラスでは、10・31後楽園ホール大会にて、欠場選手のサイン会を開催する。参加するのは、船木誠勝、鈴木みのる、近藤有己、美濃輪育久、謙吾の5名。それぞれの選手の個人グッズ（Tシャツ、CD、写真集、書籍、ビデオ、フィギュア等）を購入すると、その選手のサインがもらえるぞ。

◆日時/10月31日（火）18:30～18:50
◆場所/後楽園ホール　グッズ売場
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

バトラーツのアマ大会『グラップリング-B』開催！

バトラーツジム［B-CLUB］では、アマチュア格闘家参加型のワンマッチ形式のイベント『グラップリング-B』を開催する。自分の実力を試すチャンスだ！　希望者は下記の要領で応募しよう。また、全試合終了後にはスパーリング交流会＆セミナーを実施。こちらも見逃せないぞ！

◆日時/11月12日（日）10:30～受付　12:00試合開始
◆出場資格/18歳以上の健康な男女アマチュア選手
◆階級/男子　－60kg級、－70kg級、－80kg級、80kg超級
※女子は基本的に階級を設けません。応募者の中から体重の近い選手同士を選抜し、試合をする形となります
◆参加費/［B-CLUB］会員 1,000円　一般 3,000円
◆応募方法/参加希望者は、電話にて申し込みの上、下記住所まで100円切手1枚と、住所、氏名、電話番号を書いたメモを郵送すること。折り返し参加申込書を発送
◆送付先/〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43 ［B-CLUB］内「グラップリング-B」運営事務局
◆お問い合わせ/バトラーツジム［B-CLUB］☎0489-63-7515
◆電話申込締切/10月31日（火）

【スパーリング交流会＆セミナー】
◆参加費/グラップリング-B出場選手 1,000円　交流会のみ参加 3,000円
◆応募方法/バトラーツジム［B-CLUB］まで電話連絡

バトラーツが新人・練習生・スタッフを募集！

（1）新人・練習生
◆応募資格/年齢22歳まで、身長180cm以上、体重75kgくらいの健康な男子
◆応募方法/履歴書（必ず写真を貼付）、上半身裸の写真、バトラーツに入りたい理由を400字程度にまとめた作文を下記の宛先まで送付すること
（2）営業・フロント・リングアナウンサー
◆応募資格/18歳以上の明るく健康な独身男女・要普通自動車免許（大型免許所持者優遇）・バトラーツ社員寮（埼玉県春日部市）入寮可能か越谷事務所通勤可能な方
◆業務内容/営業全般、地方興行担当・男性はリングアナウンサーデビューのチャンスあり
◆応募方法/履歴書（必ず写真を貼付）を下記のあて先まで送付
◆あて先/〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43　（株）バトラーツ「新人・練習生募集」係 or「営業・フロント・リングアナウンサー募集」係
◆お問い合わせ/格闘探偵団バトラーツ☎0489-63-0005

星座別

タロット占い

10/26 Thu. 〜 11/8 Wed.

宇月田麻裕
mahiro utsukita

プロフィール　ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「ダ・マーヤー占星術」を中心にタロットカード、西洋占星術、四柱推命などオールマイティな占いを使う。極真世界王者の八巻建弐（現ホリプロ所属、俳優）のプロデュースも手掛けた。現在、雑誌・映像などで活躍中。
URL http://www.happiness-f.com/

牡羊座　3/21〜4/20

全体運　エネルギーダウンで、気の抜けた2週間になりそう。友達の誘いにも気が乗らず、家にこもりがちに。パソコンのネットやゲームにハマってしまうこともたびたび。でも、たまにはゆったりと体を休めて、そんな時間を過ごすのも良いもの。恋愛では恋人との金銭の貸し借りはNG。金運もダウンしているので、トラブルに発展する可能性が。

勝負運　一息ついて。今回の勝負は見合わせたほうがいいかも。

健康運　エネルギーを蓄えておくとき。ゆったりと休息を。

金　運　トラブルに発展しないように厳重に注意。

ラッキーアイテム：**パソコン**
ラッキーカラー：**グレー**

牡牛座　4/21〜5/21

全体運　コミュニケーション運がダウン。個人プレーのほうが成果を出せそう。グループでの活動にヘタに関わると、ブーイングの嵐になったり、イヤな噂を流されたりすることも。浅く広く付き合って、うまくかわしていくことがポイント。恋愛はアプローチをかけるなら、昼の時間帯がグッド。爽やかに接しながら、あのコのハートに呼びかけて！

勝負運　昼間の2時頃がチャンス。この時間に勝負を賭けて。

健康運　エネルギーアップ！　筋トレに励むとグッド。

金　運　友達の誘惑に負けて、浪費してしまいそう。

ラッキーアイテム：**帽子**
ラッキーカラー：**ブラウン**

双子座　5/22〜6/21

全体運　何事にもどーんと構えていることがポイント。職場やトレーニング先で、あなたを翻弄させようと、企んでいる人がいるみたい。格下扱いされたり、罵られたり。動揺しては相手の思う壺。筋を一本通した態度でいると、自然に撤退していくハズ。恋愛運はアップ。憧れの人と接近できたり、ターゲットの人とデートに漕ぎ着けたりできるとき。

勝負運　ジンクスにこだわってみるとラッキーがありそう。

健康運　咽喉の病気に要注意。うがいはこまめにして。

金　運　パチンコやインスタント宝くじにツキあり。

ラッキーアイテム：**システム手帳**
ラッキーカラー：**パープル**

蟹座　6/22〜7/23

全体運　運気は回復傾向。徐々に問題がクリアになって、やりやすい状況になってきそう。温めていたプランを実行に移すチャンス！　また、レジャー運がアップしているので、国内ツアーやサークル活動に参加するとグッド。ネットワークが広がり、仕事に結びついたり、遊び仲間が増えたりするハズ。恋愛もそんなスポットでの出会いがあるかも。

勝負運　部屋に“必勝”の貼り紙をしてイメージング。

健康運　冷えはヒザの関節痛などの原因に。保護して。

金　運　先行投資することで見返りの期待がありそう。

ラッキーアイテム：**パシュミナ**
ラッキーカラー：**ベージュ**

獅子座　7/24〜8/23

全体運　攻撃型の獅子座のあなたも、しばしブレイクタイム。守りの体制でいったほうがうまく順行するとき。仕事や接待などは信頼できる後輩に任せてみたり、バックアップだけするような方法をとっていくとグッド。恋愛でも、押しの一手よりも、守りの一手。恋人との愛をキープすることを考えよう。新たな出会いは期待しないで。

勝負運　信頼できる仲間に戦略を任せるとグッド。

健康運　深夜までの遊び過ぎはNG。体力ダウンに。

金　運　神社でのおさい銭が効果発揮。ぜひお参りを。

ラッキーアイテム：**ペット**
ラッキーカラー：**ホワイト**

乙女座　8/24〜9/23

全体運　頭の回転が良くなり、研究心、向上心がアップするとき。格闘技やトレーニングに関しては、スキルアップを。仕事に関しては、業績アップのための研究やプランニングをするとグッド。また、恋愛に関しては、恋愛術を身に付けてみては？　そうすることで、成長した自分が見えるハズ。恋人とはライブデートが熱い夜を約束。

勝負運　研究を積み重ねたチャレンジで勝利を獲得。

健康運　物事に没頭して睡眠不足。睡眠は十分に取って。

金　運　無駄遣いはNG。倹約をモットーに。

ラッキーアイテム：**雑誌**
ラッキーカラー：**ネイビーブルー**

天秤座　9/24〜10/23

全体運　マインドコントロールがポイントになるとき。わざわざ自分から敵を作って、状況を悪くしてしまうのは損なこと。世の中、我を通してばかりではやっていけません。周囲との協調性をもったり、要領よく渡っていくことが大切。恋愛も同様。ケンカをすることよりも、楽しくできる方法を考えて。スキンシップをすることで仲直り。

勝負運　後ろ回し蹴りなどバック系の技がイケるとき。

健康運　虫歯は痛くなる前に早めに治療をしておこう。

金　運　仲介業者に注意。多額のお金を取られそう。

ラッキーアイテム：**ブーツ**
ラッキーカラー：**ブラック**

蠍座　10/24〜11/22

全体運　集中力がアップするので、物事が能率よく片付くとき。だらだらとしがちなトレーニングや仕事を短期集中でビシッとやると、ツキが舞い込みそう。賞賛はもちろん、ゴチになれたり、招待券をもらえたりする期待も。恋愛は将来のことを話し合うのにはグッドタイミング。シングルは、友達の知人が、恋人候補に浮上する予感。

勝負運　短期決戦で片を付けるとグッド。延長は厳しいかも。

健康運　左手首のケガに気を付けて。テーピングで予防を。

金　運　欲しいモノが友達から安くゲットできそう。

ラッキーアイテム：**チケット**
ラッキーカラー：**イエローグリーン**

射手座　11/23〜12/22

全体運　吉凶混合型の運気に。バイオリズムが激しいときなので、マインドコントロールしていくのにちょっと苦労しそう。ハプニングが起きても、結果が出るまでは、冷静にじっくりと対処をすることを心掛けて。人の意見に流されやすいときなので、不必要な意見は軽く受け流していくことが大切。恋愛は好調。癒し系の恋人をゲットできそう。

勝負運　逆転に逆転が…。最後まで気を抜かないで。

健康運　ダウン気味。予防をして健康キープを心掛けよう。

金　運　カードの取り扱いに注意。厳重に保管して。

ラッキーアイテム：**CDプレーヤー**
ラッキーカラー：**ディープパープル**

山羊座　12/23〜1/20

全体運　交際運がアップして人が人を呼ぶとき。合コン、交流パーティと、お誘いがかかったら、まずは顔を出しておくこと！　夢や目標を話すことで、新たな遊び仲間が増えるだけじゃなく、ヘッドハンティングや商談がもち上がったりもしそう。恋愛でも新たな出会いの期待あり。内緒のカップルはふとしたことから公認の仲になりそう。

勝負運　お守りやパワーストーンを身に付けるとパワーアップ。

健康運　ウォーミングアップはサボらないで。ケガの原因に。

金　運　交際費での出費が痛いとき。極力抑えて。

ラッキーアイテム：**ウォッチ**
ラッキーカラー：**シルバー**

水瓶座　1/21〜2/19

全体運　徐々にダウンしていくとき。周囲の目を気にし過ぎると、チャレンジ精神が萎えてしまう原因に。優等生を演じて小さくまとまるよりも、大きく羽ばたくためのプランニングをするとグッド。自分らしく生きることがキーポイント。恋愛では、“一言”を大事にして。言葉が多過ぎても、少な過ぎても、真摯なハートは伝わりにくいモノ。

勝負運　勝負は待った！　実践よりも今はプランのとき。

健康運　急がば回れ。焦りは事故の元。落ち着いた行動を。

金　運　困ったときの親頼み。金策の相談は親に。

ラッキーアイテム：**ジャケット**
ラッキーカラー：**ボルドー**

魚座　2/20〜3/20

全体運　運気アップ！　アクティブに行動していくことで独立心が旺盛になるとき。転職や移動の話にはイケると思ったら即断OK。レベルアップにつながる暗示。でも「飛ぶ鳥跡を濁さず」で、周囲に迷惑をかけることは、絶対にしないで。後になって後悔することが起きそう。恋愛では恋人を置き去りにしていませんか？　思いやりを忘れずに。

勝負運　勝負を賭けるとき。一発でキメられるかも。

健康運　ビタミン不足になりがち。サプリメントで補給をして。

金　運　甘い考えは禁物。シビアな考えこそ成功の秘訣。

ラッキーアイテム：**MD**
ラッキーカラー：**モスグリーン**

本の武道を代表する柔道と空手。
があった。その概念を嘉納はぶち壊し、
いや、当時はまだ空手とは言わず、「琉球
流派が乱立し、競技方法がたくさんあ

一撃コラム 連載第33回

空手と柔道の摩訶不思議な関係
空手を広めたのも実は柔道だった

日本の武道を代表する柔道と空手。

10・31『プライド11』で実現が決まった小川直也と佐竹雅昭の一騎打ちは、その柔道と空手を代表するトップ同士の、歴史上初の対決と言える。

でも、その柔道と空手が過去、どんな関係にあったかを知るファンは、意外と少ないのではないだろうか。

小説『姿三四郎』では、空手は柔道の敵役として徹底的にヒール扱いされ、イメージを落とされている。そのイメージを払拭し、リベンジしたのが劇画『空手バカ一代』である。

しかし、柔道と空手はもともと非常に友好的な関係にあった。実を言うと、空手がこれほど世に浸透したのは、柔道のおかげなのである。

柔道を作ったのは、ご存知嘉納治五郎という人。この人はとても頭がよく、東大文学部を卒業し、東京教育大学の学長や日本体育協会の初代会長も務めた人だ。

18歳の頃、天神真楊流と起倒流という柔術を学んだ嘉納は、23歳で講道館柔道を創始。当時、群雄割拠だった柔術界から飛び出して、その後、講道館柔道を日本一メジャーな武道に仕立てていく。

では、なぜ嘉納が一気に柔道をメジャーにできたかというと、私は大きく分けて2つの理由があると思う。

その一つは西洋のスポーツという概念を取り入れて、柔道を競技化したこと。それまでの柔術は、ほとんどが型稽古であり約束乱取りだった。つまり、後輩は先輩を投げてはいけなかったし、弟子は師を投げてはいけないという暗黙の了解があった。その概念を嘉納はぶち壊し、自由乱取りを取り入れ、試し合いをしていったのである。そこに柔道が強くなっていった秘密が隠されている。

もう一つは、柔道家のプロを作っていったことだ。プロと言っても、興行に出るプロのファイターのことではない。教育者であった嘉納は、柔道を普及させる上で教育というものに目をつけ、まず部活動として各地の大学に柔道部を作っていくのである。しかも、柔道である程度の段位を取れば、体育の教師になれるというシステムを確立していった。

柔道をやっていれば、メシが食える。これは画期的なシステムである。だからこそ、学生の間で柔道は一気に広まっていったのだ。

その嘉納が理想とした柔道は、実を言うと総合格闘技だった。嘉納もさすがに柔道の試し合いをする上で、どういうルールにしようか、かなり悩んだと思う。そして、採用したのが、当て身や関節技を除いた、投げ技・寝技を主体とする今のようなルールだ。

だが、嘉納は本当はグレイシー柔術のような〝なんでも有り〟がどこかでやりたかった。あるいは、サンボのような関節技もやりたかったと思う。グレイシー柔術やサンボが、柔道の遺伝子から生まれたのは、嘉納自身にヒントがあったからだ。

嘉納が柔道を総合格闘技にしたかったことを象徴しているのが、打撃技を研究するために沖縄からわざわざ空手家を呼んだことである。

その空手家の名前を船越義珍という。

いや、当時はまだ空手とは言わず、「琉球拳法」とか「沖縄唐手術」と言っていた時代である。

大正12年、嘉納は講道館に沖縄から船越義珍を呼び、唐手の演武をさせた。そして、この拳法がすっかり気に入ると「こう構えると、その突きや蹴りは入るまい」「この角度からきた突きは、どうしてそうさばくのか」という質問をどんどんしていったという。

講道館に集まったのは、250名の猛者たち。これがいわば、空手誕生の歴史的記念日と言われている。

唐手がすっかり気に入った嘉納は、それから船越に唐手普及のアドバイスを送るようになる。まず、船越は唐手をする時のかっこうを、柔道とほとんど同じものにした。空手衣の誕生である。そして、嘉納のアドバイスで、船越も大学を中心に唐手部を作り、柔道と同じスタイルで唐手を広めていく。そして、臨済宗の影響を受け、「色即是空」の「空」の字をとって、唐手から「空手」に名称も替えていった。空手という名をつけたのは船越だった。

だが、空手の不幸は、ちょうど船越が上京して空手を普及させている時期に、沖縄から何人もの唐手の達人が全国に散らばり出したことである。船越の流派は「松濤館流空手」だったが、同時期に「剛柔流」「糸東流」「上地流」とたくさんの流派が全国に散らばった。

だから、柔道は講道館一つだったが、空手は流派が乱立し、型も、競技方法も、まったくバラバラになってしまい、柔道ほどメジャーにはなれなかったのである。

流派が乱立し、競技方法がたくさんあれば、なかなか正課体育の課目にできないし、空手で教師の免状は与えられない。オリンピックの正式種目になれないのもそんな理由があるからだ。だから、空手家は個人で町道場を経営していくしかなかった。それで、世界中に巨大な私的組織を作り上げて成功したのが、極真会館を作った大山倍達である。大山倍達も最初は剛柔流や松濤館流の空手を学んで、独自の理想の空手を作った人だった。

しかし、それにしても、嘉納がいなかったら、空手はもっと小さなイメージの武術にすぎなかったはずだ。とりあえず、嘉納のノウハウを取り入れ、空手という統一名称を持つことができ、大学に空手部を作っただけでも日本の武道を代表するジャンルとして仲間入りができた。それも、嘉納のおかげである。

そんな歴史的事実があって一世紀、嘉納も船越も興味を持ってた総合格闘技のルールで、柔道の小川と空手の佐竹が対決しようとしている。嘉納と船越はあの世で、この一戦をどう見ているのだろうか。

（谷川）

▶柔道を作った嘉納治五郎。この人ほど頭の良い武道家はまだ出ていない

アントン、ついに空を飛ぶ！ 間もなく大阪に着くよ。

クンフー・マクダニエル

編酋長◎井上きびだんご

VOL.19

魂のゴング鳴る!
いよいよ次号より発売開始!!

10・31『プライド11』大阪城ホールで先行発売

11月9日より高田道場HPと『SRS・DX』34号誌上で販売スタート!

完全限定3900体

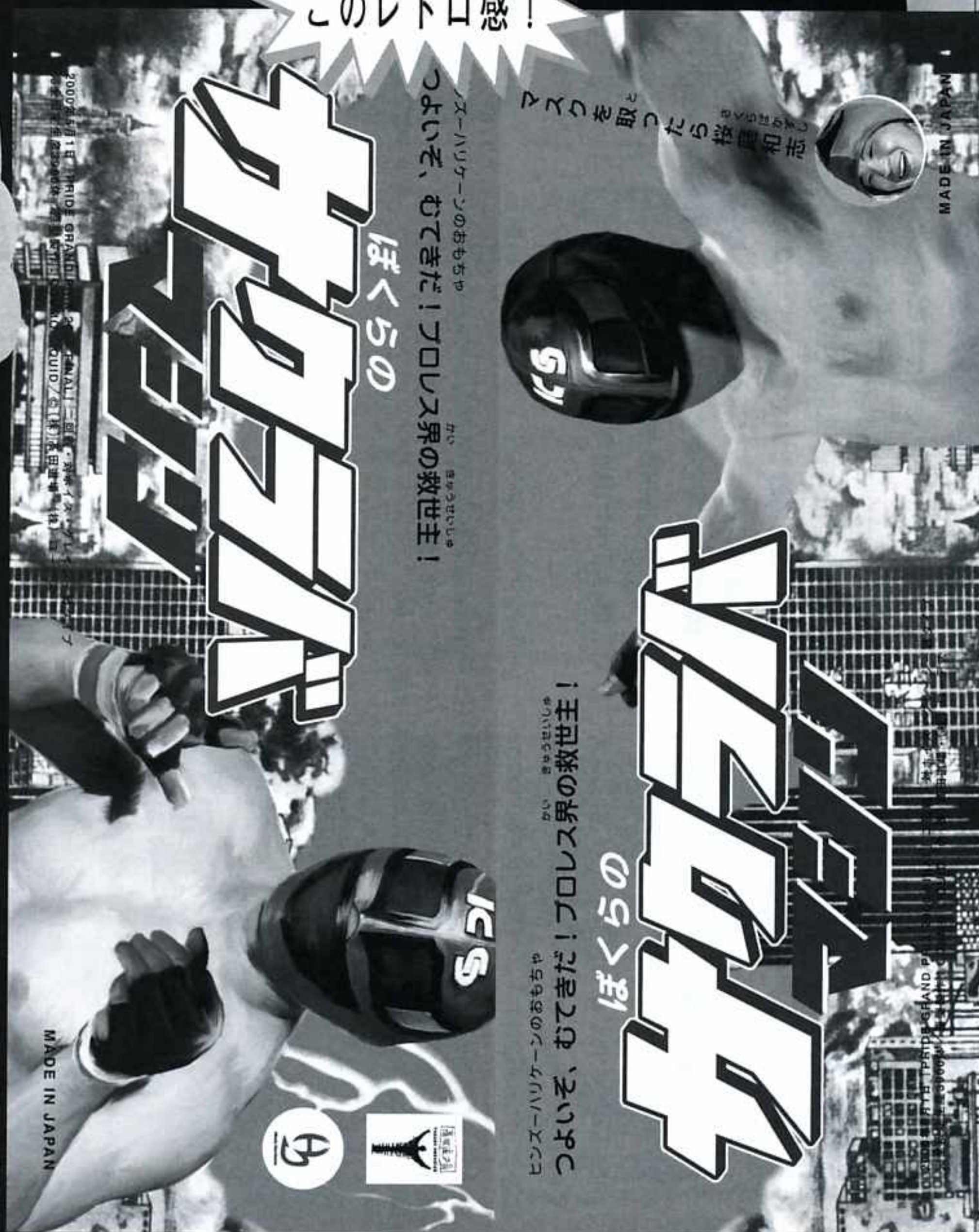
サクラバマシン・フィギュア
最終情報

見てみぃ、
このレトロ感!

ぼくらのサクラバマシン

つよいぞ、むてきだ!プロレス界の救世主!

ヒンズーハリケーンのおもちゃ

MADE IN JAPAN

すべての辛抱たまらんサック・ラバーに捧げる!

◎ついにパッケージも完成!
デザインはペールワンズのポリスマン、鵜飼ペールワン。
パーフェクト・ゲーム達成間近だ!

¥5,250(税込)。
市販はありません。

闘魂五木田塾 WANFU version 第2回

題字◎アントニオ猪木
塾長◎五木田智央

文朱、前人未到の2連勝!

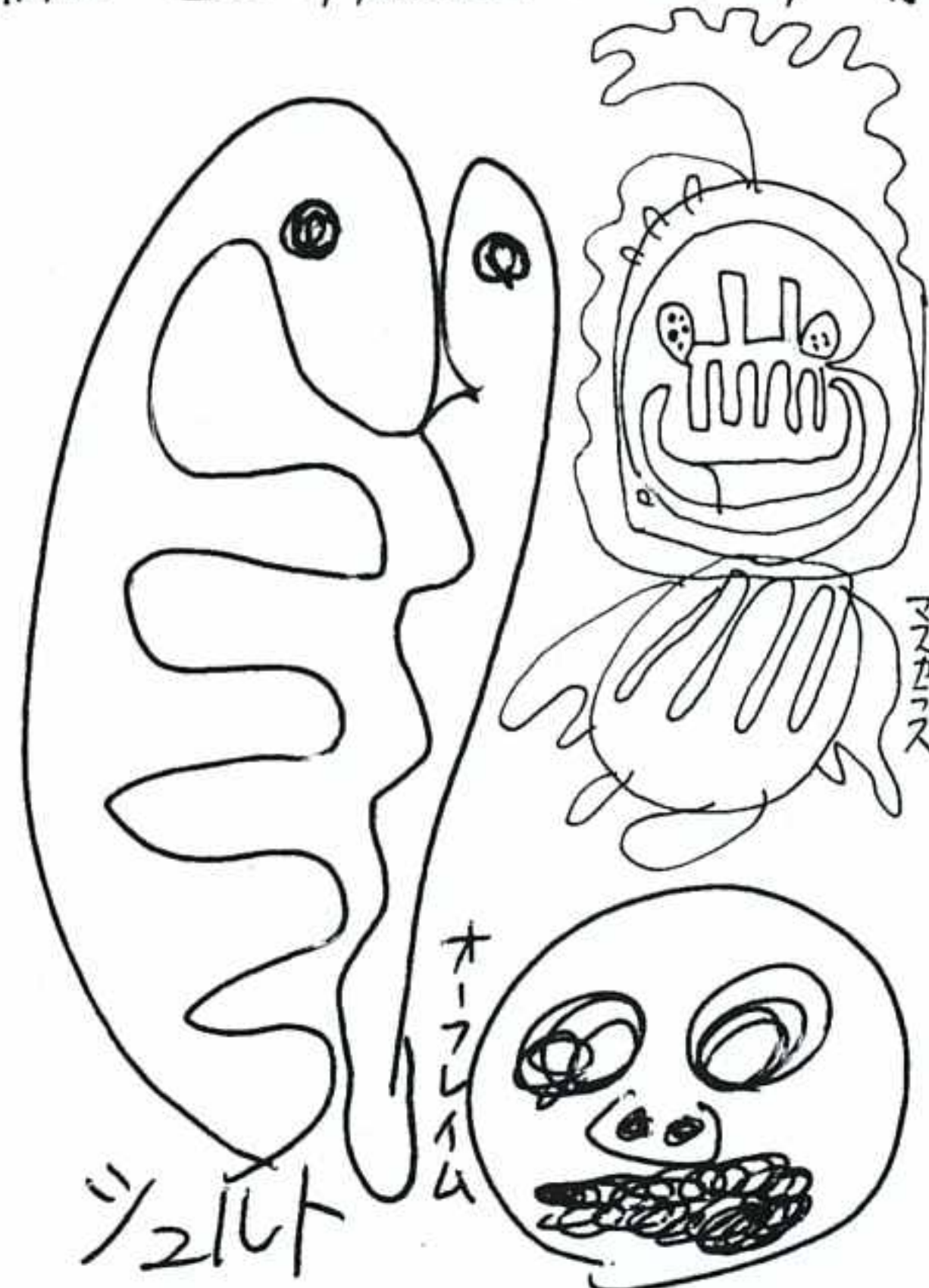
みんなぁ、そろそろ分かったかーッ、コツがぁ!?

▲埼玉県坂戸市・中川雅博・23歳

▲東京都世田谷区・あきら★つじ・31歳

▲祭りの死体置き場99・アントニオ文朱・100歳

塾長の寸評

「帝国ホテルでの『猪木詩集』出版記念パーティーで、満面の笑顔で抱き合う猪木さんと髙田を見て思わずウルッとしてしまった五木田ベールワンです。この気持ちが分かりますかあーフィンたちよ！　この気持ちが分かりますかあーッ！　つーことで今回はちょっと謙虚にいきたいと思います。え～、今回もダントツでアントニオ文朱です。ハッキリ言って、私はなにも言うことはない。このマスカラスを見てくださいよ。もー素晴らしすぎます。最高。文朱ははやくも別格というか『殿堂入り』って感じですね。このまま行くと、このコーナーが『闘魂文朱塾』になってしまうのではないか？　そんくらい刺激的な存在として文朱を認識しています。なーんつってな。で、ほかには哀愁漂う猪木さんのうしろ姿を見事に表現した、あきら★つじ（じつは同級生）の作品も素晴らしい。昭和ファンとしては背中の『ワールドプロレスリング・テレビ朝日』の文字が泣かせる。デルフィンたちよ！　この気持ちが分かりますかーッ！　ってしつこい？　唐突ですが暴露します。あきら★つじは、元祖ストロングマシーン（平田）の大ファンです！　あとは常連〝平成の山藤章二〟中川くんのジャン・リビエール。前回同様ホントうまい。『闘魂五木田塾』テクニック部門ランキング1位って感じです。この調子で行ってくれ！　とゆーワケで今回は3名でした。はたして独走を続ける〝祭りの死体置き場〟文朱を超える新たな才能は現れるのか？　なんかちょっぴり楽しみになってきました。んあ～。」

「髙田選手よ、ボブチャンチン戦は絶対勝ってくれ。頼むから勝ってくれ。髙田は終わったとか、まだ現役だったの？　とか言ってるアホンダラどもに目にものを見せてやってくれ!!　オイラにとっちゃ、Uインターからあんたはトップスターなんや。ヒクソン、ホイスと『もう一丁』シリーズも見たいよ。でも弟子のサクさんでスッキリしたから、こちらはピリオド。まだ終わるには早すぎる。ボブチャンチンに勝って、もう一花咲かせましょうよ！　ファンは期待しています。アイ・アム・プロレスラー、髙田延彦の復活を！」（東京都大田区・最強のUインター☆チェンジ・30歳）

◇ついつい途中で関西弁になっちまうその気持ち、俺も分かるなー（ジュン）。「I still believe.」by甲本ヒロト！（『プライド6』髙田VSケアー戦直後より）。アイ・アム・プロレスファンなら、10・31は髙田延彦を命がけで応援するんだよ！　みんな照れるな！

「プロレスの定義づけが揺れている時、レスラーが取るべき行動は髙田が示していると思う（結果は出ていないが）。特に新日のレスラーは感じてほしい。今、行動を起こさなければ、プロレスの幻想は崩れてしまう。」（神奈川県横浜市・安藤譲・38歳）

◇猪木さんに憧れてレスラーになったんなら、そりゃヒクソンとも闘うし、VTだって挑戦するんだよ！　ズバリ言って、いま髙田延彦ほど、ロマンチックな男はいねえですよ（あ、西村もいた）。何度も言うが、VTをやらないレスラーをチキンだとは思わない。だが、猪木さんの弟子なら、やるしかねえんですよ！　そ、そ、それをだね、やらないレスラーがだね、とやかく言うのは、ボ、ボクはどうかと思うなあ～。あと格闘技側（？）の強いだけの人。キ、キ、キミはだね、じ、自分の魅力のなさを棚に上げて、レスラーのことをどうのこうの言うのは何だかなあ～、と思うよ。あ、あとさぁ、ついでに言っちゃうと、一番タチが悪いのはやっぱ『元・プロレスファン』だな。こいつらはホント始末が悪い。てめえがパーなの棚にあげて、「だまされた！」とか言って、チンケな認識でプロレスを攻撃しやがります。とっとと去れよ。止まんないから、もうちょっと細かく言うと、「プロレスは嫌いだけどさ、猪木だけは別だよね～」って言うヤツ！　そこで折り合いをつけるな。変な気ィまわすな。『世界はひとつ』だなんて嘘です、真っ二つです！

「押忍！　10・9の新日本の東京ドームは最高っすよぉ～。それと新日本ファンの俺はちょっとショックですよぉ～。川田VS健介で健介が負けてガックリですよ。まぁ、川田の方が昔、健介に二度勝っているので、自信があったと思うけど、20世紀最後の名勝負ですよぉ～。たぶん、ほかのパンクラスなどの格闘技でも、これ以上の名試合は20世紀ではないっすよね！　ただ『プライド11』の高田VSボブチャンチン戦は、すご

▲▶熊本県玉名郡・塩本祐介・34歳

アントン、ついに空を飛ぶ！ 間もなく大阪に着くよ。

ワンフー・マクダニエル

い試合になってほしいっすよ！　橋本さんの試合を久しぶりに観戦できて感激で泣きそうになりました。橋本さんが勝利してうれしかったっすよ！　おめでとう!!　次は中西、永田、小川、近藤といった今が旬なプロレスラーと試合してほしいっす！　小川とはすぐにはやらないけど…。やっても負けないっすよ、橋本さんは！　次こそボコボコに小川を倒すぜ！　本当に歴史的な大会を観戦できて俺はうれしくてたまりません！　ただ、猪木さんが来なかったのは、さびしいけど…。次の新日本の1・4も必ず行きますよぉ〜。最後に叫びます。『オイ！　俺は来年の8月までに俳優としてメシ喰えなかったら、芸能界を引退する！　これでどうだ安西ひろこ！』（橋本さんのように）。」（東京都狛江市・爆苦連亡世・25歳）

◇あわわ…。お前ノイローゼだな、さてわ？　と思ってたら、「PS…俺は我が道を行くアントニオ文朱に妬いています。ノイローゼの男より以上で〜す」とのことだ。やっぱり！　ヨシヨシ、お前は活字版・文朱を目指せ！　ただな、こないだ文朱と会ったけど、あいつは非常にイカシてるぞ。ところで、川田VS健介戦を『純プロレスの逆襲』だなんて言ってる人がいるようだが、そんなんでいーのか、プロレス！　だから馬鹿にされんですよ。たっつぁんだろ、逆襲カマしてたのは。

「最近『プライド』はブレイクしてるな〜。たしかに『プライド』はおもしろい。大阪にも俺は見に行くぜ。けど、リングスもかなりおもしろいと思うんだ。けど、『プライド』に比べると、いまいち知名度が落ちることは確かだ。リングスシンパの俺としては、かなり悔しいんだよね〜。リングスから絶賛取材拒否中の『SRS・DX』にこんな事書いても意味ないと思うけど、やっぱり両団体は交流するべきだと俺は思うぜ。そうすれば、リングスの知名度は今以上に上がるし、『プライド』は今以上にブレイクすると思う。それに正直言って、田村やTKが『プライド』のリングで活躍するところがみてーし、桜庭はKOKルールで闘うところが鬼のようにみて〜〜〜!!　『SRS・DX』は『プライド』とのパイプが強いみたいだし、谷川が森下社長を、『紙プロ』がアキラ兄さんをお互いに説得して、なんとか両団体が前向きな話し合いができるようセッティングしてください!!」（東京都調布市・甲斐正康・22歳）

◇誰かアキラ兄さんに、取材拒否の本当の理由を聞いてきてくれ!!　以上！　で最後に、話は変わるが、またもや三茶のレンタルビデオ屋で、ジャイ落と遭遇しました。あんなバケモンと頻繁に出くわすなんて、あの街も住みにくくなったもんだぜ。ちなみに返却していたのは、今さら『エヴァンゲリオン』。「難しくて、話がよく分かんなかったッス…」とのことです…。■

▲埼玉県八潮市・小川徹・15歳

▲大阪府大阪市・英加直純・？歳

▲埼玉県戸田市・大崎洋二・？歳

変態ポエム　第1回

池袋の朝に　″Show″大谷泰顕

不安だらけの
人生だから
ちょっと足を止めて
ハニーに網タイツを
はかせてみる
「ヒャッ!?」
ハニーは何も言わないけれど
ただ優しく
微笑みかえしてくれた
でもね
ごめん
それでも
仕事が一番
チュンチュンチュン
今日も
池袋の
一日が始まる

◇前号で婚約を電撃発表したShow。業界は騒然としてます。しかし、読者からは軒並み「おめでとう！」の声が多し。どうした、Show。それでいーのか？　つーわけで、帳尻合わせで気味の悪いポエムを書いてもらいました。ズバリ言って、パクリじゃねーか！　やっぱり連載にするのは、やめとくJ。

▲山梨県中巨摩郡・村田明美・？歳

▲神奈川県川崎市・井上宏之・24歳

■お便り募集

『ワンフー・マクダニエル』では、読者の皆様からのお便りをお待ちしています。観戦記、イラストはロマンチックなものを、写真はコメントを添えて、その他なんでもお待ちしています。簡単なお便りは、『たつ万』の応募ハガキに書いてくれてもかまいません。

あて先は、
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　SRS・DX編集部
『ワンフー・マクダニエル』係

または、
■ワンフー編酋長メール　srs-dx@rhodes.co.jp　まで。

※なお、作品は一切返却しませんから

一点勝負、ズバリ！　"東大頭脳"西山、オミゴト!!

"切り裂き魔"カチャスックを流血TKO　7戦無敗のインテリジェンス・ヒーロー誕生！

J-NETWORK SHANGURILA III
10.17★後楽園ホール

▲J―NETWORKライト級チャンピオンの西山は、現役東大院生。文武両道とはこういう男のことを言うのだ！

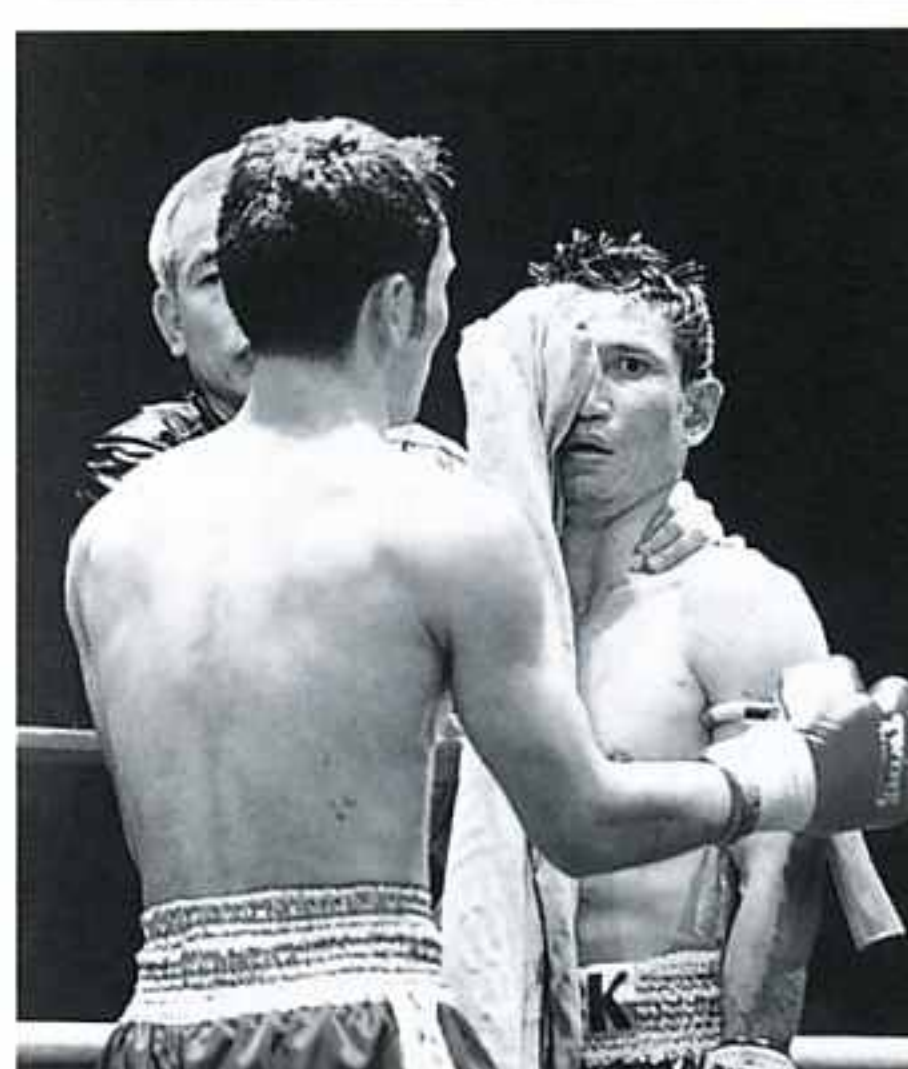
ヒジにはヒジを！

◀「うまくいけば切れるかなと思って練習してきました」と試合後に語った西山のヒジ打ち。2R、この一撃でカチャスックは右目横をカットした

◀右目横をカットされたカチャスックは、怒涛の反撃を見せる。1、2R以上に攻撃的になり、ヒジ打ち、パンチのラッシュで西山を攻めたてる

西山のコメント

「けっこうヒジを練習していたので、うまくいけば切れるかなと思っていた。体が入れ替わる時に、ヒジを入れたら『サクッ』という感じで切れた。カウンターを取りたかったが、相手のプレッシャーが強くて、押しまくられて、手が出せなかった。今日試合が終わって分かったことだけど、ボクはまだ弱いんですね」

◀試合終了のゴングが鳴った瞬間、ショックでリングにうずくまったカチャスックは、西山が握手を求めにいっても、しばしの間は呆然としたままだった

◀ダブルメインイベントの第一試合に行われた五十嵐ヨシユキ（日本／アクティブJ）VSアノラック・ゲニワット（タイ）は、2―1の僅差の判定で五十嵐が勝利を収めた。大会終了後、判定を不服としたアノラック陣営が審判団につめよるシーンも

▶前に出てくるカチャスックを前蹴り、ローキックで止める。西山は終始、落ち着いていた

▲ブンブンとパンチやヒジ打ち放ってくるカチャスックに対して、西山はカウンターを狙う

★第12試合・ダブルメインイベント第二試合/タイ日友好杯争奪（3分5R）
○西山誠人（4R0分48秒、TKO勝ち）カチャスック・ジャンボジム●
（日本/ソーチタラダジム）　（タイ）
※西山のヒジ打ちにより、カチャスックは右目横をカット。出血が止まらなかったためドクターストップ

闘う心と体に、インテリジェンスは相関できるのか。答えは『YES』だ。何より論より証拠。

西山誠人を見よ。東京大学大学院在学中。つまり彼の頭脳は、日本のお宝なのだ。でもって、7戦全勝4KOと不敗を誇るチャンピオンである。さらに一見、金も力もなさそうな色男ときているから、いよいよニクい。

その西山が初の国際戦で対戦する相手は、なかなか手強い。カチャスック。小野寺力、前田憲作らを撃破したタイ人である。これが3年ぶりの試合というが決して侮れない。"切り裂き魔"と異名をとるように、ヒジ打ちの名手なのだ。特に半月を描くように切り落とす右ヒジは迫力満点である。

だが、インテリは考えたのだ。「相手がヒジが得意なら、こちらも狙ってやれ」と。そう、絶対の自信があるからこそ、相手の同じ技に油断が生まれることもある。

図星だった。2R、西山がうまく合わせた右ヒジで、カチャスックの右目横が割れたのだ。

流血を見たタイ人は本気になった。2R終盤には、左フックで西山をふらつかせた。硬いローがビシビシと決まる。さらに半月殺法で次々に襲いかかる。すっかり西山を後手に回らせたカチャスックだが、ケガには勝てない。4R、3度目のドクターチェックでついにストップがかかった。

幸運だろうか。いや、そうじゃない。一点読み、しかも対戦者の最大の武器にピタリと照準を合わせ、これをズバリと当てた。勇気の勝利である。やはり、この東大生、ただものじゃない。（宮崎）

プロフェッショナル修斗
R.E.A.D
2000 SHOOTO
UM CAMINHO PARA O CAMPEÃO
10.9★北沢タウンホール

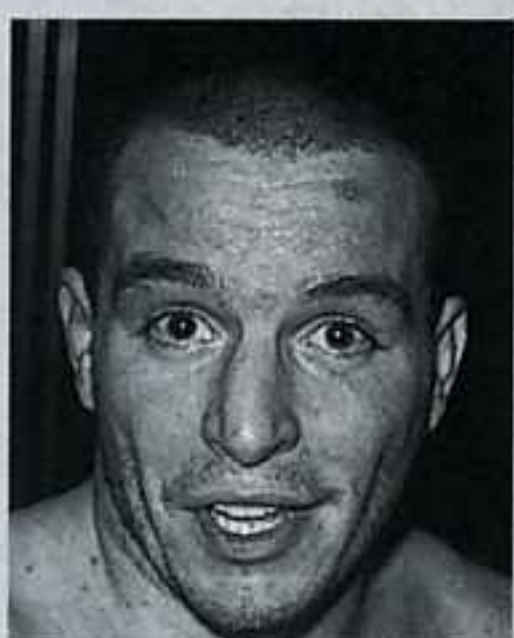
21世紀の修斗ミドル級は池本誠知、お前に任せた!!

池本のコメント

「密着しながら速く動くことが理想なんですけど、それがちょっとできたと思います。今まで試合が多くて、レスリングなどのレベルアップがなかなかできなかったんですけど、少し時間を置いて、レベルアップしたら、もっと面白い試合を見せることができると思います。今日の試合で、お客さんは楽しんでくれましたかね？」

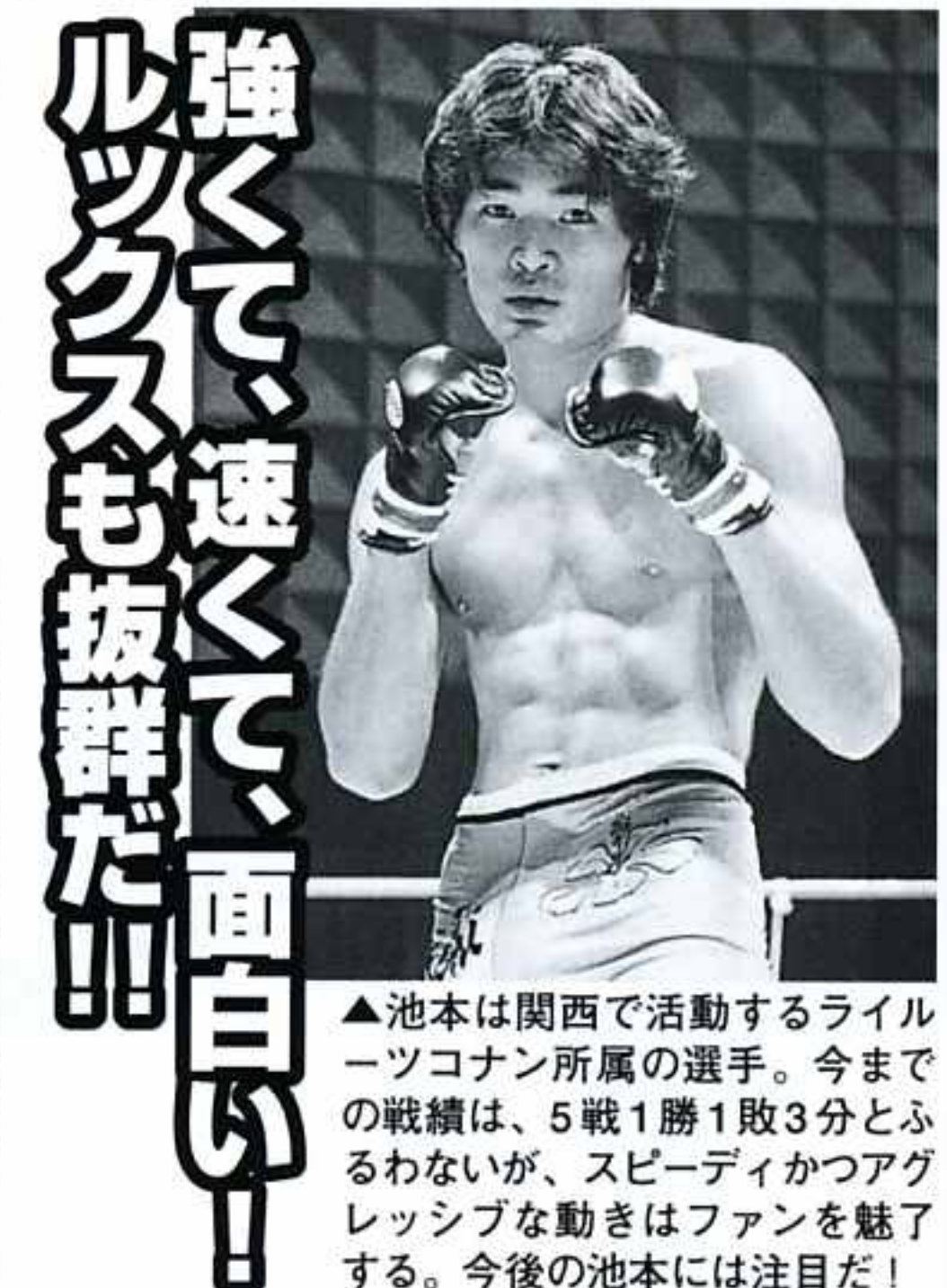
リチオのコメント

「修斗ルールは尊敬しているよ。フランスでは、ルールでガチガチに縛られた大会か、まったくのノールールの大会かのどちらかだけなんだ。その中間に位置するのが修斗さ。素晴らしい格闘技だよ。これから1カ月間、日本に滞在して修斗のトレーニングに励むつもりだ。このルールに慣れたら、今度は負けないぜ」

撮影◎黒田史夫

▲スリーパーの体勢からバックマウントを奪った池本は、パンチの連打をリチオに落とす。とにかく、アームロックからフィニッシュまでは「あっ！」という間だった

▶レフェリーストップ負けとなったリチオは、「なんで止めるの？」とばかりに不満顔。試合後、リチオは「オレは完璧にKOされるか、自分でタップした時だけが、自分の負けだと思っている。だから、今日はイケモトの勝ちだとは思っていない」とコメント

▶テイクダウンに成功した池本は、ハーフマウントを奪う。リチオは下からギロチンを狙うが、それが外れると池本は一気に勝負に出た。アームロック→腕十字→スリーパーと流れるような動きでリチオを圧倒。そして、フィニッシュとなった上写真へ

◀試合開始直後に放った池本のローキック。打撃のセンスも抜群だ

強くて、速くて、面白い！ルックスも抜群だ!!

▲池本は関西で活動するライルーツコナン所属の選手。今までの戦績は、5戦1勝1敗3分とふるわないが、スピーディかつアグレッシブな動きはファンを魅了する。今後の池本には注目だ！

18歳のアマ修斗フェザー級王者プロデビュー戦を白星で飾る！

◀9月10日に行われた全日本アマ修斗大会で、フェザー級を制した松根良太（パレストラ松戸）が早くもプロデビュー。Kzファクトリーの赤碕勝久と対戦し、文句なしの判定勝利を収めた。なんと松根は、今年3月に高校を卒業したばかりの18歳だ

★第7試合/メインイベント（5分2R）
○池本誠知（1R2分09秒、TKO勝ち）ダミアン・リチオ●
（日本/ライルーツコナン）（フランス/パンクレイション・クラブ・ペルピニャン）
※バックマウントからのパンチ連打

修斗のミドル級クラスBに、抜群の格闘センスとルックスを持つ選手がいる。この日、初の国際戦に挑んだ池本誠知だ。

池本の持ち味は、ズバ抜けてスピーディでアグレッシブなファイト・スタイルだ。8月の横浜大会に出場した時は、池本と同じくミドル級期待の新鋭・鶴屋浩と対戦。攻守が目まぐるしく入れ替わる、一瞬たりとも目が離せない展開になり、文体に集まったファンを第1試合からヒートアップさせた。

そして、この日もまた池本は観客を魅了した。修斗を崇拝して止まないフランス人格闘家リチオを相手に、圧倒的な強さを見せつけたのだ。

タックルを敢行した池本は、ハーフマウントを奪うことに成功。それに対し、リチオはフロントチョークを狙う。しばしの膠着の後、リチオのワキから頭が抜けた池本は一気に勝負に出る。ここからが本当に凄かった。アームロック、腕十字、スリーパーと、狙うや外し、次の技に移行。その判断力の速さと、その判断を瞬時に実行できる運動神経の良さは抜群だ。最後はバックマウントからパンチを落とし、TKO勝ちを収めた。

今までの池本の試合で、面白くなかったものはないと断言できる。しかし、本人はまだまだ満足していない様子。この日も魅せて勝ったにもかかわらず、池本は試合後にこう呟いた。「お客さんは、楽しんでくれましたかね？」。

ルックス良し、試合内容良し、そして何よりこのプロ意識。この池本にスターの予感がするのは私だけでないであろう。（宗忠）

SRS·DX Editor's Talk
編集部トーク 裏事情

スクープ！ 猪木が世紀末イベント計画中

A 今回はいきなりスクープ！ 恒例の猪木の成田会見では、俺たちが感じていることをバッサバッサと斬ってくれたんだけど、「次回来る時に大きな発表ができる」と言ってただろ？ 調べてみたら、これが凄い巨大プロジェクトだということが分かってきた。

B 北朝鮮の平和の祭典とか？

A いや、俺が調べたところによると、猪木は今年12月31日の大晦日に、年越し格闘技一大イベントを計画しているらしい。それこそ、20世紀最後の格闘技イベントを自分の手でプロデュースしようとしているんだ。

B というと、新日本がらみ？ それともUFO？

A いや、新日本は1・4ドームがあるし、今の猪木と新日本の関係を考えると、それは有り得ない。東スポの一面で発表されていたけど、来年1・4に新日本はIWGPのベルトを賭けたプロレス日本選手権をワンナイト・トーナメントでやる。猪木の考えているのは、それに対抗するものらしいよ。しかも、会場もドーム級でやるほどの大プロジェクトだという。

C 21世紀を猪木さんと「ダーッ」で迎えようってことですね(笑)。

B まあ、そうなると、協力するのは今の猪木の環境を考えると、今の猪木の環境を考えると、『プライド』かなぁ？ でも、『プライド』は、その1週間前の12月23日に埼玉アリーナで今世紀最後のビッグイベントを開く予定だから、『プライド』をやるということは考えづらいだろう。

A まあ、そこまでは俺も分かってないけど、テレビ局を中心とした大きなプロジェクトが動いていることは間違いないよ。

C そういえば、12・23埼玉アリーナの『プライド12』では、ハイアン・グレイシーが出場することは間違いないようです。そうなると、今度はやっぱり桜庭VSハイアンじゃないですかね。

A まあ、それと『プライド12』ではやっぱり気になるのが石澤だよ。『プライド11』の大阪大会では出ないんだけど、次はどうするのか？ 猪木を含めて動向が気になるところだね。

B それと、安田忠夫もどうするのか気になる(笑)。

A まあ、そういう意味では、新日の1・4ドーム大会に刺激を与えるために、猪木が12・23『プライド11』と、12・31世紀末格闘技イベントをどうプロデュースするか？ それが今後、一番の話題になっていきそうだね。

C 『プライド』が協力すると言えば、11・29バトラーツ駒沢体育館大会も面白くなりそうですよ。『プライド』のルール・ディレクターも務める島田裕二レフェリーが窓口になって、『プライド』の大物選手が出場するそうです。島田レフェリーは「テレビもつけてやりま～す」とはりきっていましたからね。

B バトラーツには、UFOの村上一成も出場しているし、正道会館の柔術クラスを指導している平直行も出場してチャンピオンにもなっている。K―1ジャパンに出ていた長井満也も活躍しているしね。そういう意味じゃあ、格闘技寄りのファンものぞいてみたくなるメンツが揃っているよ。

A そうだね。それと要注意なのが、12・10K―1ワールドGP決勝大会だよ。今年はK―1もいろいろあったけど、東京ドームのチケットの売れ行きが去年以上にいいそうだ。これはフジテレビの事業から聞いてるから確かな情報だよ。初戦の組み合わせが、どれも奇跡的にいいカードだし、やっぱりみんな20世紀最後のK―1チャンピオンは誰になるのか、生で見たがっている。そういう世紀末のお祭りムードもあって、凄く人が集まりそうだ。チケットを買うなら早めに取ることをお勧めしたい。

B 今年は「ワールドGP」シリーズということで、全大会トーナメントをやったけど、視聴率も全大会昨年以上。まあ、いくつかの問題点もあったけど、それをどう来年から改良するかだね。とにかく、俺は12月、新しいチャンピオンの誕生に期待したいよ。■

▶今度は本気の本気。次回来日する際、猪木はどんなお土産を用意するのか？

◎プロレスラーにも負けない体のデカさが自慢だったが、最近どうも調子が悪い。風邪をひいたせいか、左耳が1カ月くらいずっと聞こえないし、鼻声がなかなか治らない。おまけにアンディ・フグの死にショックを受けて、5年ぶりに健康診断を受けたら、いきなり最悪ランクの結果が出て「再検査」ではなく「治療」という診断を受けてしまった。もちろん、まだ医者に行ける時間もない。歯医者も、もう1年以上も通っている。どうやら、思った以上に体にガタがきているらしいのだ。まだこれまで一度も年齢というものを気にしたことがなかったが、これは本気で考える必要があるのかも。〝歳〟ということで言えば、最近大手広告代理店からCM出演の依頼があった。「なんで、僕に？」と思っていたら、なんと「アデランスのCMのプレゼンに、僕を使っていいか？」ということだった。あっ、そういえば、髪の毛も薄くなってるんだなぁと気がつく。そのプレゼンは延期になったそうだけど、もちろんそんな依頼でも、植毛さえしてくれれば、いつ何時でも僕的にはOKだ。というわけで、21世紀までもう2カ月あまり。僕もそろそろ真剣に健康に気を遣い、ビシッとした心と体で新世紀を迎えようという気になっている。でも、根が1日だいたい25時間くらい働いているワークホリックな性分のため、その忙しさとどう闘っていくかが問題だ。年内にあと雑誌は4冊。それに、アンディ・フグの本や桜庭和志の本など、やらなければならないことはたくさんある。ああ、もし生まれ変わるなら、フジテレビ事業部の宇津井隆さんのような人生を送りたい！(谷川)

SRS·DX

次号の発売日は11月9日(木)です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之 編集長：谷川貞治
DESIGNER：梅村あゆみ、小幡浩史、水町由美子、su・plex、広滝大輔、岩村唯是

極真カラテの日本人選手が
遂にグローブをつけて闘う!

これが大器・野地竜太の真実だっ!

11月29日
全日本キックでデビュー決定!

聞き手◎中村カタブツ君

11月29日、全日本キックのリングに
野地竜太が上がることになった。
3年後の世界大会を見据えた
野地なりの決意の現れだ。
その行く道の先にはK—1も見えてくる。
彼のチャレンジ魂と、その割りには
脱力した言動の数々をお伝えしたい。

最初は極真の技術だけで闘います

——今回のキック参戦はホントにびっくりしたんですよ、急に決まったんで。そもそもは野地選手のほうからキックの試合に出たいと申し出たんですよね。

野地 前々から興味があったんですけど、たしか、春頃、館長に言ったと思うんですよ。顔面をやることで空手にプラスになることが多いんじゃないかと思ったんです。フィリォ選手もそうでしたし。

——極真ルールでやるのだけでも奥が深いのに、キックにまで手を伸ばすとかなり混乱するというか。大変だなとは思わなかったんですか？

野地 ルールが変わるんで、大変なのは大変だと思うんですけど、それよりもプラスの面が大きいと思うんですよ。例えば、顔面ですと、より正確に叩かなければいけないとか。

——それは今まで雑に叩いていたということですか（笑）。

野地 雑ではないんですけどぉ……う～ん、やっぱり雑ですね（笑）。だから、パンチひとつとってももっと正確に出せるようになるんじゃないかなと思っているんです。

——その荒々しさが野地選手の魅力ですからね。で、春以後の話は何か動きはあったんですか。

野地 ないですね。今年はアメリカズ・カップに出るというのが目標でしたし、全日本にも出る予定でしたから。本格的に動き出したのはアメリカズ・カップが終わってからですね。だから、顔面の練習はまだほとんどしてないです。たぶん1週間とか2週間ぐらい（笑）。

——急に決まった感じですからね。

野地 はい。寮に入ったのも2週間ぐらい前からですから。今、本部の若獅子寮にいるんです。

——え!? 三軒茶屋の道場だとばっかり思ってたんですが。

野地 アメリカズ・カップまでは三軒茶屋です。その後に寮に変わったんです。

——そうなんですか。じゃあ、今は練習も全て本部のほうで。

野地 そうですね。

——顔面の練習は新日本木村ジムのほうですよね。

野地 そうです。今は初歩ですね。鏡の前でシャドウをやって形を矯正してもらったり、サンドバッグを叩いたりです。スパーリングとかはこれからだと思うんですけど。

——それで11月29日の試合に間に合うんですか？

野地 いやぁ、分からないです（笑）。

——ぜひとも間に合わせてください（笑）。

野地 もちろん、がんばります（笑）。

——パンチはどんなことを教えてもらってるんですか。

野地 僕の場合は構えた時点でワキが開いてるんで、しっかりワキを締めてってもう完全に最初から技術を見直してます。狙うところが今までは胸だったんで外側から打ってたんですけど、ボクシングだと狙うところも違うし、当然叩き方も違うんでしょうがないと思うんですよ。僕の場合、やっぱり力で叩いてる部分がまだ多いらしいんで。だから、「身体を切って、当たる瞬間に拳を握ればいいよ」って言われてます。

——結局、今のところ、何回ぐらい行ってるんですか。

野地 ちゃんと数えてないですけど、10回とかですね。

——じゃあ、ほとんど毎日行ってる感じですか。

野地 今はそうです。

——で、キックの練習になると、藤原道場でやってるわけですね。

野地 そうです。アメリカズ・カップの前にあいさつに伺っただけですが、これからは藤原ジムにもお世話になります。

——やっぱり早くスパーリングしてみたいですか。

野地 それはやりたいですね。イメージがつかめないですから、いくらサンドバッグを殴っても。でも、それは指導者の皆さんにおまかせしています。

——グローブをはめて殴り合う怖さみたいなものってあります？

野地 まだ殴られていないんで怖いんだか、怖くないんだか、分からないんですね（笑）。これからスパーリングやってけば、そういう感覚にもなるかもしれないですけど。

——というか、分からないからこその恐怖感みたいなものがあるじゃないですか。

野地 う～ん。怖いというより、慣れてないっていうか。たぶん自分は、まだ専門家のパンチは、よけれないんで（笑）。

——いやぁ、正直ですね（笑）。

野地 いやぁ、ホントよけれないと思いますね（笑）。だからこれからヤリ甲斐も出てくると思うし。

——そうですか（笑）。ところでどういうふうな闘いをしてみたいと思ってます？

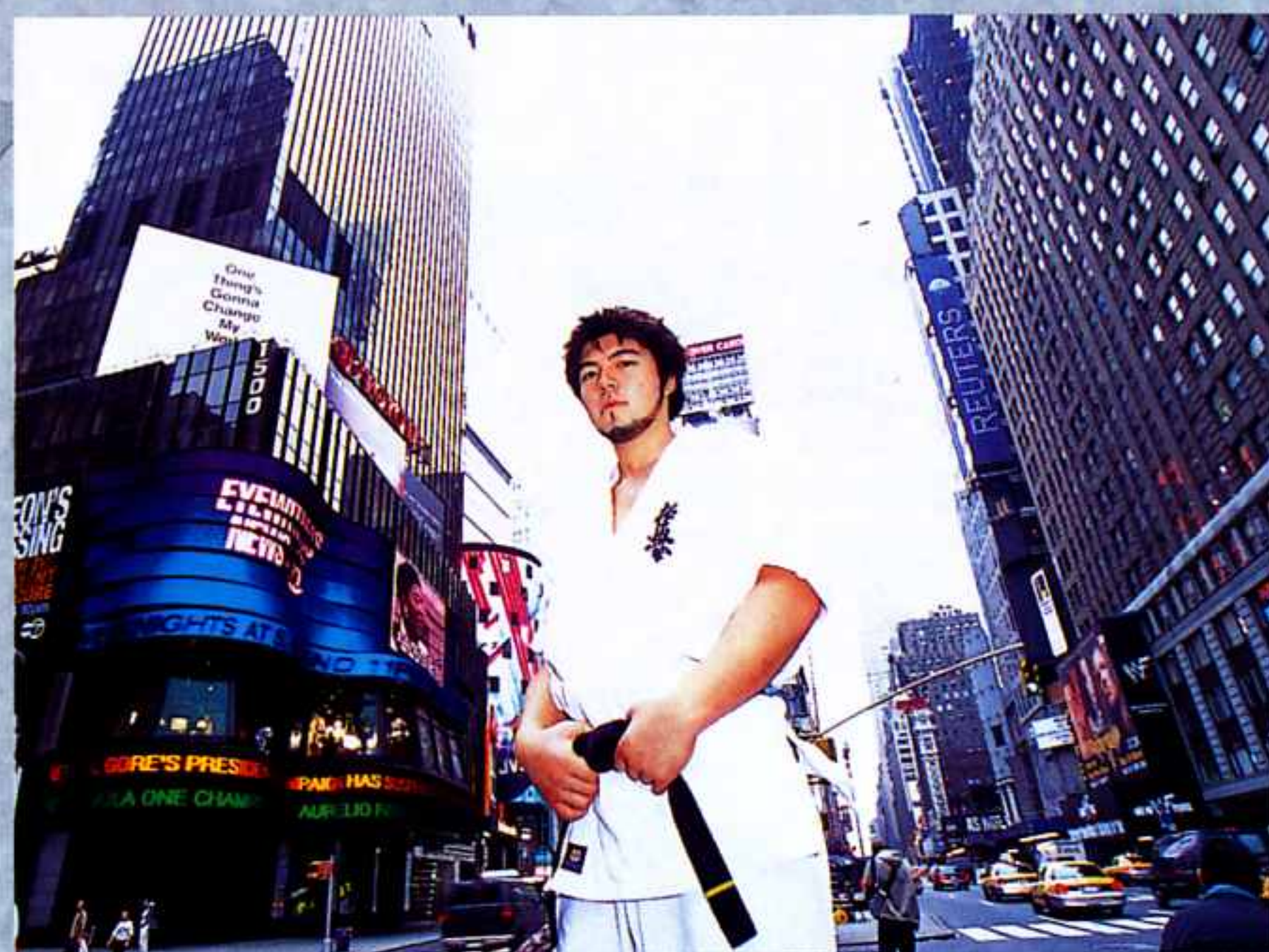
野地 まったく初めてなんで、あれもやりたい、これもやりたいっていうのは具体的にないですよ。だから、今持ってるもので闘うしかないと思うんですよ。今から練習しても新しい技術はそう簡単に試合で出ないと思いますんで。

——ということは極真の技術で闘うということですか。

野地 でしょうね。ガードを高く上げるとか、できることはやってきますけど、特に変わったことをやろうとは思わないですね。今持ってるものでどれだけ闘えるかまず試してみようと思います。

——想像するとどうですか。最初のうちはガードも上がってると思うんですけど、2ラウンド、3ラウンドになるとガードも下がってくるでしょう。

野地 スパーリングもしてないんで分からないですね。まだスタミナ的な面も分からないですからねぇ（笑）。

——先日9・13全日本キックの後楽園大

▲ニューヨークで極真道衣姿といえば、思い出すのは映画『地上最強のカラテ』。キョクシンカイ・ファ～イト！（ニューヨーク・タイムズ・スクエアにて）

会で、森口さんのセコンドについた時は
たら、どういう勝ち方をするのかもまっ
——みんなってどなたですか。
の4時半まで。

◀WWFショップの巨大な看板をバックに。
でも、野地はあまりプロレスを見ないらしい

やっぱり、恥しい試合はできないです

会で、森口さんのセコンドについた時はどんな気持ちで試合を見てたんですか？

野地　いずれは自分もやるだろうなって感じで見てたんでしょうね。

――その時はまだ先の出来事だと？

野地　そうですね。会場の雰囲気が分かったんで良かったですけどね。

――お客さんで行くのとセコンドとして行くのとで違うもんなんですか。

野地　やっぱり、近くで見れて勉強になりましたって感じですね（笑）。

――でも、野地選手って試合場の姿と違って、なんか気負いのカケラもないですよね（笑）。

野地　自分としては、不安と楽しみが半々ぐらいなんですよ（笑）。

――どの辺が楽しみなんですか。

野地　どういう展開になるのかまったく想像がつかないですから。勝てるんだったら、どういう勝ち方をするのかもまったく想像もつかないですから、それが楽しみですね。

――ボクシングの坂本と畑山の世界戦は見ましたか。

野地　途中からですけど見ました。凄いなって思いましたね。ああいうふうに力を抜いて打てたり、よけたり自分も早くなりたいなって思いましたね。

――あれはいい試合でしたね。ああいう熱い試合がしたいっていうのはありますか。

野地　でも、打ち合いばっかりして、あんまり叩かれるのも嫌だっていうのもあるんですよ。馬鹿になってしまうんで（笑）。できることなら全部よけたいんです。みんながパンチドランカーになるって脅すんで、もらうんならほどほどにしたいですね（笑）。

――みんなってどなたですか。

野地　昔の道場の仲間ですね。応援してくれてますし、今まで指導していた人たちも見に行きますって言ってくれてるんで、ありがたいですね。

――それは嬉しい反面、プレッシャーでもありますね。

野地　やっぱり、恥ずかしい試合はできないですね。

――送別会かなんかはあったんですか。

野地　ありましたね。21人組手で送り出してもらいました（笑）。

――いいですね、空手道場らしくって（笑）。

野地　21人って中途半端な数字なんですけど（笑）。僕の中では色帯とかも混じるのかなって思ってたら全員茶帯以上で、みんな本気でかかってきたんで面白かったですよ。そのあとは飲み会ですね、朝の4時半まで。

――ああ、なんかいい雰囲気ですね。これは先の話なんですけど、K―1についてはどう考えてますか。

野地　それは僕次第というか。やっていくうちに僕が実績を残せば話もくると思います。

――K―1についての話というのは現時点ではあるんですか。

野地　僕自身、顔面の経験がないですし、今、具体的な話は聞いてないですね。

――でも、普通に考えれば可能性は高いですよね。

野地　気持ちとしては強い人がたくさんいるところなのでチャレンジしたいとは思いますけど、やっぱりまだ試合をしてないんでなんとも言えないです。僕がメチャクチャ弱かったら話もこないでしょう。とにかく、やってみないと分からないです（笑）。

――だけど、強いでしょう、野地選手は（笑）。だって何発か顔にもらったとしても、絶対に耐えられそうだし（笑）。

野地　そうだといいんですけどねぇ（笑）。

――今どのくらい練習してるんですか。

野地　朝走って、夕方ジムに行って技術を勉強してます。

――空手の練習は？

野地　空手の練習はやってないです。今はボクシングの基本を習ってるんで、それでまた空手のスパーリングをやっちゃったりすると上達が遅れるような気がするんです。

――ジムでは何時間ぐらい練習してますか。

◀全ては極真精神を伝え切るためである。
残る時間はあと3年間！

一人の極真空手家としての意地はありますから

野地　2時間ぐらいです。メニューは日によって違うんですけど、毎回やるのがシャドーとサンドバッグです。トレーナーの方がいると、ミットを持っていただいて、パッパッと叩く時もあります。あとは補強をやっておしまいです。これからは自主トレの時間も作って、ボディプラントでやっていこうと思ってます。

——不安になったりしません？

野地　さっきも言ったように半分ぐらい不安です。今はスパーリングをやりたいなって思ってるんで。でも、それも今週から藤原道場に行こうと思ってるんで大丈夫だと思うんですよ。

——もっと練習しなきゃみたいな気負いはないんですか。

野地　今は木村ジムで2時間やるだけで身体がパンパンになるんで帰ってきたらやらないですね。まあ、急激にやるんじゃなく、少しずつ自分のものにしようと思ってます。

——じゃあ、焦りっていうのはないんですね。

野地　焦りはないのかなぁ……ないですね。焦っていればもっとやってると思うんですけど。その辺は割り切って考えたほうがいいと思ってますんで。

——なんか、精神的に凄いタフですよね。勝てるような気がしてきましたね（笑）。結構初っぱななんて、精神的な部分での勝負が大きいと思うんですよ。

野地　そうですかね。

——だから、ヘタに焦ってるよりは「大丈夫ですよ。来週からキックの練習を始めますから」って言っちゃえる人のほうが強さは感じますよ。しかもまったくの素人じゃないし。空手の下地があるんですから。

野地　そうだといいんですけどねぇ（笑）。

——相手はどんな選手がいいですか。まだ決まってないんですよねぇ。

野地　そうですねぇ、……パンチが結構上手な人がいいですね。それで倒されたら話にならないですけど、そういう人とやってみて体験してみたいっていうのはありますね。蹴りが上手な人は空手にたくさんいたんで、顔面をいろんなふうに殴ってくる人が面白いなと思うんですよ。まぁ、負けたら悔しいですけど（笑）。せっかく顔面の技術を学ぶんですから、空手とは全然タイプが違う人とやってみたいですね。

——負けることとか想像します？

野地　負けることを想像しても、しょうがないと思うんで。

——というか、想像しないでしょ、性格的に。

野地　しないですね。

——常に勝ってる（笑）。

野地　そうですね（笑）。

——ステキです（笑）。

野地　負けるのをあえて想像するのは嫌いですし（笑）。

——ですね。ところで全日本大会に出場できなくなりましたが。

野地　残念ですけど、グローブのほうをやりながら両方はできないと思うんで、今年は仕方ないなと思ってます。

——グローブ技術はどの辺までやるつもりですか。まだスパーリングもしてない段階で聞くのもなんなんですが（笑）。

野地　まず、最終目標として世界大会が3年後にあるんで、その1年前とか半年前に戻ってくるのかなって漠然と考えています。まぁ、こういった修行もあくまでも世界大会に向けての修行の一環ですから。その間、せっかく顔面を経験させてもらえるんですから、中途半端には終わらせたくないです。

——そうですか。でも、野地選手がグローブつけて闘うのは、本当にワクワクします。最後に全然関係ない話ですけど、僕、空手の試合での野地選手のヒジの連打が大好きなんですよ。あれはなんで始めたんですか。

野地　あれはもう嫌がらせですね（笑）。近づかれるのが嫌なんで、近くにくるとこれをやるぞって、自然に出たんですよ。でも、あれ結構痛いんですよ。この前やられて初めて分かりました（笑）。

——アメリカズ・カップのザンデル・サキ戦で（笑）。あの試合は迫力ありましたね。

野地　一生懸命攻めないと勝てない相手だったんで。必要以上にヒジを打ちました、お互いに（笑）。

——どうでした、ブラジル勢は？

野地　やっぱり勢いに乗ってるなっていうのは感じましたね。負けたのは残念だったんですけど、海外の試合は初めてだったんでいい経験になりました。

——あっ！　そうだったんですか。

野地　だから、世界大会よりも緊張しましたね。やっぱり雰囲気がいつもやってる東京体育館とは違ったし。経験としては凄い良かったですね。時差ボケで闘ったり。そういう意味でも外国人選手の気持ちが初めて分かりました。

——ところで最後に一つ聞き忘れていたことがありました。これは大事なことですけど、キックの試合で極真の看板を背負う気持ちはあるんですか。

野地　それはないですね。僕がそんなふうに考えたら怒られますよ。

——日本人選手では久しぶりじゃないですか。昔は極真出身の日本人選手が何人もキックのリングで活躍してましたけどね。だから、その部分でマスコミとかファンから期待される部分ってあると思うんですよ。

野地　ただ、自分としては極真の代表として行くつもりはまったくないわけですけど、そういうふうに見られるのは覚悟しています。だから、恥ずかしくない試合はしたいですね。一人の極真空手家としての意地もありますんで頑張っていきます。■

間近に迫った第32回全日本空手道選手権大会
（東京体育館、11月4・5日）に向けて檄！
極真会館・最高顧問　盧山初雄

聞き手◎中村カタブツ君
撮影◎山口比佐夫

極真よ！馬鹿になれ!!

気がつけば世界大会から早一年が経ち、
全日本空手道選手権が開催されようとしている。
もちろん、日本の極真選手たちに中だるみなどはないのだが、
この一年の修行の成果をどう見せるかがこの大会では特に重要だ。
「次の世界大会で日本が負けたら腹を切る！」と断言する
盧山初雄が、この大会に何を期待し、極真空手をどう変化させていくのかを激白！

▶鬼の顔！　盧山初雄は極真の鬼神であり、闘神である

——先日『SRS』で師範の腹切り宣言（盧山師範は「次の世界大会で日本が優勝できなければ腹を切る」と断言）が放送されましたね。

盧山　テレビで宣言しちゃってねぇ、引っ込みがつかないよなぁ（笑）。

——いや、笑い事じゃないと思うんですよ。負けたらどうするんですか。

盧山　ウチの生徒たちも鳥肌が立ったと言ってましたよ。まあ、あのビンタにしてもそうですが、極真空手はスポーツじゃなくて武道ですから当然のことですよ、これは（笑）。

——そうですけれどもねぇ……。

盧山　我々の世界は真剣勝負ですから、負けたら即、死を意味するわけですよ。ですから、選手たちはそういう気持ちで臨んでほしいし、私も指導する以上は負けたら腹を切るというくらいの気持ちで指導します。

——……ともかく、気が付けば目の前にはもう全日本大会。世界大会から早1年が経とうとしてるんですね。

盧山　時間はアッという間に過ぎてしまうわけですから、気を引き締めて引き締め足りないってことはないでしょう。

——実際、選手の方々にも、たるんだ様子はまったくないですからね。

盧山　そうでしょう。私も『SRS』は見させてもらったんですけど、アメリカズ・カップでの野地君は随分成長したなと感じましたよ。結果的には準優勝になったわけですが、「前よりも人間的に成長したな」と思いましたね。

——ホントにガッツのある試合でしたよね。ただ、野地選手自身は「初めての海外の試合で相当緊張した」と言ってましたね。

盧山　ということは「日本の試合では緊張しなかったのか？」「昨年の世界大会では緊張しなかったのか？」ってことになるわけですが、私が思うに緊張しなかったと思いますね。昨年までは空手母国・日本の代表であるという、まさに国を背負って命がけで闘うという自覚が足りなかったんでしょう。それが海外に行って、「オレが日本を背負ってる。どうしても負けるわけにはいかない」という緊張感が芽生えたことがいい勉強になったと思いますよ。それがあの覇気のある試合になったと思う。私はそうやってプレッシャーをどんどん感じてもらいたいんですよ。3年後の世界大会はまさに日本の崖っぷちの闘いですから、今のうちにもっともっとプレッシャーを感じろと思いますね。おそらく前の世界大会で本当のプレッシャーを感じたのは数見君ぐらいのもんじゃないですかね。あるいはフィリォぐらいでしょう。だから、彼らのようなプレッシャーとまではいかなくても、それに近いようなプレッシャーを今から感じて、それを乗り越えるだけの精神力を持ってもらいたいですね。

この勝ち方で世界に通用するのか！それを考えろ！

盧山初雄

——それはいい勉強になりますよね

盧山　やはり、極真空手の原点はエンジョイする競技空手じゃないんですよ。強化選手はまずそこを自覚しないといけない。今回、野地君が初めて緊張感を感じたということは、人間的にも精神的にも大きな成長ですよ。結果として、準優勝なので手放しでは喜べませんが、今までとは全然違った価値観の中で準優勝したというのが何よりも大きいと思います。強化選手はプレッシャーのかかる状況に好んで飛び込んでいってもらいたいですよ。

——その野地選手ですが、これからキックに挑戦するんですよ。

盧山　それは聞いています。だけど、今の彼では勝てません。そんな甘い世界じゃありません。彼はもっともっと技の精度を上げなくちゃいけないですね。

——それは本人も言ってますね。

盧山　そうでしょう。彼の組手は手先、足先の攻撃ですからね。彼が本来持つ体力的な良さが半減されていると私は見てます。もう一つ言えることはキックやK—1に出るのはアメリカズ・カップに出るのとはわけが違うということです。少なくとも極真の人間として出て行く以上は極真の精神を身体の中に叩き入れて、命をかけても勝たなくちゃいけない。それが極真の選手の使命でしょ？　もうね、阿修羅のようにかかっていって、手足が使えなくなったら噛みついてでも勝たなくちゃいけないんですよ！　それでも負けたら化けてでも相手を倒さなきゃいけないんです！

——それは総裁も語っていた闘いの原点ですよね。

盧山　そうです。勝敗は時の運ではありますよ。ですが、ことに臨んで何があっても勝つという信念のもとにやらないとまったく無意味ですよ。それは勉強するという気持ちも大切ですけど、いざ試合の舞台に立ったら、何がなんでも勝つことだけしか考えないことです。今の日本選手に足りないのはこういう覇気なんですよ！　空手の本来の姿である、真剣勝負ということを頭の中に叩き込んでほしいですね。

——いや、ほんとにおっしゃるとおりです。そうなると、数見選手が参加しない今回の全日本大会も選手たちがどういう闘いを見せるのか楽しみなんですよ。

盧山　はっきり言いまして、私の考えで

ヤリ特訓は効果的な練習方法なんですよ！

極真会館 最高顧問

は数見君以外の選手はみんな気持ちがルーキーなんですね。だから、数見君が出ないこの大会でこそ「オレが日本を引っ張っていかなきゃいけない」という自覚を持ってもらいたいですね。そういった意味で、ほかの選手たちにはいいチャンスなんですよ。こういう中で優勝した人間は今まで以上に自他ともに重圧を受けることになるでしょうしね。

——師範も喜んでプレッシャーをかけるんですよね。

盧山　もちろんです！　彼らは今までみたいに、のほほんとしてはいられないですよ！

——今回は木村靖彦選手とか、木山仁選手とかが優勝候補と言われてますけど、どんな飛躍を見せてくれるのかに期待してるんですよ。

盧山　彼らはまさにこれまで自覚が足りなかっただけの話なんですよ。せっかくいいものを持っているのに根本の部分で日本を背負うという一番大事なことが甘くなっていたんで、今こそ奮起してもらいたいし、それを試合場で見せてもらいたいですね。私自身、日本の選手は今までと何かが違うなっていうのをヒシヒシ感じてるわけですから。

——みんな世界を見てますよね。

盧山　だから、「この勝ち方で世界に通用するのか？」というのをまず考えてほしい！

——はい！

盧山　そう言った意味では今度の全日本大会はあくまでも世界大会の練習舞台なんですよ。国内大会で勝つためのチマチマした空手をするんじゃなくて、練習だと思ってガンガン暴れまくってもらいたいですね。

——そういう意味で師範が注目してる選手というのは誰ですか。

盧山　この前、廣重師範とも話をしたんですが、〝鳥取のロッドマン〟と言われる選手ですね。ロッドマンはまだ19歳なんですよ（笑）。それから奈良の市川雅也選手に城東支部の佐藤昇選手ですね。そういう選手たちが台頭してくれないとホントの意味での世代交代にならないんですよ。

——その一方でフィリォが勝ったことで海外の選手全体の志気が高まってる感じですね。

盧山　もちろんですよ。今までは世界大会で日本人と闘ったって勝てないという、実力があっても勝てないという、あきらめムードがあったわけですよ。それがフィリォの優勝で意識が変わったわけですから、今や日本の選手は追われる立場から、上から踏んづけられる立場になってるわけですよ。そういう認識を持って世界の選手に対応するとなれば絶対に負けられないという意識しかないですよ。よし！　死んでやろうというね。

——やはり、覚悟ですか。

盧山　そうです。死んでやろうという覚悟ですよ。差し違えてでもっていう、クソ根性を持ってくれないとしょうがないんですよ。

——師範はロシアの選手の指導もしてるわけじゃないですか。実際にロシアの選手たちの意識は高いんですか。

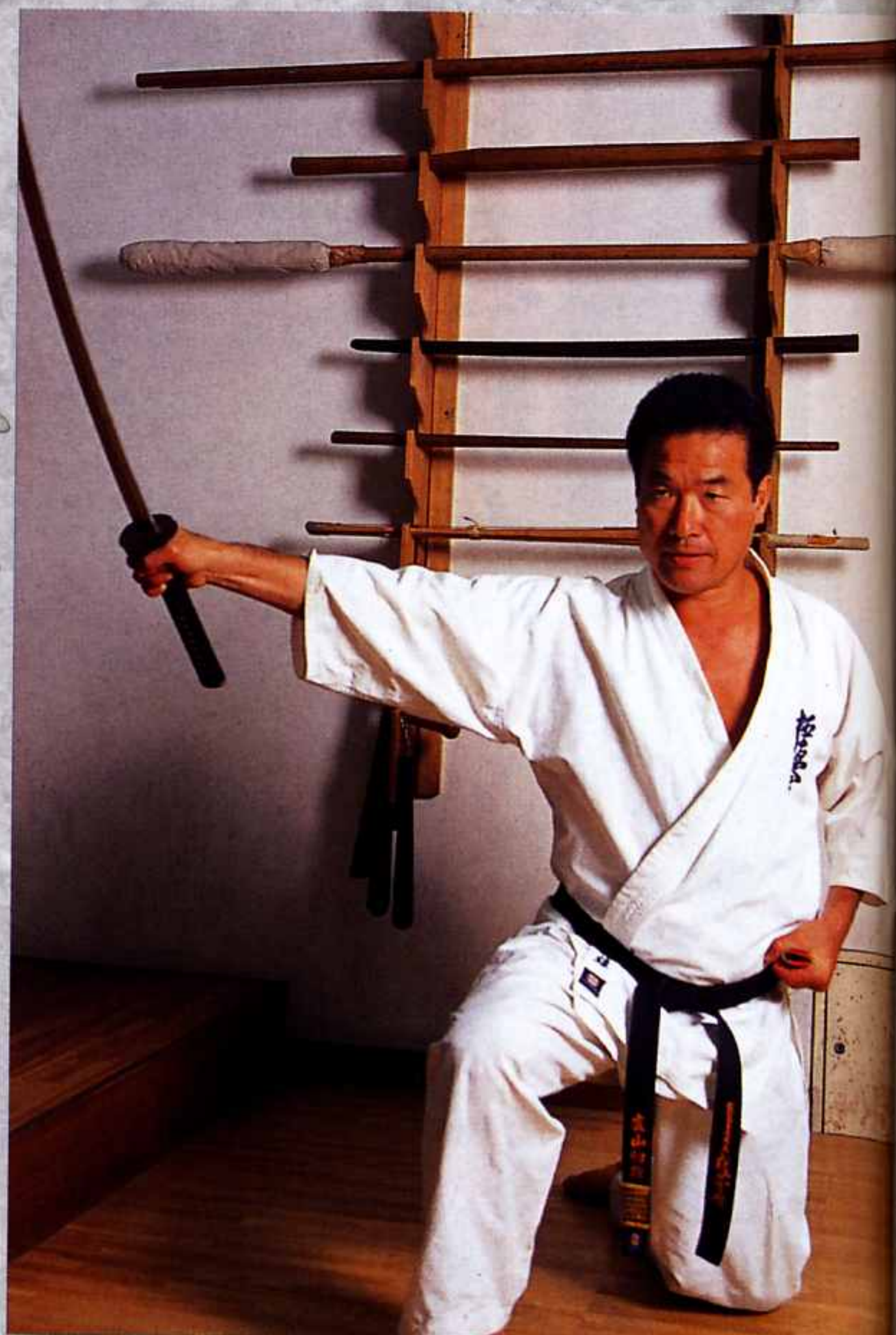
盧山　イケイケドンドンですよ、もう。来年の2月にエカテリンブルグでロシア大会が行われるんですけど、彼らはそこにフィリォ選手を招いてるんですよ。それはどういうことかと言えば、「オレたちはフィリォでも勝てる」という自信があるんですよ。

——なんか、日本を飛び越えてますね、目線が。

盧山　ホント、そうですよ。ですから、日本選手はナメられてるということでしょう。そういう流れに拍車がかかる前に強化選手の絞り込みをドンドンやらなくちゃいけないなと思ってますよ。今、強化選手が200人いますが、それを10分の1にするわけですから、指導者冥利に尽きますよ。それこそ何人でも逃げ出してもいいし、脱落してもいいわけですから、我々にとってはこんなやりがいのある仕事はありませんよ。かつて大山総裁は100人の弱い生徒よりも強い1人の生徒を持ったほうがいいと言ってたわけですよ。それを思う存分やるわけです。まさに極真の源に戻るような、この稽古を強化選手にぶつけることができるという、この幸せ感！

——生き生きしてますね（笑）。

盧山　それはそうでしょう（笑）。本当の大山道場の稽古、言ってみれば極真会の原風景がよみがえることになるんですよ。それを今の強化選手にぶつけることができるっていうことはやりがいがあるじゃないですか。辞めたっていいんですから。それは極真から去れという意味ではないですよ。強化選手が200人もいて、今どうやってふるいにかけようかなって思ってるわけですから、どうぞご自由に脱落したい人間は脱落してくれって言えるこの幸せ感はどれほどのものだと思いますか。選手は大変でしょうけどね（笑）。だから、残った人間は頭から指先まで根性の塊。みんな笑って死ねるという本当の根性を持った人間が残ってると思いますね。

——また、そういう選手を育成する予定なんですね。

▲技も精神も、全ての闘いの原点を伝えようと裂っぱくの気合いを込める盧山。抜き身の気迫だ

極真会館 最高顧問 盧山初雄

盧山　そうですよ。また、強化選手から外れた人間も極真空手全体の底上げにつながるわけじゃないですか。極真の厳しさを肌で感じて、それを伝えることができればこれが一番いいことだと思いますね。

——極真の核の部分を伝えるということですね。

盧山　やっぱり空手の魅力というのは地に則った基本、理にかなった型、そして華麗なる組手。その華麗なる組手ができないってことは地に則った基本と理にかなった型ができてないということなんですよ。この一番根本的な部分を忘れたところに、華麗なる組手ができない原因があるわけですよ。

——スケールが小さくなってしまったと。

盧山　小さくなってしまった。そして、結果的には体力に優る海外の選手に勝てなくなってしまったんです。土台になる基本を忘れて、スパーリング的な組手に終始した練習をしたって絶対に人を魅了するような空手は生まれませんよ。いずれにしても原点に戻った極真空手を作らなければならないし、日本国内での意識改革はもう進んでいるんですよ。

——そうなると、今回の全日本大会は、その意識がどう形になって出てくるかを見るのも楽しみですね。

盧山　そこは見ていきたいですね。

——闘いの原点回帰がどう形になるか、と。ところで、9月に行った関東地区の合同稽古では〝ヤリ特訓〟もやっているんですよね。

盧山　そうですね。ヤリ特訓っていうのは防御に対する意識レベルを上げてもらうための効果的な練習方法なんですよ。今の日本選手たちは相手の攻撃をきっちり受けて反撃するんじゃなくて、殴らせておいて殴り返すというような戦法を取ってる人間が多いんですよ。これは日本人よりも体格に優る海外の選手たちとやった時にダメージが残る戦法ですよ。これは誰の目にも明らかなんですが、今までの日本人選手たちは、長い間そういう稽古に慣れてしまったから変えることができない。受けるにしても、手先足先だけだし、身体全体で反応するという選手がいないんですよ。だから、ヤリでついてやることで、意識を高めるんですよ。

——非常に効果的ですよね。棒の先で突かれたらキッチリ受けないと耐えられないですからね。つまり、受けを中心とした空手の精度を上げる練習がヤリ特訓だというわけですね。

盧山　そうです。結局、基本的な動きの精度が上がれば、威力は数倍上がるわけです。だから、私が強化合宿で口を酸っぱくして言ってきたことはそういうことなんですよ。ベーシックな動きに目を向けてくれれば組手の内容は全然違ってきますよ。ですから、これまでの競技的な空手に対する概念を一度きれいに取り去ってもらいたいんですよ。今までの殻をぶち破るというか、そういう作業をしてから新しいものを構築してもらいたいと思ってますね。

——今、顔面の掌底まで練習に入れてるわけですからね。なにか、空手革命とでもいうか。

これからはまさに空手革命ですよ！

盧山　そう。革命ですよ！　空手の原点に戻れという、それだけのことなんですけど、いま空手がこうなったことを考えるとまさに空手革命ですよ。これは。だから、この前のヤリっていうのは彼らが悟るためにいかに分かりやすく伝えるかという一つの方法です。全身の神経を研ぎ澄ます空手を目指してもらいたい。頭の中に出来上がった概念を取っ払って眠ってる力を発揮してほしいんですよ。それにはいくら我々が殻を砕こうとしてもなんですよ。内側から選手自身が砕いていく作業をして、そこに手を貸すことで初めて殻というのは破られるんです。ですから、やはり、最後は選手が気付いてくれるかどうかなんですよ。

——気付きですか。

盧山　そうですよ。極真空手が飛躍するきっかけになってほしいと思うんですよ。これから強くて魅力ある空手を追求しない限り、極真空手は先細りになりますよ。今までの延長という旧態依然とした態度で臨んでいたら進歩もないですからね。やはり、空手母国・日本が中心となって、求心力を持っていかなければ発展はありません。そのためには華麗なる空手なんですよ。これはカッコ良くだとか、スマートなことを考えるのではなく、馬鹿にならなきゃできないことなんですよ。

——馬鹿になれ、と。これは無理やり結びつけるつもりはないんですが、強化選手へのビンタにしても、ヤリ特訓にしても、そして闘いの原点に気付けというメッセージにしても、何か、アントニオ猪木さんに通じるところがありますね。

盧山　そうですか？　まぁ、それを言うのであれば、大山総裁が私の中に入ってきてるということでしょう。夏合宿の時も最初は普通の指導をしようと思っていただけだったんですが、あの場に立った時にはカーッとなって、ああいう行動に出たわけですから、総裁が私の身体を使って言わせたんじゃないかとさえ思いましたよ（笑）。今後3年間はますます総裁が私の中に入ってくることになるでしょうね（笑）。

——いやぁ、それは凄く期待してます！■

▲全ては極真精神を伝え切るためである。残る時間はあと3年間！

三代目格闘ビジュアルクイーン

長谷川京子(はせキョー)の超SRS宣言!

第7回

10・9『K-1 WORLD GP 2000開幕戦』福岡大会

テレビの『SRS』にもだいぶん慣れてきて、いい味出してるって評判の“はせキョー”。今回は、12月10日に東京ドームで行われる『K-1 WORLD GP 2000決勝戦』出場を賭けた、最後の開幕戦、福岡大会をレポートだ!

ベルちゃんの「アンディ!!」の絶叫に思わず感動!

10月9日、福岡で行われた『K—1 WORLD GP開幕戦』。今回で最後の予選トーナメントだったわけだけど、7月30日の名古屋大会、8月20日の横浜大会、どの大会も選手たちの激戦で盛り上がってましたよネ。私も毎回、とっても楽しかったです。

そして今大会も伊達男のステファン・レコ選手、日本の天田ヒロミ選手、極真からはグラウベ・フェイトーザ選手、クロアチアのターミネーター、ミルコ・クロコップ選手、ここ1年ボクシングに専念していた、マイク・ベルナルド選手が出場。もう、この出場選手の顔ぶれを見ただけでも、すっごく楽しみで楽しみで。ホントに待ち遠しかったです!!

しかもベルちゃんは、アンディ選手の遺志を受け継いで、予定されていたボクシングのタイトルマッチを延期してまでの出場。その意気込みは、ハンパなものじゃないはず。私にとって初めてK—1の舞台で見るベルちゃんの勇姿、とっても楽しみで、アンディ選手の分もがんばってほしかったんです!!

その気持ちに応えてくれるかのように、1試合目のユルゲン・クルト選手を1RKOした後、コーナーに登って「アンディー!!」って叫んだ時は、ベルちゃんのアンディ選手に対する深い思いに、思わず感動しちゃいました。

そして、今大会ベルちゃんの最大の敵となるミルコ選手。わたし的にはベルちゃんにもちろんがんばってほしいけれど、ミルコ選手って、スポーツっていうよりも本能で闘ってるって感じでなんとなく惹きつけられちゃうんですヨ。しかも入場してくる時のあのウェア姿がカッコ良くって♥ この二人の試合も凄く楽しみにしてたのですが、ミルコ選手が対グラウベ選手戦で右足首を負傷してしまい決勝戦には足をひきずっての登場。ちょっと残念だったけど、1日3試合もするってことは、普通の体でいられることのほうが難しい、それほどに選手たちにとっては過酷な闘いなんだって、再確認しました。

今大会で私が注目した試合の一つが、スペシャルワンマッチのマイケル・マクドナルド選手VSニコラス・ペタス選手。初めて見るマクドナルド選手の体格の良さにビックリ。まるで中世ローマ時代の彫刻みたい!! そして、7月30日の名古屋大会以来のペタス選手の動きは、前回よりも素早く、パワーも増していました。しかし、マクドナルド選手もそれに負けずに、パンチが速くて重くて、この試合、とにかく目が離せなかったです。それに二人共、アンディ選手との縁が深く、思いを込めながら闘っていたみたいで。アンディ選手は本当に多くの人にいろいろなものを残していってくれたんだなって思いました。

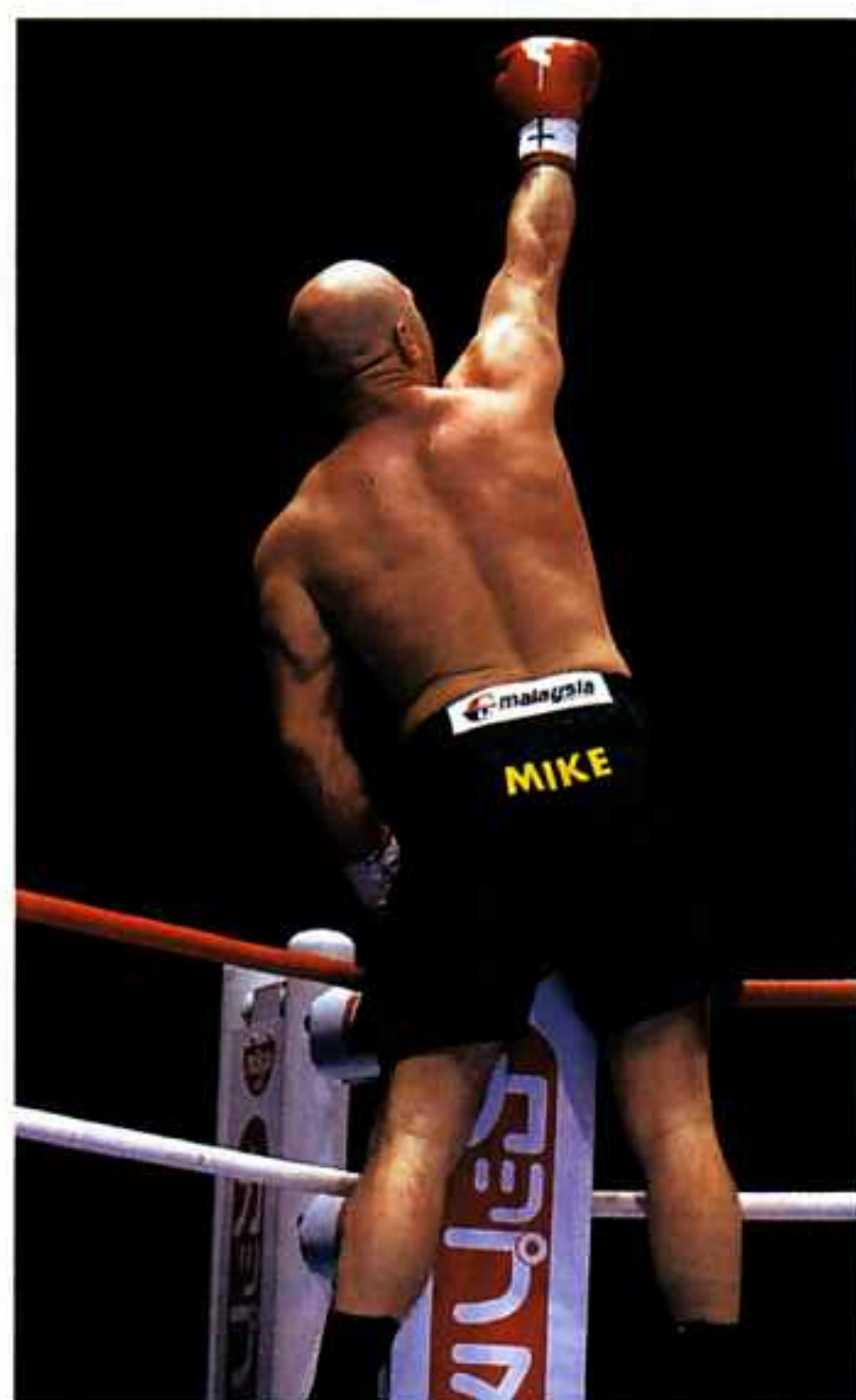
そして翌日の10月10日、フジテレビで12月10日の決勝戦の抽選会が行われ、私も参加してきました。自ら枠の中に入っていくこの抽選会は、選手それぞれにいろんな考えや思い入れがあって、見てる私もドッキドキ! 鳥肌が立ちっぱなしでした。

そんな中、緊張した私を和ましてくれたのがアビディ選手。なぜだか、ずっーと意味もなくニコニコしていて、私の視線は、アビデイ選手に釘づけになってしまいました……。

そして決まった組み合わせはリベンジマッチの嵐! 組み合わせは前号にも出ていたから皆さんご存知だと思うけど、本当にドラマティックな、もの凄い大会になりそうですよネ。

中でも、私の注目はバンナ選手VSフィリォ選手の試合。フィリォ選手に、バンナ選手のあの一撃の衝撃が残っていなければいいんだけど……。あと、アーツ選手VSアビディ選手もホントに楽しみ! とにかく、今からドキドキしっぱなしです! あー、12月10日が待ち遠しい!!■

はみだしはせキョー

長谷川京子(はせがわ・きょうこ)1978年7月22日生まれ。22歳。千葉県出身。B型。身長166センチ。特技/水泳。趣味/ピアノ。雑誌/Cancam(小学館)専属モデル。CM/エルセーヌ、この秋から「アテニア化粧品」がO.A.される

奇蹟

こんな嘘のような夢のカード、石井館長だって組めやしない
あらためて感じたK—1の強運
東京ドームは初戦が面白い！

前号の速報でもお伝えしたように、12・10東京ドームで行われる「K—1ワールドGP」決勝大会の組み合わせ抽選会が、10月10日フジテレビで行われ、トーナメントのヤマ型が決定した。

抽選の方法は、昨年と同様、名古屋大会の優勝者から順に箱の中に入ったボールを引き、そこに書いてある番号順に選手自らがトーナメントのどこで闘うかを選ぶというもの。つまり、普通の抽選会の運だけではなく、選手の意志も反映されるという画期的なシステムで行われたのである。

フジテレビには、決勝大会を争う7名が世界中から集結。しかし、ジェロム・レ・バンナは前号でお伝えしたように交通事故に遭ったため、代わりに石井和義館長がボールを引き、最終的には国際電話でフランスにいるバンナ自身がどこに入るか選択するという方法がとられた。

そして決まったのが、左のトーナメント表である。ざっと流れを振り返ってみよう。

まず、1番のボールを引いたのは、前年度準優勝のミルコ・クロコップ。ミルコは当然、休憩を考えて第1試合を選択した。

続いて2番を引き当てたのは、前年度王者のアーネスト・ホースト。

ここで、ホーストは迷わずミルコとの対戦を選択。早くも昨年の決勝戦が第1試合で実現し、マスコミがどよめいた。

3番を引き当てたのは、フランシスコ・フィリォ。フィリォも当然、休憩を考えてできるだけ早く闘おうと、第2試合を選択。だが、4番目に引いたシリル・アビディは、フィリォとの対戦を避け、第3試合の枠に入っていった。

さぁ、ここからがさらに面白くなる。5番目に引いたのはなんとピーター・アーツ。アーツは満面の笑みを浮かべ、2連敗しているアビディの枠を選択。今年の2度にわたる屈辱を晴らそうと、アビディに3度目の勝負を挑むことになった。アビディはやや「困ったなぁ」という笑顔を見せる。

そして、6番目のボールを引いたマイク・ベルナルドもフィリォの隣を外して第4試合を選んだ。ベルナルドはバンナか武蔵のどちらが自分と闘うかを神に任せたのだ。

ここで、またしても奇蹟的なクジ運を見せたのが石井館長だ。「フィリォと闘いたい」と言っていた武蔵を遮って、7番目のボールをゲット。石井館長がトーナメント表に近付くと、国際電話でバンナから「フィリォ！」の名前があがった。かくして、ファンが最も見たかったバンナVSフィリォが、いきなり第2試合で実現することになったのである。

8番目は当然、武蔵。武蔵は最後に残ったベルナルドとの対戦が自動的に決定し、これで8名のトーナメントのヤマ型が完成した。

これを見ても分かるように、トーナメントの初戦は全て〝リベンジ・マッチ〟となった。しかも、武蔵VSベルナルド以外は、ここ1年間で起こったホヤホヤの因縁の組み合わせばかりである。今年も奇蹟的に初戦からどれも見逃せない好カードとなり、K—1の強運を思いきり見せつけられたと言ってもいいだろう。

12・10決勝大会は、ハッキリ言って初戦が面白い。早くも、トーナメント表を見て、「この組み合わせだと、やっぱりホースト有利」「武蔵にも決勝に上がれるチャンスが出てきた」とマスコミも胸躍らせながら予想を立てはじめたが、本番はどうなるのだろうか？

そんな中でも、最大のクライマックスは今年4月の大阪ドームで起こった「バンナVSフィリォ」の因縁だろう。〝千年に一度のKO劇〟は再び見られるのか？　そして、20世紀最後のK—1王者になるのは誰か。楽しみである。■

▲これが12・10「K－1ワールドGP」決勝大会の組み合わせ。すでにSRS席は完売状態になっている

◀交通事故で来日できなかったバンナに代わり、石井館長が抽選のボールを引き、見事フィリォ戦が実現！　なんて強運なんだ

第1試合　アーネスト・ホースト（オランダ）VS ミルコ・クロコップ（クロアチア）
第2試合　フランシスコ・フィリォ（ブラジル）VS ジェロム・レ・バンナ（フランス）
第3試合　ピーター・アーツ（オランダ）VS シリル・アビディ（フランス）
第4試合　マイク・ベルナルド（南アフリカ）VS 武蔵（日本）

SRS・DX　PRIDE

謎

『猪木詩集』出版記念パーティーで発表された「空手VS柔道」の大一番

佐竹、デスマッチルール要求！小川はなぜか弱気発言を連発

10月11日、東京・帝国ホテルで、このほど出版されたアントニオ猪木著『猪木詩集～馬鹿になれ～』の出版記念パーティーが、1500人の関係者が集まる中、盛大に開催されたが、ここで猪木からビッグなプレゼントが発表された。

宴もたけなわ、パーティー会場の一角にセットされた『プライド』のリング上に、猪木をはじめ、髙田延彦、桜庭和志、アレクサンダー大塚、石川雄規らが集まる。そこに佐竹雅昭と、パーティー中は姿を見せなかった小川直也が登場。正式に猪木の口から、10・11大阪城ホール『プライド11』で小川VS佐竹の一戦が実現することが発表されたのである。

厳しい表情の小川、一方の佐竹は笑顔で握手を求める。2人がリングに上がった時は、小川の一触即発のムードから何かが起こりそうな気配もあったが、2人は猪木の勧めでガッチリ握手。ついに柔道VS空手の世紀の一戦は、幕を開けることになった。

パーティー後、集まった記者に対して、佐竹は「空手家がバーリ・トゥードのルールで、柔道のトップ選手に対してどこまでやれるか確かめたい。ただし、ド本気の真剣勝負なら、空手の技である頭突きとヒジ打ちも有りのデスマッチルールでやりたい」と意気込みを熱く語った。

しかし、一方の小川は村上一成にガードされながらノーコメントで会場を後にする。得意の毒舌"オーチャン節"は一切出ないばかりか、翌日の合同会見では「佐竹戦を考えると怖くて寝れなくなる」「頭突き、ヒジ打ち有り？そんなルールは怖い」と弱気な発言を連発。その後のマスコミ取材は大会が終わるまで一切受けないという態度をとり始めた。小川は本当にナーバスになっているのか、非常に気になるところである。

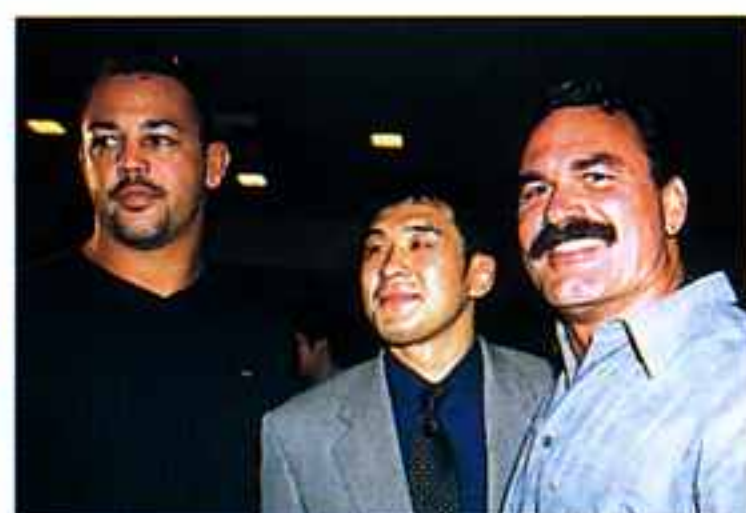
また、もうひとつ気になるのは、猪木も「佐竹にいくつかアドバイスした」と佐竹寄りの発言をするなど、ここにきて"小川包囲網"ができつつあること。この一戦、その意味でも両者の心理戦が、試合に大きく影響しそうである。

また、そのほかのカードとしては、桜庭の相手に『プライド』プロデューサー猪木の刺客として、ドン・フライの弟子であるシャノン・"ザ・キャノン"・リッチが浮上。桜庭もこれを認め、両者の対戦も決定した。リッチは米国アリゾナ州出身で、身長175センチ、体重85キロ。ムエタイ、柔道、柔術を経験し、バーリ・トゥードは70戦以上もこなしている曲者である。

また、元リングスで、今回が初出場となるヘルマン・レンティングは、小路晃との対戦が決定。アレクの相手は米国カリフォルニア州出身の巨漢（180センチ、123・7キロ）マイク・ボーグに決定した。これで全8試合が決定し、『プライド』初上陸の大阪で勝負を賭ける。■

▲猪木は挨拶の中で、「サンタモニカの朝に」という詩をひとつ読んだ

▶佐竹と小川、遂に両雄が並んだ。期待された？　乱闘にはならなかった

▲御輿に担がれてパーティー会場を一周しながら入場してきた猪木。さすが千両役者

▲パーティー後、ドン・フライが「サクラバ～！」と近寄ってきた。「殴られるかと思いました」と桜庭

▲右は不良作家の百瀬博教氏。今回の猪木詩集をプロデュースした立役者だ

▲髙田とアレクも顔を見せた。髙田の笑顔が好調ぶりを物語っていた

▲パーティー後半は、会場に設置されたリングで『プライド11』の記者発表が

▲極真の「一撃」で有名な書道家の野呂雅峰氏が「闘魂」の文字を書いた

10・31　PRIDE.11　大阪城ホール大会　決定カード

髙田延彦〈髙田道場〉	VS	イゴール・ボブチャンチン〈ウクライナ〉
小川直也〈UFO〉	VS	佐竹雅昭〈怪獣王国〉
桜庭和志〈髙田道場〉	VS	シャノン・"ザ・キャノン"・リッチ〈USA〉
谷津嘉章〈SPWF〉	VS	ゲーリー・グッドリッジ〈トリニダード・ドバコ〉
小路　晃〈A³ジム〉	VS	ヘルマン・レンティング〈オランダ〉
ギルバート・アイブル〈オランダ〉	VS	ヴァンダレイ・シウバ〈ブラジル〉
トム・エリクソン〈USA〉	VS	ヒース・ヒーリング〈オランダ〉
アレクサンダー大塚〈格闘探偵団バトラーツ〉	VS	マイク・ボーグ〈アメリカ〉

95

大勝負

伊藤隆VS大野崇、緒形健一VS久保坂左近 11・1後楽園で注目の日本人対決が追加発表

立ち技版『平成の他流試合』は日本最強決定戦への布石なのか？

11月1日に後楽園ホールで開催されるK—1中量級大会『K—1 J・MAX』（MはMiddleweight＝中量級、AはArtistic＝芸術的な、XはeXtreme＝至高の、という意味）の新カードがリリースされた。

これまでムラッド・サリVS魔裟斗、アレックス・ゴングVS小比類巻貴之、ラモン・デッカーVS新田明臣など、日本人選手対世界の強豪という図式のカードが決定していたが、今回、発表された2カードは伊藤隆VS大野崇、緒形健一VS久保坂左近と、いずれも日本人対決となっている。

伊藤隆は押しも押されぬMAキックの看板選手で、特筆すべきは日本人キックボクサーの中でも屈指と言える実績だ。本場タイでも認められている強豪ジョン・ウェインやムラッド・サリ（ルンピニースタジアムの王座を獲得したこともある）、ムエタイの超ビッグネームであるセンティアンノーイなど、伊藤は世界のトップファイターを次々と破っている。かなり早い段階から、K—1に対応するため得意技のヒジ打ちを封印した試合をしていることからも、今大会にかける熱意が分かる。

対する大野は、主戦場がK—1のフレッシュマンファイトだったこともあって認知度は低かったが、その実力は折り紙つき。しかも今年に入ってから世界タイトルを奪取するなど、ここにきてかなり勢いづいている。キック界久々の大舞台とあって、選手のモチベーションが異様に高い今大会だが、大野も「一番意気込んでるのは僕でしょう。K—1をキックボクサーに荒らされたくない！」と、かなり燃えている。伊藤、大野とも互いに譲らぬ実力派同士だけに、第1回大会にして、いきなり中量級最高レベルの闘いになるはずだ。

また、散打選手との対戦が噂されていたSBの緒形健一は、関西グローブ空手の雄・健生館の久保坂左近との対戦が決定した。最近は投げ・立ち関節が有効という独自の競技性の確立をめざしてきたSB。緒形もSBルール以外での試合は久々だが、SB勢は〝外敵〟と対戦した時に格別の凄みを発揮するだけに、期待は大きい。

多くのファンがK—1中量級大会に望んでいるのが、団体の枠を越えた〝日本最強決定戦〟なのは間違いない。この〝立ち技版・平成の他流試合〟と言える2カードは、その布石という意味もあるのではないだろうか。■

11・1『K－1 J・MAX』

伊藤隆〈MAキック/山木ジム〉VS 大野崇〈正道会館〉

緒形健一〈シュートボクシング/シーザージム〉VS 久保坂左近〈健生館〉

その他の決定対戦カード

I.S.K.A.世界ウェルター級タイトルマッチ
ムラッド・サリ〈フランス〉VS 魔裟斗〈シルバーウルフ〉

I.S.K.A.世界ライトミドル級タイトルマッチ
アレックス・ゴング〈アメリカ〉VS 小比類巻貴之〈チーム・ドラゴン〉

チャモアペット・チョーチャモアン〈タイ/谷山ジム〉VS 大宮司進〈正道会館〉

ラモン・デッカー〈オランダ/ジム・ヘマーズ〉VS 新田明臣〈全日本キック/SVG〉

一番乗り

ディファ有明、格闘技界初進出は11・25コンテンダーズ

宇野薫がプロデュースする組み技のみの総合格闘技大会『コンテンダーズ』（WKネットワーク主催）が、11月25日、『ディファ有明』で4回目の大会を開くことになった。『プロレスリング・ノア』の旗揚げ戦などで話題となったディファだが、格闘技の大会としては、『コンテンダーズ』が一番乗り。斬新でオシャレな興行形態の同大会らしい選択と言える。

今回もメインを務める宇野薫は、レスリングの三宅靖志と対戦する。両者は99年1月にも『コンテンダーズ』で対戦し、その時はドロー。宇野は連敗中だけに、浮上のきっかけをつかみたいところだが、アトランタ五輪にも出場した掛け値なしのトップレスラー・三宅が相手だけに、苦戦は免れそうにない。

また、今大会では星野勇二VS上山龍紀の一戦も行われる。今夏、パンクラスの『ネオブラッド・トーナメント』で優勝を果たしたRJWの星野に対し、上山はリングス・田村潔司の弟子。こんな、予想もしなかった〝越境対決〟が実現してしまうのも、団体の枠にこだわらない活動で知られるWKネットワークの大会ならではと言えるだろう。■

▲宇野薫は三宅靖志を相手に連敗脱出を狙う

11・25『コンテンダーズ4』決定対戦カード

宇野薫〈和術慧舟會〉VS 三宅靖志〈RJW/CENTRAL〉

星野勇二〈RJW/CENTRAL〉VS 上山龍紀〈FIGHTING NETWORK RINGS/U-FILE CAMP〉

高瀬大樹〈和術慧舟會〉VS 早川光由〈ストライブル〉

矢野卓見〈烏合会〉VS 五木田勝〈木口ワークアウトスタジオ〉

大石幸史〈RJW/CENTRAL〉VS 米澤迅三郎〈烏合会〉

潮流

バンナ、ベルナルドに止まらず、格闘技界とプロボクシングのリンクはますます密接に
元全日本キックの土屋ジョーがデビュー戦に勝利 アダム・ワットは世界戦に出場！

元WKA世界ムエタイ・バンタム級チャンピオン、土屋ジョーが、プロボクシング・デビュー戦を白星で飾った。10月19日、横浜文化体育館で、菅野大輔（MI花形）と6回戦で闘った土屋は、2—0の判定勝ちを収めたのだ。

菅野は13戦（6勝1KO5敗2分）のキャリアがあり、デビュー戦の相手としては、決して楽ではなかった。所属する大橋ジムの大橋秀行会長（元世界ミニマム級チャンピオン）が、「天性の拳を持っている」と絶賛した土屋のパンチも、なかなかヒットしない。左フック、右ストレートの強打は単発に終わった。だが、守りは完璧で、菅野のしつこいパンチを完封して、新境地で幸先のいいスタートを飾った。

通常ならインターハイ優勝者以上の、格別のアマチュア実績がある者しか認められないB級ライセンスを獲得。デビュー戦からセミファイナルと、プロボクシングでも土屋の初陣は注目されていた。ひとまず無難に難関を突破した形だが、課題も多い。その最大はプロボクサーの速いテンポの攻防にどこまで対処できるかだ。上位になれば、もっと速いし、パンチも格段に強くなる。それにこの日も「キックなんかに負けるな」という声援が飛んだように、風あたりも相当強くなるだろう。

それでなくても、キック出身のボクシング挑戦は、ここまで成功した例はないのだ。島三雄、田畑靖男、土佐源など、いずれもチャンピオンまでたどり着いていない。

「思ったよりパンチで効かせることができた」

という土屋が、このジンクスを打ち破れるだろうか。

土屋だけでなく、格闘技界からのプロボクシング流出は目立っている。極真カラテの川原奈穂樹は、東日本新人王戦のミドル級決勝まで進出しているし、海外ではもっと凄い。あのアダム・ワットが、世界タイトルに挑戦するまでになっているのだ。

ワットは10月7日、英国のドンキャスターでWBO世界クルーザー級チャンピオン、ジョニー・ネルソン（英国）に挑み、惜しくも6RKO負けで王座を逃している。

日本でデビューし、正道会館の選手として60戦以上を経験したワットは4年前にオーストラリアに帰国した後、ボクシング転向を決意。

「チャンピオンだと言っても、誰もボクのことを知らない。ボクの本当の強さを知ってもらうために、ボクシングを始めたんだ」

195センチの長身から放つハードパンチはたちまち注目を集める。東洋太平洋、オーストラリア、英連邦タイトルと次々にハントして、ここまでの14勝を全てKOで飾り「ビューティフル・パンチャー」と欧米で大きな話題をまいた。

だが、ネルソンは強すぎた。あの悪魔王子ナジーム・ハメドとかつての同門で、テクニックがあり『ミスター・エキサイトメント』とあだ名されるくらいのラフファイトもできる。ワットは善戦したものの、6Rに鮮やかなワンツーで大の字に沈んだ。ワットのダメージは大きく、倒れた瞬間から救急隊が殺到するほどだったが、5分後には起きあがって、周囲をホッとさせている。

ワットのボクシングは未完成とされているだけに、まだまだ今後が楽しみだ。

K—1でもマイク・ベルナルドやジェロム・レ・バンナなど、ボクシングをベースにする巨人が活躍する。総合でもシャムロック兄弟やティト・オーティズのパンチの技術は相当にハイレベルである。ボクシング・テクニックが格闘フィールドでも相当な可能性を秘めているのは確かだ。

またその逆もあるはずで、タイのボクシング・チャンピオンは、その大多数がムエタイのトップ選手。また、ネルソンの前のチャンピオンのカール・トンプソンはキックの世界チャンピオンだった。かつてK—1に参戦したジェームス・ウォーリング（IBFクルーザー級）やトロイ・ドーシー（IBFフェザー級）も、キックとボクシングの両方のチャンピオンとして活躍していた。

日本の格闘技者も、もっとプロボクシングにチャレンジしてみても面白い。■

▶キック時代同様、トレードマークのサングラスにバラという出で立ちで入場した土屋

▲◀菅野の手数に苦戦した土屋だったが、持ち前のパンチ力はさすが。ジム側はすでに日本タイトル獲得までの青写真を描いているらしい

▲判定2－0でボクシングデビューを飾った土屋。「相手に『負けてない』と言わせてしまうような内容だったのが悔しい」とコメントしたが、表情は晴れやかだった

小比類巻の原点は“黒崎イズム”にあり

腕に燃えてる線香まで押し付けていた!

“ビジュアル系”と呼ばれる男に隠された内なる狂気の本質に迫る!

その男は線香の束に火をつけ いきなり自分の二の腕の裏がわ いちばん皮膚がやわらかく敏感な部分におしつけた

ジュージューと肉がこげても平然とおしつづけた

▲稽古で負ったケガの痛みでわめき散らす門下生に、自らの体をもって忍耐を叩き込む黒崎健時。これが伝説の『線香押し事件』だ!
『四角いジャングル』 梶原一騎・中城健 ©講談社

11・1『K－1 J・MAX』後楽園ホール大会で、アレックス・ゴングの持つISKA世界ライトミドル級タイトルに挑む小比類巻貴之。“ビジュアル系”などと呼ばれることも多い小比類巻だが、本人にはそれが不本意らしい。抜群のルックスに隠された、内なる狂気性とは?

黒崎健時の影響で、自分の左腕に線香を押し付けたことがあるという小比類巻貴之。ヤケドの痕は、今でもクッキリと残っている

撮影◎須佐光浩
聞き手◎橋本宗洋

──今回は試合に向けて大阪で練習ということで。

小比類巻 はい。(10月)28日までこっちにいる予定です。

──練習の内容はどんな感じですか?

小比類巻 スパーリングが中心ですね。やっぱり、大阪はレベルが高いんで。

──グローブをやってる人が東京より多いですもんね。それに武蔵選手とか中迫選手とか、ヘビー級もいるし。

小比類巻 そうですね。あと大野(崇)選手もこっちでやってるんで。いい練習ができてます。

──11・1後楽園大会は、K─1が中量級に進出するということで話題になってるんですけども。前に「K─1で中量級の魅力をアピールしたい」って言ってましたよね。小比類巻選手が考える「中量級の魅力」って、どんなところですか?

小比類巻 攻防の激しさですね。ヘビー級だと一発で決まる場合が多いんですけど、中量級はいろんな技が出ると思うんですよ。だからテクニックも見せやすいし、スピードもあるし。

──はいはい。

小比類巻 あと、この大会はTVで見る人も多いと思うんですけど、画面で見る分にはヘビー級も中量級もそんなに変わらないと思うんですよ。

──そうでしょうね。

小比類巻 だから余計に、見てる人に伝わる試合をしなきゃいけないって思います。画面を通じてでも、何かを伝えたいんですよ。

──その〝何か〟っていうのは……。技術的な部分ですか、それとも気持ちの部分?

小比類巻 TVを通じてでも、闘い、ま

あ殴り合いですよね。それを見て感動す

際にそのとおりの試合をしましたよね。

──素晴らしい! やっぱり格闘技の核

──しかしなんでまた(笑)。

——あ殴り合いですよね。それを見て感動することってあるじゃないですか。ボクシングの畑山（隆則）VS坂本（博之）の試合みたいに。

——あれは凄い試合でしたよねぇ。

小比類巻　もう、今年のベストバウトじゃないですか？　あれはライト級だけど、そんなこと全然気にならなかったですよね。TVから直で伝わってくるような感じがあって。僕もK－1の中量級でああいう試合がしてみたいんです。

——具体的に、畑山VS坂本のどの辺が凄いと思いました？

小比類巻　試合前から畑山選手が「最高のタイマンをする」って言ってて、実際にそのとおりの試合をしましたよね。そこが凄いと思いました。打ち合いにいって、最後は気持ちの勝負で勝って。そういうことは、人間だったら誰でも分かるっていうか、伝わると思うんですよ。

——ボクシングの細かいテクニックが分からない人とか、畑山選手や坂本選手がどんなファイターなのか知らない人でも、あの試合は「凄い！」と思ったでしょうね。小比類巻選手も、キックをスポーツじゃなくて〝タイマン〟として捉えてる部分があるんですか？

小比類巻　そうですね。それはあります。キックは個人競技なんで、その意識は常に持ってます。

▲現在、小比類巻は正道会館の大阪総本部で練習中。東京と比べてK－1ファイターが多く、スパーリングの相手も豊富だ

TAKAYUKI KOHIRUIMAKI

“ビジュアル系”なんて言葉で括られるのが イヤでしかたなかった

——素晴らしい！　やっぱり格闘技の核はそこですよ。さすがは極真出身ですね。

小比類巻　いや、それはまぁ……（笑）。

——最初に習った格闘技が極真空手なんですよね。実家（青森）に住んでいた頃に。

小比類巻　そうです。中学2年から。

——やっぱり動機としては「ケンカに強くなりたい」とか、そういう感じで？

小比類巻　そうですね。自分の場合は周りの環境がそういう感じだったんで。ちょっと荒れてるっていうか、ケンカが多かったんで。

——他にも格闘技を習う場所ってあったと思うんですよ。学校の柔道部とか、ボクシングジムとか。その中でも極真だったわけですか。

小比類巻　ボクシングも好きだったんですけど。とにかく殴り合いをするっていうのが良かったんですよね。

——『空手バカ一代』は読んだりしたんですか？

小比類巻　いや、実はまだキチンと読んでないんですよ（笑）。活字の本はいろいろ読んだんですけど。

——あっ、そうだ。小比類巻選手が黒崎（健時）先生の本を読んで、腕に燃えてる線香を押し付けたっていう話を聞いたことがあります。

小比類巻　あ～、やったことありましたね。

——いつ頃ですか、それは？　極真やってた時ですか。

小比類巻　去年の6月ですね。

——えっ、そんな最近だったんだ!?

小比類巻　はい。チーム・ドラゴンに入るちょっと前ですね。夜中に黒崎先生が書いた本を読んでたんですけど、それで急に。

——しかしなんでまた（笑）。

小比類巻　ちょうど自分が悩んでた時期だったんですよ。

——その頃はあんまり戦績もふるわなかったですよね。

小比類巻　それもあったし、自分の環境が納得いかないっていうか。そうなると練習にならないんですよね。何かモヤモヤしたものがあったんです。「このまま終わりたくない！」っていう気持ちがあって。そういう時に黒崎先生が腕に火のついた線香を押し付けたっていう話を読んで。「オレだってやってやる！」みたいな感じでやりましたね。

——はぁ～っ。夜中に自分の部屋で。

小比類巻　はい。夜中の3時くらいに。

——当たり前ですけど、熱いなんてもんじゃなかったでしょう？

小比類巻　最初は凄く熱かったんですけど、でも「大丈夫、耐えられる」と思いながらやってました。で、そのうちに熱いっていう感覚が無くなるんですよ。それで次は当てた箇所が固くなって、ずっとそのまま。なんか皮膚が焼けて、白いのが見えてきたんですよ、肉みたいのが。

——うっわ－……。

小比類巻　あと、黒崎先生は汗で火が消えそうになったらしいんですけど、自分の場合は、線香は燃えるのが遅いので息を吹きかけて燃やしてました。

——燃えるのが遅いから自分で吹いた！　ムチャすんなぁ。

小比類巻　でも、黒崎先生は線香一束を全部燃やしたみたいなんですけど、自分は半分までなんですよ。線香を押し付けた場所が太い血管が通ってる場所だったから。

——いや、それにしたって凄いですよ。相当ヒドい火傷になったでしょう。

小比類巻　でも火傷は所詮、火傷なんで。まあ、そのうち治るもんじゃないですか。だからちょっと消毒して、そのままほっときました。でもその後、他の病気で病院に行ったら「それよりその傷は何!?」って言われて（笑）。

——そりゃそうでしょう!

小比類巻　「病気よりもこっちのほうがとんでもないことになってるよ」って言われて、病気じゃなくて火傷で通院するハメになっちゃいました（笑）。

——その後ですか、小比類巻選手がJ−NETWORKを退団してチーム・ドラゴンに入ったのは。

小比類巻　そうです。

——人生の転機みたいな感じで、いろいろ考えた末のことなんだろうなとは思いましたけど、陰でそんなことがあったんですねぇ。

小比類巻　いろいろ悩んでたっていうか、思い詰めてたっていうか。TVの格闘技番組とかで〝ビジュアル系キックボクサー〟とか紹介されるじゃないですか。

——あぁ、カッコ良さを前面に出した感じで。

小比類巻　それが凄くイヤだったんですよ。それもあって「オレはそういうのとは違うんだ!」っていう気持ちで……。

——線香を腕に押し付けたという。

小比類巻　そうなんです。

——でも実際、小比類巻選手ってカッコいいじゃないですか。

TAKAYUKI KOHIRUIMAKI

中量級で日本最強を決めるなら、自分が一番にならなきゃいけない

小比類巻　いや、ルックスとかは関係ないんですよ。自分にとっては、皮膚が焼けて肉が見えても我慢したりとか、そういうことができるほうがよっぽどカッコいいと思います。

——へぇ〜、なんかイメージと全然違いますよね。まぁ、そのイメージそのものが、作られたモノでイヤだったんでしょうけど。

小比類巻　ファッションを気にしたり髪を染めたり、そういうのは自分からすると全然、カッコ良くないんですよ。

——じゃあ、小比類巻選手にとってカッコいい人っていうと、例えばどんな人になるんですか?

小比類巻　格闘家だったら、相撲の双葉山とか。

——双葉山!

小比類巻　あとは黒崎先生、藤原敏男先生とか。この前、本で読んだんですけど、麻雀の桜井章一さんも好きですね。

——あぁ、『雀鬼』の。ホントに〝見た目よりも生き様〟なんですね。

小比類巻　そうですね。外見じゃなくて、その人の中味なんですよ。

——じゃあ、格闘技をやってるのも、最終的にそうなりたいからっていう。

小比類巻　はい。「今の時代にもこういう選手がいるんだぞ」っていうのを見せたいんですよね。

——でも注目されやすいのは、やっぱり華やかさとか、そういう部分ですよね。

小比類巻　そうかもしれないですけど、自分は……。どんな状況でも、しっかりとした自分というものを持って、それを打ち出していきたいです。

——女性ファンにキャーキャー言われたいとか、そういうのはないですか?

小比類巻　全然ないですね。女のファンの人より、男のファンのほうが自分のことを分かってくれるんじゃないかっていう感じがして。デビューした頃から「俺は男にモテる選手になりたいんだ」って言ってたんです。

——男にモテるって……。まあ変な意味じゃなくね（笑）。その割に女性ファンも多いですよね。

小比類巻　それが分かんないんですよねぇ。でも最近は分かってくれてるファンもいるんで、そういう人を大事にしたいと思います。

——じゃあ、今度の後楽園も、その辺を意識しながら見てみます。小比類巻選手みたいなキックボクサーは貴重ですよ。

小比類巻　あぁ、やっぱり珍しいでしょうね、自分みたいなのは。

——今回の『J・MAX』は日本VS世界の強豪っていう試合が多いですけど、今後は日本人対決が増えそうですから、小比類巻選手の個性も際立ってくるんじゃないですか。

小比類巻　そうですね。やっぱりいろんな団体のトップ選手が出てくるので〝いったい誰がホンモノなのか〟が分かると思うんですよ。中量級で日本人の最強を決めるなら、それは自分じゃなきゃいけないっていう意識があります。■

小比類巻貴之
（こひるいまき・たかゆき）

1977年11月7日、青森県三沢市出身。中学時代より極真空手を学び、新空手を経て97年1月、全日本キックのリングでデビュー。99年にJ-NETWORK（アクティブJ）を離れ、現在はチーム・ドラゴン所属。ニックネームはコヒ。シルバーウルフの魔裟斗とは全日本キックの3回戦時代に対戦し、勝利を収めている。

格闘技界のON対決不発！どうした、ジャイアン！客が沸いてないぞ

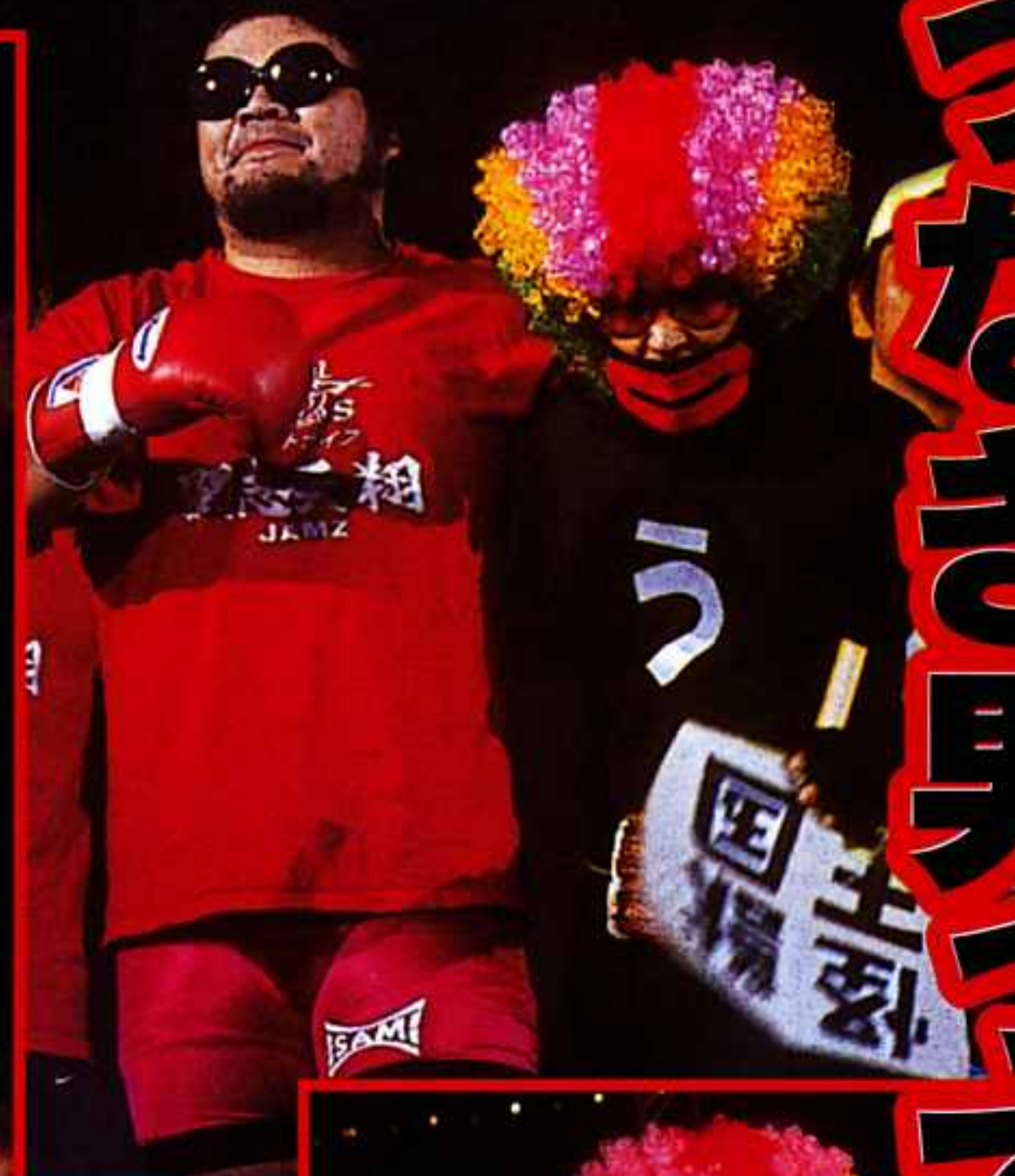
"宇宙デブ"は返上か？

▶引き分けという結果よりも、内容がかなり問題

▼佐竹は「リング上で死んでほしかった。アフロはもうやめろ」と怒りを露に

初っ端の突貫はホント抜群！

うなぎ男って一体何？

▶興行名が「サムライ」だけに入場曲はもちろん、叔父・落合博満の「サムライ街道」だ

▶七色のアフロのうなぎ男とともに登場。パンチや寝技をスルリと抜けるという意味が込められていたらしい

▼これこそ宇宙デブ！　何がしたいんだか、まったく分からないが無茶することが本来のお前だ

ゴングと当時に飛び出す、ジャイ落。これが3ラウンド続けば申し分なし。はっきり言って今は勝敗は問わず

10月22日、プロ野球・日本シリーズが「ON対決」で沸く最中、格闘技界でもジャイアント落合（O）VS西良典（N）戦という「ON対決」が行われたりしていたのである。ただの偶然だけど。

まず、この試合のルールであるサムライルールは第1&第2ラウンドはキックルールで行い、第3、第4ラウンドは30秒間のグラウンドの攻防が許される、非常に実戦を意識したものだ。

その特別ルールの中で落合が、そして久しぶりのリングに立つ慧舟會の創設者にして覇王・西がどんな闘いを展開するかに注目が集まったわけだ。

さて、第1ラウンド。落合は、積極的に前に出てパンチを振り、その突進力でグングン西をロープに追いつめ、ジャンプしてのアッパーを放つ。自ら名乗る宇宙デブを意識した立体的な技だ。また、無闇に突っ込んでくる落合に、カウンターを合わせる西と、1ラウンドはまずまずの滑りだし。

第2ラウンドも同じような展開であるが、落合の大振りパンチで西が再三追いつめられる。

そして第3ラウンドからはオープンフィンガーグローブを着用してのグラウンドありのルール。はっきり言ってサムライルールの醍醐味だ。ところが、この両者。ともにキックルールの攻防でかなり疲労がたまっている様子。しかし、45歳の西はともかく、27歳のジャイ落まで一緒というのは問題だ。

それでも第3ラウンドは落合の投げが崩れて、四つん這いになったところを西が後ろからチョークを極めようとしたりと攻防はあっ

た。また、一度は落合の内股がキ

SAMURAI

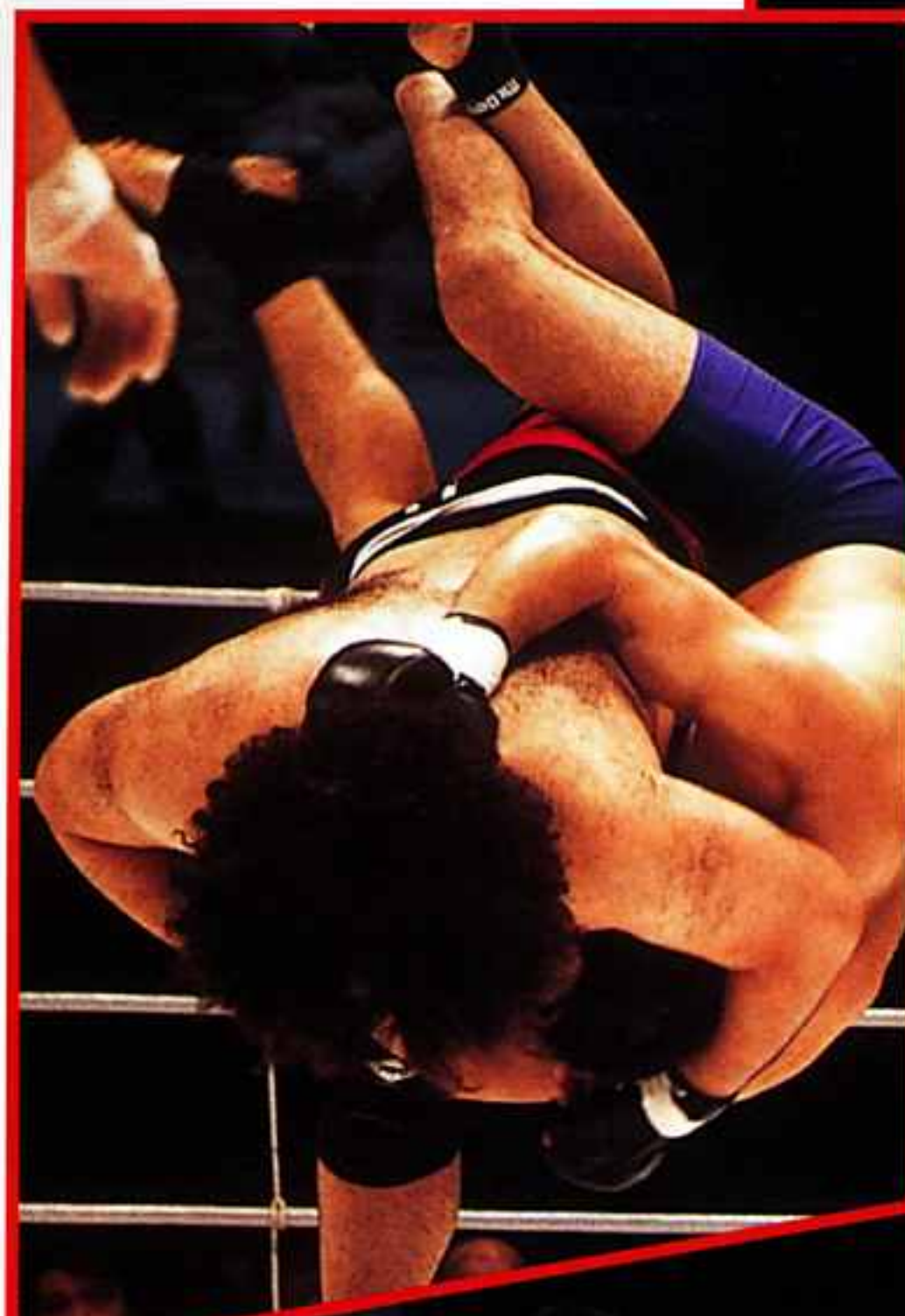
10.22★有明コロシアム

覇王・西、なりふり構わぬ、飛びつきスリーパーは見事

落合のコメント

「西さんはオーラのかたまりでした。実像よりもオーラのほうが大きかった。作戦は勢いよくいくだけで、西さんもド突き合いにきてくれたんでド突き合いにいきました。佐竹国王からは前へ行けと叱咤激励されました。今日の試合で良かった点は打撃で向かっていった点。悪かったところはグラウンドでのド突き合いができなかった点です」

西のコメント

「(今日の試合で現役でやれる自信はつきましたか)つきましたね。3月から練習を始めていたんですが、この期間の2倍半の練習を積んで来年の5月にピークに持っていけるようにしたいですね。結構、45歳とは思えない身体でしょ(笑)。5月の試合についてはどういう試合をしたいというのはないです。総合でもキックでもなんでもいいです」

▲▶見事な内股できれいに投げたが、勢いがつきすぎて覇王・西が上に。まさに攻守が一体となったひとり相撲に拍手

◀一瞬の出会い頭。ノーガードで打ち合う両者

▲上になってパンチを叩きつけるジャイ落

▲覇王・西が胴絞めスリーパーを狙っても腹回り&首回りが太すぎて、技にならない。食生活の不摂生こそがお前の強味!

サムライルール(要約)

- 試合は3分4R制。1st(1、2R)ステージと2ndステージ(3、4R)に分かれる。
- 1stステージ…ボクシンググローブを着用のキックルール。投げ技も有効となる。
- 2ndステージ…オープンフィンガーグローブを着用のグラップリングルール。寝技は30秒でブレイクとなる。後頭部、延髄、脊髄への攻撃、頭部、顔面へのヒジ打ちは反則

★第5試合/サムライルール3分4R

△ジャイアント落合(4R判定 1-0ドロー)西 良典△

〈怪獣王国〉 〈和術慧舟會〉

※採点…40-40、40-40、40-39(落合)

た。また、一度は落合の内股がキレイに決まって気が付いたら西が上に乗っていたりと、ジャイ落らしいイイ場面もあったのだ。だが、第4ラウンドになると、見合ったり、ともにロープにもたれる膠着があったりで結局時間切れドロー。

ジャイ落よ、いったいどうした?デビュー戦の掣圏道VSプライドの時の光がなぜ、出ないのか?

落合があの試合で輝いたのはデブでありながら機敏に動き、極められそうになっても強引に解いてみせた粘りのある動きだっただろう。そして、それに加えてアフロのヅラを取ったら、下からまたアフロが出てきたというお茶目な姿勢が良かったわけだ。だが、今の落合は試合で粘れないのに、お茶目さだけを売りにしようとするから袋小路に入っているように見える。

そもそもサングラスで隠しているが、落合の目は意外に冷たく鋭い。猪木さんの詩集出版記念パーティー内で行われた『プライド』記者会見では小川直也がコールされた途端に目の色を変えてリングに駆け登り、佐竹をガードしつつ、小川にガンをつけていたのだ。

なりふり構わず、相手に突っかかっていく、その姿勢こそがカメになって殴られている時でも一瞬の隙をついて反撃する爆発力であり、観客はそこにこそ声援を送っていたのである。

ジャイアンを見ると自然に笑いが出るのは、必死だからこそのカッコ悪さが、彼の体型をもプラスされて、キュートに見えるということだろう。ジャイ落よ、怖くなれ。だからアフロは切れ?(ブチ)

最も『サムライ』向きだったはずなのに…
掣圏道ファイター・イブラギムに判定負け

柳澤龍志に足りないもの、それは〝一期一会〟の精神である

パンクラス出身で、K－1出場経験もある柳澤龍志。『サムライ』ルールに最も適合しやすい選手かと思われたが、掣圏道のイブラギムに思わぬ判定負け。試合後は情けなさここに極まれり、といった表情に…

★第7試合/サムライルール3分4R（セミファイナル）
○マゴメドフ・イブラギム（4R判定2-0）柳澤龍志●
〈ロシア/掣圏道〉 〈チーム・ドラゴン〉
※採点…40-39、40-39、40-40

「寝技が30秒でなければ…」
「このルールは立ち技に有利。僕はキックは10戦もしてないんで」
気持ちは分かる。
だけど柳澤龍志よ、それを言ってしまったら、君はプロではなくなってしまうんじゃないか？
キックルールと時間制限付きのグラップリングルールを併用した『サムライ』の旗揚げ戦。パンクラス時代も打撃を得意とし、K―1にも参戦経験がある柳澤は、日本人で最もこのルールに向いた選手として注目されていた。
だが、結果は意外にも判定負け。掣圏道のロシアンファイター、イブラギムを相手に、ほとんどいいところを見せられず終いだった。
掣圏道総帥・佐山聡は、イブラギムの強さをこう語る。
「（ボリショフ・）イゴリの10倍は強いです、は～い。すいません、すいませ～ん」
…『プライド』にも出場したイゴリより10倍強いって!? またずいぶんと大風呂敷を広げたもんだ。だが、実際イブラギムには、あの〝ミスター掣圏道〟カフカズの靭帯を蹴りで破壊したという、前科というか実績もある。
それに試合を見ていて何より驚いたのは、その腰の強さだ。柳澤が何度タックルや差し合いを挑んでも、ガブり、切り返し、常に上になるのはイブラギムのほうだった。当然、柳澤は下からのサブミッションを狙う。特に4Rのヒールホールドなどは、柳澤のセコンド・平直行が「あれ、足が壊れちゃってますよ」と言うほど絞り上げた。それでも、イブラギムは耐え切ってしまった。

なに、イブラギムは

◀これぞ掣圏道イズム！ 柳澤のタックルをガブって押し潰し、上からパンチを連打するイブラギム。この攻撃が、採点時の大きなポイントになったか

攻撃に関しては、力まかせのパ
ンチ以外、イブラギムに目立った

なに、イブラギムは「イゴリの10倍強い」(佐山聡・談)だとぉ!?

〝ガフカズを壊した男〟が見せた、解析不能の底力

イブラギムのコメント

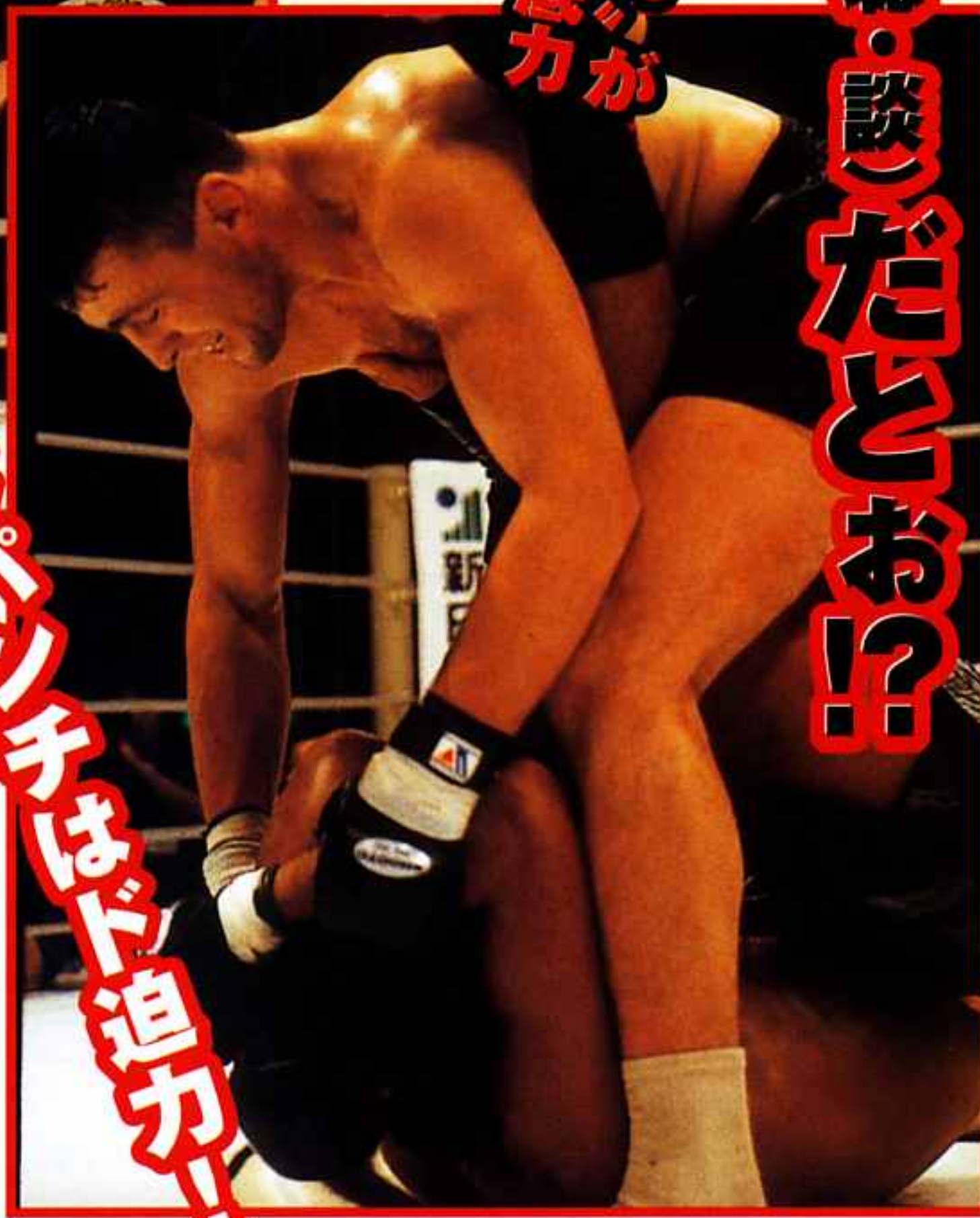
「相手の使っていた技を私は知っていた。逃げ方をね。その技については非常に詳しいんだよ。ヤナギサワ選手は関節技をやりたいと思ってたんだろうけど、最後まで極めることができなかったね。彼はいい選手だと思うけど、もちろん私のほうが上だと確信している。判定については異論はない。妥当なものだと思う」

柳澤のコメント

「寝技が30秒というルールがなければ、ゆっくり攻められたんですが…。ヒールはボキボキ音がしてたのに、ギブしなかった。キックに関しては、もうちょっと経験が必要かなと。やっぱり立ち技有利のルールかなと思いました。どんな相手でも絶対極めるつもりでいかなきゃっていう反省点は残りました。判定の結果は残念です」

ヒールホールドが極まらない！

▶4R、足をすくってヒールホールドを狙った柳澤。極まったかに見えたが、イブラギムは耐え切った

タックルが完封された！

◀セカンド・ステージに入って、得意の寝技に持ち込むべく何度もタックルを仕掛けた柳澤だが、1度もテイクダウンすることができなかった

グラウンドパンチはド迫力！

◀これぞ重量級イズム!? 柳澤のタックルをカブって押し潰し、上からパンチを連打するイブラギム。この攻撃が、採点時の大きなポイントになったか

◀試合終了後、勝利を確信したイブラギムはセコンドに歓喜のエアプレーン・スピン(?)

▶柳澤のいいパンチが入る場面もあったのだが…。スタンドでの攻防はややおとなしめ

▲力強いパンチは、いかにもロシアンファイターらしい。「パンチがありそうだったんで、不用意にいけなかった」と柳澤

攻撃に関しては、力まかせのパンチ以外、イブラギムに目立ったものはなかった。でも、どこが強いんだか分からないけど、やっぱり強い。そんな〝底が丸見えの底無し沼〟にハマってしまったのだから、柳澤が愚痴りたくなる気持ちも分かる。関節技の体勢に入ったことが、あまり採点に反映されていないのも不満だと思う。

冒頭のセリフは、柳澤が試合後に残したものだ。打撃戦でイニシアチブを握れなかったのはキャリアのせい。関節技が極められなかったのは、グラウンドに時間制限があったから。だが、そういうルールだと分かっていてオファーを受けた以上、その言葉は言い訳にしかならない。まして柳澤はフリーの身。「次に頑張ればいいさ」とは、誰も言ってくれないのである。

柳澤は、自ら望んでフリーになった。「一度ショッパイ試合をしたら、次は使ってもらえない」という厳しさも、十分理解しての行動のはずだ。インタビューなどからも、柳澤のそういう覚悟は窺い知ることができた。だが、それに見合うだけの試合を、柳澤はまだ見せてくれていない。どこか余力を残した試合がほとんどである。

選手が〝一期一会〟の精神を持った時、闘いは見応えのあるものになる。「これを逃したら、もう次はない」という思いが、ファイターをかきたてるのだ。「もっと積極的にいっていれば…」と、試合後の柳澤。そう、もう答えは出てるじゃないか!?

柳澤よ、心の中のガイ・メッツァーに負けるな!

（橋本）

士道館若頭、男の引き際!! 村上竜司完結!!!

これぞ士魂！見事なKO敗

▶ネーミングといい、規模といい、サムライ旗揚げ興行こそ、村上竜司のラストマッチにふさわしい舞台だ。試合後、士道館館長・添野義三氏、真樹道場宗主・真樹日佐夫氏ほかの方々から記念目録が贈られた

▲壮絶な打ち合いの末、3ラウンドに一度ダウンし、4ラウンド開始早々に再度ダウン。ここでタオルが投入された。やはり残念だ

▶この龍のガウンも、これが最後の見納めなのだ……

◀▼最初から前に出続け、宝刀・左フックを振り続けた村上に対して1ラウンドこそ、下がることが多かった内田。だが、2ラウンドからは積極的にブッ倒しにいく

ワシの首、殺ってみろやアア！

内田のコメント

「1ラウンドはカウンターを狙ってくると思っていたので、後ろにさがる展開になってしまいました。あんなに前に出てくるとは思っていませんでした。もちろん、竜司さんの最後の試合なので打ち合っていくべきだと思ってましたので、その後は倒しにいきました。今は『キック界のヘビー級は俺に任せてくれ』という気持ちです」

村上のコメント

「若いチャンピオン（内田）には勢いがあったねぇ（笑）。まあ、今日は倒すか、倒されるかの試合をしたいと思ってたから前へ出ていったよ。今後は正しい日本、正しい社会のために青少年育成に努めるよ（笑）。まぁ、選手の強化はやりますよ。ワシは空手衣が一番好きだから、今後も真の空手家・武道家を目指していきます」

★第5試合/特別キックルール3分4R

○内田ノボル（4R0分35秒、TKO勝ち）村上竜司●

〈MAキック/ビクトリージム〉　〈士道館〉

※ヒジ打ちなしの特別ルール。村上は3Rと4Rに右フックでダウンを喫し、4Rのダウンでセコンドからタオルが投入された

『サムライ』という名の、竜司さんのためにあるような興行において、竜司さんはついにプロとして最後の試合を迎えた。思えば、トーワ杯で藤原組のレスラーたちを左フック一発で沈めてレスラーキラーの名をほしいままにし、その後も藤原組長との殺伐とした試合あり、沖縄でのチャンプア・ゲッソンリット戦では士道館の添野義三館長が怒鳴り込んだ荒れた試合ありと、竜司さんの試合は『サムライ』のコンセプトである、より実戦的な、鼻の奥が血のにおいでツンとするようなイカした試合ばかりであった。

試合というよりはステゴロというほうが似合う、その闘いぶりは元愚連隊のカリスマ的存在であり、現在は作家である安藤昇氏をして、毎回足を運ばせる惚れ込まれようなのだ。特に今回は安藤氏からお祝いの品まで届いている。

そんな竜司さんの最後の相手は紆余曲折はあったが、現MAヘビー級チャンピオン、内田ノボル。元同級チャンプの竜司さんにとって、あとを任せるにはぴったりの男と言っていいだろう。

1Rこそ、カウンターを警戒して飛び込まなかった内田であったが、2R目から打ち合いに応じ、何度もパンチを入れ、ヒザをぶち込む。そして竜司さんはノーガードで前へ出て気迫の勝負。そして第3R、内田は疲れが出始めた竜司さんに容赦ない渾身のパンチを叩き込んでダウンを奪い、続く第4Rでも強烈なパンチを入れてダウンさせ、タオルが投入されて闘いは終了した。チンケな遠慮などない男と男の闘いだった。（ブチ）

リムレイがあっさり戦意喪失

せる。セカ
かも…

レイ●
ンター〉

この大会の1日前、米国ではあ
のマイク・タイソンの相手ゴロタ

「え！これで終わりなの？」佐藤堅一、不満タラタラのKO

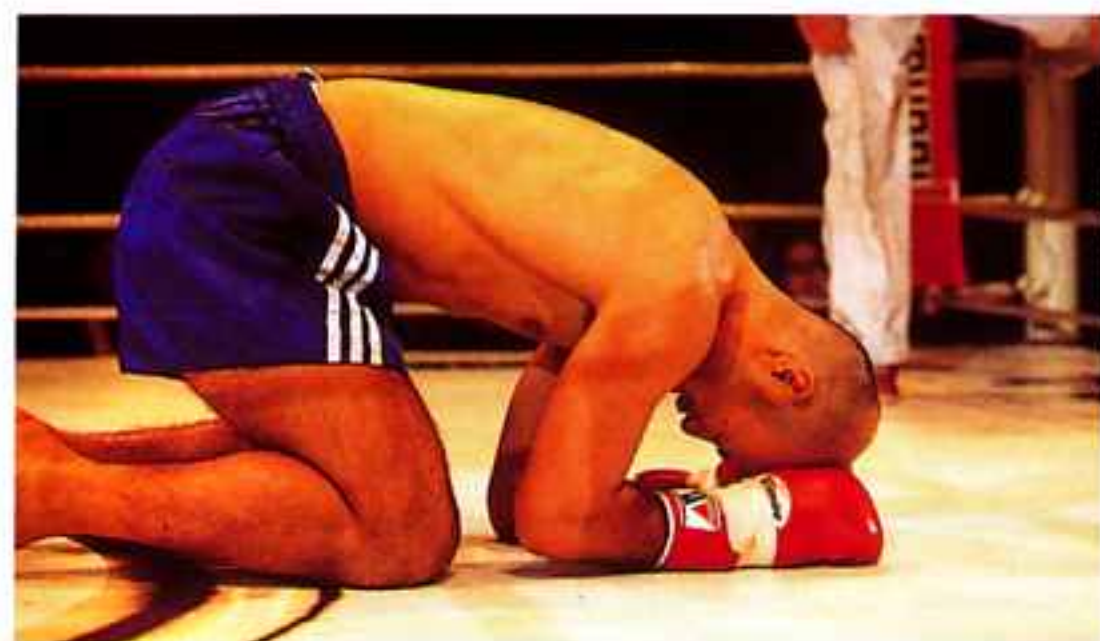
リムレイがあっさり戦意喪失 初代メインイベンターの重責果たしたものの…

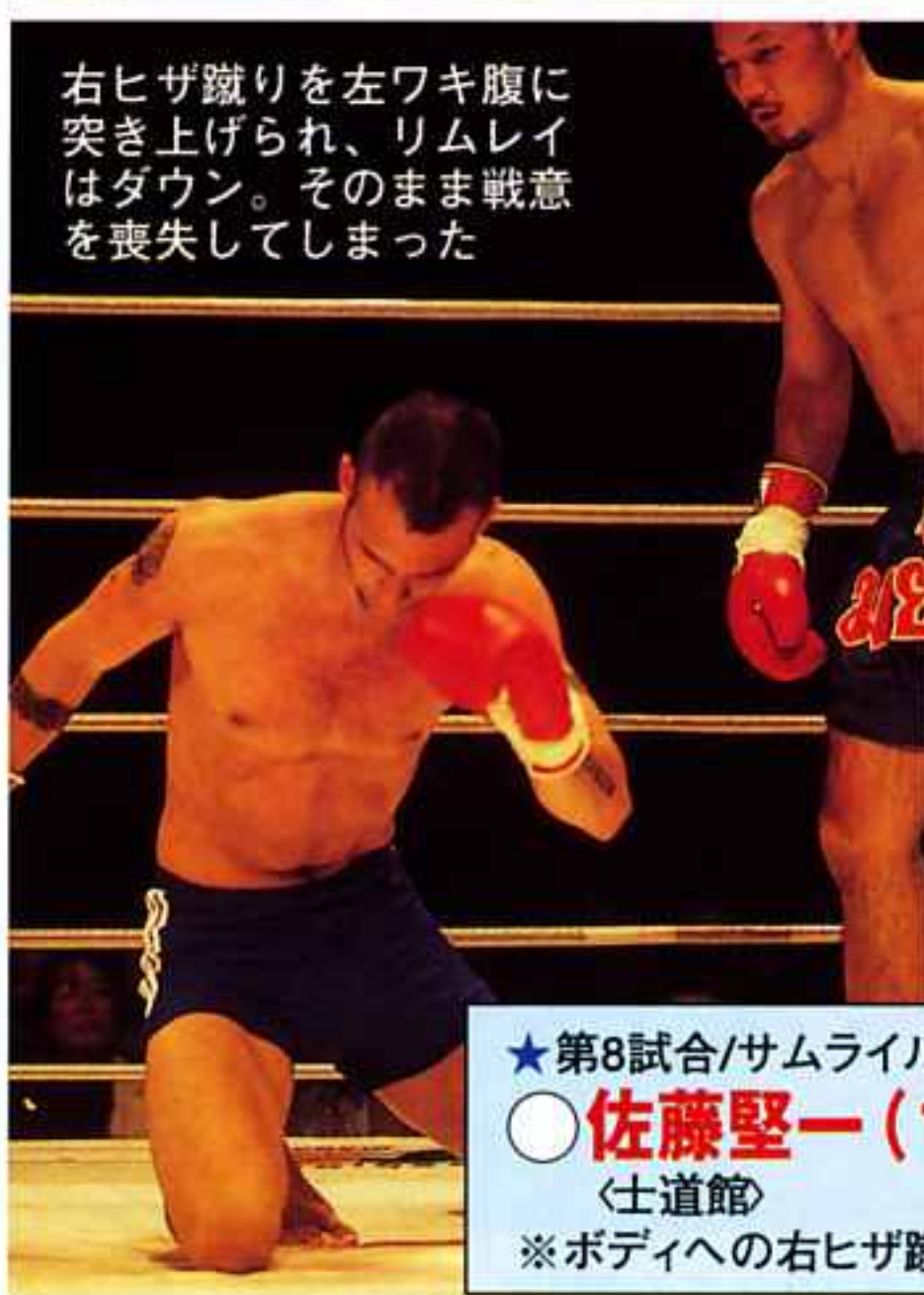
『サムライ・プロジェクト』の記念すべき初代主役に選ばれた佐藤。あっけない終わり方にその表情はこわばったまま

佐藤のコメント

「当然、セカンドステージまで闘うつもりだった。お客さんはグラップリングを見に来ているわけだし。ボクはキックボクサーだから、寝技は向こうが上なので、その前に相手の腕なり足なりをつぶしておくつもりだった。ところが、一発入っただけで終わっちゃって。しまった、と。もう少し根性のある相手だと思っていたんだけど」

リムレイのコメント

「ワキ腹が痛かった。まだちょっと痛むが大丈夫だ。佐藤の気迫に押されてしまって、消極的になってしまい、村浜（武洋）戦のように打撃で応戦することができなかった。村浜と佐藤を比べたら、パンチだったら村浜のほうが上だが、キックは佐藤が強いと感じた。今後はもっと立ち技の練習をしていきたいと思っている」

◀士道館のエースとして責任は果たしたものの、佐藤は「お客さんが望む形を表現できなかった」と土下座して詫びた

▼ヒザの猛攻。リムレイを首相撲で捕まえた佐藤は、左右のヒザを次々に突き刺していった

右ヒザ蹴りを左ワキ腹に突き上げられ、リムレイはダウン。そのまま戦意を喪失してしまった

▲反り投げ、肩車。リムレイはスタンドでも多彩な投げを見せる。セカンドステージのグラップリングになったら、佐藤もやばかったかも…

▲本来はグラウンド・テク中心のリムレイ。その本領を発揮する前に、大きな痛手を負ってしまった

★第8試合/サムライルール3分4R（メインイベント）
○佐藤堅一（1R1分27秒、KO勝ち）ガブリエル・リムレイ●
〈士道館〉 〈アメリカ/ミレティック・マーシャルアーツ・センター〉
※ボディへの右ヒザ蹴り

この大会の1日前、米国ではあのマイク・タイソンの相手ゴロタが突然棄権し、大ひんしゅくを買った。消化不良のタイソンも怒りの表情を露にし、試合後は無言を通した。ファンもゴロタを許さない。スタコラ逃げ帰る敗者に、ビールやワインをぶちまけた。

その点、日本の格闘技ファンはおとなしいものだ。ため息に混じって、静かな拍手さえ沸き上がった。だが、佐藤の気分は、タイソンと同じだ。ボディにヒザ蹴りを食って倒れたリムレイが、首を振ってイヤイヤしながらレフェリーにストップされた時、佐藤は詰め寄って「カモン」と叫んだのだ。

「ビックリして。これで終わったらシャレにならないから」

佐藤はキックボクサーである。後半戦がグラップリングになる『サムライ』ルールは、当然怖かったという。それでも、出場を承知した以上、プロとしての務めがある。まして今回が『格闘技新基準』の事始めなら、ファンにその魅力を伝える役目もある。だから、専門外の寝技まで勝負を持ち込みたい。責任感の強い佐藤には、それだけの覚悟があったのだ。

だが、リムレイはそうじゃなかった。9月、村浜武洋と対したときは果敢に打撃戦に応じたのに、佐藤の前ではあっさりと心が折れた。再三の投げで見せ場を作ったのもつかの間、首相撲に持ち込まれ、左右のヒザを乱射されると、すぐに弱気に。そしてさして抵抗する気配もなく、沈んでしまった。

佐藤の勇気と無念を心に刻みたい。だから、私は結末をこれ以上、とやかく言いたくない。 （宮崎）

SAMURAI

10.22★有明コロシアム

普段着のままで…前田辰也がSB戦法で楽勝

この強烈な首投げ。前田は土方を思いのままに投げ飛ばし、その戦力をすっかり奪い取っていった

▲載空道からやってきた土方だったが、力の差は明白。グローブ空手全日本選手権優勝の片鱗を見せることはできなかった

▼1Rの終盤、バックブローを浴びた土方はダウン。パンチ、蹴り、投げ。前田は自在のファイトを見せた

「総合やりたかったんですけどね」。まずは見事な勝利にもかかわらず、前田辰也は不満顔だった。載空道のJET土方に対して、キックを自在に操った。パンチも決めた。バックハンドブローで1Rからダウンも奪った。さらに好き放題に投げまくった。だけど、これじゃ、普段やっているシュートボクシングと同じじゃないか。できるならセカンドステージ、3Rからのグラップリングにまで、試合を長引かせたかったに違いない。だが、そうするためには役者が違いすぎたのだ。大会2日前にやっと決まった対戦者、土方はグローブ空手で全日本選手権優勝の実績があるというが、前田の相手を務めるには力不足は明らかだった。2Rに右ミドルと右パンチをかすめさせたのがやっと。前田はスキだらけの土方を捕まえては、ブン投げていった。マットに再三叩きつけられた土方は、すっかりグロッギーに。レフェリーストップの処置は当然だっただろう。（宮崎）

★第4試合/サムライルール3分4R

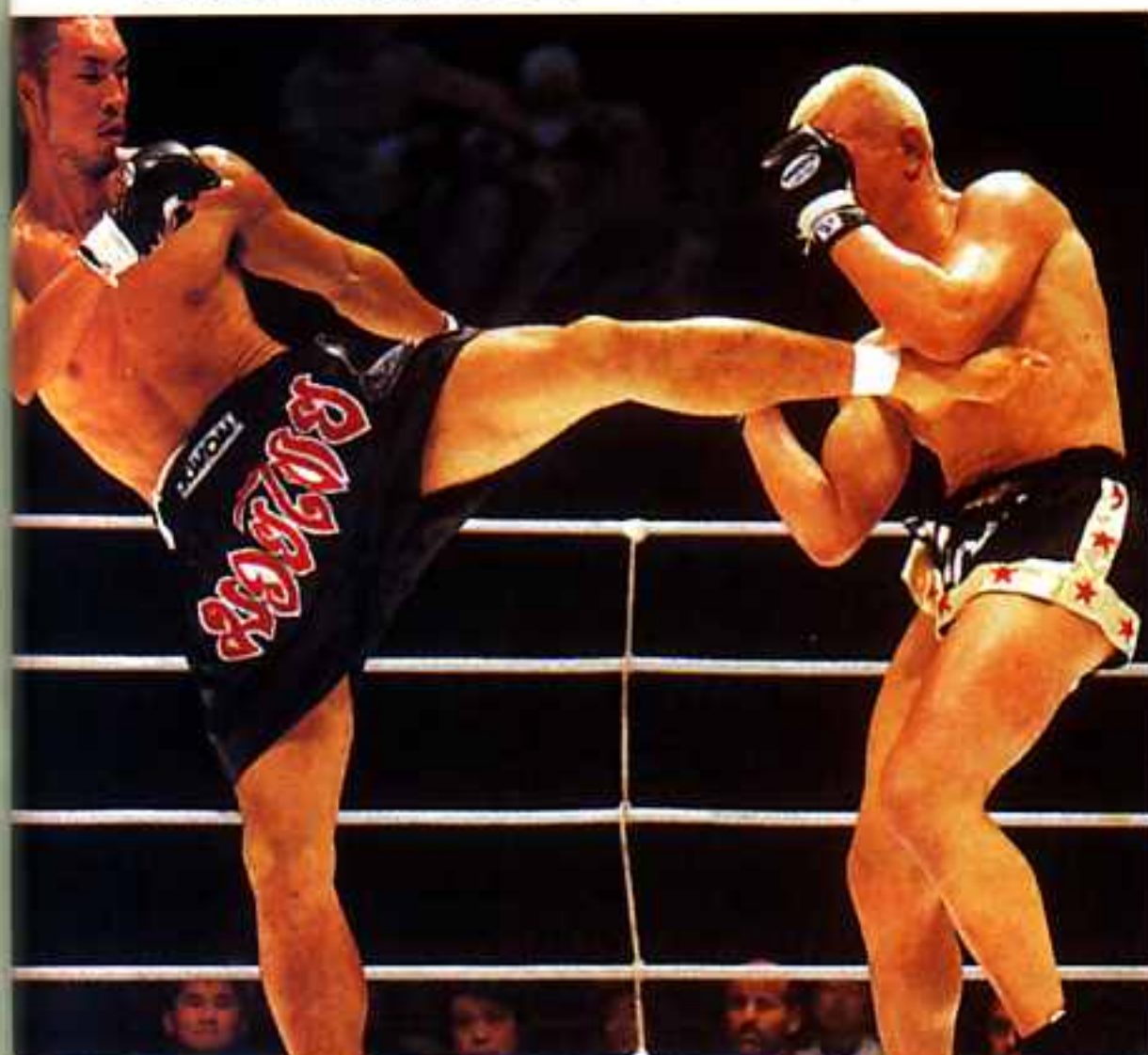
◯前田辰也（2R0分27秒、TKO勝ち）JET土方●

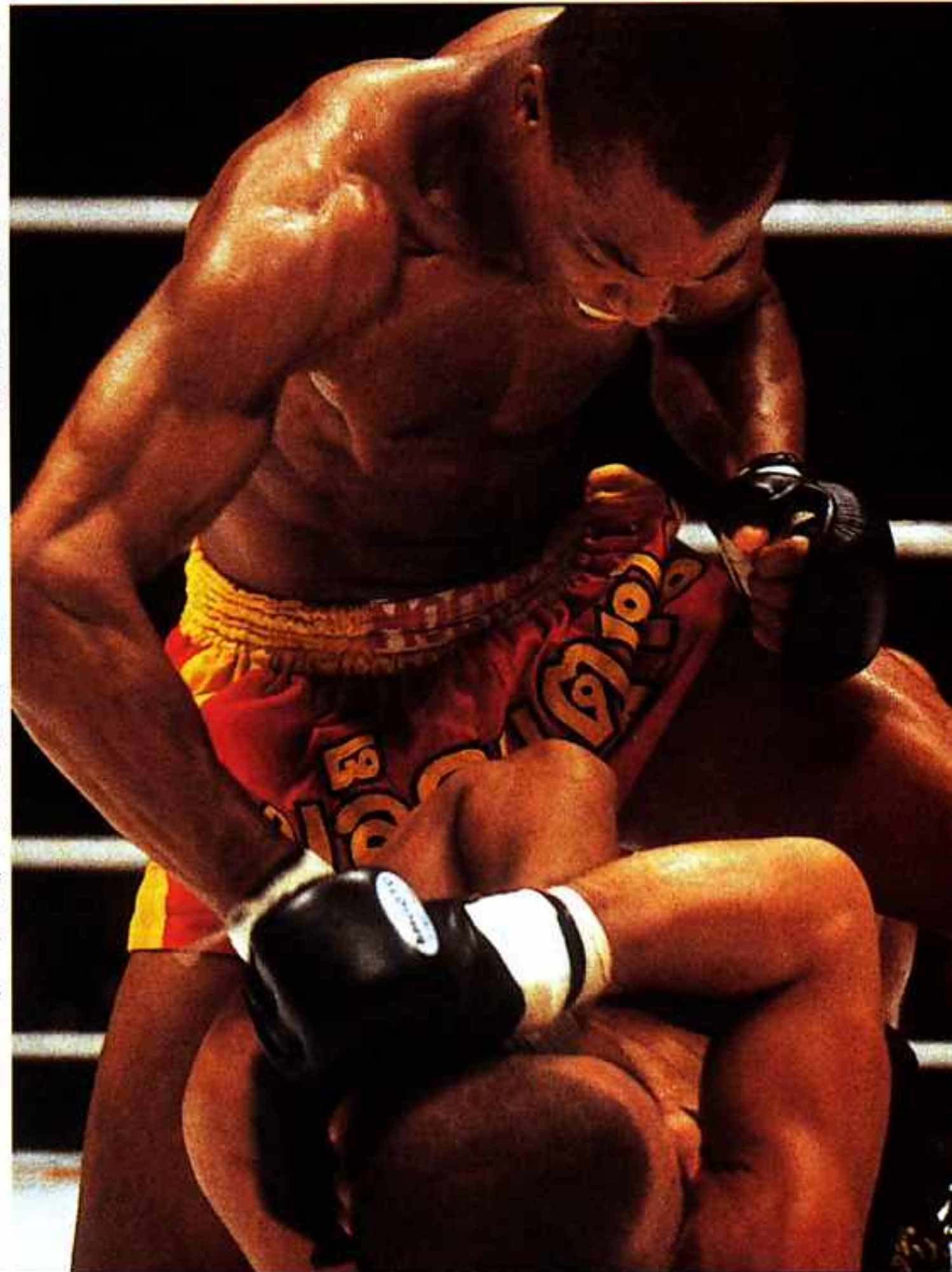
〈シュートボクシング/寝屋川ジム〉 〈載空道〉

※レフェリーストップ。土方は1Rに右バックブローでダウンを喫している

第1～3試合ダイジェスト

現代を生きる“サムライ”たち、その闘いぶりは…

▼第1試合の酒井亮（士道館）とピーター・アンガラー（ドイツ士道館）の対戦はパンチ、キックの打ち合い。オープンフィンガー・グローブでも果敢な打撃戦が展開されたこの試合は、多彩なキックが光った酒井の判定勝ちとなった

▲ハードパンチを売り物にする今村洋（和術慧舟會）だったが、フランス人キックボクサー、ラウフ・カクロウブの強襲を受けて2RTKO負け。左ヒザ蹴りを顔面に浴びてダウン。鼻を折って、この時タオルが投入された（第2試合）

▶カリブ海からやってきたジェリー・モリスとロタ島出身のキックボクサー、TOGANEタイソンの対戦は、モリスのパワーが上回る。シカゴ・ルール5連覇の実力者モリスがキック、グラップリングの両ステージともタイソンを圧倒した

▼リングサイドの桜庭あつこ。ああ、こんなかわいい子もトータル・ファイターなんだね…

▲この日のラウンド・ガールは金星ぞろい。彼女たちにすり寄られ、リコ・ロドリゲスは、まあ、なんて幸せそうな笑顔

▲PPV放送の解説席には小路晃と後藤龍治。後藤は出場予定だったが、右手を負傷して欠場していた

サクラバマシン・フィギュアは、ついに次号で発売スタート！　絶対に見逃さないで!!

たっつぁん 万座ビーチ

読者プレゼント

【M・D・K提供】

これを着て、いつも心にアンディを…。

●アンディ・フグTシャツA（サイズL）
2名様

●アンディ・フグTシャツB（サイズL）
2名様

※K－1グッズに関するお問い合わせは、M・D・K☎03－3796－2993まで

【居酒屋ごっち提供】

居酒屋ごっち、祝10周年!!

●祝花についてる名札
（桜井速人・須藤元気・菊田早苗・植松直哉・佐々木有生）

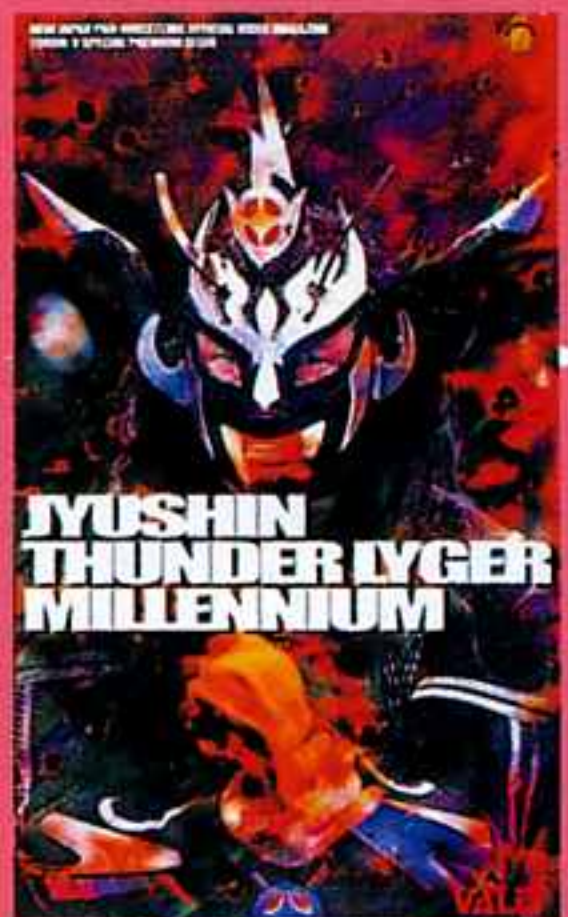
各1名様

※格闘技ファン＆格闘家の溜まり場といえば、高円寺にある『居酒屋ごっち』！　先日9月24日にめでたく10周年を迎えました！　小竹店長、オメデトーッ!!　んで、常連のファイター達から届けられたお祝いのお花の札をプレゼント！　ズバリ言って非常にかさばるので、編集部に取りにきていただける方限定でお願い。『居酒屋ごっち』は☎03-3314-3416

【ヴァリス提供】

ライガー、武藤、蝶野の最新ビデオ！

●ビデオソフト『闘魂Vスペシャル特別編・NBMVスペシャル7』
3名様

●ビデオソフト『闘魂Vスペシャル特別編・Black Storm～蝶野正洋～』
3名様

●ビデオソフト『闘魂Vスペシャル特別編・獣神サンダー・ライガー・ミレニアム』
3名様

※ヴァリス・ビデオシリーズに関するお問い合わせは、(株)ヴァリス☎03－5351－5181まで

【DSE提供】

待望のボブチャンチンnew TシャツとサタンアルバイトとのWネームTシャツ！

●チョークスリーパーTシャツ
（カラー／黒or白、サイズ／XL・L・M・S。¥4,900）
3名様

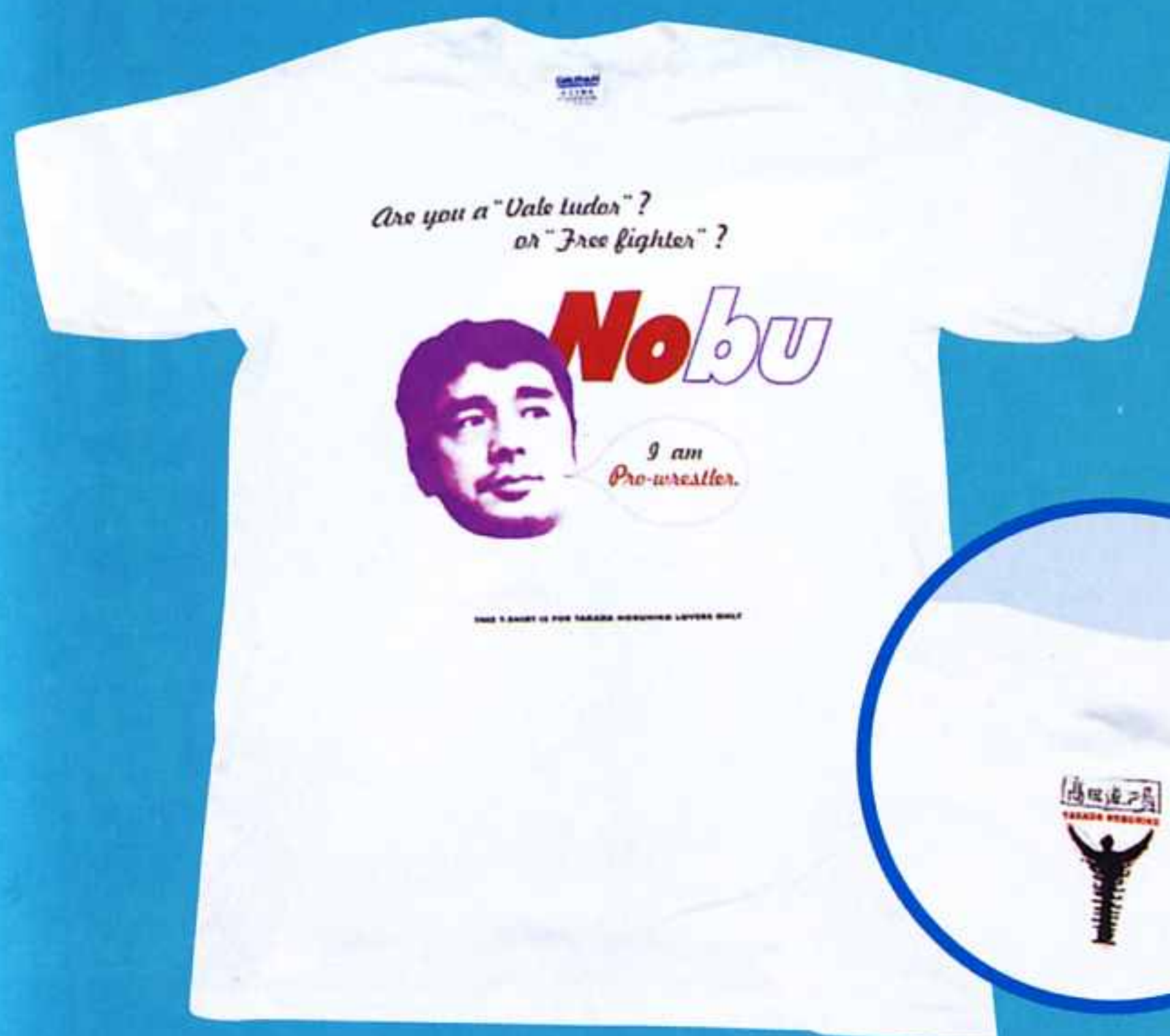
●アーム・バーTシャツ
（カラー／黒or白、サイズ／XL・L・M・S。¥4,900）
3名様

●イゴール・ボブチャンチンTシャツ
（カラー／赤、サイズ／XL・L・M・S。¥3,800）
3名様

※『プライド』グッズに関するお問い合わせは、(株)ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700まで

『SRS・DX』的通販生活のススメ

髙田延彦Tシャツ & アレクNEWTシャツ 通販開始ッ!!

"アイ・アム・プロレスファン"なら、女房を質に入れてでも手にいれろ!!

○髙田延彦"アイ・アム・プロレスラー"Tシャツ
（カラー／ホワイト、サイズ／L・M・S）¥3,990（税込）
※Sサイズは、キッズのLサイズです。髙田道場HP&本誌通販の完全限定発売！（10・31「プライド11」会場で若干数販売）

○アレクサンダー大塚AO/DC Tシャツ（ver.2）
（カラー／黒、サイズ／L・M・S）¥3,500（税込）
※Sサイズは、キッズのLサイズです。ロゴ部分はもちろんラメ！

通販方法はP118を参照！ 即刻電話せよ!!

【トライアル提供】

トラボルタ主演のSF大作！

●『バトルフィールド・アース』オリジナルTシャツ

5名様

※全米SFファン投票作品部門第1位。映像化不可能といわれたSFサーガ、L・ロン・ハバード原作『バトルフィールド・アース』がジョン・トラボルタ製作・主演でついに映画化！ 丸の内ルーブルほか全国松竹・東急系にてロードショー公開中！

【本誌編集部提供】

プロレス&柔道マニア垂涎の貴重サイン！

●桜庭和志&吉田秀彦サイン入り色紙

5名様

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！ なお、このハガキのご意見を無闇に『ワンフー・マクダニエル』で掲載させていただくことがあります。実名がマズイ人は、ペンネームも記載してください。

あて先…〒101-0054 東京都千代田区神田錦町
3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部「たっつぁん万座ビーチ㉝」係まで
締め切り…11月9日（木）
当日消印有効

小林聡に問う

キックボクシングって何? 君って、誰?

不逞の父・ターザン山本（落武者）より、愛する養子（野良犬）へ——

★メインイベント/日本・フランス国際戦（3分5R）
○小林聡（5R判定3-0）クリストファー・レベック●
（日本/藤原ジム）（フランス）
※採点…50-48、50-49、50-48

▲力を出し切れないままの判定勝利にうなだれる小林。試合前から、どことなく精気がなかった。「理由はあるけど、言い訳になるから」（小林）

君に問う
キックボクシングって何?
10月22日
日曜日、夜、後楽園ホール
ここは
ここはどんな世界なの?
君の口から
言って!
君の口から
教えて!
キックボクシングって何?
それは
スポーツなの?
それは
競技なの?
違うよね
だってボクは
君を見に来たんだよ
それで十分でしょう
それ以上、何があるというの?
君はキックボクサー
キックボクシングって何?
小林聡って
誰?
何者?
世界チャンピオンだよ
君は
何がやりたいの?
何がしたいの?
勝ちたいの?
倒したいの?
今日、君は勝ったよね
倒せなかったよね
ねぇ、キックボクシングって何?
小林聡って何者?
あぁ、そうなんだよ
キックは限りなく
ポイント制競技
〃野良犬〃と言われた男が
ポイントを稼いでどうするの?
でも、それがキックでしょう?
ズルズルズル

5ラウンドまでいってしまった
判定!
判定勝ち!

ポイントを競り合って判定勝ち

たった

てからのツ

全日本キック
LEGEND-IX
10.22★後楽園ホール

ポイントを競り合って判定勝ち
それがキックなの？ それが君なの？

小林のコメント

「金払って見る試合じゃないですね。これじゃあみんなK-1の中量級（大会）に行っちゃいますよ。強引に潰せばいいんだけど、チャンピオンになって守りに入ったっていうか、怖くていけなかった。いけない理由も分かってるんだけど、それを言うと言い訳になるんで。この気分を払拭するのに、すぐにでも試合をしたい」

レベックのコメント

「もしタイだったらヒザのポイントで勝ってたはず。時差で1日まったく寝れなかった。今日も1時間しか寝てないんだ。いつもはもっと自分からいくスタイルなんだけど、今日は控えさせてもらったよ。最終目標はタイで王者になることだ。ライト級の選手と闘って、いい経験になった。いい条件なら、またオファーがあれば闘うよ」

▲小林は顔面への前蹴りを多用。これがよくヒットしていた

▶得意のローは、何度もレベックの体を傾がせたが…。フィニッシュには至らず

ローが効いた、パンチも当たった それでも倒せない……

記念撮影なんて、してる場合じゃないんだっ！

▲試合後、レベック、セミに出場したダ・シルバのフランス人コンビと記念撮影。「こんなことしてる場合じゃねえよ…」と言いたげな小林の表情が印象的だ

▲ムエタイスタイルで闘うレベックが放つ蹴りは、小林の気力を確実に削いでいった。特に怖さはないはずなのに、この日の小林はなぜか前に出られない

▲パンチの攻防でも、遥かに小林が上回っていた。コーナーに追い込んでからのツメが甘かったか

5ラウンドまでいってしまった
判定！
判定勝ち！
勝ったんだよ
君は勝利者！
それでいいの？
それがキックボクシングなの？
それが小林聡なの？
ボクは君を見に来たんだよ？
君って何者？
見せたいんでしょう？
なりたいんでしょう？
やりたいんでしょう？
何に？
何を？
ボクには分かる
キック界のA・猪木
君は形を変えた
プロレスラー
君はそれになりたいんだよね
なるべし
やるべし
なってください
君の心はいつもプロレスラー
あるのはいつも
チャレンジマインド
プロレスマインド
それがなかったら
ボクは君の試合、見にこない
ハードルが高いよね
でも、キックという土壌で
君は猪木になれるの？
君はプロレスラーになれるの？
教えて
教えて
キックボクシングって何？
いつになったら、だって
ボクは君を見に来たんだよ
それ以外、何があるというの？
小林聡って
誰？
何者？
■

全日本キック
LEGEND-IX
10.22★後楽園ホール

両者とも1年ぶりの復帰戦は壮絶なダウンの応酬！

▲勝利したものの、反撃を喰らった悔しさからか、千葉は記念撮影にもこの表情

▲1～4Rの間に、計5度ダウンを喫した三上。誰もがKOは時間の問題だと思ったはず

▲5R、猛反撃を見せた三上が、遂にダウンを奪った。会場は割れんばかりの大歓声！

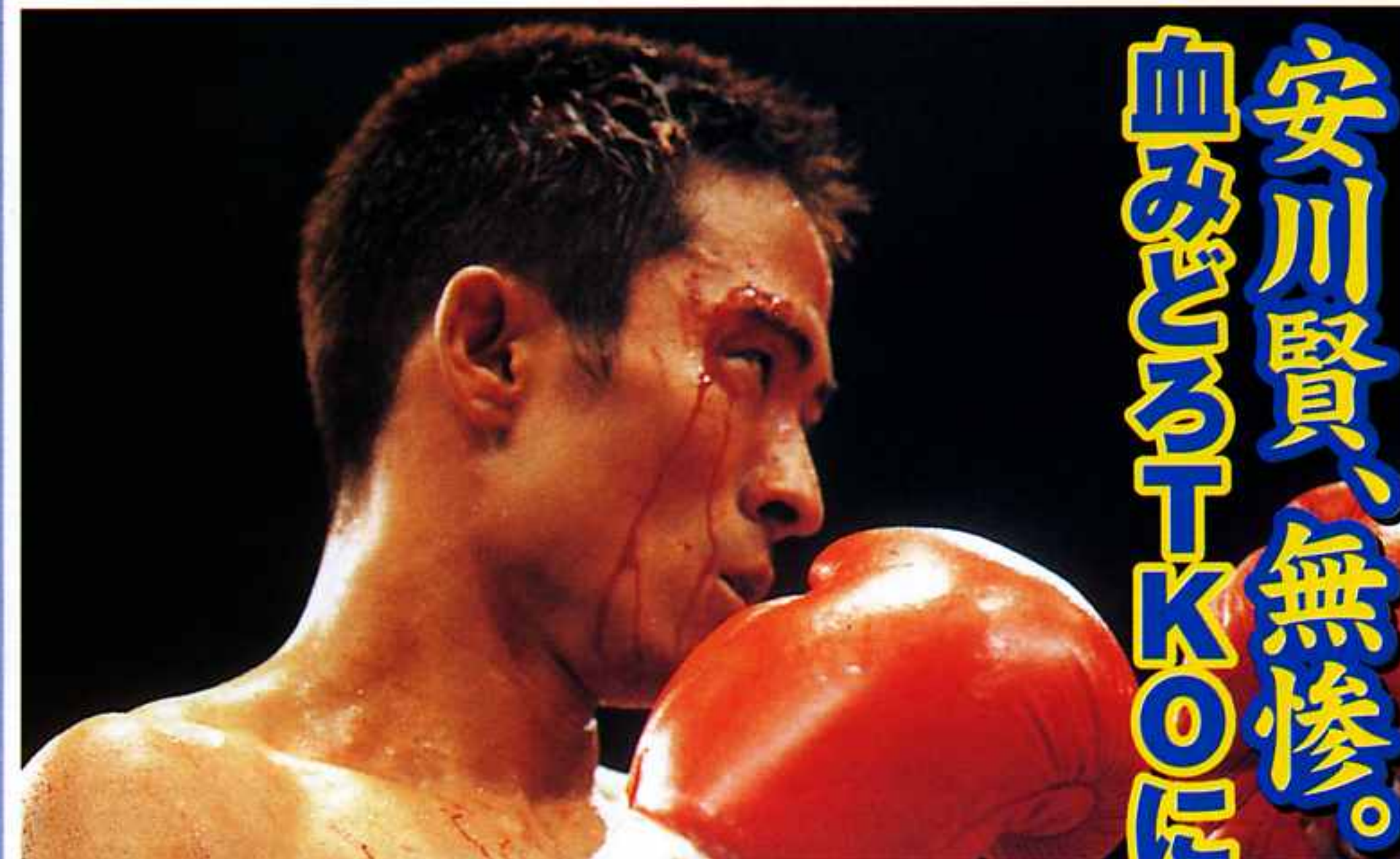
▲千葉は就職、三上はケガで、共に1年間、リングから遠ざかっていた。内田康弘以外に人材が乏しかったウェルター級だが、この2選手の復帰により、俄然盛り上がりを見せていくだろう

千葉は就職のため、三上は昨年10月の横山潔昌戦で負った眼窩底骨折のため、2人とも1年間リングから遠ざかっていた。お互いに1年ぶりとなる復帰戦は、激しいダウンの奪い合いとなり、この日一番と言っていい盛り上がりを見せた。立ち上がりこそローでさぐりを入れ合うような展開が続いたが、1R半ばを過ぎた頃、千葉の右フックが三上の顔面を捕らえた。ここから試合の様相は一変する。千葉は三上を激しく攻めたて、1R終盤、2、3、4Rと計5度もダウンを奪う。しかし、その都度、三上はゾンビのように立ち上がる。そして、5Rにまるで別人のように千葉に逆襲。遂にダウンを奪い返したのだ。その後も三上は猛反撃をするが、結果は判定負け。昨年の魔裟斗離脱以来、内田康弘一人だけで引っ張ってきた感がある全日本ウェルター級だが、着々と成長を見せる若手とこの2選手が、今後混戦模様に展開させていくだろう。（宗忠）

★第5試合/ウェルター級ランキング戦（3分5R）
○千葉友浩（5R判定3-0）三上洋一郎●
（TEAM-1）　（SVG）
※採点…47-42、46-42、47-42。三上は1Rに右ストレートで2度、2Rに右ストレート、3Rに左ローキック、4Rに右ハイキックで、千葉は5Rにヒジ打ちで、それぞれダウンを喫している

11月大会出場を控えた野地がリング上で挨拶

▲11月の後楽園ホール大会に電撃参戦が決定した極真会館の野地竜太が、この日のセミファイナル前にリング上で参戦の挨拶を行った。「押忍！KOで必ず勝つんで、応援よろしくお願いします」と、言葉は少なかったが、その顔からは自信がみなぎっていた

▶この日に行われた全試合を観戦した野地。鋭い眼光でリング上を見つめる

安川賢、無惨。血みどろTKOに敗れる

▲バンタム級5回戦に出場した安川賢は、フィリップ・ダ・シルバに痛恨の4RTKO負け。初回から右パンチでダウンを喫した安川は、2Rからヒザ蹴りで反撃に転じたものの、フランス人の巧みなヒジ打ちに切り裂かれ、ドクターストップがかかることになる

▶ダ・シルバは思い切りのいいパンチが光った。とくに右はタイミングがばっちり合って、安川の顔面を再三にわたって痛打した

★セミファイナル/日本・フランス国際戦（3分5R）
○フィリップ・ダ・シルバ（4R0分48秒、TKO勝ち）安川賢●
（フランス）　（日本/SVG）
※ダ・シルバのヒジ打ちにより安川はまぶたをカット。傷が深いためドクターストップとなった

ご注文は▶TEL.0480-24-0711 フリーダイヤル FAX.0120-110-666 24時間受付

〒346-0015 埼玉県久喜市西528-2 株式会社イサミ

① CN-20 ローマンベンチ
¥8,500 送料¥2,000
- サイズ:H96xL138xW65cm
- 重量:17kg

② CN-90 ラットマシン
¥16,500 送料¥2,000
- サイズ:H210xL146xW82cm
- 重量:30kg
- 耐荷重量:80Kg

③ CN-60 マルチラック
¥18,000 送料¥4,100(2ヶロ)
- サイズ:H220xL110xW63cm
- 重量:43kg

④ CN-70 パワーラック
¥19,800 送料¥2,500
- サイズ:H200xL100xW110cm
- 重量:50kg ●耐荷重量:250Kg

⑤ CN-100 アジャスタブルベンチ
¥11,000 送料¥2,000
- サイズ:H95xL166xW57cm
- 重量:28kg ●耐荷重量:250Kg

⑥ CN-15 プレートラック
¥3,980 送料¥1,300
- サイズ:H90xL37xW45cm
- 重量:9kg 写真/145kgセット収納例

★プレート・シャフトは別売です。

STRENGTH-TECH

※モデル:マッスル北村

●パワージム、ホールディングウエイトベンチ、ロデオライダーは、メーカー直送のため、支払い方法を、カード、現金書留のみとさせて頂きます。

ロデオライダー No.400GR
¥4,500 送料¥800

幅145x奥行71x高さ104cm
重量18kg
耐久重量90kg
負荷5段階調節可能
組立・使用解説ビデオ付き
体全体を使う新型ジム
筋力に自信の無い方でも簡単にシェイプアップが出来ます。

100台限定
直販のみ 返品不可

ホールディングウエイトベンチ No.989
¥9,500
送料¥1,000

H190xL190xW130cm
耐荷重量:90kg
収納時/H190xL75xW130cm

100台限定
残り50台!
プレートは別売
直販のみ 返品不可

ラットプダウン　ベンチプレス　レッグエクステンション　レッグカール

クロームバーベル

40kgセット	50kgセット	80kgセット
BB-200 +P15kgx2	BB-200 +P20kgx2	BB-200 +P15kgx2 +P20kgx2
¥7,500	¥8,500	¥10,600
送料¥2,000(2ケロ)	送料¥2.500(2ケロ)	送料¥3.500(3ケロ)

直販のみ　返品不可　●サビ・汚れ多少あり

パワージム No.973
¥18,000
送料¥3,000

80台限定
直販のみ 返品不可

H165xL124xW100cm
重量:107kg
耐荷重量:120kg
ウエイト
6.8kgx10個付

レッグエクステンション　ショルダープレス　アブドミナル　チェストプレス

武道・トレーニング用品の総合メーカー
株式会社イサミ SRS2係
〒346-0015 埼玉県久喜市西528-2
TEL.0480-24-0711(代) FAX.0480-24-0713

注文受付時間	
平日	9:00〜21:00
土・日・祝日	9:00〜18:00

★総合カタログご希望の方は切手¥160分をご送付下さい。

イサミの商品は、通信販売の他、お近くの代理店でも、お求めいただけます。
- (株)建武堂(東京池袋)…TEL.03-3986-5255
- 尚武堂産業(東京水道橋)……TEL.03-3815-0411
- 神奈川八光堂(横浜市) TEL.045 261 6834
- 赤心堂(大阪市難波・東大阪市)…TEL.06-6649-7111
- (株)公武堂(名古屋市)……TEL.052-241-2511
- 林藤武道具(石川県金沢市)……TEL.0762-52-2220
- (有)東京武道具(札幌市)……TEL.011-241-6345
- (株)いさご武道具(仙台市)……TEL.022-262-2562
- (株)マルシン(京都市)……TEL.075-841-1523
- (株)三恵(長崎県諫早市)……TEL.0957-22-5210

ご注文方法

代引	TEL又はFAXにてご注文下さい。 お支払いは商品到着時に配達員へお支払い下さい。 商品代金+送料+代引手数料+消費税
現金書留	TELにてお問い合わせの上、 注文書と商品代金+送料+消費税をご送金下さい。
カード	TELにてご注文下さい。 合計¥10,000よりご利用できます。 合計¥20,000より2回払いも承ります。
分割	合計¥50,000よりご利用できます。 詳細はTELにてお問い合わせ下さい。

セントラルファイナンス

ご注意
★沖縄県、北海道、及び離島の方は送料をお問い合わせ下さい。
★代引手数料　総額 ¥10,000未満→ ¥300
総額 ¥30,000未満→ ¥400
総額 ¥100,000未満→ ¥600
総額 ¥100,000以上→ ¥1,000
★表示の価格及び送料には消費税が含まれておりません。
★万一、不良品があった場合は送料当社負担にて交換します。お客様ご都合による返品は未使用に限り可。着品後、1週間以内に電話連絡の上ご返却下さい。その際の返送料はお客様負担となります。

ご使用いただけるカード　ディーシー　ビザ　マスター　ミリオン　ジェーシービー

ISAMI SINCE 1932

中古ビデオ買い取ります。
（武道・格闘技・ボディビルディングetc…）
●連絡先：03-3352-4083（新宿店）
03-5214-6487（水道橋店）

ISAMI NEWS!

アスリート待望のプロショップ！新宿店

HUNTERショートパンツ、柔術衣、PANCRASE、K−1、一撃Tシャツ、プロテイン、ビデオ、雑誌etc.
特価品多数取り扱っております。

格闘技Pro Shop
東京イサミ TOKYO ISAMI

JR新宿駅南口および新南口より徒歩3分。是非、お気軽にご来店ください。

株式会社東京イサミ
〒160-0022 東京都新宿区新宿4-2-21相模ビル3F
TEL.03-3352-4083 FAX.03-3352-4084
●営業時間：AM11:00~PM7:00 ●定休日：毎週火曜日、祝日

アスリート待望のプロショップ！水道橋店

広い店内に、格闘技グッズ、トレーニング用品等、5000点と豊富な品揃えでお客様をお待ちしております。

タイ製パンチンググローブ ¥1,980より
革製キックミット 2ケ¥5,000
サイズ／長さ43x幅23x厚さ13cm 重さ／1.5kg
キックパンツ バーゲン開催中！

格闘技ProShop
イサミ尚武堂(株) ISAMI SHOBUDO CO.,LTD

水道橋西口徒歩1分

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-18-5 京三会館2F
TEL.03-5214-6487 FAX.03-5214-6488
●営業時間：AM11:00~PM7:00 ●定休日：毎週火曜日、祝日

CN-3100 フルウェイトジム

¥58,000 送料¥10,500（5ケ口）
●サイズ：H212xL160xW120cm
●重量：88kg
●耐荷重量：250Kg
2mφ28シャフト付
ベンチプレス
インクラインプレス
ラットステーション
ロープーリー
バタフライ
アームカール
デクラインプレス
スクワット
レッグエクステンション
レッグカール等
全てのトレーニングを行える多機能性をもっています。
プレートは別売

SAFETY PRESS BENCH

CN-40 セーフティプレスベンチ

¥23,000（シャフト付）
送料¥3,300（2ケ口）
プレートは別売
●H58xL107xW140cm
●重量：22kg●耐荷重量：100Kg
ベンチプレス・デッドリフト・カーフレイズ・ベントオーバーローイング、その他バーベル・ダンベル運動が出来ます。

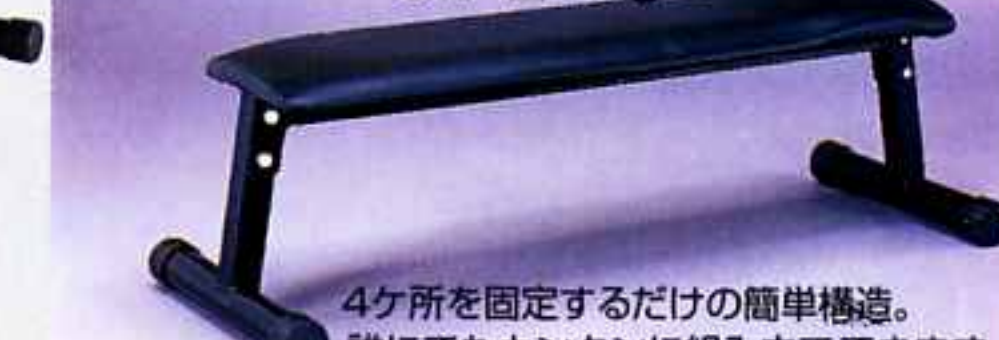
PRESS & SQUAT RACK

CN-50 プレス&スクワットラック

¥16,000（ベンチ付）
送料¥3,300（2ケ口）
プレート・シャフト別売
●H140xL94xW135cm
●重量：28kg
●耐荷重量：250Kg
スクワット・ベントオーバー・フロントランジ・その他ダンベル・バーベル運動が出来ます。

FLAT BENCH

CN-10 フラットベンチ

¥4,980
送料1,300円
●サイズ：H30xW37xL103cm
●シート部：W20xL96cm
●重 量：5kg
4ケ所を固定するだけの簡単構造。
誰にでもカンタンに組み立てできます。
しかも、軽量で工具付き。

PRESS BENCH

CN-80 プレスベンチ

¥8,500
送料¥2,000
●H102xL52xW110cm
●重量：16kg
●耐荷重量：200Kg

FLAT BENCH

CN-30 フラットベンチ

¥6,500 送料¥1,300
●H40xL60xW135cm
●重量：11kg●耐荷重量：100Kg
★ウェイトトレーニング・ダンベル運動には欠かせないベンチです。ベンチの高さを40cmにおさえてありますのでかかとをしっかりと地面につけて体のバランスがとれます。

BARBELL DUMBELL

バーベルセットをご注文の場合、バーベルセットのバーは●BB-160またはBB-180のいずれかからお選びいただけます。
※BB-200の場合は900円増しです。

HRC-200 レギュラーバーベルセット

HERACLES

HRC-200 レギュラーバーベルセット ＊P:プレート B:バー DB:ダンベルバー

セット	内容	価格	送料
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥11,400	送料¥2,000（2ケ口）
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥15,400	送料¥2,500（3ケ口）
75kgセット	55kgセット＋P10kg×2	¥19,400	送料¥3,000（3ケ口）
105kgセット	75kgセット＋P15kg×2	¥25,400	送料¥3,500（4ケ口）
145kgセット	105kgセット＋P20kg×2	¥33,400	送料¥4,000（5ケ口）

プレート	価格	プレート	価格
1.25kgプレート	1枚 ¥250	2.5kgプレート	1枚 ¥500
5kgプレート	1枚 ¥950	7.5kgプレート	1枚¥1,500
10kgプレート	1枚¥2,000	15kgプレート	1枚¥3,000
20kgプレート	1枚¥4,000		

HRC-300 ラバーバーベルセット

HERACLES
0.5kgプレートあります

HRC-300 ラバーバーベルセット

セット	内容	価格	送料
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥14,100	送料¥2,000（2ケ口）
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥20,500	送料¥2,500（3ケ口）
75kgセット	55kgセット＋P10kg×2	¥26,900	送料¥3,000（3ケ口）
105kgセット	75kgセット＋P15kg×2	¥36,500	送料¥3,500（4ケ口）
145kgセット	105kgセット＋P20kg×2	¥49,300	送料¥4,000（5ケ口）

プレート	価格	プレート	価格
0.5kgプレート	1枚 ¥160	1.25kgプレート	1枚¥400
2.5kgプレート	1枚 ¥800	5kgプレート	1枚¥1,600
7.5kgプレート	1枚¥2,400	10kgプレート	1枚¥3,200
15kgプレート	1枚¥4,800	20kgプレート	1枚¥6,400

HRC-100 クロームバーベルセット

HERACLES

HRC-100 クロームバーベルセット

セット	内容	価格	送料
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥14,100	送料¥2,000（2ケ口）
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥20,500	送料¥2,500（3ケ口）
75kgセット	55kgセット＋P10kg×2	¥26,900	送料¥3,000（3ケ口）
105kgセット	75kgセット＋P15kg×2	¥36,500	送料¥3,500（4ケ口）
145kgセット	105kgセット＋P20kg×2	¥49,300	送料¥4,000（5ケ口）

プレート	価格	プレート	価格
1.25kgプレート	1枚 ¥400	2.5kgプレート	1枚 ¥800
5kgプレート	1枚¥1,600	7.5kgプレート	1枚¥2,400
10kgプレート	1枚¥3,200	15kgプレート	1枚¥4,800
20kgプレート	1枚¥6,400		

HRC-1000 50φオリンピックバーベルセット

HERACLES

HRC-1000 50φオリンピックバーベルセット

セット	内容	価格	送料
61kgセット	B16kg×1、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P10kg×2	¥29,400	送料¥3,500（4ケ口）
91kgセット	61kgセット＋P15kg×2	¥39,000	送料¥4,000（5ケ口）
131kgセット	91kgセット＋P20kg×2	¥51,800	送料¥4,500（6ケ口）
181kgセット	131kgセット＋P25kg×2	¥67,800	送料¥5,000（7ケ口）
221kgセット	181kgセット＋P20kg×2	¥80,600	送料¥5,500（8ケ口）

プレート	価格	プレート	価格
1.25kgプレート	1枚¥400	2.5kgプレート	1枚¥800
5kgプレート	1枚¥1,600	10kgプレート	1枚¥3,200
15kgプレート	1枚¥4,800	20kgプレート	1枚¥6,400
25kgプレート	1枚¥8,000		

●バーベルシャフトには50φx218cmがセットされます。

ヘラクレスダンベルセット

●バーベル・ダンベルラック制作いたします。●基本的にレギュラーダンベルセットにはレンチ式シャフト（スプリングカラー4ケ付き）、クローム、ラバーダンベルセットにはスクリュー式シャフトがセットされます。

各セット共シャフト2本付			レギュラープレート	クロームメッキ仕様	ラバープレート	
10k	片手5kg	DB×2、1.25kg×4	¥4,000	¥4,800	¥4,800	送料¥1,000（1ケ口）
20k	片手10kg	DB×2、2.5kg×4、1.25kg×4	¥6,000	¥8,000	¥8,000	送料¥1,000（1ケ口）
30k	片手15kg	DB×2、2.5kg×8、1.25kg×4	¥8,000	¥11,200	¥11,200	送料¥1,000（1ケ口）
35k	片手17.5kg	DB×2、2.5kg×8、1.25kg×8	¥9,000	¥12,800	¥12,800	送料¥1,500（1ケ口）
40k	片手20kg	DB×2、2.5kg×4、1.25kg×4、5kg×4	¥9,800	¥14,400	¥14,400	送料¥1,500（2ケ口）

イサミホームページ http://www.isami.co.jp/ e-mail isami@isami.co.jp

SRS・DX 格闘技グッズ 通信販売

キミは10・31、誰を応援するんだ！ もちろん○○○だよね？ オッケイ！ 着ろや、ほんならっ!!

アレクサンダー・カレリン RUSSIA

"ハロー・シドニー!!"Tシャツ
生成／サイズXL・L・M・S
￥4，000（税込）

"カレリンズ・リフト"Tシャツ
白／サイズXL・L・M・S
￥4，000（税込）

髙田延彦 髙田道場

NEW

"アイ・アム・プロレスラー"Tシャツ
白／サイズL・M・S
￥3，990（税込）

髙田道場HPと本誌のみの完全限定！

※Sサイズは、キッズのLサイズです。

小川直也 U.F.O.

オーチャンTシャツⒶ
黒／サイズL・M
￥3，500（税込）

オーチャンTシャツⒷ
ラグラン／サイズL・M・S
￥3，500（税込）

オーチャンロングTシャツ
ラグラン／サイズM・S
￥4,500（税込）

オーチャンステッカー
￥1,000（税込）

佐竹雅昭 怪獣王国

佐竹死刑Tシャツ
黒／サイズL・S
￥3,500（税込）

アレクサンダー大塚 格闘探偵団バトラーツ

NEW

AO／DC Tシャツ
黒／サイズL・S
￥3，500（税込）
※ロゴの緑部分はラメです。

AO／DC Tシャツ（Ver.2）
黒／サイズL・M・S
￥3，500（税込）
※Sサイズは、キッズのLサイズです。
ロゴのオレンジ部分はラメです。

ご注文方法

①ご注文は電話受付のみです。

『SRS・DX』通販専用 NAVIダイヤル ☎(0570) 007800 ※携帯電話からは掛かりません。

または、☎(03) 3295-4450

受付曜日・時間／月曜日～土曜日・AM10:00～PM6:00

②商品お渡し方法

◉代金引換でのお受け取りとなります。
◉商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◉お届けはご注文をいただいてから、一週間前後で郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

③ご注意

◉代金、送料の先払いはお受けできません。
◉サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◉『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

SRS DX 11・9 No.33
小川VS佐竹……どうなる「柔道VS空手」世紀の決闘
衝撃！ 小路二等兵、スタジオ特写！
平成12年4月25日第3種郵便物認可 平成12年11月9日発行 第2巻・21号・通算33号
編集人・谷川貞治 発行人・柳沢忠之 発行所・(株)フジテレビ出版
(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F 電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号
定価680円 本体648円

雑誌 21582-11/9
T1121582110686
Printed in Japan